

SI-133 (第249・250図)

台地南端C2区の5F95-2グリッドを主体に位置し、SI-132によって北東隅を壊されているほか後世に削られており、堅穴の約1/4程度が失われている。平面形は方形を呈し、規模は北東壁5.30m、南東壁4.94mを測る規模の大きな堅穴である。ピットは5本検出された。P1~P4は支柱穴でP5は出入口施設のピットであろう。周溝は全周していたものと推測される。竈は北西壁の中央に構築され、煙道部の突出はほとんどない。袖部等の構築材は山砂が使用されている。

出土遺物は堅穴の遺存が悪く少量である。図示できた遺物は、土師器の坏3点・甕1点である。堅穴の規模から古墳時代後期の堅穴と考えられ、2・3の坏は攪乱によって混入したものでであろう。

SI-134 (第251図)

台地南端C2区の5F94-10グリッドに位置し、SI-135によって北西側を壊されている。堅穴の遺存は悪く南側の壁は失われている。平面形は方形を呈し、一辺約3.00mの規模と推定される。ピットは4本検出された。P1~P4は支柱穴と考えられる。周溝は全周していたと推測される。竈は北西壁に位置していたと思われるがSI-135に壊されている。

出土遺物は微量であり図示できるものはなかったが、SI-135より若干古い時期で大きな時期差を伴わないと思われる。

SI-135 (第251図)

台地南端C2区の5F94-10グリッドに位置し、SI-134を壊している。堅穴の遺存が悪く西側コーナーは失われている。平面形は方形を呈し、北壁2.62m、東壁2.71mを測る小規模な堅穴である。ピットは検出されなかった。周溝は全周していたと推測される。竈は検出できなかったが、西壁の中央に構築されていたと考えられる。

出土遺物は墨書を伴う土師器の坏1点が出土している。

SI-136 (第252図)

台地南端C2区の最西南端5F94-15グリッドを主体に位置している。南西斜面にかかる肩の部分にあって、堅穴の約1/3が失われている。平面形は方形を呈すると考えられ、規模は北東壁2.61mの小規模な堅穴である。ピットは検出されなかった。周溝は全周していたものと推測される。竈は南西壁に位置していたと考えられる。

出土遺物は皆無で、時期は不明だが9世紀代の堅穴であろう。

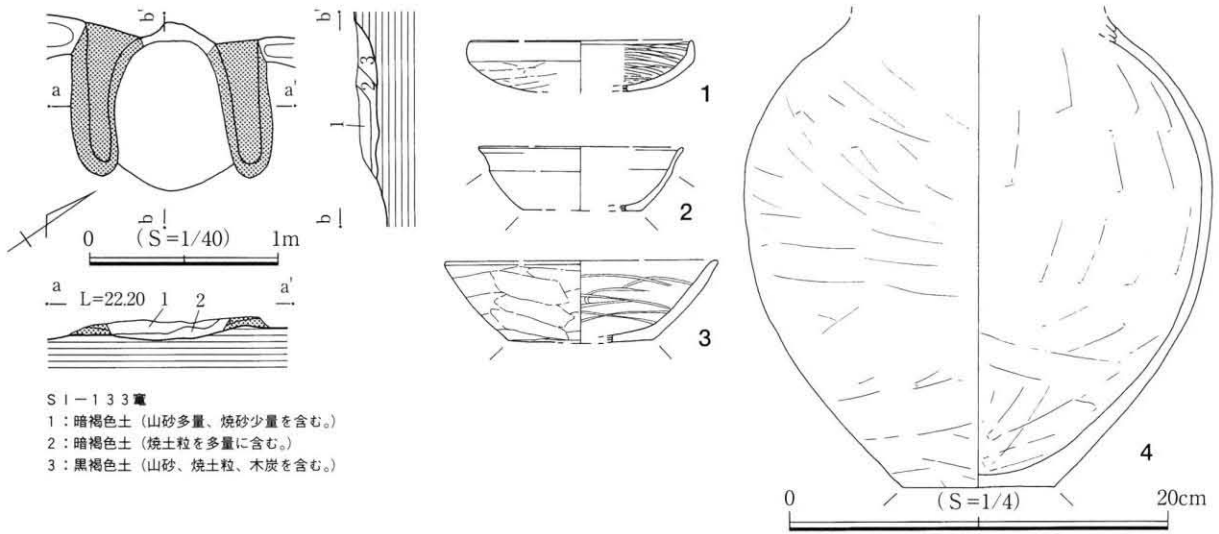
SI-141 (第253図)

台地南端C2区の最南端5F95-16グリッドを主体に位置している。南斜面にかかる肩の部分にあって、堅穴のほとんどが失われている。また、縄文時代の堅穴の一部を本堅穴が壊している。平面形は方形を呈すると考えられる。ピットや周溝は検出されなかった。伴出遺物からすれば、竈を伴っていたと考えられる。

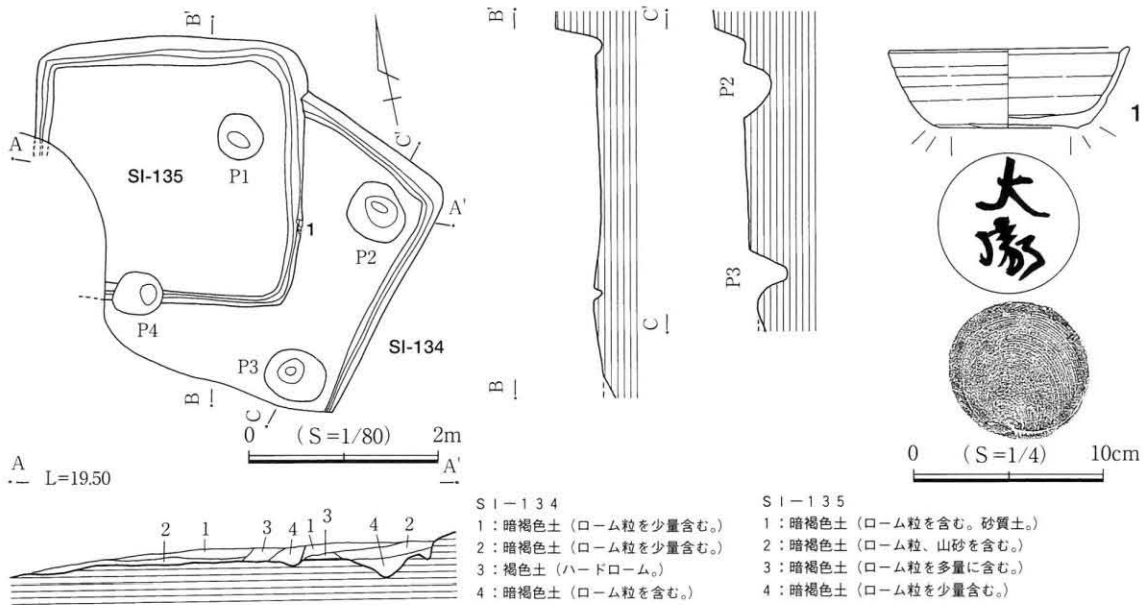
出土遺物は堅穴の遺存が悪く少量である。図示できた遺物は、土師器の坏1点と土玉1点、砥石1点である。

SI-146 (第254図)

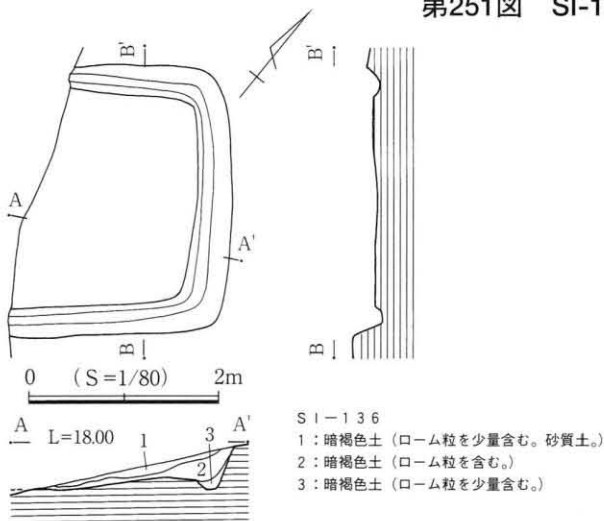
台地南側C1区の5F86-21グリッドを主体に位置している。後世の掘削によって堅穴の東側半分が失われている。遺存する堅穴は深い。平面形は方形を呈し、規模は北西壁2.89mを測る小規模な堅穴である。



第250図 SI-133竈 実測図及び出土遺物

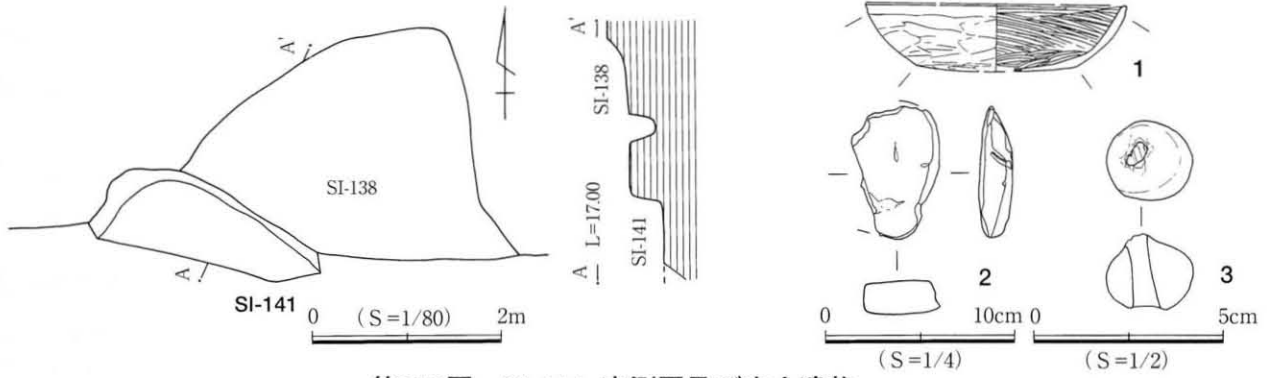


第251図 SI-134・135 実測図及び出土遺物

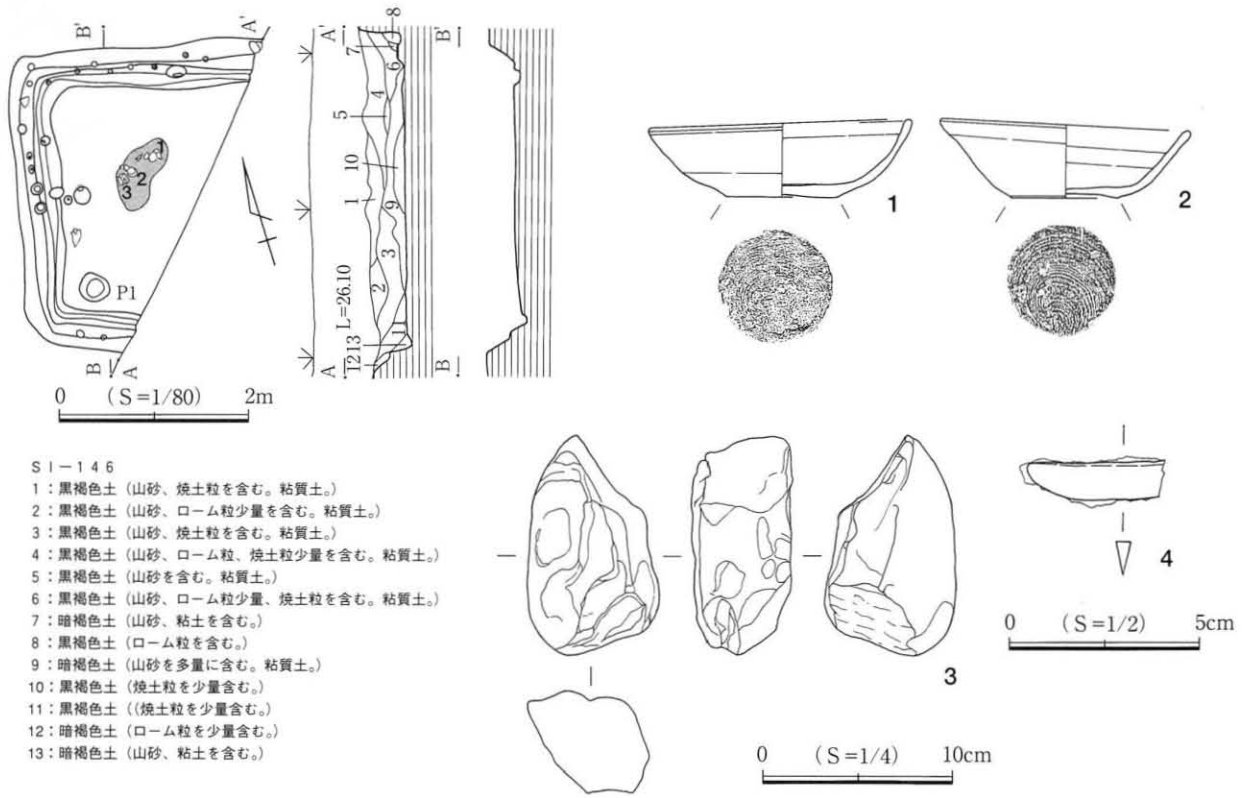


第252図 SI-136 実測図

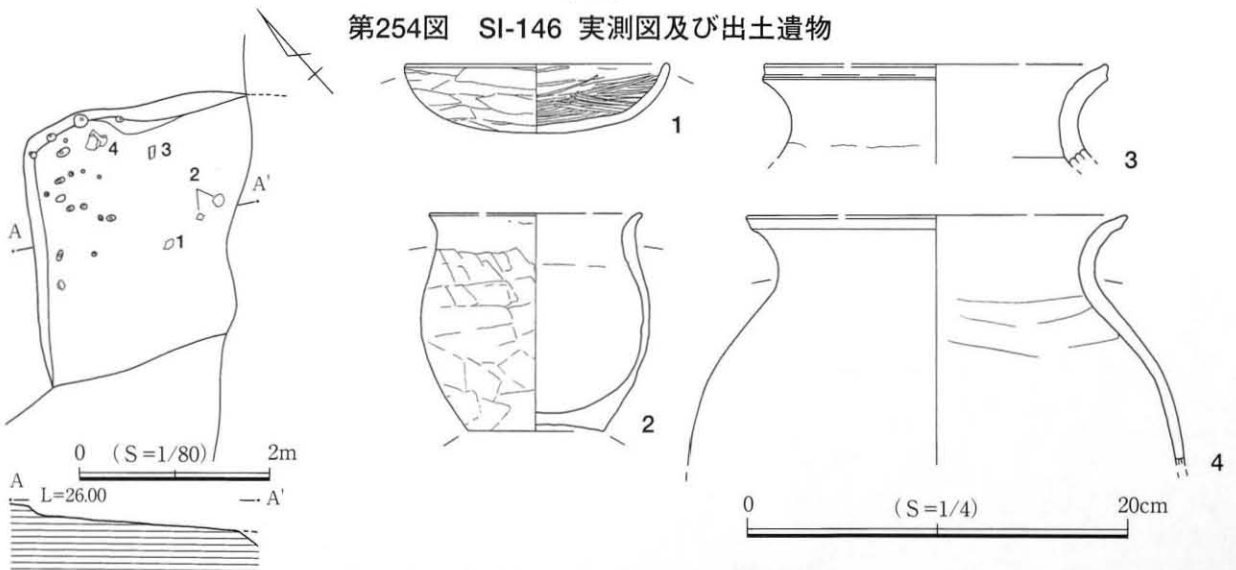




第253図 SI-141 実測図及び出土遺物



第254図 SI-146 実測図及び出土遺物



第255図 SI-147 実測図及び出土遺物

ピットは1本検出され、他に周溝内に小ピットが検出されている。周溝は全周していたと推測される。伴出遺物から竈を伴っている時期であり南西壁に構築されていたと考えられるが、東側に竈を伴う例は、神山谷遺跡では数軒である。

出土遺物は少ない。図示できた遺物は、土師器の坏2点と鉄製刀子1点である。3は自然礫である。

SI-147 (第255図)

台地南側C1区の5F85-25グリッドに位置し、幅の広い溝SD-19によって南西側が壊されているほか後世の攪乱によって失われている。平面形は方形を呈すると考えられる。ピットと周溝は検出されなかった。竈は検出されなかったが伴出遺物から竈を伴っていたと考えられる。

出土遺物は堅穴の遺存が悪かったが、比較的出土している。図示できた遺物は、土師器の坏1点・甕3点である。

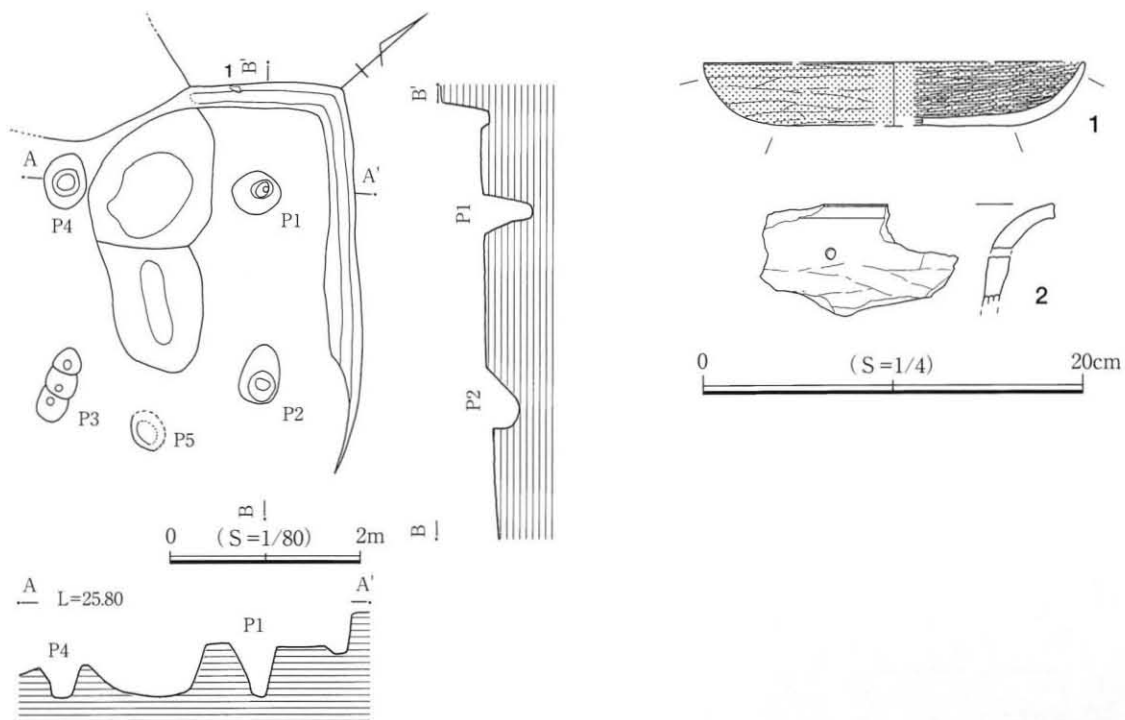
SI-148 (第256図)

台地南側C1区の5F85-19グリッドを主体に位置している。後世に削平が行われており、南西壁と南東壁は検出できておらず、堅穴の中央にも大きな攪乱が入っている。平面形は方形を呈すると考えられ、規模は一辺約4.20mと推定される。ピットは5本検出された。P1~P4は主柱穴でP5は出入口施設のピットであろう。周溝は全周していたと推測される。伴出遺物から竈を伴うと考えられるが、攪乱により検出できなかった。竈は北西壁に位置していたと考えられる。

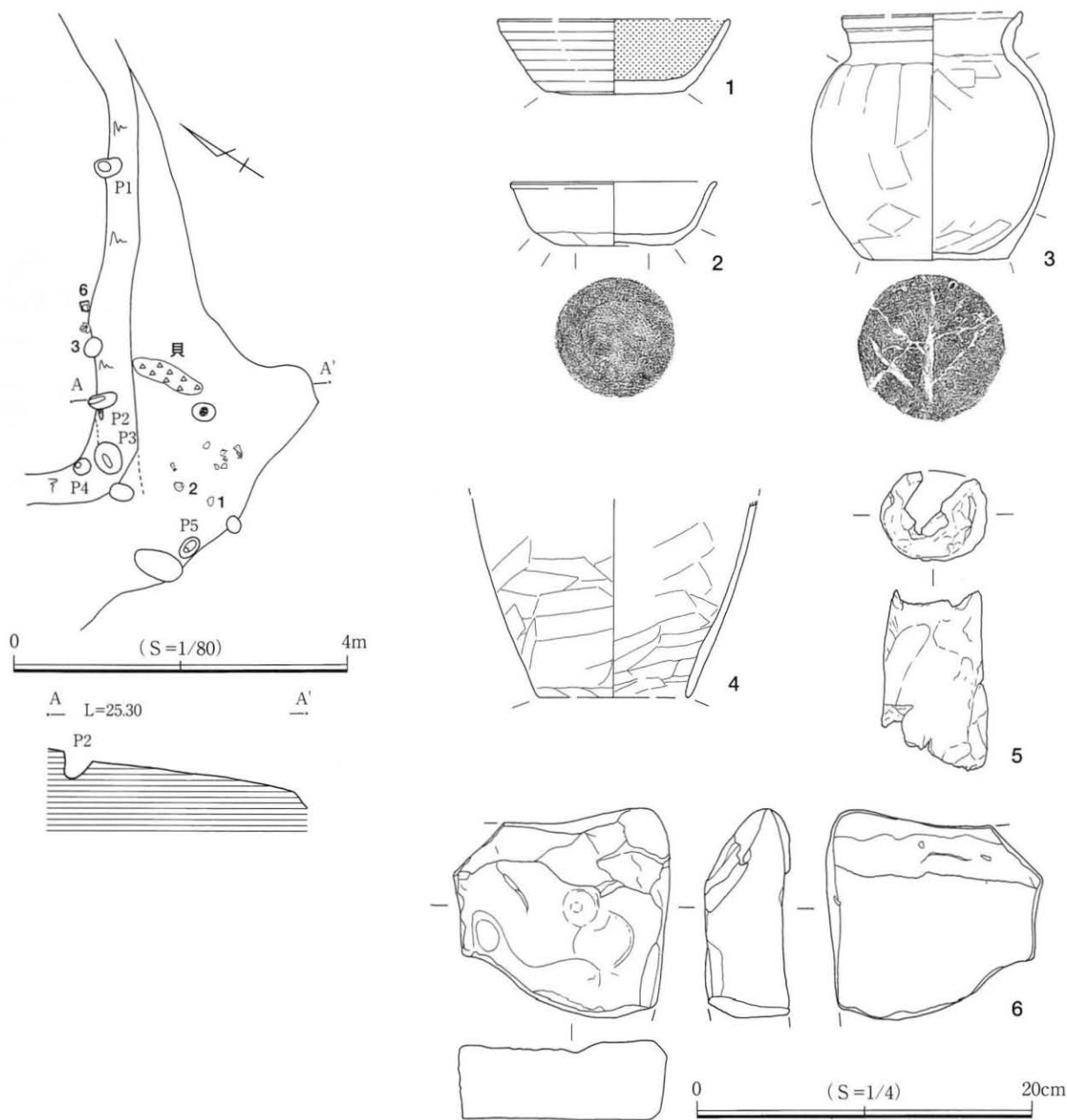
出土遺物は堅穴の遺存が悪く少なかった。図示できた遺物は、土師器の坏1点・焼成前の穿孔を伴う甕1点である。

SI-149 (第257図)

台地南側C1区のF85-25グリッドを主体に位置している。幅の広い溝SD-19によって大きく攪乱され堅



第256図 SI-148 実測図及び出土遺物



第257図 SI-149 実測図及び出土遺物

穴の形態を検出できていないが、この地点からの出土遺物に時期的なまとまりがあることから、竪穴住居跡が存在することは間違いなからう。遺物の時期から平面形は方形を呈していたと考えられる。ピットは小さく明らかに柱穴と判断できるものはない。周溝や竈は検出されなかった。覆土中に貝ブロックが検出されたが竪穴に伴うかどうかははっきりしない。貝ブロックの組成については分析を行っていない。

竪穴に伴う可能性がある遺物の内、図示できた遺物は、土師器の坏2点・甕1点・甑1点のほか支脚1点、砥石1点である。



#### SI-150 (第258図)

台地南側C1区の5F85-23グリッドに位置している。後世の削平によって堅穴の約3/4が失われているほか北東壁の中央が攪乱によって壊されている。平面形は方形を呈すると考えられる。北東壁3.23mを測る小規模な堅穴である。ピットは1本検出された。周溝は全周していたものと推測される。竈は検出できなかったが、時期的には竈を伴うと考えられ北西壁に位置していたと推測される。

出土遺物は皆無であるが、堅穴の規模から9世紀代の堅穴と思われる。

#### SI-151 (第259・260図)

台地南側C1区の中央5F85-23グリッドに位置している。SI-152・153と重複しており、本堅穴が最も新しいと判断される。後世の削平によって堅穴の約半分が失われている。平面形は方形を呈し、規模は北東壁3.19mを測る。ピットは検出されなかった。壁際に小孔が多数検出されている。竈は北西壁の中央に構築されている。遺存状態はあまりよくない。煙道部の突出は大きい。袖部等の構築材は山砂が使用されている。

出土遺物は堅穴の遺存が悪く少なかった。図示できた遺物は、土師器の坏1点・甕1点、須恵器の片口鉢1点・甕2点である。

#### SI-152 (第259・260図)

台地南側C1区の中央5F85-18グリッドを主体に位置している。SI-151・153と重複しており、SI-153を壊し、SI-151に壊されている。また床面に大きな攪乱が及んでいる。平面形は方形を呈し、規模は一辺3.33mを測る。ピットは2本検出されているが、P4・P5はSI-153のピットである可能性が高い。周溝は全周していたものと推測される。竈は北西壁の中央に構築されており、攪乱によって一部が壊されている。煙道部は大きく突出している。袖部等の構築材は山砂が使用されている。

出土遺物は堅穴の遺存が比較的良かったが少ない。図示できた遺物は、土師器の坏3点・甕1点・甗1点である。坏1点には外面に墨書が伴っている。

#### SI-153 (第259・260図)

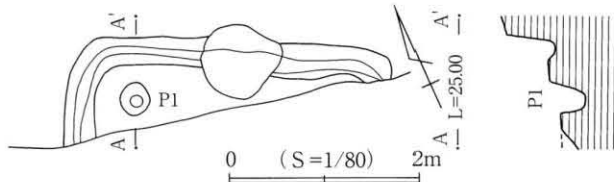
台地南側C1区の中央5F85-18グリッドに位置している。SI-151・152と重複しており、SI-152によって堅穴の大半が壊されている。平面形は方形を呈し、規模は北西壁3.67mを測る。ピットは遺存する床面に1本しか検出されていないが、P1・P2・P4・P5は本堅穴の支柱穴の可能性が高い。また、P3は出入口施設のピットかもしれない。周溝は全周していたものと推測される。竈は北西壁の中央に構築され、両袖とも構築材が残っていなかった。煙道部の突出は他の堅穴と同様に大きい。

出土遺物は堅穴の遺存が極めて悪く少量である。図示できた遺物は、土師器の甕1点である。

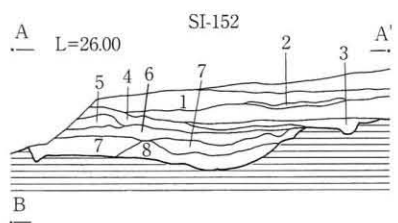
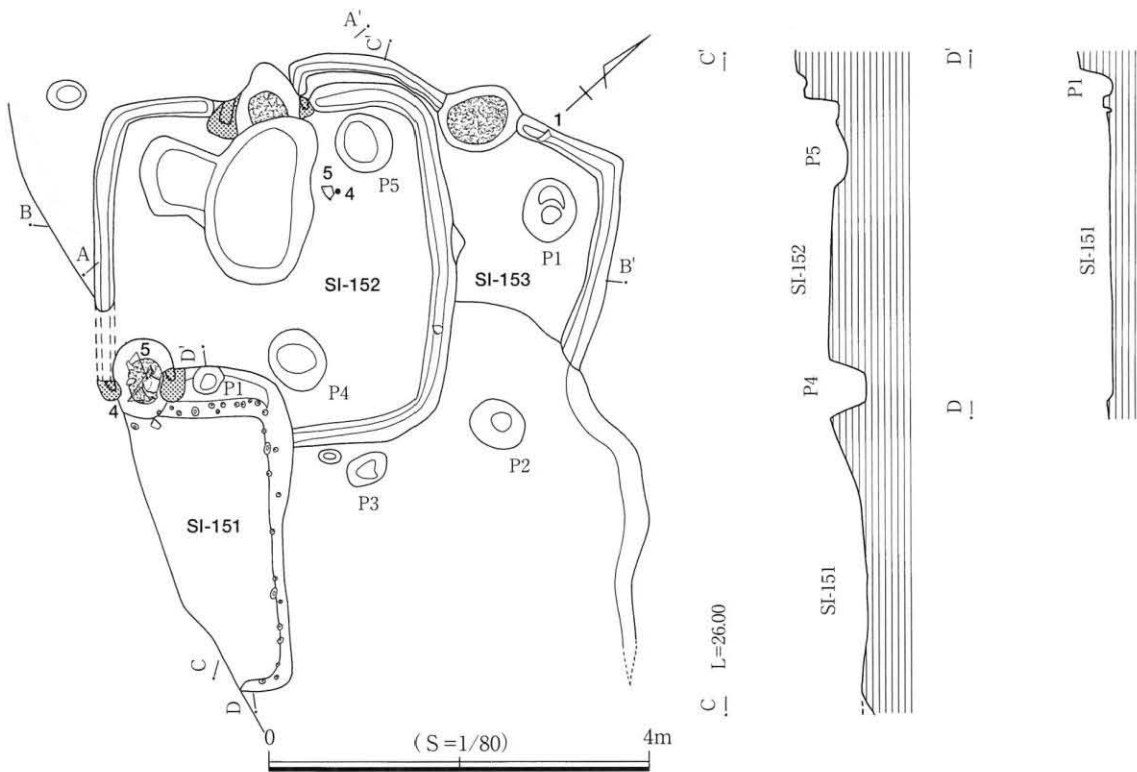
#### SI-154 (第261図)

台地南側C1区の中央5F85-17グリッドに位置している。後世の削平によって堅穴遺存状態はよくない。平面形はやや歪みのある方形を呈し、規模は南東壁2.72m、南西壁2.48mを測る小規模な堅穴である。ピットは2本検出されたが柱穴ではなからう。周溝は全周している。竈は北西壁の中央からやや左に寄っている。袖部等の構築材は山砂が使用されている。

遺物は竈内からまとめて出土している。図示できた遺物は、土師器の坏3点・甕2点、須恵器の甕3点・甗1点、鉄製刀子1点である。

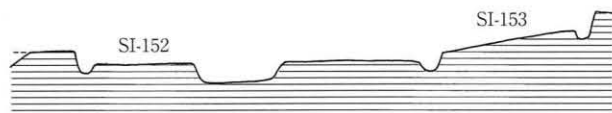


第258図 SI-150 実測図

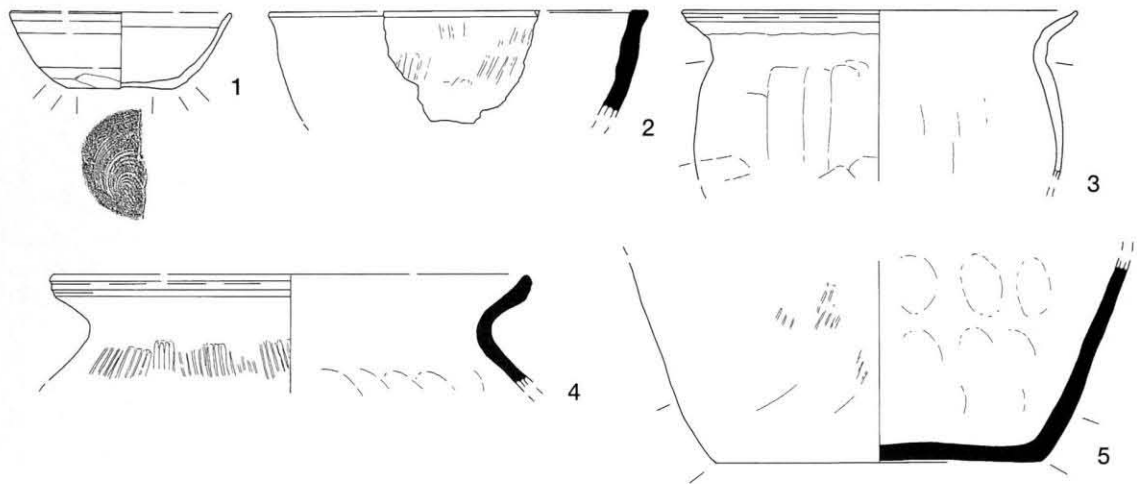


SI-152

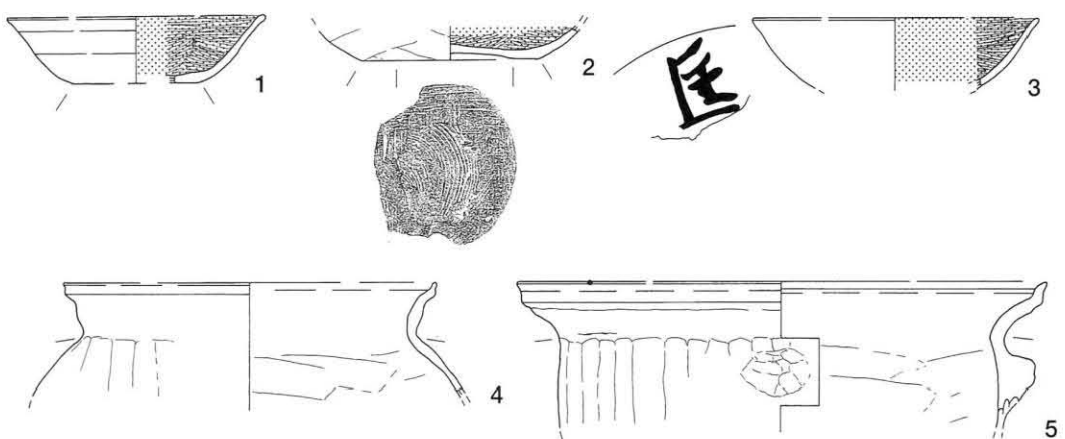
- 1: 暗褐色土 (山砂、ローム粒、黒色土粒を含む。)
- 2: 暗褐色土 (ローム粒を含む。粘質土。)
- 3: 黒褐色土 (ローム粒を含む。)
- 4: 暗褐色土 (ローム粒、ロームブロックを多量に含む。)
- 5: 暗褐色土 (ローム粒を含む。)
- 6: 黒褐色土 (ローム粒、黒色土粒を含む。)
- 7: 暗褐色土 (ローム粒、焼土粒、粘土少量を含む。)
- 8: 暗褐色土 (焼土粒、粘土多量を含む。)



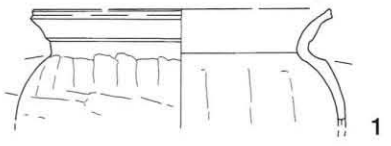
第259図 SI-151・152・153 実測図



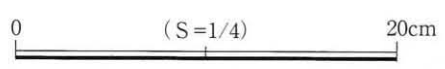
SI-151



SI-152

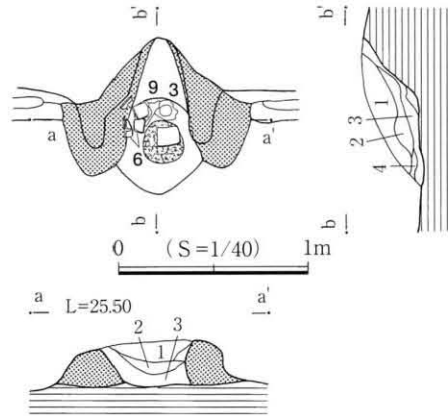
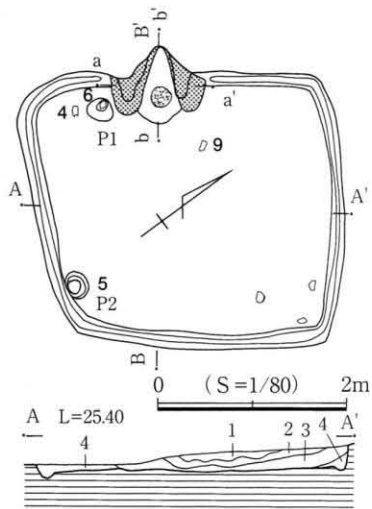


SI-153



第260図 SI-151・152・153 出土遺物



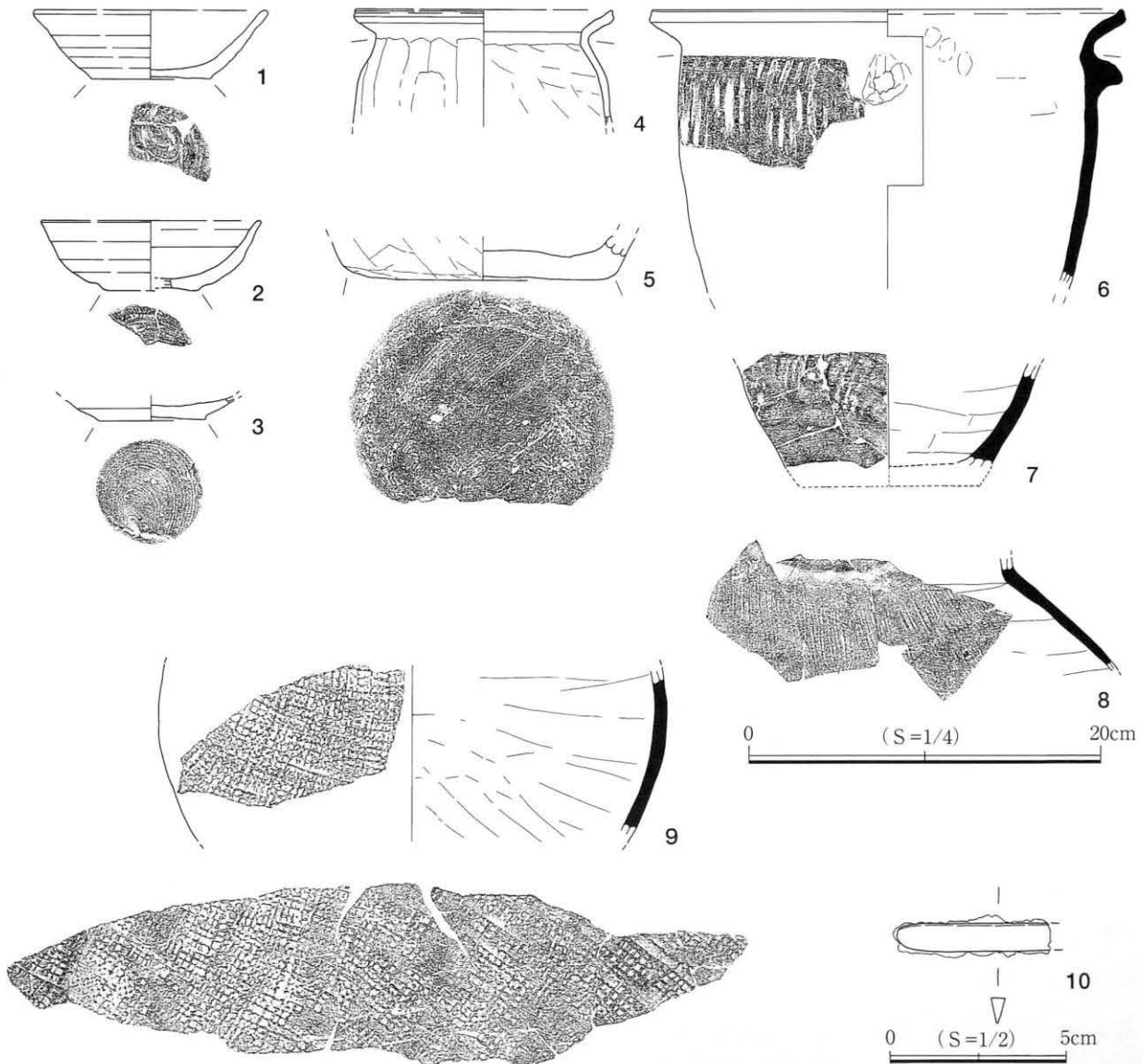


SI-154

- 1: 黒色土 (山砂、粘土、ローム粒を含む。)
- 2: 黒褐色土 (ローム粒、粘土を含む。)
- 3: 暗褐色土 (ローム粒、粘土を含む。)
- 4: 暗褐色土 (ローム粒を含む。)

SI-154 竈

- 1: 暗褐色土 (焼土粒、山砂、灰を含む。)
- 2: 赤褐色土 (焼砂を多量に含む。)
- 3: 黒褐色土 (焼土粒、山砂、灰を含む。)
- 4: 褐色砂



第261図 SI-154 実測図及び出土遺物

#### S I - 1 5 5 (第262図)

台地南側C1区の5F85-16グリッドを主体に位置している。SI-156・157と重複している。SI-156の大半を壊しており、SI-157には西側コーナーを壊されている。南西壁は遺存しておらず、周溝によって竪穴の規模を確認することができた。平面形は方形を呈し、南東壁2.67m、南西壁2.72mを測る小規模な竪穴である。ピットは検出されなかった。周溝は全周していたものと推測される。竈は北東壁の中央に構築されており、袖の遺存はあまりよくない。煙道部の突出はほとんどない。袖部等の構築材は山砂が使用されている。

出土遺物は竪穴が小規模で浅かったが比較的多かった。図示できた遺物は、土師器の坏3点・甕3点・甑1点、手捏土器1点である。土師器の坏破片1点に墨書が伴っている。

#### S I - 1 5 6 (第262図)

台地南側C1区の5F85-17グリッドに位置し、SI-155に竪穴の大半を壊されているほか後世の削平によっても東側が失われており遺存状態は良くない。平面形は隅丸方形を呈すると思われ、規模は不明である。出土遺物の時期から竈を伴うと考えられるが、その痕跡を確認することはできなかった。ピットは2本検出されたが柱穴とは言い難い。

出土遺物は竪穴の遺存が悪く少量である。図示できた遺物は、土師器の甕2点である。

#### S I - 1 5 7 (第263図)

台地南側C1区の5F85-16グリッドに位置し、SI-155の一部を壊している。床面及び南西壁が3号炭窯によって大きく攪乱されている。平面形は隅丸方形を呈し、規模は南西壁3.10m、北西壁2.74mを測る。ピットは2本検出された。P1・P2は柱穴であろう。周溝は全周していたと推測される。竈は北東壁の中央に構築されており、煙道部の突出は大きい。竈の外縁部に検出面より一段低い掘り込みが確認されている。袖部等の構築材は山砂が使用されている。

出土遺物は竪穴の遺存が悪かったが、竈周囲からまともに出て出土している。図示できた遺物は、土師器の坏3点・鉢1点・甕2点・甑1点である。土師器の坏破片1点に墨書が伴っている。

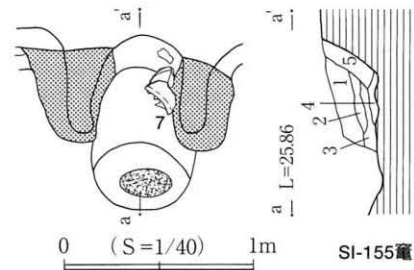
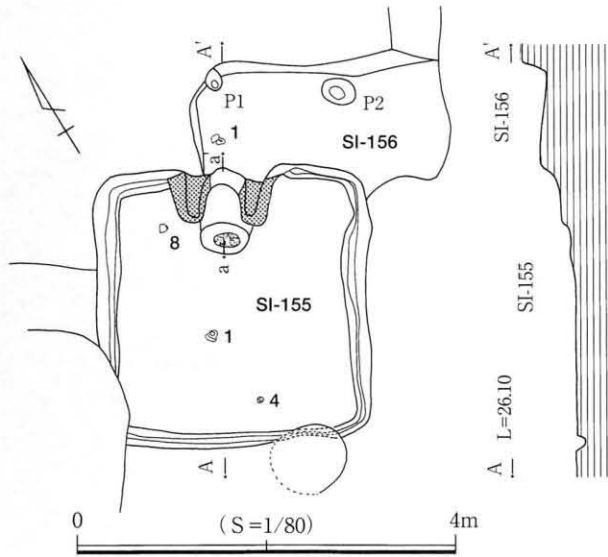
#### S I - 1 5 8 (第264図)

台地南側C1区の5F85-12グリッドに位置し、SI-159によって西側の約半分が壊されているほか、後世の削平によって南側壁も失われている。平面形は長方形を呈すると思われ、北壁2.47mを測る小規模な竪穴である。竪穴に関連すると思われるピットはP2・P3であるが柱穴ではなかろう。周溝は全周していたと推測される。竈は北壁の中央やや東寄りに位置している。煙道部の突出はほとんどなく、小規模な竈である。袖部等の構築材は山砂が使用されている。

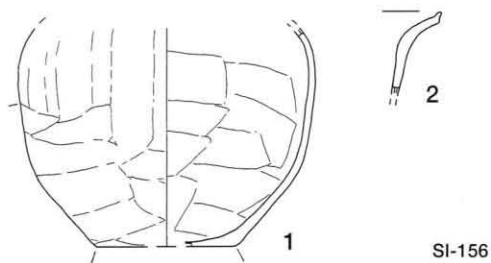
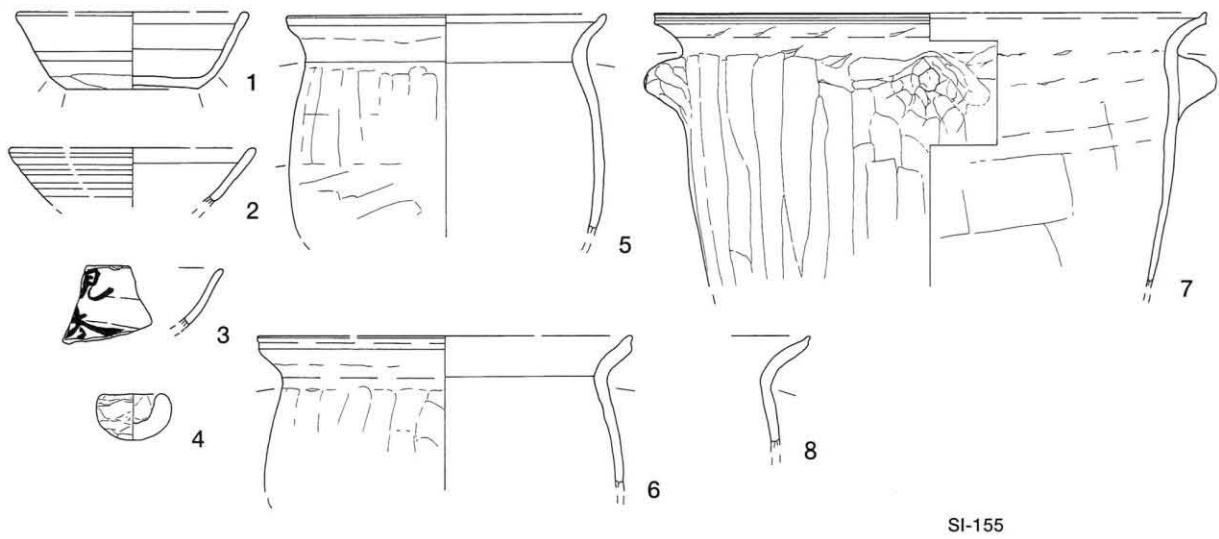
出土遺物は竪穴の遺存が悪く出土量は少量である。図示できた遺物は、土師器の坏3点である。調査段階で1軒の竪穴として調査を進めたため、遺物の出土地点に混乱が生じており、本竪穴に伴うのは1・3であろう。

#### S I - 1 5 9 (第264図)

台地南側C1区の5F85-12グリッドを主体に位置し、SI-158を壊している。後世の削平によって南側コーナー付近が失われている。平面形はSI-158と同様に長方形を呈し、規模は北西壁2.04m、北東壁2.64mを測る小規模な竪穴である。ピットは1本検出されたが柱穴ではなかろう。周溝は全周していたと推測される。竈は北東壁の西寄りに位置しており、袖左側の遺存が特に悪い。火床部から2の坏が出土している。

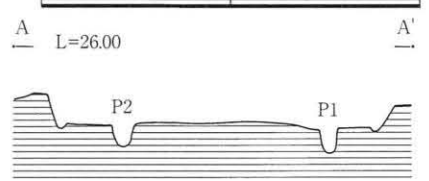
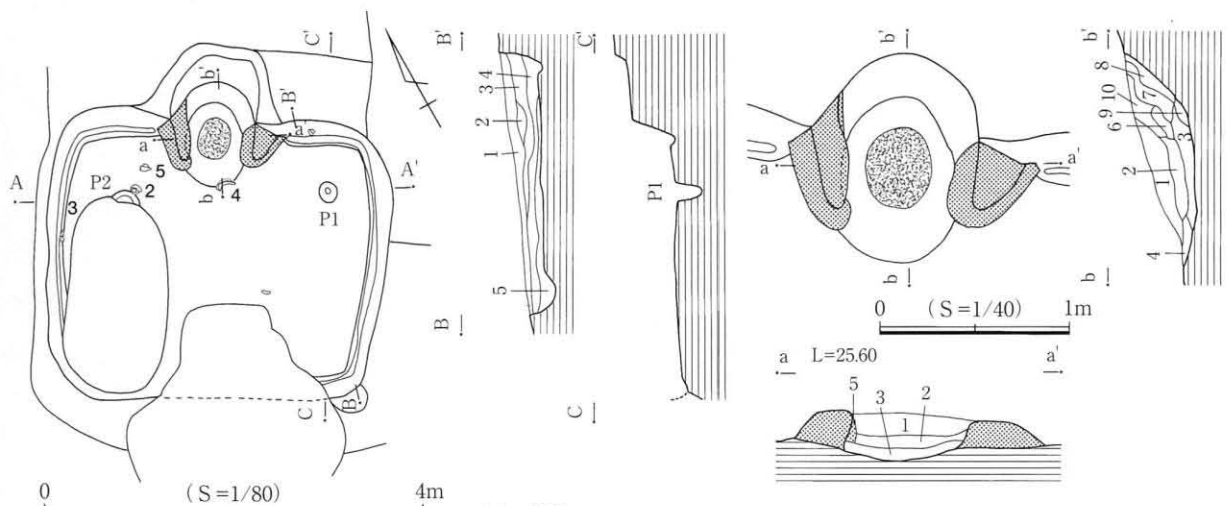


- SI-155 竪
- 1: 暗褐色土 (ローム粒、焼土粒を少量含む。)
  - 2: 赤褐色土 (焼砂を含む。)
  - 3: 黒褐色土 (焼土粒、炭化粒、灰を含む。)
  - 4: 暗褐色土 (焼土粒を含む。)
  - 5: 黒褐色土 (山砂、焼土粒を含む。)



第262図 SI-155・156 実測図及び出土遺物



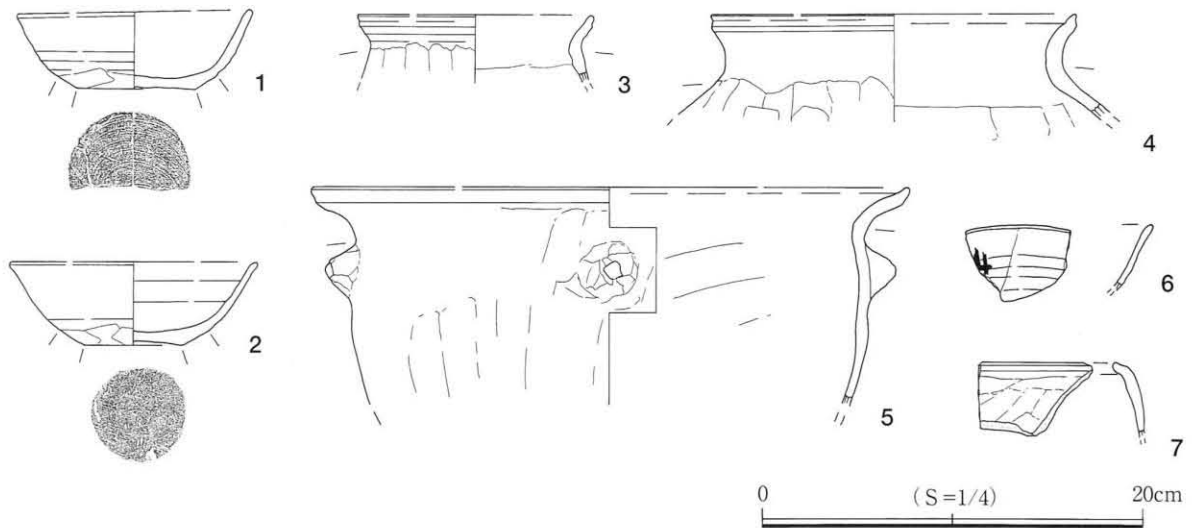


SI-157

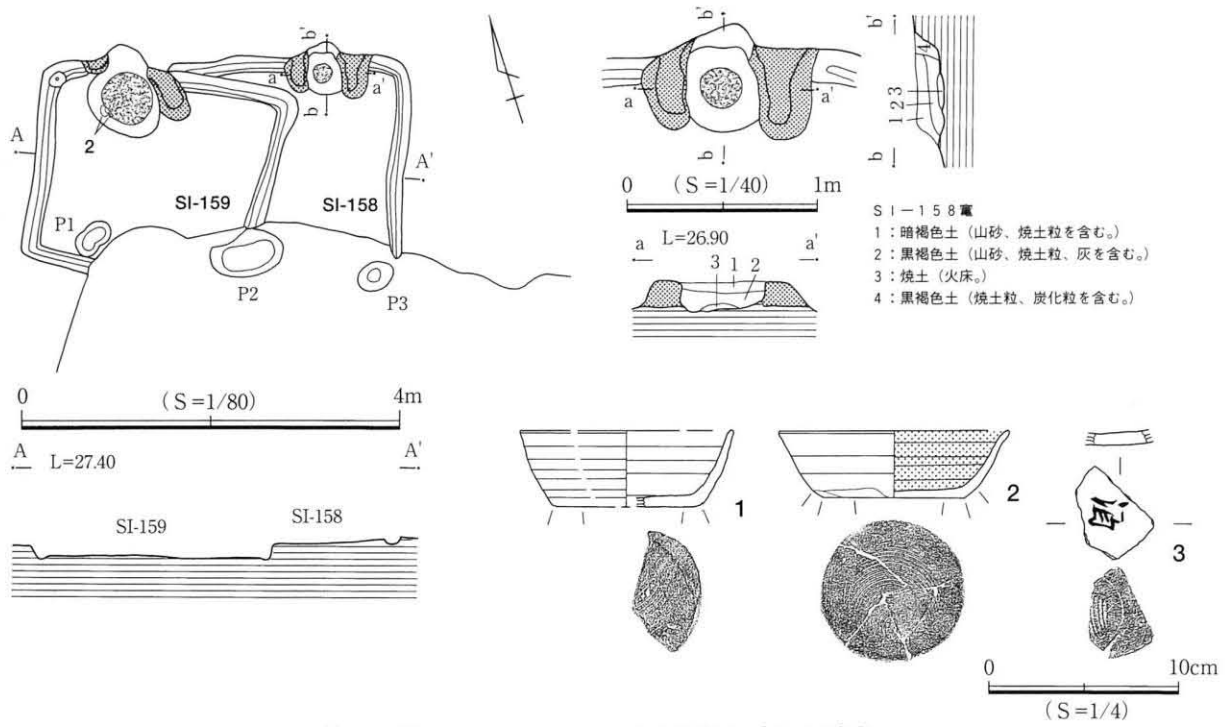
- 1: 暗褐色土 (ローム粒、山砂を少量含む。)
- 2: 暗褐色土 (ローム粒を多量に含む。)
- 3: 暗褐色土 (ローム粒を少量含む。)
- 4: 暗褐色土 (ローム粒、焼砂を含む。)
- 5: 暗褐色土 (ローム粒を含む。)

SI-157 竈

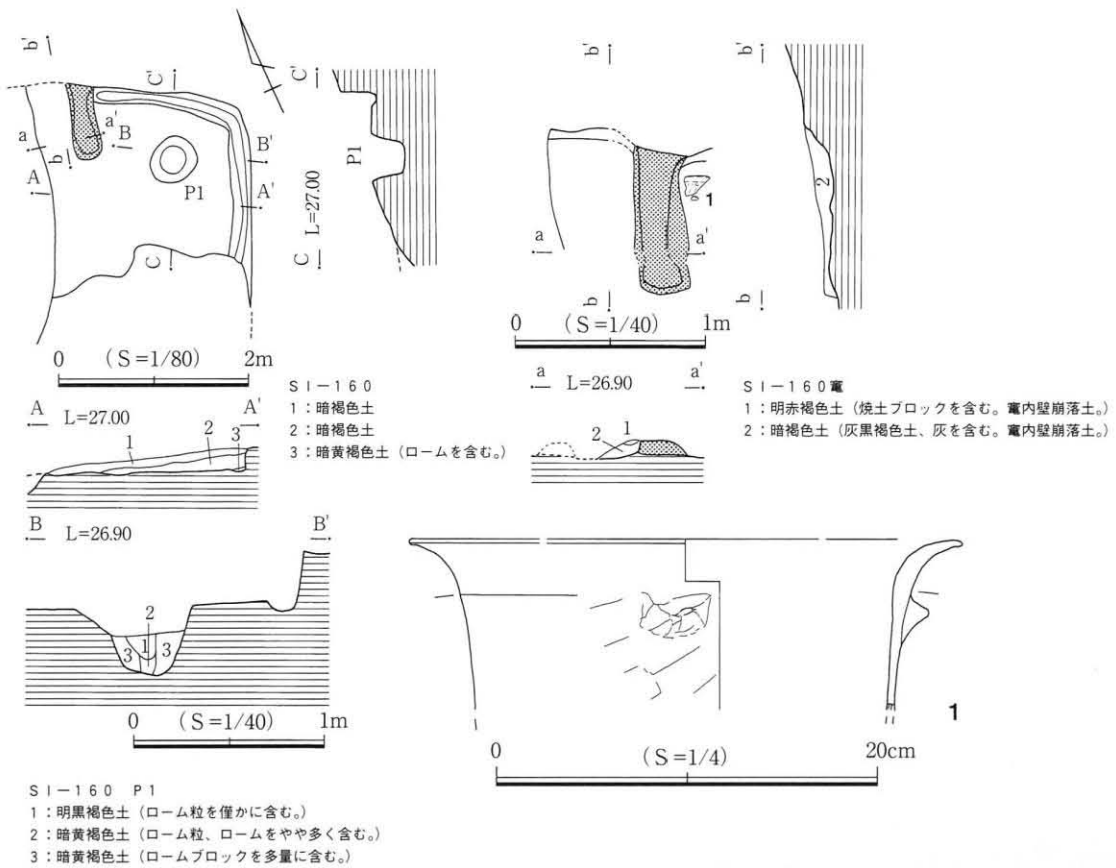
- 1: 暗褐色土 (山砂、ローム粒を含む。)
- 2: 暗褐色土 (山砂、焼砂を含む。)
- 3: 黒褐色土 (焼土粒、炭化粒を含む。)
- 4: 黒色土 (焼土粒、炭化粒を含む。)
- 5: 焼砂
- 6: 焼砂
- 7: 黒褐色土 (焼砂を含む。)
- 8: 黒褐色土 (暗褐色焼土粒を含む。)
- 9: 赤色 (焼土。)
- 10: 褐色砂



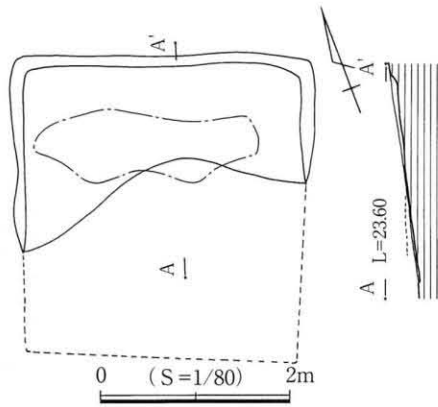
第263図 SI-157 実測図及び出土遺物



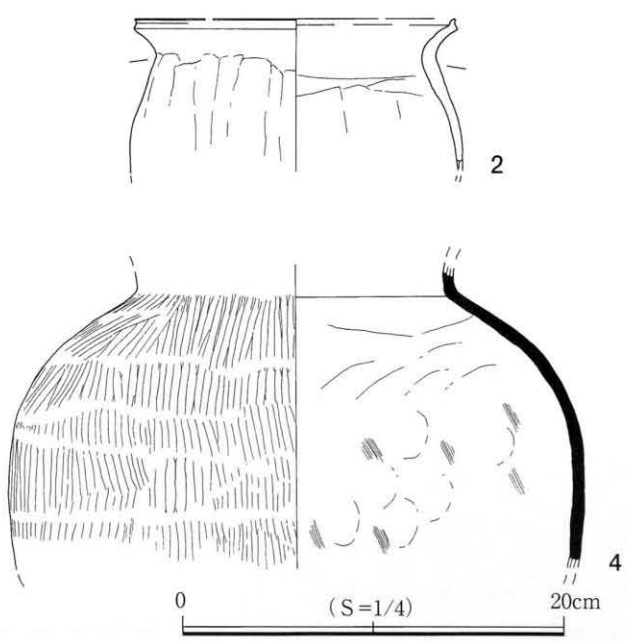
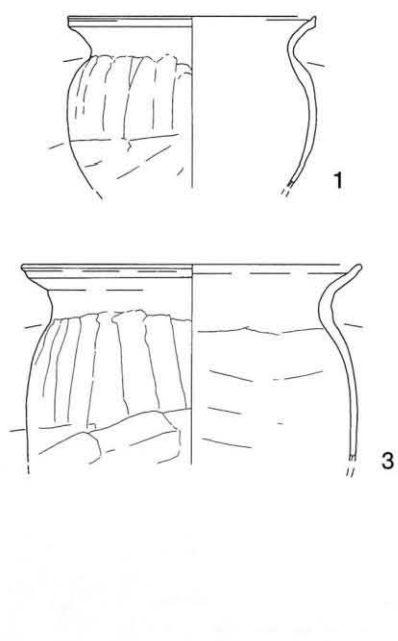
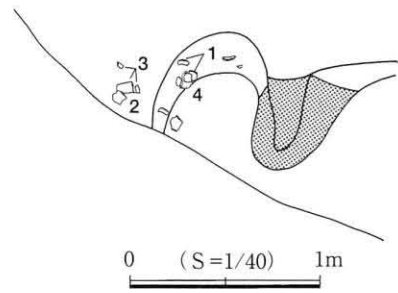
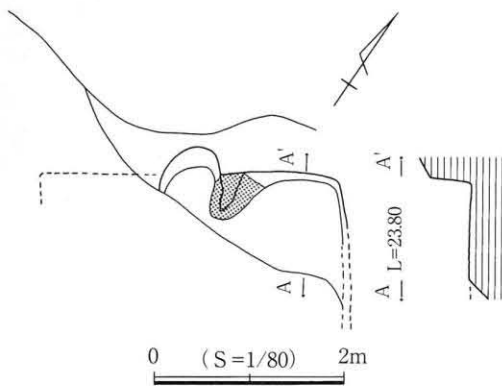
第264図 SI-158・159 実測図及び出土遺物



第265図 SI-160 実測図及び出土遺物



第266図 SI-161 実測図



第267図 SI-162 実測図及び出土遺物



煙道部の突出はあまり大きくない。袖部等の構築材は山砂が使用されている。

出土遺物は堅穴の遺存が悪く少量である。図示できた遺物は土師器の坏1点である。

#### SI-160 (第265図)

台地南側C1区の西側斜面5F85-11グリッドに位置している。西斜面の肩の部分にあって堅穴の西側が大きく失われているほか、南側も削平によって失われている。平面形は方形を呈すると考えられ、規模は一辺約4.0mと推定される。柱穴と思われるピットが1本検出されている。周溝は全周していたと推測される。竈は北東壁の中央に位置していたと考えられる。袖左側は失われ火床面も検出されなかった。袖部等の構築材は山砂が使用されている。

出土遺物は堅穴の遺存が悪く少量である。図示できた遺物は甌1点のみである。

#### SI-161 (第266図)

台地南側C2区の5F85-21グリッドに位置している。後世の削平によって堅穴の遺存状態は極めて悪い。平面形は方形を呈すると考えられる。規模は北東壁3.15mを測る。ピットや周溝、竈などは検出されなかった。

出土遺物は皆無であるため堅穴の時期は不明である。

#### SI-162 (第267図)

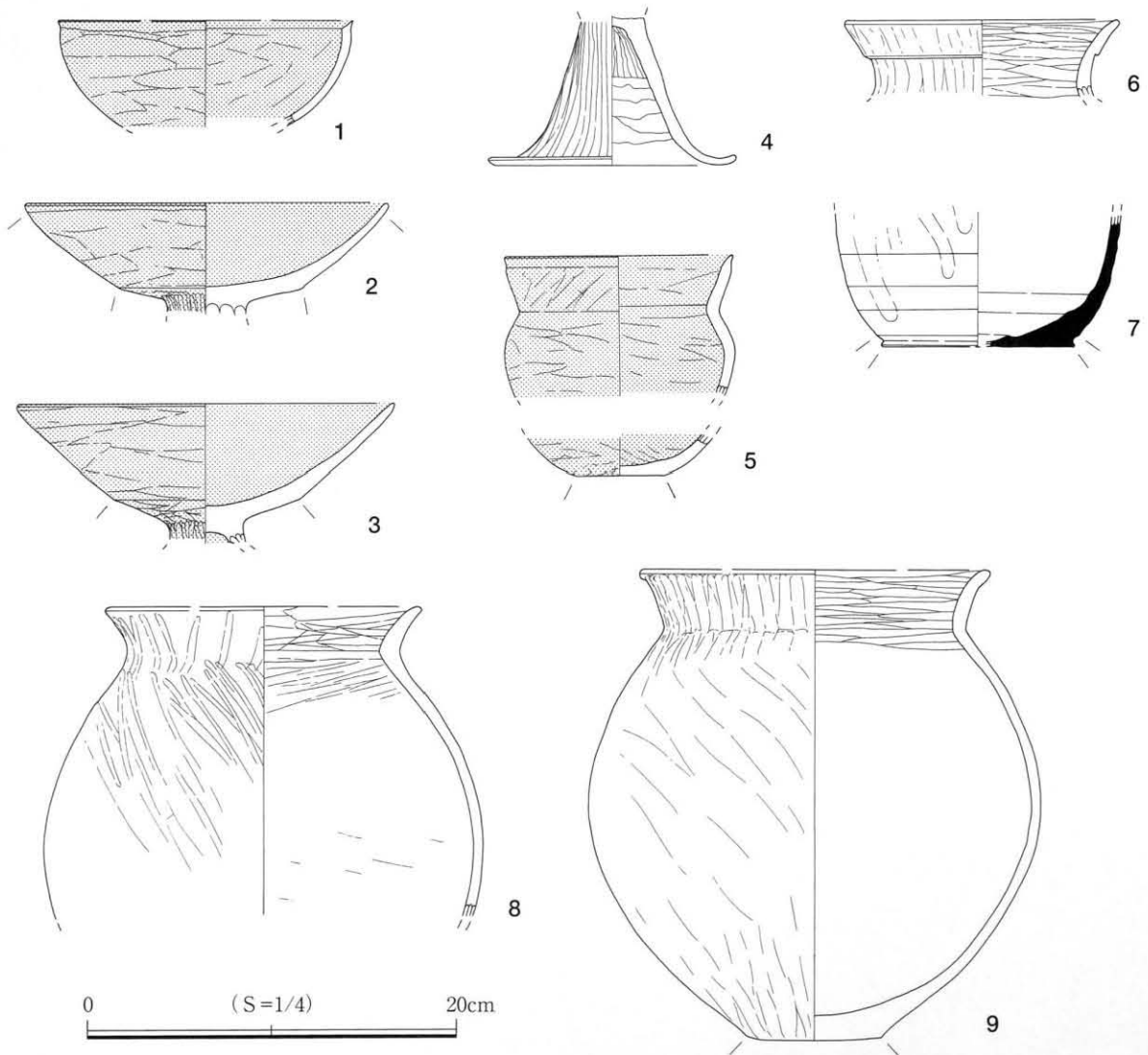
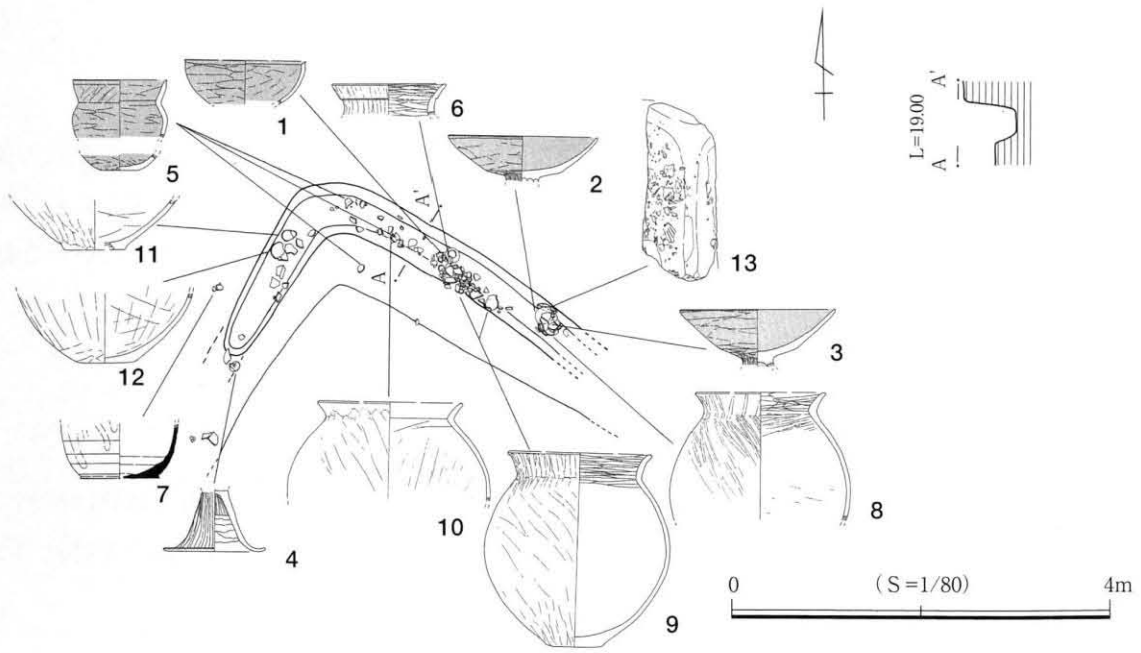
台地南側C1区の東側5F85-25グリッドに位置している。東側斜面の肩の部分に位置しているほか、SD-19の溝によっても削平されているため堅穴の遺存状態はよくない。規模は、一辺約3.2mの方形を呈すると考えられる。ピットや周溝は検出されなかった。竈は北西壁の中央に構築され、袖部等の構築材は山砂が使用されている。袖左側は失われているが、竈内から土器がまとまって出土している。

出土遺物は堅穴の遺存が悪いため少なかった。図示できた遺物は、土師器の甕3点、須恵器の甕1点である。

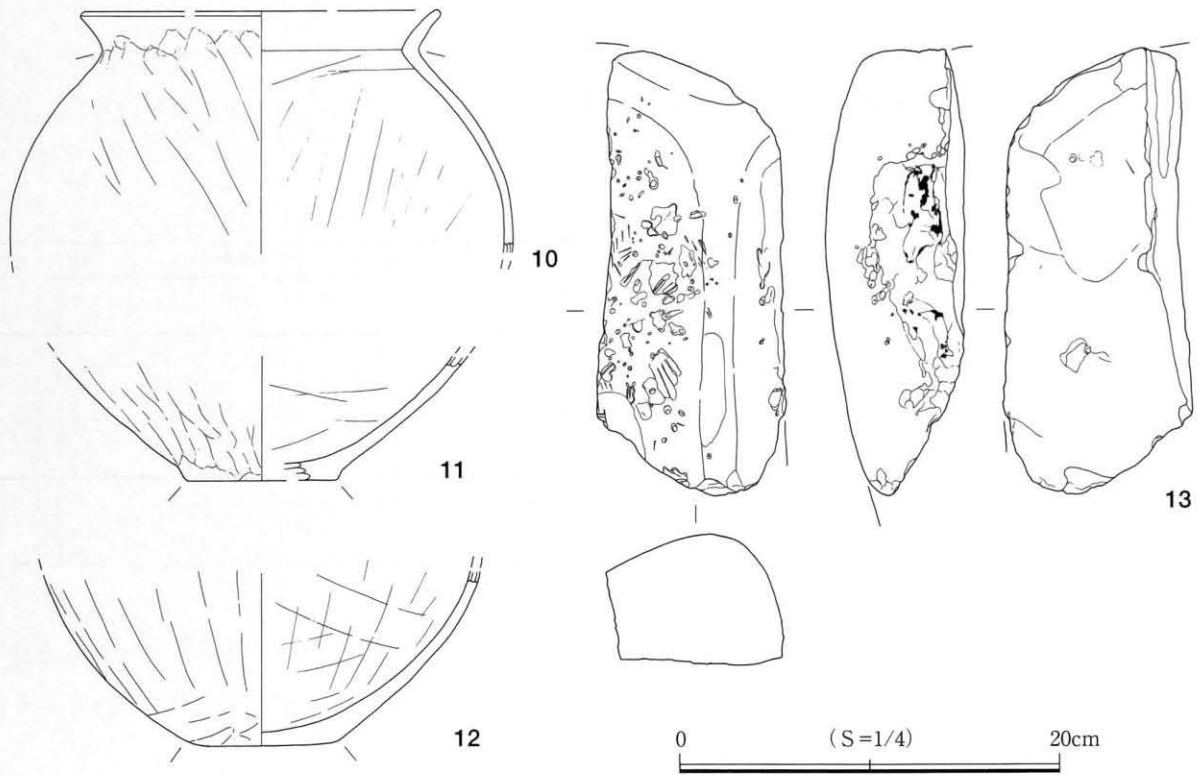
#### SI-163 (第268・269図)

台地南側C2区の東側5F95-14グリッドに位置している。SI-109に堅穴の約2/3を壊されているほか斜面下側の南側コーナーも失われており、規模は明確ではないが北壁から一辺約4.2mの隅丸方形を呈すると考えられる。周溝は幅広く検出されたが、掘り過ぎによるものと考えられる。伴出土器の時期から炉跡を伴うと考えられるが、SI-109に壊されており検出されていない。

出土遺物は堅穴の遺存が悪かったが北壁際にまとまって出土している。図示できた遺物は、土師器の椀1点・高坏3点・甕7点、砥石1点である。他に灰釉陶器が検出されているが堅穴に伴う遺物ではなからう。



第268図 SI-163 実測図及び出土遺物



第269図 SI-163 出土遺物



## 第2節 土坑・その他

B区に比べて、C区では土坑の検出数は少ないが、類似した規模・形態の土坑がまとまっている。古代の土坑は、竪穴住居跡が多数検出されている地点から離れて分布している。また、中世と判断した土坑墓も周囲に他の遺構が見つからない。また、炭窯は近世に属する。

第13表 C1・2区土坑計測表

遺構種別	遺構番号	出土地点	主軸方位	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)
土坑墓	2号土坑墓	5F85-16	N- 87° -E	1.3	1.2	1.1
土坑墓	3号土坑墓	5F85-16	N- 10° -W	1.2	1.0	0.8
土坑	1号土坑	5F85-12	-	1.6	1.6	0.8
土坑	2号土坑	5F85-17	-	1.6	1.5	1.1
土坑	3号土坑	5F85-13	N- 39° -E	1.4	1.3	0.3
土坑	4号土坑	5F85-11	N- 21° -E	2.2	1.6	1.9
土坑	5号土坑	5F85-14	N- 2° -W	1.6	1.2	1.3
炭窯	3号炭窯	5F85-16	N- 21° -E	2.7	2.5	1.5
炭窯	4号炭窯	5F85-21	N-130° -E	0.9	0.7	0.8
炭窯	5号炭窯	5F84-20	N- 80° -W	2.0	0.9	0.2

### 1. 土坑墓

2基の土坑から人骨が検出できた。土坑は長方形を基調として、掘り方が深い。時期を特定する遺物は出土していないが、土坑の形態と人骨の遺存状況から中世から近世であろう。中世の遺構はC3・C6区で多く検出しているが、C1・C2区では当該時期の遺構は少ない。

#### 2号土坑墓 (第270図)

C1区の5F85-16・17で検出した。3号土坑墓に隣接している。検出面平面形はやや不整な長方形を呈し、底面は丸味をもつ。ほぼ垂直に深く掘り込まれている。底面は平らである。東壁際の底面で人の頭蓋骨のほか、四肢骨などの長骨が遺存していた。伴出遺物はなく時期は不明であるが、隣接する3号土坑墓とほぼ同じ時期と推定される。

#### 3号土坑墓 (第270図)

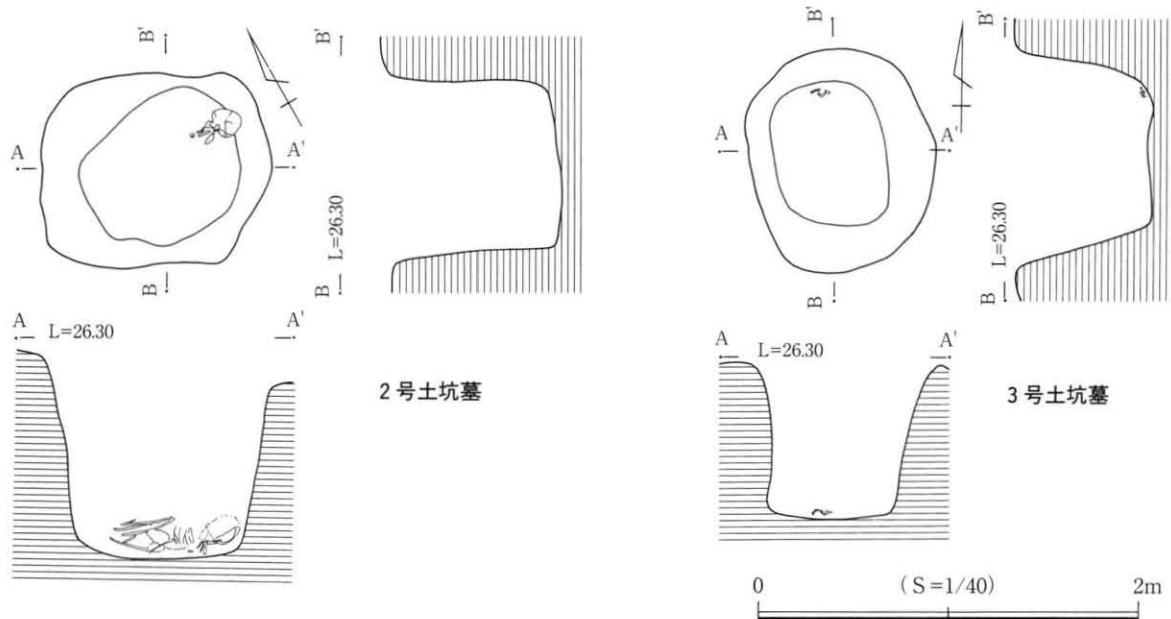
C1区の5F85-16で検出した。2号土坑が隣接している。隅の丸い長方形を呈する。平面形態や規模は2号土坑墓に類似し、ほぼ垂直に深く掘り込まれている。底面は平らである。北壁際の底面で人の歯を検出しており、土坑墓と考えられる。伴出遺物はなく時期は不明であるが、隣接する2号土坑墓とほぼ同じ時期と推定される。

### 2. 土坑

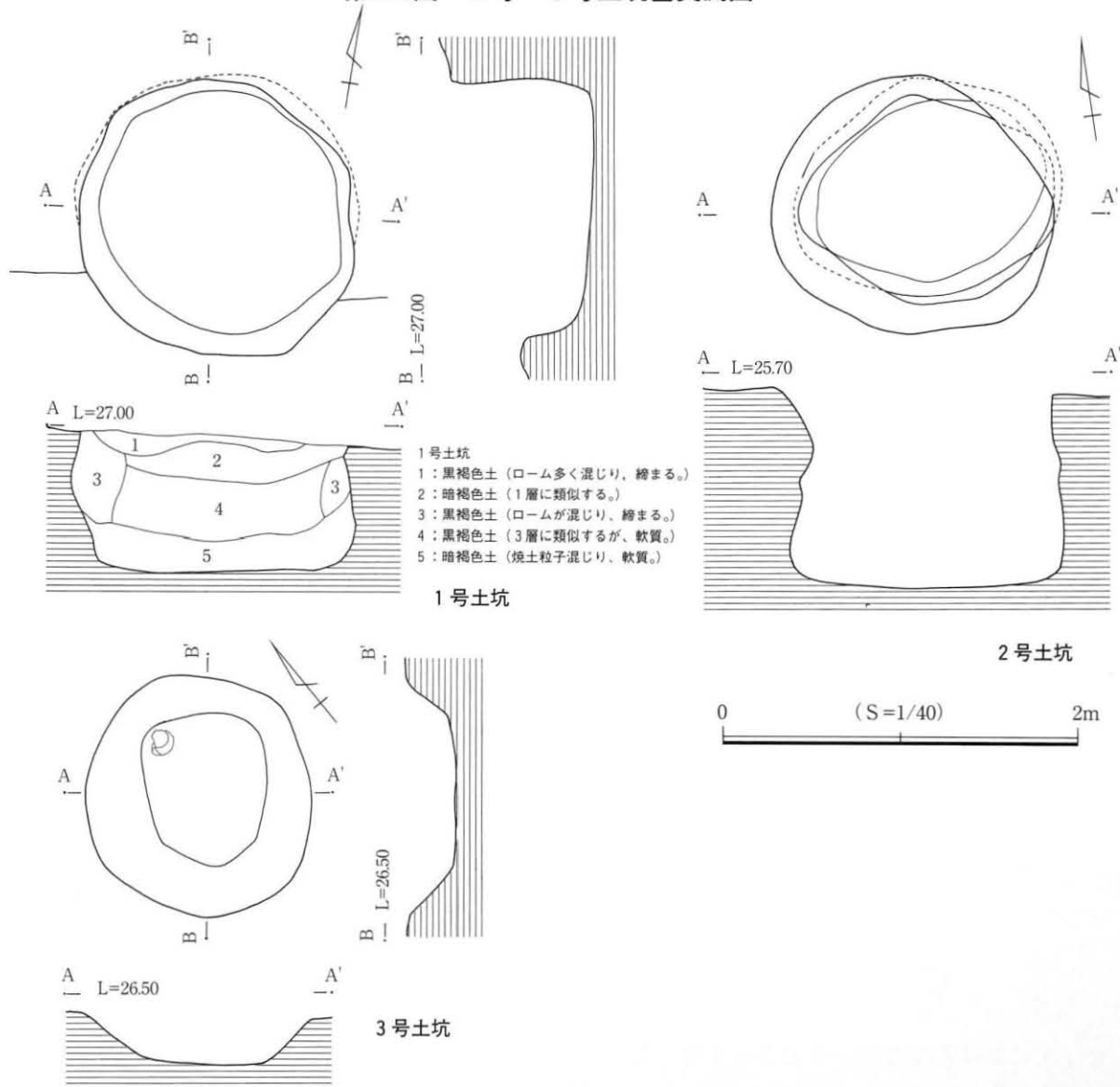
1～3号は古代、4号は中世、5号は中世以降と判断した。1・2号は円形を基調とする。B区で土坑墓の可能性のある17号、21号土坑と類似するものの、掘り方が深く、埋め戻された状況が明瞭ではない。4号は形態が崩れているものの地下式坑であろう。1・2号土坑墓との関係の有無については明らかになかった。

#### 1号土坑 (第271図)

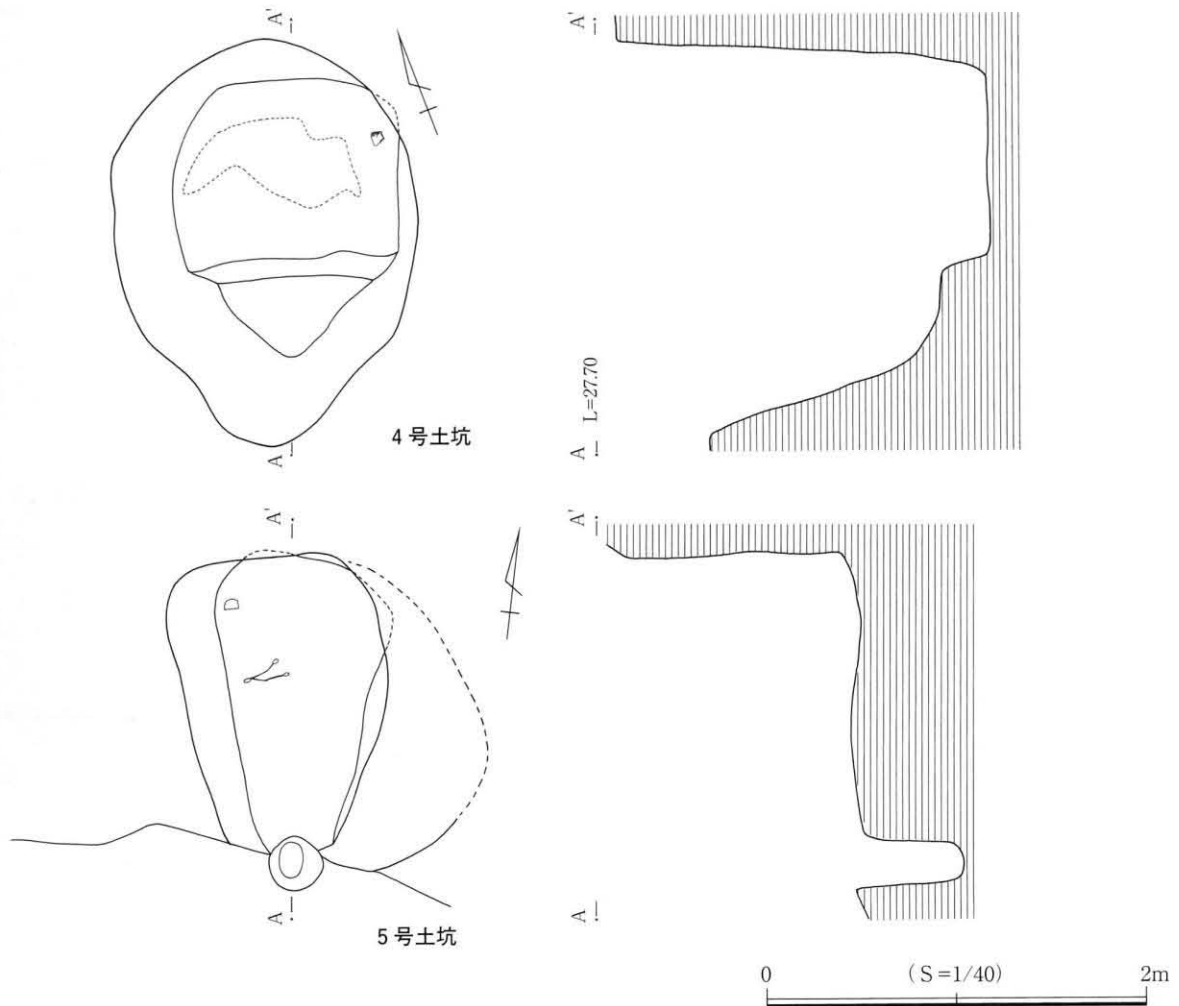
C1区の5F85-12で検出した。均整のとれた円形を呈する。平滑な床面とほぼ垂直に立ち上がる壁を有する。覆土は軟質で、全体的に黒色味が強く、ロームの含有も少ない。



第270図 2号・3号土坑墓実測図



第271図 1号～3号土坑実測図



第272図 4号・5号土坑実測図

2号土坑 (第271図)

C1区の5F85-17で検出した。平面形は1号土坑に類似しており、均整のとれた円形を呈する。断面は基盤層が砂地であるためか、壁面が抉れており、また掘り方も深い。

3号土坑 (第271図)

C1区の5F85-13で検出した。検出面での平面形態は楕円形を呈するものの、下場では隅の丸い長方形を呈する。掘り方は浅く、壁は床面からやや緩い角度で立ち上がる。

4号土坑 (第272図)

C1区の5F85-11で検出した。階段状の構造で、形態の特徴から地下式坑と考えられる。基盤層が砂地であることから、主室部は長方形を呈するものの、竪坑部は崩落して方形を呈しておらず、本来の形態をとどめていない。主室部は竪坑部から25cmほど低くなる。ほぼ底面で炭化物が分布していた。

5号土坑 (第272図)

C1区の5F85-14で検出した。北側の台地斜面中に構築されており、その構造から横穴を呈していたと考えられる。平面形態は細長い扇状である。半地下式に掘り窪められてはいない。入口相当部分にピットを検出したが、本遺構に伴うかどうか明確でない。

3. 炭窯

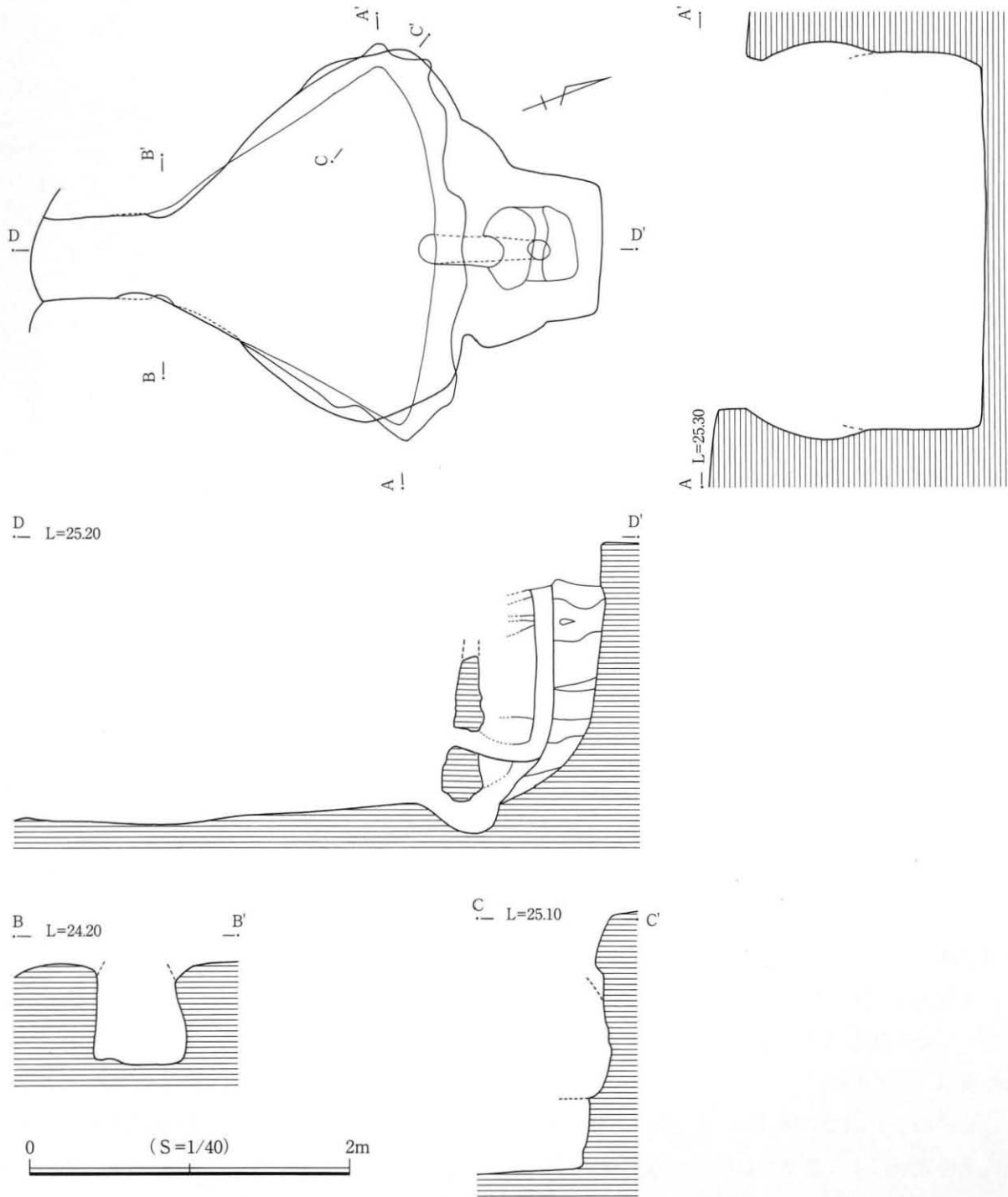
C1・C2区の境で3基まとまって分布していた。B区で記載した炭窯とは時期的、立地的に異なり、近世以降に属する。いずれも広い燃焼空間をもち、煙道を有する。燃焼空間の形態は1号の扇形に対して、



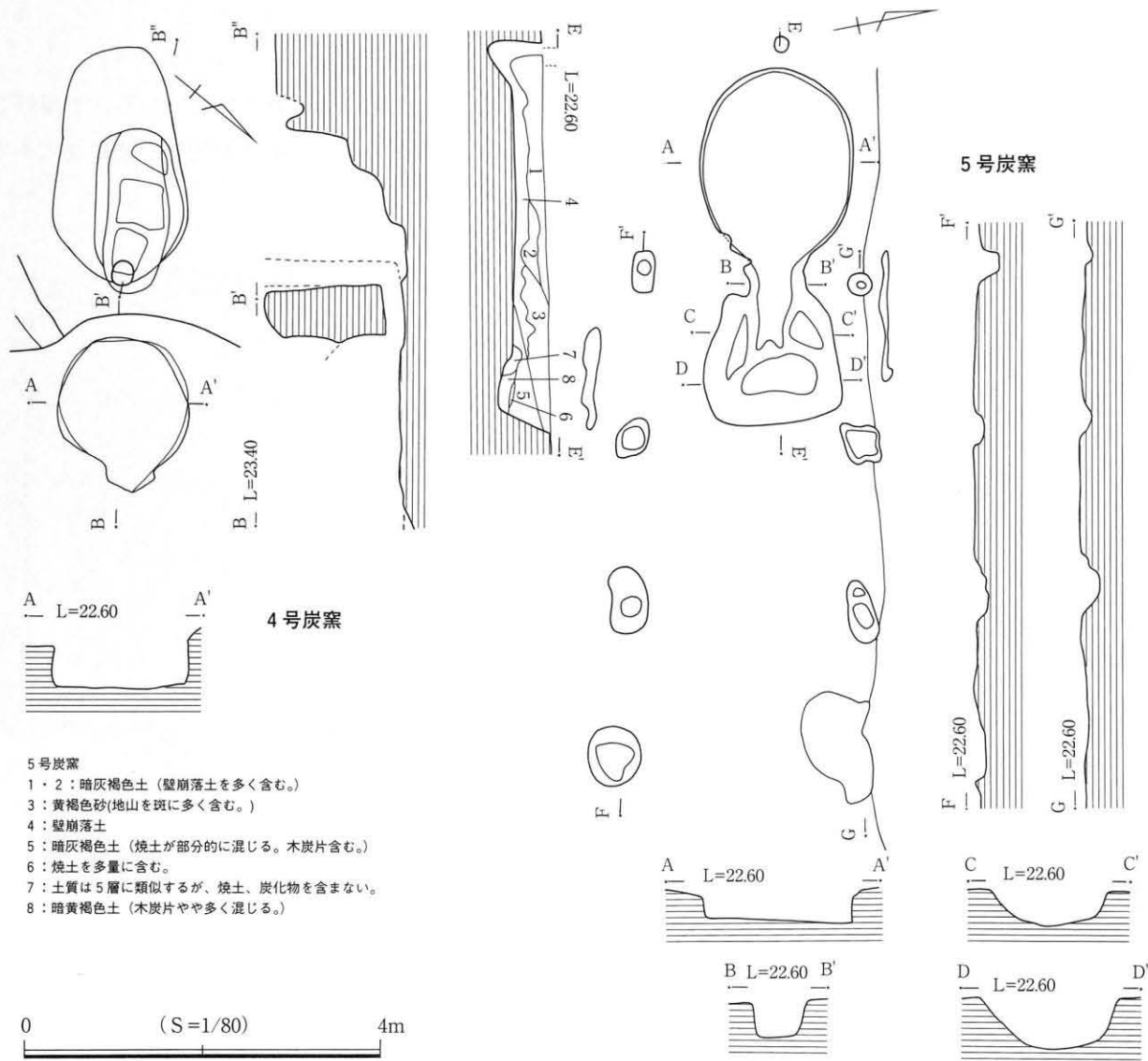
2・3号は円形と異なるが、煙道の構築方法は1・2号で類似している。

3号炭窯（第273図）

C1区の5F85-16で検出した。平面形態は三角フラスコ状で、燃烧部は扇形を呈している。土層観察により、煙道部は地山をその規模で掘り抜いたのではないことが判明した。広めに掘削した後に丸太ある



第273図 3号炭窯実測図



第274図 4号・5号炭窯実測図

いは竹を心材として設置し、その周りに土を版築状に充填している。

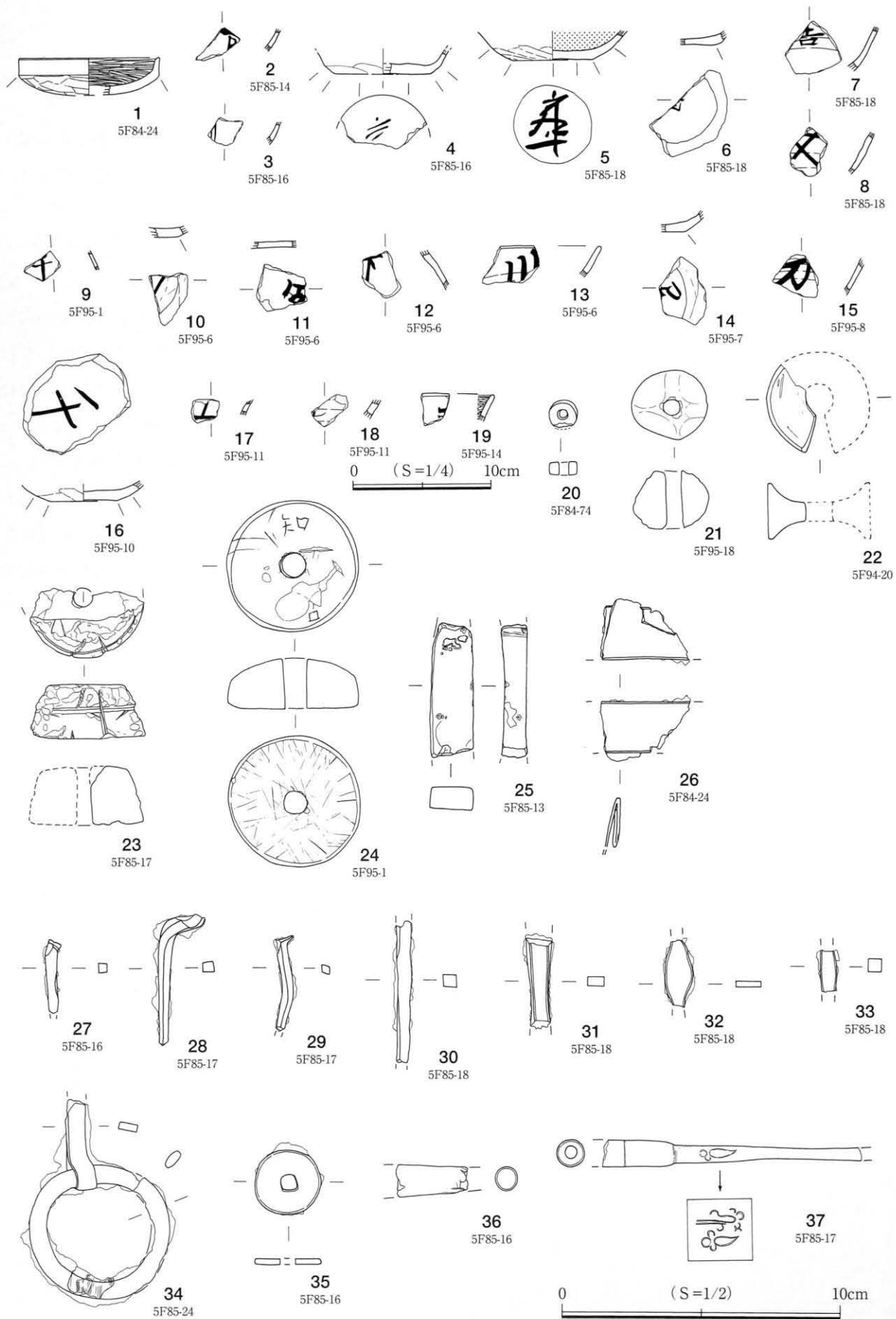
また、造り替えられており、煙道入口部分は高い位置に構築し直している。その高低差や断面（EP.C-C'）形態から床も貼り直していた可能性がある。

#### 4号炭窯（第274図）

C 2 区の 5 F 85-21 で検出した。燃烧部の平面形態は円形を呈する。煙道部分は、その掘り方から判断して、1号炭窯と同様に心材を設置してから、土を充填したものと思われる。

#### 5号炭窯（第274図）

C 2 区の 5 F 84-20 で検出した。平面形態は柄鏡状で、燃烧部は円形を呈する。煙道部が他の炭窯と同様に土の充填により構築されていたかどうかは明らかでない。焚口相当部分の手前には足場に相当する空間が設けられている。この空間にかかるように掘立柱建物跡が構築されている。1間×3間（2.46m×5.60m）の建物跡で、作業小屋として炭窯と一体の構造をなしていたと考えられる。桁側柱筋の両外側には浅い溝が確認できた。雨だれの痕跡であろう。



第275図 遺構外出土遺物 (1~19・25 1/4, 20 1/1, 21~24・26~37 1/2)



### 第3節 遺構外出土遺物 (第275図)

帰属時期が異なる遺構から出土した遺物や遺構外から出土した遺物についてまとめることにする。C1・C2区ともに中世以降の整地が行われていることから、縄文時代以降の遺物が、遺構外から多く出土している。縄文時代の遺物は、いわゆる遺物包含層として認められる層位からではなく、攪乱層というべき層からの出土であり、弥生時代以降においても多くは、漸移層からの出土である。特に目立つのは、古墳・奈良・平安時代の竪穴住居跡に伴っていたと考えられる土器類である。このほか鉄製品・紡錘車などである。ここでは土器類については、墨書を伴う土師器の坏類を中心に鉄製品など若干を示すことにする。1～19は土師器の坏である。1は7世紀代の坏である。2～19は墨書を伴っているものである。16の内面の墨書1例を除けば、体部外面乃至は底部外面の墨書である。5は判読不明。7は「吉」であろう。9は「千」か。13は「川」であろう。15は「刀」。16も9と同じく「千」である。20は石製の白玉である。21は土玉である。22は縄文時代前期の土製塊状耳飾である。外縁は厚く、内孔の厚さは外縁の約半分である。23・24は石製紡錘車である。23は被熱していると思われ、表面が劣化している。石材は凝灰岩と思われる。側面中央に横位の沈線を施している。24は表面に光沢がある。蛇紋岩と思われる。上面に線刻があり「知」という文字であろう。25は砥石である。4面を使用している。26～35は鉄製品である。26は薄い鉄板が折り込まれている。27～33は釘・鋸・刀子の類であろうが、特定できない。34は鉄製の輪に薄板が取り付けられている。35は鉄製の私鑄銭と思われる。36・37は煙管である。37は道管に装飾が施されている。

## 第6章 まとめ

ここでは、本書「神山谷遺跡（1）」と「神山谷遺跡（2）」の2分冊にわたり報告した遺構・遺物についてまとめることにしたい。

今回の発掘調査によって検出された神山谷遺跡の遺構・遺物は、旧石器時代、縄文時代、弥生時代、古墳時代、奈良・平安時代、中・近世に及んでいる。遺跡の主たる遺構群は、古墳時代から奈良・平安時代の竪穴住居跡群である。神山谷遺跡の狭い台地最上位面に止まらず西側及び南側の緩斜面にも多くの竪穴住居跡が検出されており、時期不明の竪穴住居跡も含めれば全体で251軒にのぼる検出数となっている。

神山谷遺跡が所在する台地は、南北に細長く北部では東側に狭い台地がさらに伸びている。すでに報告されている城山遺跡とは北部西側で僅かにつながっているが、台地上においては集落跡としては城山遺跡との連続性は薄いと考えられる。一方城山遺跡との間に入り込む支谷の谷頭にあたる低位面のC4区などでも竪穴住居跡が検出されている。また、今回の工業団地造成とは異なる土採取事業に関連して行われた神山谷遺跡の北端部から東側にのびる台地の発掘調査では、今回の調査結果とほぼ同じ時期である古墳時代から奈良・平安時代の竪穴住居跡が160軒あまり検出されている（東総文化財センター年報2 1998）。このことから神山谷遺跡は、西側の城山遺跡・夏台遺跡・新台遺跡の同時期の集落規模とは比べるまでもなく際だった竪穴住居跡の検出数となっている。各時代の主な遺構・遺物の概要は以下のとおりである。

旧石器時代に関連した遺物集中地点は検出されなかったが、台地上のB区から縦長剥片が2点出土しており、僅かだが旧石器時代の痕跡を窺い知ることができた。

縄文時代では、早期の竪穴住居跡が4軒、前期の竪穴住居跡が3軒、早期の炉穴10基、落とし穴20基が検出された。包含層や時期の異なる遺構の覆土から、早期の撚糸文式、田戸下層式・田戸上層式・子母口式・茅山下層式・茅山上層式、前期の黒浜式・諸磯式・浮島式、中期の阿玉台式・加曾利E式、晩期の荒海式などの土器片が出土している。また、礫斧・磨製石斧・打製石斧・磨石・凹石・石鏃などの石器や土製耳飾りなどが出土している。縄文時代の遺構・遺物は、C1・C2区で主に検出されており、台地南端の緩斜面がその活動の中心となっていたことが判明した。

弥生時代では、中期宮ノ台式後半の竪穴住居跡2軒と後期の竪穴住居跡5軒が検出されている。当地域の中期竪穴住居跡の検出例としては数少ない例の一つである。後期には集落が若干拡大すると考えられるが、それでも小規模である。ガラス玉を伴う土坑墓が1基検出されている。土器が伴出していないため時期は明らかでないが、小規模な楕円形の土坑墓であり、ガラス玉は被葬者の頸にかけられていた首飾りと判断される。弥生時代後期から古墳時代前期の可能性が高く、管切り製法のガラス玉であることから弥生時代後期が妥当ではないかと思われる。弥生時代の出土遺物は、竪穴住居跡に限られ僅かな量であった。

古墳時代前期・中期は、弥生時代後期の集落規模よりも僅かばかり拡大する程度で大きな変化はなかったようであり、古墳時代後期になってようやく集落が拡大してくるようである。古墳時代の竪穴住居跡の総数は70軒である。この内、前期の竪穴住居跡は11軒検出されており、弥生時代後期末から継続しているようである。中期の竪穴住居跡は19軒あまり検出されている。台地の南部で古墳の可能性をもつものを含め4基の古墳が検出されており、時期は6世紀代と推測される。たぶん6世紀代は竪穴住居跡が最も少ない時期であることから一時的に墓域となったのであろう。西側の城山遺跡でも5世紀代と考えられる2基

の古墳が確認されている程度で、造墓活動は一時的なものである（道澤 2000）。

台地の景観が大きく変わりはじめるのは6世紀末からであろう。古墳時代後期6世紀末から7世紀代の竪穴住居跡は39軒検出されている。台地の最上位面に止まらず、C1・C2区とした南側の緩斜面や西側の谷沿いの斜面に竪穴が展開する。竪穴住居跡の平面規模が最も大きくなる時期である。竈の設置方位は北乃至は北北西の壁に位置している例が多い。台地最上位面の西斜面側で検出された特殊な廃棄遺構SX-90が形成されたのもこの時期である。

奈良時代の8世紀代は64軒の竪穴住居跡が検出されている。最も集落の規模が拡大し、台地中央を主体に南側のC1区やC2区にも竪穴住居跡が増加してゆく。竪穴の平面規模は7世紀代の竪穴に比べ小さくなる。竈の設置方位は、北東乃至は北西の壁に設置される例が多い。

平安時代の9世紀代以降は96軒の竪穴住居跡が検出されている。このうち10世紀以降の竪穴住居跡はわずか9軒あまりで9世紀代の竪穴住居跡が大半を占めており、奈良時代から平安時代の8・9世紀は、集落の規模が最も拡大した時期である。西側谷頭の平場であるC4区にも竪穴住居跡がこの時期まとまって見られる。C4区は平安時代の最も新しい時期の10世紀から11世紀に入る可能性がある竪穴住居跡が検出されており、竪穴に伴う土器類はこの時期の器種構成を探る上で貴重な資料と考えられる。10世紀以降になると急激に集落の規模が縮小し、竪穴の平面規模はさらに小さくなり、掘り込みも浅く貧弱なものとなってゆく。集落は、栗山川下流域の低位段丘面に移動していくものと考えられる。

台地斜面にいくつかの平場が造成されたのは、西側に隣接する城山遺跡（篠本城）とほぼ同じ時期、室町時代の14世紀後半から15世紀末までの時期と考えられる。しかし、城山遺跡に見られるような台地全面に及ぶ積極的な土地造成が行われたわけではなく、規模の大きな整地は、城山遺跡に面する西側斜面に限られるようである。調査開始当初、篠本城跡の隣接地として、中世城跡に関連した遺構が濃密に分布すると推測されたが、C3～C6区の何れにも多くの中世遺構を検出したわけではない。中世の遺構を最も多く検出したのは、C3区及びC6区で、この中には近世遺構も多く検出されている。C4区とC5区には僅かな中世遺構しか検出されなかった。中世と思われる掘立柱建物跡は全体で26棟検出されているが、規模は何ずれも小規模である。C3区では14棟の掘立柱建物跡のほか、地下式坑10基、土坑が48基が検出されている。中世の遺物は、土師質土器、陶磁器類、金属製品、石塔類が出土しているが、遺物量としては僅かである。土師質土器ではかわらけや内耳鍋、茶釜などが出土している。陶磁器類では備前や常滑産の挿鉢や甕などである。石塔類では五輪塔や宝篋印塔が出土している。

近世ではC3区などから井戸や斜面を抉り込んだ横井戸など水利関連施設や掘立柱建物跡4棟、土坑墓1基などが検出されている。遺物は、陶磁器類では瀬戸・美濃産の灯明皿や碗・鉢・德利・瓶子、肥前産の染付碗、志戸呂産の灯明皿などである。その他には寛永通宝や文久永宝などの銭貨、煙管や鉄椀・鉄鎌・刀子などが出土している。

以上のように多時期にわたり遺構・遺物が多数検出され、当地域の歴史を探る上で豊富な資料を得ることができたと言えよう。

#### 参考文献

- 財団法人東総文化財センター『東総文化財センター年報2（平成5・6年度）』 1998年  
道澤明『篠本城跡・城山遺跡』財団法人東総文化財センター発掘調査報告書第21集 2000年



## 附 章 自然科学分析

### 第1節 神山谷遺跡における遺構内出土の貝類について

西本豊弘・小林園子・太田敦子

(国立歴史民俗博物館 西本研究室)

#### 概要

本遺跡ではSX-90とSI-112の8世紀代の2遺構から貝層が検出されている。貝層は、水洗によって土を取り除いたサンプルの状態、テンバコに15箱あったが、1箱を除きほとんどがSX-90出土のものである。SX-90は調査開始当初竪穴住居跡と認識して調査にあたっていたが、竪穴状の落ち込みの中に土器類が多量に廃棄された特殊な遺構であることが判明した。貝層はその覆土内の一部にブロック状に堆積していた。また、SI-112遺構の貝層は小規模で、ビニール袋1袋分の貝ブロックである。

SX-90の水洗後の貝の総重量は119.15kgあり、SI-112は1.35kgであった。貝類の分析は、SI-112はすべて行なったが、SX-90では貝の量が多いため、最もサンプルの多い第4ブロック出土の貝サンプルを約3,400cc、重量にして2.4kgを抽出して行なった。SX-90の貝サンプル全体を概観したところ、貝種組成と貝の大きさの点では、この遺構内で大きな変化や違いはないと思われる。

貝類の同定の結果、本遺跡では18種の貝類を検出した(第1表)。以下に各遺構の内容を説明する。また、貝層からは魚骨・獣骨などの出土はなかった。

#### SX-90

小型のチョウセンハマグリとダンベイキサゴ主体の貝層で、保存状態は良好である。貝種組成を最小個体数で比較すると、チョウセンハマグリが約83%を占め、ダンベイキサゴが14%を占める。その他の貝種は稀に検出する貝か、大きさ1cmにも満たない小型の貝もしくは幼貝であり、明らかに採取場所で混入したものである。チョウセンハマグリは殻長18mm~24mm未満の小型貝を主体に採取している。ダンベイキサゴは殻径11.5mm~35.4mmとばらつきがあり、さまざまな大きさのものを採取している。

第1表 神山谷遺跡貝種類名一覧

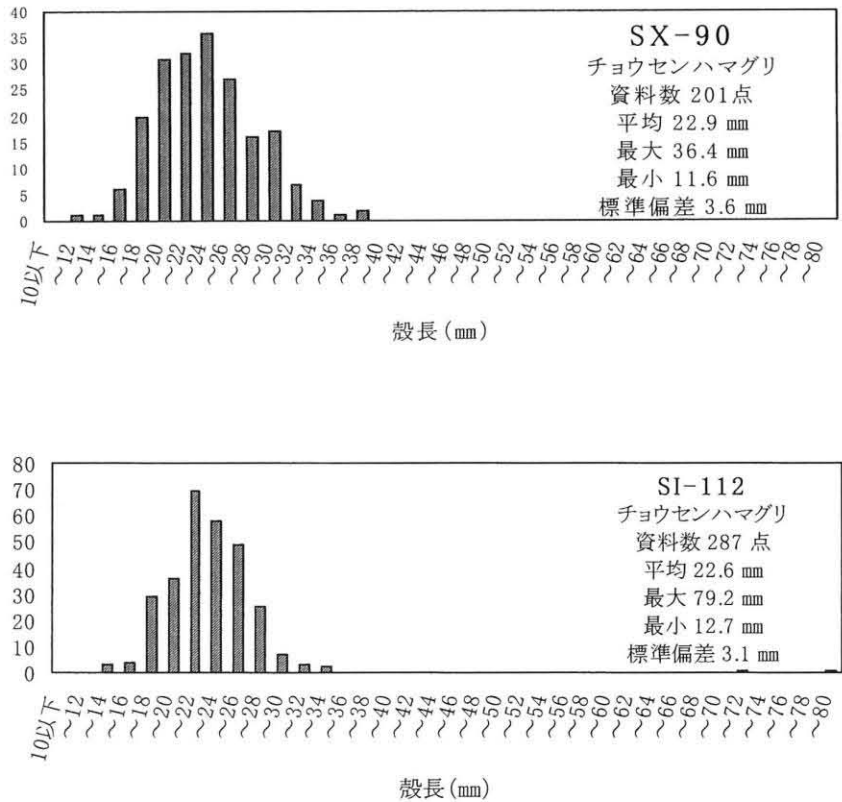
腹足綱	Gastropoda
メガイアワビ	<i>Cerithium echinatum</i>
ダンベイキサゴ	<i>Umboonium giganteum</i>
クボガイ類	<i>Chlorostoma</i> sp.
オオタニシ	<i>Cipangopaludina japonica</i>
カワニナ	<i>Semisulcospira libertina libertina</i>
二枚貝綱	Bivalvia
サトウガイ	<i>Scapharca satowi</i>
タマキガイ類	<i>Glycymeris</i> sp.
イタヤガイ科	Pectiniidae gen.
マガキ	<i>Crassostrea gigas</i>
コタマガイ	<i>Gomphina melanaegis</i>
ワスレガイ	<i>Cyclosunetta menstrualis</i>
チョウセンハマグリ	<i>Meretrix lamarcki</i>
カガミガイ	<i>Phacosoma japonicum</i>
アサリ	<i>Ruditapes philippinarum</i>
シオフキガイ	<i>Macra veneriformis</i>
バカガイ	<i>Macra chinensis chinensis</i>
フジノハナガイ	<i>Chion dysoni semigranosus</i>
オオノガイ	<i>Mya arebaria oonogai</i>

第2表 遺構別貝類出土量表

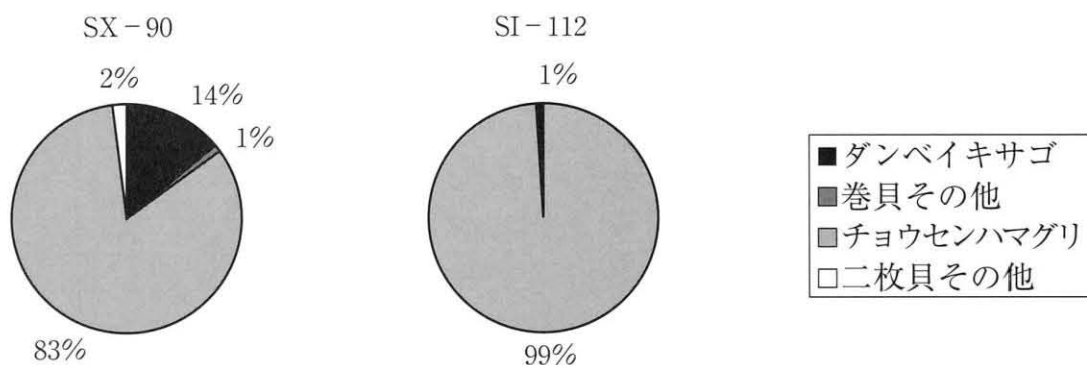
種名	左右	SX-90	SI-112	備考
ダンベイキサゴ		147	4	
タニシ科		3		
クボガイ類		2		
巻貝種不明		1		小型
チョウセンハマグリ	左殻	788	533	
	右殻	866	580	
アサリ	右殻	1		
コタマガイ	右殻	1		
バカガイ	左殻	2		幼貝
	右殻	2		
フジノハナガイ	左殻	9		
	右殻	4		
イタヤガイ科	不明	2		幼貝?
不明二枚貝	不明	2	1	幼貝

S I - 1 1 2

チョウセンハマグリ主体の貝層であるが、保存状況はあまり良好ではなかった。ダンベイキサゴが稀に混入している。チョウセンハマグリは、20mm～24mm未満の大きさのものが中心に出土しているが、75mm～80mmの大型のものも含まれている。



第1図 チョウセンハマグリの殻長分布



第2図 遺構別貝類組成 (最小個体数による)

## 第2節 神山谷遺跡における遺構内出土のガラス玉について

パリノ・サーヴェイ株式会社

### はじめに

神山谷遺跡B区の北端に位置する1号土坑墓からガラス小玉が出土している。台地最上位面で検出されているこの土坑は、他のピットとの重複によって攪乱を受けているため遺存状態はあまり良くない。覆土中からガラス玉が10点出土しており、攪乱を受けていなければもっと数が多かった可能性がある。ガラス玉以外に遺物は出土しておらず、時期は不明であるが、弥生時代後期から古墳時代前期にかけての土坑墓と推測される。土坑墓は楕円形を呈し、検出面の長軸長1.4mを測り、遺体は屈葬され遺体の頸飾りとしてガラス小玉が使われていたものと推測される。

今回、ガラス玉の材質に関する情報を知るためにエネルギー分散型蛍光X線分析装置(SEA2120L)による化学成分分析を行った。

### 1. 試料

試料は、1号土坑墓から出土したガラス製品10点(1~10)である。この内、1・2・4・5がガラス小玉、3・6~10が管玉といえよう。

### 2. 分析方法

超音波洗浄機で試料を洗浄し、エネルギー分散型蛍光X線分析装置(セイコーインスツルメンツ(株)製:SEA2120L)で測定する。含有率算出にあたってはFP法(ファンダメンタルパラメーター法)を用いたノンスタンダード法を用い、各元素とも酸化物として定量演算を行う。測定時の装置条件を表1に示す。

表1 エネルギー分散型蛍光X線分析装置の測定条件

測定装置	SEA2120L	
管球ターゲット元素	Rh	
定性元素	Na <sup>11</sup> ~Ca <sup>20</sup>	Sc <sup>21</sup> ~U <sup>92</sup>
コリメータ	φ 10.0mm	φ 10.0mm
励起電圧 (kV)	15	50
管電流 (μA)	自動設定	自動設定
フィルター	なし	なし
マイラー	ON	ON
雰囲気	真空	真空

### 3. 結果

表2に化学組成を酸化物として表示する。本分析によって、これらのガラス玉から16種の成分の存在が確認される。これら検出元素の中で存在量の多いSiO<sub>2</sub>、Al<sub>2</sub>O<sub>3</sub>はこれらガラスを構成する形成酸化物、中間酸化物として位置づけられると考えられる。一方、修飾酸化物についてはガラスの形態別に、小玉ではK<sub>2</sub>O、CaO、管玉ではNa<sub>2</sub>O、CaOが機能していると予想される。

### 4. 考察

ガラスは主原料であるケイ酸原料に、融けやすくしたり固まりやすくしたりする融剤および着色剤を混合・調合し、溶融・冷却され製品となる。したがって、ガラス製品の組成の違いは、原材料の違いを表し、材料産地の推定や当時のガラス製作技術なども推定することが可能となる。



表2 ガラス製品の科学組成

試料 No.	Na <sub>2</sub> O	MgO	Al <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	SiO <sub>2</sub>	K <sub>2</sub> O	CaO	TiO <sub>2</sub>	MnO	Fe <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	Ni <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	CuO	ZnO	Rb <sub>2</sub> O	SrO	ZrO <sub>2</sub>	BaO	備考
1	0.13	0.05	7.28	81.24	4.85	2.73	0.29	1.45	1.74	0.01	0.04	0.00	0.01	0.02	0.01	0.15	小玉
2	0.33	0.00	7.29	78.22	7.08	1.52	0.23	2.81	2.19	0.01	0.05	0.01	0.02	0.01	0.01	0.23	小玉
3	5.77	0.00	13.86	73.79	1.03	2.05	0.26	1.34	1.67	0.01	0.06	0.01	0.00	0.04	0.01	0.10	管玉
4	0.59	0.04	7.06	79.91	8.29	1.03	0.09	1.24	1.51	0.01	0.02	0.00	0.01	0.01	0.01	0.18	小玉
5	0.18	0.05	8.48	79.31	6.44	1.53	0.12	1.94	1.54	0.02	0.03	0.00	0.02	0.02	0.01	0.32	小玉
6	7.23	0.00	15.15	70.13	0.92	2.46	0.30	1.47	1.97	0.02	0.10	0.01	0.01	0.06	0.02	0.16	管玉
7	3.79	0.00	13.10	74.62	0.94	3.10	0.32	1.92	1.88	0.02	0.09	0.01	0.00	0.05	0.02	0.15	管玉
8	3.63	0.01	13.85	73.97	0.93	2.80	0.24	2.20	1.95	0.02	0.12	0.01	0.01	0.06	0.02	0.19	管玉
9	4.36	0.00	10.57	76.86	1.00	2.88	0.31	1.92	1.79	0.02	0.10	0.01	0.01	0.05	0.02	0.11	管玉
10	2.74	0.00	12.51	77.19	0.91	2.79	0.24	1.59	1.67	0.02	0.06	0.01	0.00	0.05	0.01	0.20	管玉

日本においてガラス製の遺物が発見されるのは、弥生時代以降の遺跡からであり、それ以前の縄文時代の遺跡からの出土例は報告されていない。古代ガラスの化学組成に関する分類基準は現在のところ、まだ体系的な基準は設けられていないが、山崎（1990）によれば、古代ガラスは融剤に主として鉛を用いた鉛ガラスとナトリウム・カリウム等アルカリ元素を用いたアルカリ石灰ガラスに大別される。その中で、弥生時代に出土するガラス製品は鉛ガラス、アルカリ石灰ガラス、またバリウムを多く含む特殊な鉛ガラスである。また、古墳時代に入ると鉛ガラスの出土が認められず、アルカリ石灰ガラスが主体となる。古墳時代中期後葉になるとアルカリ石灰ガラスの色が多様化し、古墳時代後期からは再び鉛ガラスも出土するようになると考察している。また、最近では肥塚（1999）によって詳細な検討がなされており、融剤の種類によってアルカリ珪酸塩ガラス、鉛珪酸塩ガラス、アルカリ鉛珪酸塩ガラスのグループに分類しており、さらにこれらを構成酸化物の種類と量から、アルカリ珪酸塩ガラスをK<sub>2</sub>O-SiO<sub>2</sub>系・Na<sub>2</sub>O-CaO-SiO<sub>2</sub>系・K<sub>2</sub>O-CaO-SiO<sub>2</sub>系・Na<sub>2</sub>O-Al<sub>2</sub>O<sub>3</sub>-CaO-SiO<sub>2</sub>系・(Na<sub>2</sub>O/K<sub>2</sub>O)-CaO-SiO<sub>2</sub>系に、鉛珪酸塩ガラスをPbO-SiO<sub>2</sub>系・PbO-BaO-SiO<sub>2</sub>系に、アルカリ鉛珪酸塩ガラスをK<sub>2</sub>O-PbO-SiO<sub>2</sub>系としている。

今回のガラス玉はいずれもアルカリ珪酸塩ガラス（アルカリ石灰ガラス）と認識されるが、ガラス小玉に属する1・2・4・5と管玉に属する3・6～10では修飾酸化物の種類、中間酸化物の量比が異なる特徴が見られる。ガラス玉の種類と成分がよく対応していることから、ガラス玉の種類により原材料の調合、製作工程などが異なっていたと考えられる。ここで、管玉に属す資料は肥塚の分類においてNa<sub>2</sub>O-Al<sub>2</sub>O<sub>3</sub>-CaO-SiO<sub>2</sub>系と認識される。しかし、小玉に属す資料については組成比を見る限りではどの分類にも該当しない。この原因として、試料表面の風化層の影響が第一に考えられる。したがって、今後風化層を除去し新鮮面での化学組成を求めることができれば、さらに詳細に検討できると考えられる。なお、これら資料においてはFe<sub>2</sub>O<sub>3</sub>、MnOが数%のオーダーで検出されており、ガラスの呈色要因として作用していることが推定される。

#### 引用文献

肥塚隆保（1999）出土遺物の材質調査－日本で出土した古代ガラスの研究－。理学電気ジャーナル，30（1），p.33-40.

山崎一雄（1990）日本出土のガラスの化学的研究。「古文化財の科学」，p.274-300，思文閣出版

遺物 觀 察 表

## A区遺物観察表

### 151号住居跡遺物観察表

( )は推定値、< >は現存値

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	土師器	坏	口径 (120) 器高 38 底径 60	非ロクロ整形。口縁部は横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後ナデ風ミガキ。内面はヘラケズリ後ナデ。	白色粒、透明粒を含む。黒褐色及び茶褐色。焼成は良好。	No. 6, 一括
2	土師器	坏	口径 (116) 器高 34 底径 (62)	非ロクロ整形。口縁部は横ナデ。体部から底部はヘラケズリ。内面はナデ仕上げ。	透明粒子及び金雲母を微量、赤色粒を多く含む。灰褐色。焼成は良好。	No. 5
3	土師器	蓋	口径 — 器高 <10> 底径 —	ロクロ整形。天井部は回転ヘラケズリ。	赤色粒を含む。外面は淡褐色、内面は灰色。焼成は良好。	No. 4
4	土師器	甕	口径 (180) 器高 <52> 底径 —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。胴部内面はケズリ後ナデ。口縁端部は鋭くつまみ出される。	白色粒を多く含む。茶褐色。焼成は良好。	No. 3
5	須恵器	甕	口径 — 器高 <70> 底径 —	胴部外面は横方向のタタキ整形。内面は円形当て具痕を小口状工具によりナデ消す。	白色微粒子を微量に含む。青灰色。焼成は良好で硬質。	No. 1 湖西産
6	土製品	土玉	径20×21mm, 厚さ11mm, 重さ5.00g。扁平な土玉。	胎土は粗く砂を多く含む。焼成はあまい。	一括3	
7	鉄製品	不明	鋳造品。鉄鍋? 中世か。		一括2	

### 152号住居跡遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	土師器	甕	口径 (196) 器高 <79> 底径 —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後、雑な数状のミガキ。胴部内面はヘラナデ後ナデ。口縁端部は短くつまみ出される。	白色粒及び透明粒を多く含む。橙褐色及び褐色。焼成は良好。	No. 1, 一括

### 154号住居遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	土師器	坏	口径 152 器高 <51> 底径 —	口縁部は横ナデ。体部はヘラケズリ後、丁寧なミガキ。内面は丁寧なミガキ。	細かい白色粒子を含む。褐色及び黒褐色。焼成は良好で硬質。	一括1

### 156号住居遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	土師器	坏	口径 — 器高 <16> 底径 60	ロクロ整形。底部は回転糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は雑な手持ちヘラケズリ。	赤色粒及び白色粒を含む。橙褐色。焼成は良好。	No. 6
2	石器	敲石	長さ103mm, 幅54mm, 厚さ42mm, 重さ297.8g。			No. 3

### 157号住居遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	土師器	坏	口径 138 器高 47 丸底	非ロクロ整形。口縁部は横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後、雑なミガキ。内面は丁寧なミガキ。	白色粒を含む。暗褐色。焼成は不良。	ANo. 1
2	土師器	坏	口径 124 器高 39 底径 <76>	ロクロ整形。底部は静止糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	赤色粒を含む。橙褐色。焼成は良好。	B一括1
3	土師器	盤状坏	口径 — 器高 <13> 底径 84	ロクロ整形。底部は全面回転ヘラケズリ。体部下端は未調整。内外面とも赤彩される。	白色粒及び透明粒子を多く含む。橙褐色。焼成は良好。	ANo. 10
4	土師器	盤状坏	口径 160 器高 <42> 底径 —	ロクロ整形。体部下端は回転ヘラケズリ。内外面とも赤彩される。	緻密だが白色粒子及び赤色微粒子を多く含む。淡褐色。焼成は良好。	一括2
5	須恵器	坏	口径 (150) 器高 34 底径 (97)	ロクロ整形。底部は全面回転ヘラケズリ。体部下端は回転ヘラケズリ。	雲母は含まないが長石、石英を多く含む。灰色。焼成はあまい。	一括1 常陸産
6	須恵器	長頸壺	口径 — 器高 <61> 底径 —	ロクロ整形。外面にはごま塩状の自然釉。肩部は回転ヘラケズリ。内面はナデ。	緻密で白色粒を僅かに含む。灰色。焼成は良好で硬質。	ANo. 12 湖西産
7	須恵器	甕	口径 — 器高 <120> 底径 —	ロクロ整形。外面はタタキ整形後、胴部下半は回転ヘラケズリ。内面は円形当て具痕。ナデ。	白色粒子を僅かに含む。外面は灰色、内面は白灰色。焼成は良好で硬質。	No. 13 湖西産
8	須恵器	甕	口径 — 器高 <140> 底径 —	ロクロ整形。胴部外面は格子状のタタキ整形。内面は上半部が当て具痕をナデ、下半部は巾広の木口ナデ。	緻密で白色粒子を僅かに含む。濃灰色で焼成は良好で硬質。	ANo. 11 湖西産
9	鉄製品	刀子	長さ<72mm>, 幅7mm, 背幅3mm。			No. 6

### 158号住居跡遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	土師器	坏	口径 (112) 器高 44 底径 (80)	非ロクロ整形。口縁部は横ナデ。体部外面は斜横位ヘラケズリ後、ナデ風ミガキ。内面は丁寧なミガキ。	砂を多く含む。黒褐色。焼成は不良。	一括3 底部に木葉痕



2	土師器	坏	口径 器高 底径	(116) 42 54	ロクロ整形。底部は回転糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は巾の狭い手持ちヘラケズリ。	砂を多く含む。褐色及び灰褐色。焼成は良好。	一括2
3	土師器	坏	口径 器高 底径	(112) <44> (56)	ロクロ整形。底部は回転糸切り後、全面手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	砂を多く含む。灰褐色、一部橙褐色。焼成は良好。	一括1
4	土師器	坏	口径 器高 底径	— <10> 68	ロクロ整形。底部は回転糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	白色粒を含む。橙褐色。焼成は良好。	No. 11
5	須恵器	蓋	口径 器高 底径	(170) <26> —	天井部は回転ヘラケズリ。天井部はハの字状に開く。口縁端部は短くつまみ出される。	白色粒は目立つが雲母は含まない。濃灰色。焼成は良好だが軟質。	No. 5, 7
6	土師器	甕	口径 器高 底径	130 <60> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ、内面はヘラナデ後ナデ。	白色粒、透明粒を含む。黒褐色及び赤褐色。焼成は良好。	No. 3
7	土師器	甕	口径 器高 底径	(166) <72> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後ミガキ。胴部内面はヘラナデ後ナデ。口縁端部は両端が鋭くなる。	白色粒、石英粒子を含む。橙褐色及び黒褐色。焼成は良好。	No. 16
8	土師器	甕	口径 器高 底径	(180) <85> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後、斜位ヘラケズリ。胴部内面はヘラケズリ後ナデ。口縁端部は短くつまみ出される。	白色粒子を多く含む。橙褐色及び黒褐色。焼成は良好。	No. 14, 15
9	土師器	甕	口径 器高 底径	(206) <28> —	口縁部は横ナデ。口縁部はくの字状に曲折し、口縁端部は短くつまみ出される。	赤色粒を少量含む。褐色。焼成はあまい。	BNo. 10
10	土師器	甕	口径 器高 底径	— <50> 72	体部外面はヘラケズリ後ナデ。内面はヘラケズリ後ナデ。	細かな白色粒子を含む。橙褐色。焼成はやや不良。	一括4 木葉痕
11	鉄製品	不明	巾6mm, 厚さ9mm。				No. 18
12	鉄製品	不明	長さ63mm, 幅20mm, 厚さ4mm。板状であり一見鑄造かと見えるが、端部に水平剥離が見られる。肉眼で見る限り繊維、布などの付着痕跡はない。				

### 159号住居跡遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径 器高 丸底	(160) <44>	口縁部は横ナデ後ミガキ。体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はミガキ。内面は漆仕上げによる黒色処理痕が見られる。	緻密で白色粒を多く含む。淡黄褐色、一部黒斑。焼成は良好。	A一括1
2	土師器	坏	口径 器高 丸底	(160) <35>	口縁部は横ナデ後ミガキ。体部外面はヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラケズリ後ミガキ。内面は剥落。	緻密で白色微粒子を含む。橙褐色。焼成は良好。	一括
3	鉄製品	不明	長さ40mm, 幅8mm, 5mm, 厚さ4mm, 3mm。				一括3

### 160号住居跡遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径 器高 丸底	(120) <26>	口縁部は横ナデ後ミガキ。体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面は丁寧なミガキ。内外面とも漆仕上げによる黒色処理。	緻密で金雲母を含む。黒褐色。焼成は良好で硬質。	No.2
2	土師器	坏(盤)	口径 器高 丸底	— <27>	体部外面はヘラケズリ後ミガキ。内面はミガキ。	緻密で白色微粒子を含む。黒褐色。焼成は良好。	No.11
3	土師器	甕	口径 器高 胴最大径	(182) <88> (173)	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後下半部は斜位ヘラケズリ。胴部内面はヘラナデ後ナデ。口縁端部は短くつまみ出される。	白色粒、透明粒を多く含む。橙褐色及び灰褐色。焼成は良好。	No.1, 8, 12, 一括
4	土師器	甕	口径 器高 底径	— <86> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラケズリ後ナデ。口縁部は素縁で短い。	白色粒子を多く含む。茶褐色。焼成はやや不良。	No.16
5	土師器	甕	口径 器高 底径	— <50> —	口縁部横ナデ。口縁部は素縁で大きく外反する。	赤色粒子、白色粒子を含む。外面は褐色、内面は黄褐色。焼成は良好。	No.9, 161住一括2と同一個体
6	土師器	甕	口径 器高 底径	— <33> —	外面は剥離が著しく調整は不明。口縁部は素縁で小さく外反する。	白色粒と赤色粒子を多く含む。褐色。焼成は良好。	No. 1
7	土師器	甕	口径 器高 底径	— <25> 64	胴部下半部は斜位ヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラケズリ後ミガキ。	赤色粒及び白色粒を含む。橙褐色及び褐色。焼成は良好。	No.17
8	土師器	甕	口径 器高 底径	— <53> 120	胴部外面は斜位ヘラケズリ。底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はナデ。	赤色微粒子、白色粒を含む。外面は黒褐色、内面は淡褐色。焼成は良好。	No.14, 15
9	礫		雲母片岩 長さ62mm, 幅59mm, 厚さ6mm, 重さ37.7g。				一括3
10	土製品	土錘	長さ53mm, 径10mm, 重さ8.4g。				No.19

### 162号住居跡遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径 器高 丸底	128 36	口縁部は横ナデ後ミガキ。体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面は丁寧なミガキ。内面に漆仕上げの黒色処理痕が見られる。	白色微粒子、石英を含む。外面は黒褐色、内面は褐色。焼成は良好。	No. 7
2	土師器	坏	口径 器高 丸底	(128) <28>	口縁部は横ナデ後ミガキ。体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はミガキ。	黒色粒及び石英を含む。淡褐色。焼成は良好。	一括2

3	土師器	椀	口径 器高 丸底	(140) <58>	体部はから底部はヘラケズリ後、丁寧なミガキ。内面はヘラ調整後ミガキ。	白色粒子、赤色粒子を僅かに含む。橙褐色。焼成は良好で硬質。	一括1
4	土師器	坏(椀)	口縁部片 器高	<34>	口縁部から体部はヘラケズリ後ナデ。口端部は沈線状の凹面。内外面とも赤彩される。	赤色粒子、白色粒子を含む。赤褐色及び黒色。焼成は良好。	一括3
5	土師器	転用砥石	口唇部近くの巻き		込みが残る非ロクロの椀破片の転用。3面に使用痕が見られる。		一括4
6	土師器	甕	口径 器高 胴最大径	(178) <137> (215)	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ後、下半が横位ヘラケズリ。内面頸部が横位ヘラケズリ。胴部が縦位ヘラケズリ。	白色粒、石英を多く含む。褐色及び茶褐色。焼成は良好で硬質。	No. 8

#### 163号住居跡遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口縁部片 器高 丸底	<29>	口縁部は横ナデ後ミガキ。体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はミガキ。内外面とも漆仕上げによる黒色処理。	白色微粒子を僅かに含む。素地は黄白色。焼成は良好。	No. 1
2	土師器	坏	口縁部片 器高 丸底	<29>	口縁部は横ナデ後ミガキ。体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はミガキ。内外面とも漆仕上げによる黒色処理。薄手。	白色微粒子を僅かに含む。素地は黄白色。焼成は良好。	No. 2

#### 164号住居跡遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径 器高 丸底	(110) <32>	口縁部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面は粗いミガキ。	緻密で細かな砂を多く含む。橙褐色。焼成は良好。	B一括1
2	土師器	坏	口径 器高 底径	(130) <40> —	口縁部は横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はミガキ。	緻密で細かな砂を多く含む。橙褐色。焼成は良好。	B一括2
3	土師器	坏	口径 器高 底径	— <40> —	口縁部は横ナデ体部から底部はヘラケズリ。内面はミガキ。	緻密で細かな砂を多く含む。橙褐色。焼成は良好。	B一括3
4	土師器	転用砥石	甕片の転用砥石。		断面を使用し、3面に使用痕が確認できる。		B一括4

#### 166号住居跡遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径 器高 丸底	(138) 41	口縁部は横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後粗いナデ風のミガキ。内面はミガキ。内外面ともカーボン吸着による黒色処理。	緻密で白色微粒子、赤色微粒子を僅かに含む。素地は淡黄褐色。焼成は良好だが軟質。	No. 7
2	土師器	高坏	口径 器高 底径	(180) <93> —	坏部外面はヘラケズリ後ミガキ。内面はカーボン吸着による黒色処理。外面は赤彩される。	砂を多く含む、白色微粒子が目立つ。素地は淡茶褐色。焼成は良好で硬質。	No. 1
3	土製品	土玉	径23mm, 厚さ59mm, 重さ9.48g。				No. 3
4	鉄製品	鎌	長さ<74>mm, 幅<37>mm, 厚さ2mm, 重さ37.7g。				No. 5

#### 167号住居跡遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径 器高 丸底	140 <27>	口縁部は横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面ミガキ。	茶褐色。白色粒、黒色粒、茶色粒を含む。焼成は良好。	一括3
2	土師器	坏	口径 器高 丸底	(144) <33>	体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はミガキ。	白色粒、半透明粒及び黒色粒を含む。橙褐色。焼成は良好。	No. 3
3	土師器	坏	口縁部片 器高 丸底	<27>	体部から底部はヘラケズリ後ナデ。内面は幅の広いミガキ。	小砂利、白色微粒子、黒色微粒子を多く含む。橙褐色。焼成は良好。	No. 7
4	土師器	坏	口縁部片 器高 丸底	<22>	体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面は幅の広いまばらなミガキ。	白色粒及び粗い砂多く含む。外面は橙褐色、内面は黒褐色。焼成は良好。	一括4
5	土師器	甕	口径 器高 底径	— <18> 66	ロクロ整形。底部は全面手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	白色粒、茶色粒、黒色粒を含む。外面は灰黒褐色、内面は暗灰褐色。焼成は良好。	一括2
6	土師器	甕	口縁部片 器高 底径	<36> —	口縁部は横ナデ。口縁端部は外反気味につまみ出される。	白色、黒色の微粒子を含む。赤褐色。焼成は良好。	一括5
7	土師器	甕	口径 器高 底径	— <164> 108	胴部外面は縦位ヘラケズリ後、横位ヘラケズリ。胴部内面は横位ヘラケズリ後ナデ。	外面は褐色、内面は橙褐色。白色粒、石英を含む。焼成は良好。	一括1

#### 方形土坑遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径 器高 丸底	118 48	口縁部は横ナデ後ヘラケズリ、更にミガキ。体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はミガキ。	砂を多く含む、白色粒子と赤色微粒子が目立つ。暗褐色及び黒色。焼成は不良。	No. 3~12
2	土師器	甕	口径 器高 胴最大径	(163) <130> (270)	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラナデ後ナデ。口縁部は素縁で直立気味に立ち上がり、大きく外反する。	緻密で白色微粒子、赤色粒子を多く含む。淡茶褐色。焼成は良好で硬質。	No. 1



B区遺物観察表

SI-1 遺物観察表

( )は推定値、< >は現存値

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	土師器	坏	口径 125 器高 52 丸底	口縁部は横ナデ。体部はヘラケズリ後、粗いミガキ。内面ヘラナデ後ナデ。口縁部は長く垂直になる。	赤色粒子、白色粒子を含む。内外面とも淡黄褐色。焼成は良好。	No. 2, 括2
2	土師器	坏	口径 (139) 器高 <35> 丸底	口縁部は横ナデ。体部ケズリ後ミガキ。内面はヘラナデ後ナデ。外面と口縁部内面にかけて赤彩される。	白色粒子、金雲母粒子を含む。外面は淡褐色、内面は茶褐色。焼成は良好。	括2
3	土師器	高坏	口径 ー 器高 <72> 基部径 32	脚部外面は縦位ミガキ。内面はヘラケズリ。外面は赤彩される。	白色粒子、黒色粒子を含む。内面は淡黄褐色。焼成は良好。	No. 4
4	土師器	鉢	口径 165 器高 88 底径 ー	口縁部横ナデ。胴部外面斜横位のヘラケズリ後ミガキ。赤彩によって調整痕は殆ど消えている。胴部内面はヘラナデ後ナデ。	黒色粒子を含む。暗褐色。焼成は良好だが二次焼成を受けている。外面にスス付着。全面に赤彩。	No. 50, 51, 53, 55, 56, 58, 59, 73
5	土師器	甕	口径 132 器高 178 底径 58 胴最大径 175	口縁部は横ナデ後、頸部縦位ヘラケズリ。胴部外面は斜位ヘラケズリ後ミガキ。胴部内面はヘラケズリ。	金雲母、白色子及び赤色子を含む。淡褐色。二次焼成を受けスス付着。	No. 48, 49, 66~69
6	土師器	甕	口径 (154) 器高 <180> 底径 (84) 胴最大径 175	口縁部は横ナデ。胴外面は斜位ヘラケズリ後粗いミガキ。胴部内面はヘラナデ後ナデ。頸部内面に輪痕が見られる。底部は削り出しにより括れが作られる。	大粒の赤色粒、白色粒子を含む。内外面とも橙褐色。外面は一部黒褐色。焼成は良好。東京湾沿岸地域と胎土が類似。	No. 17
7	土師器	壺	口径 162 器高 260 底径 59 胴最大径 233	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後、下半部斜位ヘラケズリ。胴部内面はヘラナデ後ナデ。底部外面はヘラケズリ。外面全体と内面頸部が赤彩される。	白色粒子、橙色粒を含む。胴部内面は黒褐色。焼成は良好だが、二次焼成を受け頸部から胴中部にかけてスス付着。	貯蔵穴 No. 4, 11, 19, 21, 181, 316
8	土師器	壺	口径 161 器高 302 底径 65 胴最大径 262	口縁部内外面はヘラ調整。胴部外面は二方向からの斜位ヘラケズリ後ミガキ。胴部内面はヘラケズリ後ナデ。胴下部は磨滅により不明。底部はヘラケズリ。内面口縁部付近から外面全体が赤彩される。	白色粒子、長石粒を含む。赤褐色。焼成は良好だが、二次焼成を受け頸部から胴中部にかけてスス付着。	No. 19~47, 貯蔵穴No. 1~3, 5~10, 30~36, 38, 40, 41, 44~46, 48~51, 56, 58~60, 63, 括
9	土師器	坏	底部片 器高 <11> 底径 80	ロクロ整形。底部は全面回転ヘラケズリ。体部下端は回転ヘラケズリ。	白色粒子、赤色粒子を含む。内外面とも淡黄褐色。焼成は良好。	括1, 底部外面に墨書

SI-2 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	土師器	坏	口径 (120) 器高 <32> 底径 ー	非ロクロ整形。口縁部横ナデ。体部はヘラケズリ後ミガキ。内面は丁寧なミガキ。	白色粒子、赤色粒子を僅かに含む。橙褐色及び内面黒褐色。焼成は良好。	No. 14, 15
2	土師器	高台付坏	口径 144 器高 51 裾径 97	ロクロ整形。底部は全面回転ヘラケズリ。体部下端は回転ヘラケズリ。内外面とも赤彩される。	白色微粒子を僅かに含む。素地は淡褐色、一部灰褐色。焼成は良好。	No. 20, 21, 23
3	土師器	甕	口径 178 器高 <81> 胴最大径 180	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後、上半部は横位ヘラケズリ。胴部内面はヘラケズリ後ナデ。口縁端は短くつまみ出される。	砂と白色粒子を多く含む。赤褐色。焼成は不良。	No. 2, 3, 10~12, 18, 24
4	土師器	甕	器高 <199> 底径 120 胴最大径 304	胴部外面は斜横位ヘラケズリ後ミガキ風ナデ。下部は横位ヘラケズリ。内面はヘラナデ後ナデ。	砂と大粒の赤色粒を多く含む。褐色。焼成は良好だが、二次焼成を受け下部にスス付着。	No. 5, 7
5	石器	砥石	長さ61mm, 幅41mm, 厚さ15mm, 重さ36.0g。			No. 1
6	鉄製品	鎌	長さ170mm, 幅22mm, 背幅1.5mm, 幅36mm, 背幅2.5mm。			No. 6

SI-3 A 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	土師器	坏	口径 144 器高 33 丸平底 75	口唇部から底部はヘラケズリ後ミガキ風ナデ。内面はミガキ。内外面ともカーボン吸着による黒色処理。底部に木葉痕が僅かに残る。	白色微粒子を僅かに含む。素地は淡黄褐色。内面は褐色、黒褐色。外面は黒褐色。	No. 5
2	土師器	坏	口径 146 器高 31 丸平底 94	口縁部は横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後ミガキ風ナデ。内面はミガキ。黒色処理については不明。	白色粒子、赤色粒子を含む。明褐色。焼成は良好。	No. 6, 底部外面に墨書「○」及び刻書「×」
3	土師器	鉢	口径 239 器高 133 底径 93	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ。胴部内面はヘラケズリ後ナデ。口縁部は面取り状につまみ出される。	白色粒子、赤色粒子を多く含む。淡黄褐色。焼成は良好で硬質。	No. 3
4	土製品	紡錘車	径43mm, 厚さ24mm, 重さ45.7g。			No. 7
5	土製品	紡錘車	径54mm, 厚さ16mm, 重さ25.18g。			No. 14
6	石製品	管玉	滑石製。径5×5mm, 長さ22mm, 重さ0.50g。両側からの穿孔(中央部に段あり)。			No. 2

SI-4 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	土師器	坏	口径 127 器高 43 丸底	口縁部は横ナデ後ミガキ。体部から底部はヘラケズリ後全面ミガキ。内面はミガキ。内外面とも剥離が著しい。	砂を多く含む。外面は黒褐色、内面は赤褐色及び暗褐色。焼成は不良。	P-4, 括



2	土師器	坏	口径器高丸底	(110) <29>	口縁部は横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後丁寧なミガキ。内面はミガキ。内外面とも黒色処理。口縁部は鋭くつまみ出される。	砂っぽいが緻密である。素地は淡黄褐色。焼成はあまい。	括
3	須恵器	蓋	口径器高	(116) <35>	ロクロ整形。天井部は一段のヘラケズリ。口縁部は外反する。	緻密で白色微粒子を僅かに含む。淡灰色。焼成は良好。	括2 湖西産
4	土師器	甕	口径器高底径	160 <66> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後横ナデ。内面はヘラナデ後ナデ。口縁部は素縁で端部は幾分折れる。	砂を多く含む。赤褐色及び暗褐色。二次焼成を受けて脆い。	No. 27, カマド'2, 括
5	土師器	甕	口径器高底径	(184) <35> —	口縁部横ナデ。胴部外面ヘラケズリ後ナデ。胴部内面頸部下横ケズリ後ナデ。口縁部素縁で緩やかに外反し、端部は面取り状になる。	外面は褐色及び暗茶褐色、内面は黒褐色。焼成はやや不良でもろい。	No. 18, 28, P8, 括
6	土師器	甕	口径器高底径	198 <112> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ケズリ後ヘラミガキ。内面は頸部下横ケズリ、胴部はヘラケズリ後ナデ。口端部は短くつまみ出される。	砂を多く含む。橙褐色。焼成は良好で硬質。	No. 2, 4~6, 8, 括, カマド'3
7	土師器	甕	口径器高底径	(326) <100> —	口縁部横ナデ。胴部外面縦位ヘラケズリ後斜位ヘラケズリ。全面粗いミガキ。胴部内面斜位ヘラケズリ後ナデ。口縁端部は内屈する。	砂を多く含む。黄色褐色及び赤褐色。焼成は良好で硬質。	No. 20, 括 同一個体 No. 1, 7, 14
8	鉄製品	鏃	長さ<46>mm, 厚さ5×4mm, 厚さ4×4mm。				No. 14
9	鉄製品	鏃	長さ<75>mm, 厚さ11×4mm, 厚さ5×2mm。				No. 29
10	鉄製品	不明	長さ<32>mm, 厚さ4×3.5mm, 厚さ3×3mm, 厚さ3×2.5mm。				No. 19
11	土製品	丸玉	径11×12mm, 厚さ11mm, 重さ1.24g。				No. 22

S I - 5 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	弥生土器	広口壺	口径器高底径 (220) <131> —	外面は口縁部が縄文、頸部がナデ、胴部が縄文。内面はナデ。	白色粒子、黒色粒子を含む。暗褐色。焼成は良好。	No. 2, 括33, 35
2	弥生土器	甕	口径器高底径 — — —	外面は頸部がナデ、一部格子目、胴部は縄文。内面はケズリ後ナデ。	白色粒子、黒色粒子を含む。茶褐色。焼成は良好。	No. 3, 13, 32, 33, 34, 36, 40, 41, 括
3	弥生土器	甕	口径器高底径 — — —	外面は縄文、内面はケズリ後ヘラナデ。	白色粒子、黒色粒子を含む。茶褐色。焼成は良好。	No. 7, 8, 括
4	弥生土器	甕	胴部片			No. 24, 括
5	弥生土器	甕	頸部片			No. 14, 括
6	弥生土器	甕	胴部片			
7	弥生土器	甕	胴部片			
8	弥生土器	甕	口縁部片			
9	弥生土器	甕	口縁部片			
10	弥生土器	甕	口縁部片			
11	弥生土器	甕	破片			
12	弥生土器	甕	胴部片			
13	弥生土器	甕	口縁部片			
14	弥生土器	甕	底部片			
15	弥生土器	甕	口径器高底径 — <35> 71	胴部外面は縄文。底部外面に木葉痕。	白色・黒色・透明粒子を含む。黒褐色。焼成は良好。	No. 42
16	弥生土器	甕	口径器高底径 — <32> 74	胴部外面はヘラケズリ後ナデ、一部ハケ目、内面はケズリ後ナデ。底部外面に木葉痕。	白色粒子、透明粒子を含む。赤茶褐色。焼成は良好。	No. 11, 21, 括
17	弥生土器	甕	口径器高底径 — <61> 56	胴部外面はヘラケズリ後ナデ、下端に指押痕。内面はヘラナデ。底部外面に木葉痕。	白色粒子、雲母を含む。暗褐色。焼成は良好。	No. 25
18	弥生土器	甕	口径器高底径 — <22> 51	胴部外面はヘラケズリ、内面はケズリ後ナデ。底部外面はケズリ。	白色・黒色・透明粒子を含む。茶褐色。焼成は良好。	No. 23
19	弥生土器	甕	口径器高底径 — <30> 80	胴部外面は多方向のヘラケズリ後ナデ、内面はヘラケズリ後ナデ。底部外面はヘラケズリ後ナデ。	白色粒子を含む。明茶褐色。焼成は良好。	No. 17
20	土師器	手捏土器	口径器高丸底 54 28		白色・赤色粒子を含む。黒茶褐色。焼成は良好。	No. 26
21	土師器	手捏土器	口径器高丸底 40 29	外面は指押痕。	白色粒子を含む。明褐色。焼成は良好。	No. 12
22	土師器	手捏土器	口径器高丸底 54 41	外面は指押痕。	白色・黒色・透明粒子を含む。暗褐色。焼成は良好。	No. 22
23	土師器	手捏土器	口径器高底径 54 <32> —	内面は木口刷毛。	白色・赤色粒子を含む。黒茶褐色。焼成は良好。	
24	土師器	手捏土器	口径器高丸底 54 41	外面は指押痕。	白色・黒色・茶色粒子を含む。褐色。焼成は良好。	No. 10

25	土師器	手捏土器	口径 器高 丸底	— <31> —	外面は指押痕、内面は木口刷毛。		No. 20
26	石器	砥石			長さ<103>mm, 幅88mm, 厚さ28mm, 重さ318.6g。		No. 1

### SI-6 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径 器高 底径	(136) <35> —	非ロクロ整形。口縁部は横ナデ。口縁部は鋭くつまみ出される。体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面は口縁部直下を除きミガキ。	白色粒子を多く含む。淡褐色。焼成は良好。	No. 13
2	須恵器	坏	口径 器高 底径	146 39 90	ロクロ整形。底部は全面回転ヘラケズリ。体部下端は回転ヘラケズリ。	長石、石英、雲母を多く含む。淡茶灰色。焼成は不良で軟らかい。	No. 17, 括新治産
3	土師器	坏	口径 器高 底径	(136) <30> —	非ロクロ整形。口縁部横ナデ。口縁部は鋭くつまみ出される。体部から底部ヘラケズリ後ミガキ。内面身込み部分のみ巾の狭いミガキ。	白色微粒子を含む。灰褐色。焼成は良好。	括1
4	土師器	坏	口径 器高 底径	(158) 55 114	口唇部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面は丁寧なミガキ。内外面とも赤彩される。体部及び底部とも非常に薄く仕上げられている。	白色微粒子を含む。素地は淡黄褐色。焼成は良好。	括2
5	金銅製品	耳環			直径17mm, 厚さ3mm, 重さ3.14g。		カマノ北

### SI-7A 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径 器高 底径	(125) 41 66	ロクロ整形。底部は回転糸切り後全面手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	赤色粒子、白色粒子を含む。黒褐色及び淡褐色。焼成は良好。	括1
2	土師器	甕	口径 器高 底径	(122) <52> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。内面はヘラナデ後ナデ。口縁部は短くつまみ出される。	砂を多く含む。淡褐色。焼成は良好。	括2
3	土師器	甕	器高 底径 胴最大径	<223> 96 270	胴部外面は縦位ヘラケズリ後、下半部は斜横位ヘラケズリ。胴部内面はヘラナデ後ナデ、剥離が著しい。	砂を多く含む。暗褐色。焼成は良好。	No. 1~5, 括
4	鉄製品	鋤			長さ258mm, 幅197mm, 厚さ12.5mm。		
5	鉄製品	鎌			長さ<25.5>mm, 幅19mm, 背幅2.5mm。		一括

### SI-7B 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	甕	口径 器高 底径	(162) <93> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は頸部から斜位ヘラケズリ。胴部内面はヘラナデ後ナデ。口縁部は素縁でくの字状に外反する。	砂を多く含む。明褐色。焼成は良好。	No. 2
2	土師器	甕	口径 器高 底径	— <66> 67	胴部外面は縦位ヘラケズリ後ミガキ。内面は縦位ヘラケズリ後斜位ヘラケズリ。底部は括れ円盤状になる。	白色粒子を多く含む。内面は淡褐色、外面は明褐色及び黒色。焼成は良好。	No. 3

### SI-8 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	甕	口径 器高 底径	— <113> 84	胴部外面はケズリ後ミガキ、下端は横ケズリ。内面は剥離が著しく調整不明。外面にスス付着。	赤色粒子、透明・白色粒子を含む。暗褐色。焼成は不良で軟らかい。	No. 9, 10
2	弥生土器	甕	口径 器高 底径	(144) <38> —	口縁部は内外面ともナデ。胴部外面はミガキ、内面はケズリ。口縁部はくの字状に外反する。	赤色粒子、透明・白色粒子を含む。内面は暗褐色、外面は濃茶褐色。焼成は良好。	一括
3	弥生土器	甕	口径 器高 底径	— <21> 70	外面下端部は木口ナデ、底部は木葉痕。内面はナデ。	赤色粒子、透明・白色粒子を含む。内面は暗褐色、外面は濃茶褐色。焼成は良好。	No. 13

### SI-9 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	甕	口径 器高 底径	— <112> 120	胴部外面は縦位ヘラケズリ後ミガキされるが調整は不明。内面は剥離が著しい。	砂を多く含む。暗褐色。焼成は二次焼成を受けているが良好。	No. 8~10, 15~17
2	石器	砥石			長さ154mm, 幅89mm, 厚さ57mm, 重さ763.72g。		No. 7

### SI-10 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径 器高 丸底	142 33	口唇部から底部はヘラケズリ後ヘラナデ(ミガキ)。内面はミガキ。	緻密で白色粒子を含む。淡褐色。焼成は良好。	括1
2	土師器	坏	口径 器高 底径	(116) <38> —	口縁部は横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後雑なミガキ(ヘラナデ)。内面は巾広の雑なミガキ。カーボン吸着による黒色処理。	緻密で細かな砂多く含む。白色微粒子を僅かに含む。焼成は良好。	No. 2



3	土師器	鉢	口径 器高 底径	— <25> 70	胴部外面はヘラケズリ後粗いミガキ、内面はミガキ。底部外面は一方向からヘラケズリ後周縁部ケズリ。	緻密で白色微粒子を含む。橙褐色。焼成は良好。	括3
4	土師器	坏	口径 器高 丸底	94 32	口縁部は横ナデ後ミガキ。体部から底部はヘラケズリ後上半部を丁寧なミガキ。内面はミガキ。	白色微粒子を多く含む。淡黄褐色。焼成は良好。	括2
5	土師器	高坏	口径 器高 底径	98 <40> —	坏部は横ナデ後丁寧なミガキ。坏部下位は縦位ヘラケズリ後ミガキで全面に赤彩。坏部内面はミガキ後カーボン吸着による黒色処理。脚部はケズリ後ナデ。	白色微粒子を僅かに含む。外面は赤褐色、内面は黒褐色。焼成は良好。	No. 1-1
6	土師器	鉢	口径 器高 底径	82 63 62	口縁部は横ナデ後ミガキ。体部はヘラケズリ後粗いミガキ。内面は連弧状の丁寧なミガキ。底部外面は直交する二方向からのヘラケズリ後ミガキ。内外面とも漆仕上げによる黒色処理。	緻密で白色微粒子を含む。素地は淡黄褐色。焼成は良好。	No. 4, 5 SI-11, 括
7	土師器	鉢	口径 器高 底径	85 67 68	口縁部は横ミガキ、胴部外面はヘラケズリ後粗いミガキ、胴部内面は粗いミガキ。底部外面直交する二方向からヘラケズリ後ミガキ。内面漆仕上げによる黒色処理。	緻密で白色微粒子を含む。素地は淡黄褐色。焼成は良好。	No. 2, 3, 5, 括
8	須恵器	蓋	口径 器高 天井径	98 38 51	天井部は二段の回転ヘラケズリ。口縁部は内湾する。口縁部内側は沈線状の凹面が1条巡る。	緻密で白色微粒子を多く含む。灰色。焼成は良好で硬質。	No. 6
9	土師器	甌	口径 器高 底径	(313) <120> —	口縁部は横ナデ。胴部は縦位ヘラケズリ後斜位のヘラケズリ。内面は横位ヘラナデ後ナデ。	褐色。焼成は良好。	No. 3, 4
10	石器	砥石	長さ37mm, 幅21mm, 厚さ21mm, 重さ27.7g。				No. 1-2

### SI-11A 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径 器高 丸底	144 33	非ロクロ整形。口縁部横ナデ。口端部から底部にかけてヘラケズリ後ヘラナデ。底面は平底を意識して単一方向のヘラケズリ。内面はミガキ。	赤色粒、白色粒及び黒色粒子を含む。淡黄褐色及び一部黒褐色。焼成は良好。	No. 5
2	土師器	坏	口径 器高 丸底	138 <40>	非ロクロ整形。口縁部は横ナデ。口端部から底部にかけてヘラケズリ後ヘラナデ(ミガキ)。内面は丁寧なミガキ。	赤色粒、砂粒子を含む。淡橙褐色。焼成は良好。	括1
3	土師器	坏	口径 器高 丸底	148 38	非ロクロ整形。口縁部は横ナデ。口端部から底部にかけてヘラケズリ後ヘラナデ(ミガキ)。内面は丁寧なミガキだが剥離が著しい。	黄色粒子、赤色粒子及び黒色粒子を含む。淡褐色。焼成は良好。	No. 1
4	土師器	坏	口径 器高 丸底	142 <32>	非ロクロ整形。口縁部横ナデ。口縁部下からヘラケズリ後ヘラナデ。内面ミガキ後カーボン吸着による黒色処理される。	赤色粒子、砂粒子を含む。橙褐色。焼成は良好。	No. 3
5	土師器	坏	口径 器高 丸平底	(146) <30>	非ロクロ整形。口縁部横ナデ。口端部から底部にかけてヘラケズリ後雑なミガキ。内面はミガキ後カーボン吸着による黒色処理。	白色微粒子、赤色粒子を含む。淡黄褐色。焼成は良好。	No. 2
6	土師器	甌	口径 器高 底径	186 <66> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ケズリ後、斜位ヘラケズリ。内面はヘラナデ後ナデ。口縁部は素縁で外反する。	砂を多く含み、白色粒子が目立つ。褐色。焼成は良好。	No. 13, 15, 16, 括No. 11, 括
7	軽石		長さ61mm, 幅60mm, 厚さ33mm, 重さ24.4g。				No. 4
8	石器	砥石	長さ58mm, 幅42mm, 厚さ75mm, 重さ70.0g。				床面
9	鉄製品	鍔	長さ<111>mm, 厚さ5×4mm, 厚さ3×3mm。				No. 6

### SI-11B 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径 器高 丸底	144 38	非ロクロ整形。口縁部横ナデ。口端部から底部にかけてヘラケズリ後ヘラナデ。内面丁寧なミガキ。カーボン吸着による黒色処理。	赤色粒子、白色粒子を含む。淡黄褐色。焼成は良好。	No. 12
2	須恵器	甌	口径 器高 底径	— — —	胴部外面は叩き整形後ヘラケズリされ、ナデられる。内面は当て具痕がヘラケズリにより消され、更にナデ仕上げされている。	白色微粒子を僅かに含む。灰白色。焼成は良好で硬質。	No. 7, 8 湖西産
3	軽石		長さ92mm, 幅71mm, 厚さ67mm, 重さ66.12g。				No. 11
4	軽石		長さ87mm, 幅62mm, 厚さ45mm, 重さ22.2g。				No. 9
5	鉄製品	鎌	長さ<50>mm, 幅29mm, 厚さ1.5mm。				No. 10

### SI-12B 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	弥生土器	壺	口径 器高 底径	144 <68> —	口唇部は縄文。内面はナデ。外面はヘラケズリ後ナデ。	赤色大粒、黒色・透明・白色粒子を含む。褐色。焼成は不良。	No. 1
2	弥生土器	壺	口径 器高 底径	— — —	口唇部は縄文。	白色・黒色粒子を含む。赤褐色。茶褐色。焼成は良好。	No. 6, 7
3	弥生土器	壺	口径 器高 底径	— — —	外面は縄文、内面は赤彩される。	白色・黒色・透明粒子を含む。明褐色。焼成は良好。	No. 5



4	弥生土器	甕	口径 器高 底径	— <28> 60	外面はヘラケズリ後ナデ、内面はナデ。底部はヘラケズリ。	SI-12括 SI-28括
5	石製品	磨製石斧	長さ31mm, 幅17mm, 厚さ9mm, 重さ8.47g。全面とも研磨される。			
6	土製品	支脚	五徳状に3個一組で使用か。			No. 2

### SI-13 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径 器高 底径	118 33 61	ロクロ整形。底部は回転糸切り後全面手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。外面はロクロ痕が目立たない。	緻密で細かな砂を多く含む。黄褐色。焼成は良好で硬質。	No. 11
2	土師器	坏	口径 器高 底径	122 39 60	ロクロ整形。底部回転糸切り後全面手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	緻密で細かな砂を多く含む。淡褐色。焼成は良好。	No. 4, 体部外面に墨書「華」、底部内面「佛」
3	土師器	坏	口径 器高 底径	126 39 65	ロクロ整形。底部は回転糸切り後周縁部を手持ちヘラケズリ、体部下端は手持ちヘラケズリ。	緻密で白色微粒子を僅かに含む。茶黄褐色及び暗褐色。焼成は良好。	No. 12
4	土師器	坏	口径 器高 底径	124 37 64	ロクロ整形。底部は回転糸切り後全面手持ちヘラケズリ。体部下端は未調整。	緻密で細かな砂を多く含む。白色微粒子は僅かに含まれる。淡灰黄褐色。焼成は良好で硬質。	No. 1, 体部外面に墨書「金」
5	土師器	坏	口径 器高 底径	122 42 50	ロクロ整形。底部は回転糸切り後周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	白色微粒子と赤色粒子を僅かに含む。外面は橙褐色、内面は赤褐色。焼成は良好で硬質。	No. 5, 7, 9
6	土師器	坏	口径 器高 底径	— <32> 56	ロクロ整形。底部は単一方向の全面手持ちヘラケズリ。体部下端は短く連続した手持ちヘラケズリ。内面に輪積痕が見られる。	細かな砂を多く含む。暗褐色。焼成は良好。	No. 3, 体部括
7	土師器	坏	口径 器高 底径	(134) 39 69	ロクロ整形。底部は回転糸切り後未調整。体部下端は手持ちヘラケズリ。ゆがみが大きい。	緻密で白色微粒子を含む。暗褐色及び茶褐色。	括1
8	土師器	坏	口径 器高 底径	152 51 61	ロクロ整形。底部回転糸切り後、全面回転ヘラケズリ。体部下端は回転ヘラケズリ。体部内面は連弧状のミガキ。内面は黒色処理。	緻密だが大粒の赤色粒子、雲母、白色針状物を僅かに含む。褐色及び黒褐色。	No. 2, 底部外面に墨書「中」
9	土師器	甕	口径 器高 胴最大径	138 <73> 137	口縁部は横ナデ。胴部は縦位ヘラケズリ後、下半は斜位ヘラケズリ。内面はヘラナデ後ナデ。口縁端部は長くつまみ出される。	砂を多く含む。白色粒子が目立つ。赤褐色及び茶褐色。焼成は良好。二次焼成を受ける。	No. 10, 14 カマ括
10	土師器	甕	口径 器高 底径	— <92> 70	胴部外面は斜横位ヘラケズリ。胴部内面はヘラナデ後ナデ。内面はヘラケズリ後ナデ。	砂を多く含む。茶褐色及び黄褐色。二次焼成を受け脆い。	No. 13
11	青銅製品	耳環	直径17mm, 厚さ4mm, 重さ3.46g。			No. 15	
12	石器	砥石	長さ40mm, 幅38mm, 厚さ13mm, 重さ30.0g。			括	

### SI-14 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径 器高 底径	138 35 (70)	ロクロ整形。底部は回転糸切り後全面手持ちヘラケズリ。周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は未調整。	白色粒、赤色粒子を含む。暗褐色及び一部茶褐色。焼成は良好。	No. 1, 2, 5
2	土師器	甕	口径 器高 底径	190 <88> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。胴部内面はヘラナデ後ナデ。口縁端部は細長くつまみ出される。	白色粒を含む。茶褐色。焼成は不良。	No. 3, 4, 7, 9, 12, 括
3	土師器	甕	口径 器高 胴最大径	(278) <200> (270)	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後、下位は斜横位ヘラケズリ。胴部内面はヘラナデ後ナデ。口縁端部は鋭くつまみ出される。	砂を含む。暗灰褐色。焼成は良好。	No. 6, 8, 10, 11

### SI-15 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径 器高 底径	128 40 72	非ロクロ整形。口縁部は横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後ヘラナデ(ミガキ)。内面はミガキ。底部は薄く仕上げられる。	赤色粒子、白色粒子を含む。暗褐色。焼成は良好。	No. 2, 括
2	土師器	坏	口径 器高 底径	(131) 40 70	非ロクロ整形。口縁部は横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後ヘラナデ(ミガキ)。内面は丁寧なミガキ。	白色粒子を含む。暗黄褐色。焼成は良好。	No. 6
3	土師器	坏	口径 器高 底径	125 42 82	非ロクロ整形。口縁部は横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後粗いミガキ。内面はミガキ。	白色粒子と細かな砂を含む。内面は赤褐色、外面は暗赤褐色。焼成は良好。	No. 1, 底部外面に刻書「X」
4	土師器	甕	口径 器高 底径 胴最大径	122 152 82 152	口縁部は横ナデ。胴部外面は頸部から縦位ヘラケズリ。胴下半部は斜横位ヘラケズリ。内面はヘラナデ後ナデ。口縁端部は丸くつまみ出される。	砂粒、黄色粒子を含む。淡褐色。焼成は良好。	No. 9
5	土師器	甕	口径 器高 底径	174 <76> —	口縁部は横ナデ。胴部は縦位ヘラケズリ。内面はヘラナデ後ナデ。口縁端部は僅かにつまみ出される。	砂を多く含む。褐色及び黒褐色。焼成は良好。	No. 7
6	土師器	甕	口径 器高 底径 胴最大径	120 <56> 66 (130)	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ。内面はナデ。口縁端部は僅かにつまみ出される。	赤色粒子、白色粒子を含む。焼成は良好。	No. 5, 括

SI-16 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	土師器	坏	口径 器高 丸底 (110) <30>	口縁部は横ナデ。口唇部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はミガキ。口縁部内側が磨滅している。	白色微粒を僅かに含む。素地は淡黄褐色。明褐色。焼成は良好だが軟質。	No. 3
2	土師器	坏	口径 器高 丸底 118 38	口縁部は横ナデ。口唇部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はミガキ後カーボン吸着による黒色処理。	緻密で白色微粒子を僅かに含む。白色針状物を含む。淡褐色。焼成は良好。	No. 6, 括弧ト括
3	土師器	坏	口径 器高 丸平底 134 35 74	口縁部は横ナデ。口唇部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はミガキ。底部は平底を作り出す。	緻密で白色微粒子を含む。淡褐色。焼成は良好。	括1 底部に木葉痕
4	土師器	坏	口径 器高 丸平底 145 36	口縁部は横ナデ。口唇部から底部はヘラケズリ後ナデ風ミガキ。内面は比較的丁寧なミガキ。カーボン吸着による黒色処理。	白色微粒子、赤色微粒子を含む。淡褐色。焼成は良好。	括トNo. 2
5	土製品	支脚	底径(103)×(107)mm, 高さ<86>mm。			No. 2
6	土製品	支脚	径84×80.5mm, 高さ<172>mm。			No. 1
7	鉄製品	刀子	長さ<60>mm, 刃部 幅9mm, 背幅2.5mm, 柄部 幅11mm, 背幅3mm。			No. 5
8	鉄製品	刀子	長さ<117>mm, 刃部 幅10mm, 背幅2.5mm, 柄部 幅6.5mm, 背幅3mm。			No. 9

SI-17 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	土師器	坏	口径 器高 丸平底 145 40 113	非ロクロ整形。口縁部は横ナデ。口端部から底部はヘラケズリ後ミガキ。体部下位で底部を削り出す。口唇部の巻き込みはない。	白色微粒子を多く含む。明褐色。焼成は良好。	No. 7~10
2	土師器	坏	口径 器高 底径 (140) 41 90	非ロクロ整形。口縁部は横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はミガキ。口縁部は鋭くつまみ出される。	砂を多く含み、白色微粒子が目立つ。淡褐色。焼成は良好。	SI-17 No. 4, SI-22, 括トNo. 12
3	土師器	坏	口径 器高 底径 — <9> 89	非ロクロ整形。体部はヘラケズリ後ミガキ。内面は雑なミガキ。	細かな砂を多く含み、白色微粒子を多く含む。橙褐色。	括1, 底部外面に墨書
4	土師器	甕	口径 器高 底径 — <29> (130)	胴部外面は斜位ケズリ後ナデ。内面はヘラナデ後ナデ。底部は突出する。	砂を多く含み、白色粒子が目立つ。外面は黄褐色、内面は灰色。焼成はあまい。	No. 13
5	土師器	甕	口径 器高 底径 (208) <266> —	口縁部は横ナデ。胴部上位は横位ヘラケズリ。肩部から下位にかけて縦位ヘラケズリ。胴部内面は横位ヘラナデ後ナデ。	赤色粒子、黒色粒子を含む。明褐色。焼成は良好。二次焼成を受けている。	No. 1, 2, 3, 4, 5, 6, 8 武蔵型甕
6	石製品	紡錘車	径34×36mm, 厚さ16mm, 重さ31.96g。			No. 17
7	石器	砥石	長さ204mm, 幅83mm, 厚さ35mm, 重さ691.75g。			括2

SI-18 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	土師器	坏	底部片	非ロクロ整形。体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面は丁寧なミガキ。	緻密で白色微粒子、赤色微粒子を僅かに含む。淡茶褐色。焼成は良好。	括1, 底部外面 刻書「X」

SI-19 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	土師器	坏	口径 器高 底径 123 42 67	ロクロ整形。底部は回転糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は未調整。	赤色粒、白色粒子を含む。淡黄褐色。焼成は良好。	No. 2, 体部外面に墨書「岳」
2	土師器	坏	口径 器高 底径 (120) 42 66	ロクロ整形。底部は全面手持ちヘラケズリ。体部下端は未調整。	緻密で白色微粒子を僅かに含む。淡橙褐色。焼成は良好。	括トNo. 2, 3, 6, 底部外面に墨書か
3	土師器	坏	口径 器高 底径 134 39 61	ロクロ整形。底部は回転糸切り後、全面手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。非常に薄手の作り。	緻密で白色微粒子を僅かに含む。黄褐色、一部暗褐色。焼成は良好。	括トNo. 20, 25, 一括
4	土師器	坏	口径 器高 底径 — <18> 73	ロクロ整形。底部は回転糸切り後、全面手持ちヘラケズリ。体部下端は未調整。	緻密で細かな砂を多く含む。淡褐色。焼成は良好。	括トNo. 7
5	土師器	坏	口径 器高 底径 148 49 69	ロクロ整形。底部は全面手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。内面はミガキ。	赤色粒子、砂粒を含む。外面は暗黄褐色、内面は暗褐色。焼成は良好。	括トNo. 18
6	土師器	高台付皿	口径 器高 底径 137 31 69	ロクロ整形。内面は単一方向のミガキ後、連弧状のミガキ。	石英、白色粒子を含む。褐色。焼成は良好。	No. 8
7	土師器	皿	口径 器高 底径 156 <24> —	ロクロ整形。内面はミガキ。体部から口縁部は緩やかに外反する。口縁端部は薄く仕上げられる。外面は剥離が著しい。	砂粒を含む。淡黄褐色。焼成は良好。	括トNo. 26
8	土師器	高台付皿	口径 器高 底径 — <15> <63>	ロクロ整形。内面はミガキ。	白色粒子を含む。外面は褐色、内面は黄褐色。焼成は良好だが二次焼成を受けている。	括トNo. 8
9	土師器	坏	口径 器高 底径 — <18> 70	ロクロ整形。内面はミガキ後黒色処理。底部は全面手持ちヘラケズリ。	石英、赤色粒子を含む。暗褐色。焼成は良好。	No. 5



10	土師器	高台付皿	口径 器高 底径	— <19> (75)	ロクロ整形。内面は丁寧なミガキ。カーボン吸着による黒色処理。	緻密で白色微粒子を僅かに含む。暗褐色。焼成は良好。	カト' No. 11
11	土師器	皿	口径 器高 底径	130 <23> —	ロクロ整形。内面は丁寧なミガキ。カーボン吸着による黒色処理。	白色微粒子を含む。淡褐色。焼成は良好。	カト' No. 22
12	土師器	皿	口径 器高 底径	142 <17> —	ロクロ整形。内面は丁寧なミガキ。カーボン吸着による黒色処理。	白色微粒子を含む。黒褐色。焼成は良好。	No. 30
13	土師器	坏	口径 器高	器片 <20>	ロクロ整形。	緻密で白色微粒子、赤色微粒子を僅かに含む。焼成は良好で硬質。	括1, 体部外面に墨書「加?」
14	土師器	坏	口径 器高	器片 <27>	ロクロ整形。他の坏類に比べて厚く、大振りの椀になるか。	砂を多く含む、白色粒子が目立つ。暗褐色。焼成はあまい。	括2, 体部外面に墨書「田?」
15	土師器	甕	口径 器高 底径	155 <40> —	口縁部は横ナデ。胴部は縦位ヘラケズリ。内面は剥離が著しく調整は不明。口縁端部は上方につまみ出される。	砂を多く含む、白色粒子が目立つ。褐色。焼成は良好。	カト' No. 25
16	土師器	甕	口径 器高 底径	175 <95> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は頸部から縦位ヘラケズリ。内面はヘラナデ後ナデ。口縁端部は鋭くつまみ出される。	白色粒子を含む。褐色。焼成は良好。	カト' No. 12~14
17	土製品	支脚	高さ227mm, 上部径38mm, 下部径52mm。				カト' No. 16, 17
18	鉄製品	刀子	長さ218mm, 刃部 幅2mm, 背幅2.5mm, 幅13mm, 背幅4mm, 柄部 幅9.5mm, 背幅3mm。				No. 3, 9

SI-20 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径 器高 底径	(120) 48 60	ロクロ整形。底部は回転糸切り後未調整。体部下端は手持ちヘラケズリ。	緻密で白色微粒子を僅かに含む。橙褐色。焼成は良好。	No. 2, 3
2	土師器	坏	口径 器高 底径	123 40 72	ロクロ整形。底部は全面手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	緻密で白色微粒子を僅かに含む。黄褐色。焼成は良好。	No. 7
3	土師器	坏	口径 器高 底径	— <17> (74)	ロクロ整形。底部は回転糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	細かな砂を多く含む。明褐色。焼成は良好。	括1, 底部外面に墨書
4	土師器	坏	口径 器高 底径	— — (86)	ロクロ整形。底部は回転糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	緻密だが白色微粒子、赤色微粒子を多く含む。明褐色。焼成は良好。	No. 6, 底部外面に墨書「百」
5	土師器	甕	口径 器高 底径	(158) (65) —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。内面はヘラナデ後ナデ。口端部は上方に長くつまみ出される。	砂を多く含む、白色粒子が目立つ。暗褐色。二次焼成を受ける。	No. 20

SI-21 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径 器高 丸底	(166) <34>	口縁部は横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はミガキ。内外面とも赤彩。	キメの細かい粘土。白色微粒子、赤色微粒子を僅かに含む。	No. 6
2	土師器	坏	口径 器高	器片 <30>	ロクロ整形。	小砂利を含む。茶褐色。焼成は良好。	括1, 体部外面に墨書「井」
3	土師器	鉢	口径 器高 底径	(122) <77> —	口縁部は横ナデ。胴部外面はヘラケズリ。内面はヘラケズリ後ナデ、更にミガキ。口縁部はほぼ直立し、短くつまみ出される。	白色粒を含む。外面黒色、内面は暗褐色。焼成は良好。	No. 2
4	土師器	甕	口径 器高 底径	(133) <75> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は口縁部近くから、横位ヘラケズリ後ナデ。内面はヘラナデ後ナデ。口縁部は素縁で短く外反する。	白色粒、透明粒及び黒色粒を含む。橙褐色。焼成はやや不良。	No. 8
5	鉄製品	鎌	長さ<27>mm, 幅15mm, 背幅1mm。				
6	軽石		長さ65mm, 幅50mm, 厚さ38mm, 重さ23.2g。				No. 4

SI-22A・B 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径 器高 底径	113 37 64	ロクロ整形。底部は回転糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	緻密だが赤色粒子が目立ち、白色微粒子を僅かに含む。淡黄褐色。焼成は良好で軟質。	SI-22A. B 括1 体部外面に墨書
2	土師器	坏	口径 器高 底径	(120) 40 62	ロクロ整形。底部は回転糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	砂を多く含む、白色微粒子が目立ち器面がざらつく。赤褐色。焼成は良好で硬質。	SI-22A No. 4 底部外面に墨書「白?」
3	土師器	坏	口径 器高 底径	122 37 60	ロクロ整形。底部は回転糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。内外面とも剥離が著しい。	緻密で白色微粒子を含む。黄褐色。焼成は良好。	SI-22A. B 括, No1, カト' No. 5, 11
4	土師器	坏	口径 器高 底径	138 38 88	ロクロ整形。底部は静止糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。内外面とも赤彩。	緻密だが細かな砂を多く含む、小砂利が目立つ。素地は淡黄褐色。焼成は良好。	No. 15, 16, SI-17 括, 底部外面に線刻「X」
5	土師器	甕	口径 器高 胴最大径	165 <82> 180	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。内面はヘラナデ後ナデ。口縁端部は長くつまみ出される。	砂を多く含む、白色粒子が目立つ。茶褐色及び赤褐色。焼成は良好。	SI-22B No. 22 カト' No. 4, 6, 7, 9



SI-23 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	土師器	坏	口径 118 器高 38 底径 70	ロクロ整形。底部は回転糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ(井桁方向)。体部下端は未調整。	赤色粒子を含む。淡茶褐色。焼成は良好。	No. 10
2	土師器	坏	口径 (120) 器高 41 底径 68	ロクロ整形。底部は静止糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	緻密で白色微粒子を僅かに含む。茶褐色。焼成は良好。	No. 17, 括
3	土師器	坏	口径 — 器高 <23> 底径 60	ロクロ整形。底部は回転糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	緻密で白色微粒子、赤色微粒子を多く含む。淡茶褐色。焼成は良好。	No. 2
4	土師器	坏	口径 — 器高 <10> 底径 (68)	ロクロ整形。底部は回転糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は未調整。	砂を多く含み、小砂利が目立つ。淡茶褐色。焼成は良好。	括3, 底部内面に墨書
5	土師器	皿	口径 (140) 器高 <14> 底径 —	ロクロ整形。内面はミガキ。内面黒色処理。	緻密だが細かな砂を多く含む。素地は淡黄褐色。焼成は良好。	括2
6	土師器	甕	口径 120 器高 <71> 胴最大径 122	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。胴部内面はヘラナデ後ナデ。口縁端部は短くつまみ出される。	砂を多く含み、白色粒子が目立つ。赤褐色。焼成は良好。	カト No. 26, 括
7	須恵器	長頸壺	口径 — 器高 (52) 底径 <95>	胴部下半は回転ヘラケズリ。体部に比べ底部が非常に薄くなっている。台部は平らで外に開く。	緻密で白色微粒子を僅かに含む。濃灰色。焼成は良好で硬質。	No. 12, 13 猿投窯黒笹14号窯式か
8	土師器	甕	口径 (238) 器高 <47> 底径 —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。胴部内面はヘラナデ後ナデ。口縁端部は長くつまみ出される。	砂を多く含み、白色粒子、赤色粒子が目立つ。暗褐色及び黒褐色。焼成は良好。	括1
9	土師器	甕	口径 (190) 器高 <167> 胴最大径 199	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後、下半部は斜位ヘラケズリ。胴部内面はヘラナデ後ナデ。口縁端部は長くつまみ出される。	砂を多く含み、白色粒子が目立つ。暗褐色。焼成は良好。	No. 6
10	鉄製品	鎌	長さ<35>mm, 幅31mm, 背幅3.5mm。			No. 16
11	鉄製品	不明	中茎長さ<44>mm, 厚さ4×4mm。			No. 16
12	石器	砥石	長さ53mm, 幅24mm, 厚さ13mm, 重さ25.7g。			No. 19

SI-24 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	土師器	坏	口径 130 器高 30 底径 64	ロクロ整形。底部回転糸切り未調整。体部下端は未調整。	キメの細かい粘土。外面赤褐色、内面橙褐色。焼成は良好。	括1, 内面に線刻「×」
2	土師器	坏	口径 (164) 器高 40 丸底	口縁部は横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後、丁寧なミガキ。内面は丁寧なミガキ。	キメの細かい粘土。褐色及び暗褐色。焼成は良好。	No. 5
3	土師器	甕	口径 146 器高 <90> 胴最大径 162	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ後、ナデ(ミガキ)。胴部内面は斜横位ヘラケズリ後、粗いミガキ。	粘土粒子。朱褐色、一部黒褐色。焼成は良好。	No. 2, 13
4	土師器	甕	口径 146 器高 <144> 胴最大径 186	口縁部は横ナデ。胴部外面はタタキ整形後、縦位のミガキ。胴部内面は横位ヘラナデ(ヘラケズリ)後ナデ。	長石、石英、雲母を含む。淡褐色。焼成は良好で硬質。	No. 6, 11, 括 常総型甕
5	土師器	甕	口径 (202) 器高 <86> 底径 —	口縁部は横ナデ。胴部外面はヘラケズリ後ナデ。胴部内面は剥離が著しく不明。	大粒の白色粒を含む。茶褐色。焼成は良好。	No. 8
6	土師器	甕	胴最大径 150 器高 <123> 底径 68	胴部外面は縦位ヘラケズリ後、下半は斜横位ヘラケズリ。内面はヘラケズリ後ナデ。底部は幾分突出する。	大粒の白色粒を含む。暗褐色、外面下部スス付着。焼成は良好。	No. 11, 12
7	土師器	甕	口径 — 器高 <136> 胴最大径 184	胴部外面は斜位ヘラケズリ。剥離が著しい。胴部内面はヘラナデ後ナデ。	大粒の白色粒子と赤色粒子を含む。暗褐色。焼成は良好。	No. 9, 10, 括

SI-25A 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	土師器	坏	口径 (118) 器高 41 底径 (63)	ロクロ整形。底部は全面手持ちヘラケズリ。体部下端は未調整。	砂粒を含む。淡黄褐色。焼成は良好。	No. 1
2	土師器	坏	口径 — 器高 <24> 底径 60	ロクロ整形。底部は回転糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	砂を多く含み、赤色粒子が目立つ。淡黄褐色。焼成は良好。	No. 2
3	土師器	手捏土器	口径 (50) 器高 41 丸底	外面はヘラケズリ。内面は指ナデ。	砂を多く含み、赤色粒子が目立つ。暗褐色。焼成は良好。	括2

SI-25B 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	土師器	坏	口径 (128) 器高 44 底径 (62)	ロクロ整形。底部は全面手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	赤色粒、白色粒子を含む。褐色。焼成は良好。	SI-25B No. 2

2	土師器	甕	口径 200 器高 <108> 胴最大径(192)	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。胴部内面はヘラナデ後ナデ。口縁部は長くつまみ出される。	赤色粒及び砂粒を含む。外面褐色、口縁部は黒褐色。焼成は良好。	No. 3
3	土師器	甕	口径 (212) 器高 <217> 胴最大径(262)	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後、中位から下位は多方向のヘラケズリ。胴部内面はヘラナデ。	白色粒子及び赤色粒を含む。暗褐色。焼成は良好。	No. 1, 括
4	土師器	甕	口径 (168) 器高 <166> 胴最大径(165)	口縁部は横ナデ。胴部外面上位は縦位ヘラケズリ下位は斜位ヘラケズリ。胴部内面はヘラナデ後ナデ。	砂粒を含む。暗褐色。焼成は良好。	SI-25 カト'括1
5	土製品	支脚	高さ148mm。			No. 7
6	磔		長さ112mm, 幅122mm, 厚さ31mm, 重さ545.2g。			No. 4
7	土製品	勾玉	長さ27mm, 幅16mm, 厚さ9mm, 重さ3.39g。			No. 5

SI-26 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	土師器	坏	口径 (136) 器高 39 底径 (70)	ロクロ整形。底部は回転糸切り未調整。体部下端は未調整。	白色微粒子を含む。淡黄褐色。焼成は良好。	No. 7, 括
2	土師器	椀	口径 192 器高 62 底径 78	ロクロ整形。底部は回転糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	白色微粒子及び砂粒を含む。明褐色。焼成は良好。	No. 1
3	土師器	坏	体部片	ロクロ整形。体部下端は手持ちヘラケズリ。	緻密で赤色微粒子を僅かに含む。淡褐色。焼成は良好。	括2, 胴部外面に墨書「〇」
4	土師器	坏	底部片	非ロクロ整形。体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はミガキ。	砂を多く含む。白色微粒子が目立つ。赤褐色。焼成は良好。	括1, 底部外面に墨書「大」
5	土師器	甕	口径 118 器高 138 底径 70 胴最大径 125	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後、下半部は斜横位ヘラケズリ。胴部内面はナデ。底部外面は直交する二方向の手持ちヘラケズリ。口縁端部は垂直につまみ出され、やや内湾する。	砂を多く含む。白色粒子が目立つ。橙褐色。焼成は不良。二次焼成を受ける。	カト'No. 13
6	土師器	甕	口径 (136) 器高 (71) 胴最大径(134)	口縁部はナデ。頸部内面はヘラケズリ後ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。胴部内面はヘラナデ後ナデ。	砂粒子を含む。明褐色。焼成は良好。	No. 15, 16
7	土師器	甕	口径 (170) 器高 (100) 胴最大径 166	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後、下半部は横位ヘラケズリ。胴部内面は横位ヘラナデ後ナデ。	白色微粒子を多く含む。明褐色。焼成は良好。	No. 1
8	土師器	甕	口径 (170) 器高 (96) 胴最大径(160)	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。胴部内面は斜横位ヘラナデ後ナデ。	砂を多く含む。白色粒子が目立つ。暗褐色。焼成は良好。	No. 14, カト' No. 1
9	土師器	甕	口径 (314) 器高 <139> 胴最大径(275)	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後、下半は斜位ヘラケズリ。胴部内面はナデ。	白色微粒子を含む。明褐色。焼成は良好。	No. 2
10	須恵器	甕	胴最大径(270) 器高 <214> 底径 —	胴部外面は縦位方向のタタキ整形後、下半は斜横位ヘラケズリ。内面はナデにより当具痕は消えている。	白色微粒子を多量に含む。暗灰色及び黄灰色。焼成はやや不良。器面に無数のひび割れ。	No. 7, 8 在地産
11	鉄製品	刀子	長さ<119>mm, 刃部幅8mm, 背幅2.5mm, 柄部幅4mm, 背幅4mm。			No. 3
12	鉄製品	鉄鍋	長さ61mm, 幅61mm。			No. 10

SI-27A 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	土師器	坏	口径 130 器高 37 底径 70	ロクロ整形。底部は回転糸切り後、周縁部を回転ヘラケズリ。体部下端は回転ヘラケズリ。	緻密で赤色微粒子、白色微粒子を僅かに含む。褐色。焼成は良好。	括3
2	土師器	坏	口径 (126) 器高 35 底径 (70)	ロクロ整形。底部は回転糸切り後、全面手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	白色・赤色微粒子を含む。淡褐色。焼成は良好。	SI-27A・B・C括4
3	土師器	坏	口径 (116) 器高 34 底径 64	ロクロ整形。底部は回転糸切り後、周縁部を回転ヘラケズリ。体部下端は回転ヘラケズリ。	小砂利を含む。茶褐色。焼成は良好。	SI-27A・B括5
4	土師器	坏	口径 — 器高 <13> 底径 72	ロクロ整形。底部は回転糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	細かな砂を多く含む。白色微粒子が目立つ。灰褐色。焼成は良好。	括11 外面に墨書「田」
5	土師器	椀	口径 — 器高 (38) 底径 74	ロクロ整形。底部は回転糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	緻密で金雲母と赤色微粒子を含む。褐色。焼成は良好。	SI-27 No. 8
6	土師器	坏	口縁部片 器高 <35> 底径 —	ロクロ整形。体部下端未調整。	緻密で白色微粒子、赤色微粒子を多く含む。淡橙褐色。焼成は良好で硬質。	括17 外面に墨書
7	土師器	坏	底部片 器高 <8> 底径 —	ロクロ整形。底部は回転糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	赤色粒を含む。橙褐色。焼成は良好で硬質。	括18 底部外面に墨書「上」
8	土師器	坏	底部片 器高 — 底径 —	ロクロ整形。底部は回転糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。内面黒色処理。	緻密で白色微粒子を僅かに含む。外面は淡黄褐色。焼成は良好で硬質。	括20 外面に墨書



9	土師器	甕	口径器高底径	190 <60> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ。胴部内面は横位ヘラナデ後ナデ。口縁端部は短くつまみ出される。	砂を多く含む。橙褐色。焼成は良好で硬質。	SI-27 No. 1, 7-2
10	土師器	甕	口径器高底径	(208) <75> —	口縁部はナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ。胴部内面は横位ヘラナデ後ナデ。口縁端部は短くつまみ出される。	砂を多く含む。橙褐色。焼成は良好で硬質。	SI-27 No. 7, 括
11	礫				長さ85mm, 幅67mm, 厚さ31mm, 重さ21.36g。		No. 5
12	鉄製品	不明			長さ<61>mm, 厚さ5×4mm, 厚さ6×5mm。		No. 4
13	鉄製品	不明			長さ<28>mm, 厚さ4×4mm。		括22
14	鉄製品	鎌			長さ<28>mm, 幅19mm, 背幅2mm。		括21

### SI-27B 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径器高底径	— <24> —	ロクロ整形。口縁部は幾分外反する。	赤色粒を含む。橙褐色。焼成は良好で硬質。	括16 口縁部外面墨書
2	須恵器	甕	口径器高底径	— <140> (180)	胴部外面は斜位方向のタキ整形後、下端は斜横位ヘラケズリ。胴部内面当て具痕跡を指ナデ調整により消している。	白色粒子、赤色粒子を多量に含む。赤褐色及び黒褐色。焼成は不良。	カト' No. 6 在地産
3	須恵器	甕	口径器高底径	— <198> —	胴部外面は斜位方向のタキ整形後、下端は斜横位ヘラケズリ。胴部内面は指ナデ。	白色粒子、赤色粒子を多量に含む。濃灰色。焼成は良好。	カト' No. 5 SI-27, 27B, 27D 在地産

### SI-27C 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径器高底径	(116) 32 58	ロクロ整形。底部は回転系切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	緻密で白色微粒子を僅かに含む。黄褐色及び灰褐色。焼成は良好で硬質。	SI-27 No. 9 SI-27C No. 8
2	土師器	坏	口径器高底径	(130) 35 66	ロクロ整形。底部は全面手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	石英を含む。赤褐色及び灰褐色。焼成は良好で硬質。	No. 6, 一括
3	土師器	坏	口径器高底径	127 43 70	ロクロ整形。底部は回転系切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	砂利を多く含む須恵器的。外面は灰褐色及び黒褐色、内面は黄褐色及び暗褐色。焼成は良好。	SI-27C NO. 1, SI-27A 一括
4	土師器	坏	口径器高底径	(114) 39 67	ロクロ整形。底部は回転系切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は未調整。	緻密で赤色微粒子を僅かに含む。明褐色。焼成は良好で硬質。	SI-27C No. 6-1 SI-27A 一括
5	土師器	坏	口径器高底径	(120) 31 (76)	ロクロ整形。底部は全面手持ちヘラケズリ。体部下端は未調整。内面は黒色処理。	砂を多く含む。黒褐色及び茶褐色。焼成は良好で硬質。	SI-27C No. 6-2 SI-27A 括 SI-27B 括
6	土師器	碗	口径器高底径	(150) 49 68	ロクロ整形。底部は回転系切り後、周縁部を回転ヘラケズリ。体部下端は回転ヘラケズリ。体部内面は丁寧なミガキ。内面は黒色処理。	緻密で白色微粒子と金雲母を含む。外面暗褐色。焼成は良好で硬質。	SI-27C No. 2 SI-27B 一括
7	土師器	坏	口径器高底径	— < 8> (72)	ロクロ整形。底部は回転系切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	緻密で白色微粒子を含む。黄褐色及び灰褐色。焼成は良好で硬質。	SI-27C 括13 底部外面に墨書「田」
8	土師器	坏	口径器高底径	— <14> (58)	ロクロ整形。底部は回転系切り後、周縁部は多方向から手持ちヘラケズリ。体部外面は連続手持ちヘラケズリ。	緻密で赤色粒子を僅かに含む。淡黄褐色。焼成は良好。	SI-27D 括10 底部外面に墨書「得？」
9	土製品	支脚			高さ<138>mm。		

### SI-28 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径器高底径	(111) <38> —	口縁部は横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面は身込みから底面はミガキ、体部上半から口唇部にかけてはまばらなミガキ。	白色微粒子、赤色微粒子を含む。淡黄褐色。焼成は良好。	括5
2	土師器	坏	口径器高底径	121 30 (80)	口縁部は横ナデ。体部は斜横位ヘラケズリ後ミガキ。内面は全面ミガキ。底部は多方向のヘラケズリ後ミガキ。	石英粒、白色粒子、赤色粒子を含む。暗褐色、一部褐色。焼成は良好。	No. 7, 8
3	土師器	坏	口径器高底径	126 39 (76)	口縁部は横ナデ。体部は斜横位ヘラケズリ後ミガキ。内面は全面ミガキ。底部はヘラケズリ後ミガキ。	赤色微粒子、白色粒子を含む。淡橙黄褐色及び暗黄褐色。焼成は良好。	No. 9, 13
4	土師器	坏	口径器高底径	120 40	口縁部は横ナデ。体部は斜横位ヘラケズリ。内面は底面のみまばらなミガキで体部はナデ仕上げ。削り出しによって底面を作り出している。	赤色微粒子、石英粒子、白色微粒子を含む。黄褐色。焼成は良好で軽量。	No. 10, 11, 21 底部外面に刻書「X」
5	土師器	坏	口径器高底径	(143) <33> —	口縁部横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面は底面が連続ミガキ、体部上半から口唇部にかけてはまばら。	赤色粒子、砂粒を含む。淡褐色。焼成は良好。	括3, No. 16と同一個体
6	土師器	坏	口径器高底径	(155) <36> —	口縁部横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後粗いミガキ。内面は底面が連続ミガキ、体部上半から口唇部にかけてはまばら。	赤色粒子、砂粒を含む。淡褐色。焼成は良好。	No. 16, 括3と同一個体



7	土師器	坏	口径器高底径	(158) <38> —	口縁部横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後粗いミガキ。内面はミガキ。	赤色粒子、白色粒子を含む。外面は黒褐色、内面は淡黄褐色。焼成は良好。	括2
8	土師器	坏	口径器高底径	(175) <33> —	口縁部横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後ミガキ風ナデ。内面は丁寧なミガキ。	赤色粒子、砂粒を含む。外面は淡褐色、内面は淡橙黄褐色。焼成は良好。	No. 4
9	土師器	坏	口径器高丸底	(170) 39	口縁部横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面は全面丁寧なミガキ。平底気味に削り出されている。	緻密で白色微粒子、赤色微粒子を僅かに含む。淡黄褐色。焼成は良好。	No. 18
10	土師器	手捏土器	口径器高底径	— <15> 35	非ロクロ整形。外面はヘラケズリ、内面はナデ。底部外面を除き内外面とも赤彩される。	緻密で白色微粒子を僅かに含む。素地は淡黄褐色。焼成は良好。	括4
11	須恵器	高台付盤	口径器高底径	(183) 40 (135)	ロクロ整形。底部は全面回転ヘラケズリ。口縁部は幾分外反する。台部は角高台で底部の外側についている。	黒色粒子を僅かに含む。乳黄灰色。焼成は良好。	No. 19 湖西産
12	灰釉陶器	長頸壺	口径器高底径	— 90 81	ロクロ整形。胴部下半は回転ヘラケズリ。底部は回転ヘラケズリ。内面はナデ。外面に濃緑色の灰釉が流れる。	非常に緻密で、僅かに小石と白色微粒子を含む。内面は茶灰色、外面は緑灰色。焼成は良好で硬質。	括1 猿投窯黒笹14号窯式か
13	土師器	甕	口径器高胴最大径	176 <108> 188	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。胴部内面は斜横位ヘラナデ後ナデ。口縁部はくの字状に外反する。	赤色粒、白色粒、石英、長石を含む。褐色、黒褐色。焼成は良好。	No. 5
14	土師器	甕	口径器高底径	(184) <61> —	口縁部は横ナデ。胴部外面はヘラケズリ後ミガキか。内面は剥離が著しく、調整は不明。口縁部は素縁で緩やかに外反する。	白色微粒子を含む。淡黄褐色、暗黄褐色。焼成は良好。	No. 20
15	土師器	甕	口径器高底径	(220) 100 <73>	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ後ナデ。内面はヘラナデ後ナデ。口縁部は緩やかに外反し、口縁端部は強くつまみ出される。	赤色粒子、白色粒子を含む。褐色。焼成は良好。	No. 14
16	土師器	甕	口径器高底径	— <98> 103	胴部外面は斜横位ヘラケズリ後ミガキ。内面は指によるナデ仕上げ。底部はヘラケズリ後ミガキ。	白色粒子を含む。淡黄褐色。焼成は良好。	No. 1, 3, 括
17	土師器	甕	口径器高底径	(258) <34> —	口縁部は横ナデ。口縁端部は垂直気味に長くつまみ出される。	赤色粒子、砂粒子を含む。外面は淡褐色、内面は黄褐色、黒褐色。焼成は良好。	No. 15
18	土製品	支脚	高さ	35mm。			

### SI-29A 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径器高丸底	(148) <32>	口縁部は横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はミガキ。	緻密で赤色微粒子を僅かに含む。淡褐色。焼成は良好。	No. 9
2	土師器	坏	口径器高丸底	(144) <42>	口縁部は横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はミガキ。	砂を多く含み、白色粒子が目立つ。淡褐色。焼成は良好。	No. 1, 括
3	土師器	坏	口径器高丸底	140 42	口縁部は横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後ヘラナデ。内面は連弧状の丁寧なミガキでカーボン吸着による黒色処理。	緻密で赤色微粒子を僅かに含む。内面は黒色、外面は淡褐色。焼成は良好。	No. 4 底部に木葉痕
4	土師器	坏	口径器高底径	— <14> (64)	ロクロ整形。底部回転糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は未調整。	砂を多く含み、小砂利が目立つ。淡橙褐色。焼成は良好。	No. 1 体部外面に墨書
5	鉄製品	鎌	長さ	<43>mm, 厚さ5×4mm, 厚さ3×3mm			No. 7
6	鉄製品	鎌	長さ	<26>mm, 厚さ4×4mm。			一括

### SI-29B 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径器高底径	113 34 61	口縁部は横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後ナデ(粗いミガキ)。内面は丁寧なミガキ。	赤色粒を含む。内面は明褐色口縁部一部黒色、外面は淡褐色一部黒色。焼成は良好。	No. 40
2	須恵器	長頸壺	口径器高台部径	— <70> 93	ロクロ整形。底部内面に濃緑色の釉が掛かる。布の圧痕が残る。	緻密だが黒色粒を含む。灰色。焼成は良好で硬質。	SI-29 括 東海産
3	土製品	支脚	高さ	<28>mm。			No. 2
4	鉄製品	刀子	長さ	<28>mm, 刃部 幅6mm, 背幅2.5mm, 柄部 幅4mm, 背幅2mm。			No. 2

### SI-30A 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	高台付皿	口径器高底径	134 <24> —	ロクロ整形。口縁部は面取り状で平坦。内面は黒色処理。底部は全面手持ちヘラケズリ。	白色粘土。外面は淡褐色。焼成は良好でやや軟質。	No. 1 底部外面に墨書「西？」
2	土師器	高台付坏	口径器高台部径	144 50 72	ロクロ整形。底部は回転糸切り後、周縁部を回転ヘラケズリ。内面は黒色処理。外面のロクロ痕跡は在地的な手法ではない。	白色粘土で白色粒子を含む。外面は淡褐色、一部暗褐色。焼成は良好でやや軟質。	SI-31A2 No. 1

3	土師器	坏	口径 器高 底径	(120) 42 60	ロクロ整形。底部は全面手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。内面は黒色処理。	やや緻密。外面は暗褐色。焼成は良好でやや硬質。	括2
4	土師器	甕	口径 器高 底径	— <38> 78	胴部下端は縦位ヘラケズリ後、斜位ヘラケズリ。内面はヘラナデ後ナデられるが剥離が著しく不明瞭。	内面は暗淡褐色、外面は暗橙褐色。焼成はやや不良。	No. 11
5	土師器	甕	口径 器高 底径	(220) <44> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ、内面はヘラナデ後ナデ。口縁部はくの字状になり、口縁端部は外反気味につまみ出される。	白色微粒子を僅かに含む。暗茶褐色。焼成は良好でやや硬質。	No. 3
6	土師器	甕	口径 器高 底径	(250) <55> —	口縁部は横ナデ。胴部外面はナデ。内面はヘラナデ後ナデ。須惠器的な口縁部であるが、胴部の形態と調整は土師器甕である。	白色粒子及び雲母を含む。茶褐色。焼成は良好で硬質。	No. 15
7	須惠器	長頸壺	口径 器高 底径	— <116> —	ロクロ整形。胴部外面は回転ヘラケズリ。肩部に濃緑色の自然釉。	白色粒子を含む。外面は暗緑灰色、内面は緑灰色。焼成は良好で硬質。	No. 9 猿投窯黒笹14号窯式か
8	須惠器	甕	口径 器高 底径	— <71> (162)	胴部外面はタタキ整形。下端部はナデ。内面は下部から底部にかけて指頭によるナデ。底部外面はシッタ痕跡が残る。	灰色で緻密な粘土。白色粒を含む。淡褐灰色。焼成は良好で硬質。	SI-31A2 No. 2 東海産
9	石器	砥石	長さ81mm, 幅50mm, 厚さ29mm, 重さ204.3g。				No. 4
10	鉄製品	刀子	長さ<83>mm, 幅8mm, 背幅3mm, 幅11mm, 背幅4mm。				No. 13
11	須惠器	甕	口径 器高 底径	— — —	胴部は格子状のタタキ整形。内面の当て具痕跡はナデられて消されている。	緻密で白色礫を含む。外面には赤色の鉄釉が全面にみられる。焼成は良好で硬質。	No. 3, 4, 10, 12 東海産

### SI-30B 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	甕	口径 器高 底径	226 177 87	口縁部横ナデ。胴部外面縦位ヘラケズリ後、下半斜位ヘラケズリ。内面ヘラナデ後ナデ。底面はナデ。口縁部は素縁で短く外反する。	白色粒子、砂粒を含む。茶褐色、底部外面は一部黒色。焼成は良好。	No. 1~9, 11
2	土師器	甕	口径 器高 胴最大径	(380) <151> (342)	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラナデ後、頸部から中位までミガキ。口縁端部は外につまみ出される。	白色粒子、雲母を含む。茶褐色、一部黒褐色。焼成は良好。	No. 10

### SI-30C 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径 器高 底径	(124) 49 (68)	ロクロ整形。底部は回転糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	緻密で白色微粒子を含む。暗褐色。焼成は良好でやや硬質。	SI-30 No. 1 体部外面に墨書「ノ」
2	土師器	坏	口径 器高 底径	— <23> —	ロクロ整形。内面はミガキ。カーボン吸着による黒色処理。非常に薄手の作り。	緻密で白色微粒子と雲母を含む。内面黒色、外面暗淡褐色。焼成は良好。	括2 体部外面に墨書「ノ」

### SI-30D 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径 器高 底径	116 34 —	口縁部は横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面は細かく丁寧なミガキ。口縁部は鋭くつまみ出される。	砂を多く含みざらつく。暗褐色。焼成は良好で硬質。	No. 5, 6
2	土師器	坏	口径 器高 底径	154 38 65	口縁部は横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面の体部は斜位ミガキ。	砂を多く含む。練りも甘い。暗褐色。焼成は不良。	No. 7~9
3	石器	砥石	長さ45mm, 幅24mm, 厚さ19mm, 重さ21.9g。				一括

### SI-31 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径 器高 丸平底	(150) <31> —	口縁部は横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後、粗いミガキ。内面は丁寧なミガキ。体部は薄手の作りである。	赤色粒、白色粒を含む。明褐色。焼成は良好。	一括

### SI-32 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径 器高 底径	(125) 43 53	ロクロ整形。底部は回転糸切り後未調整。体部下端は未調整。	白色粒子を含む。内面は赤褐色、外面は明褐色。焼成は良好。	No. 10 体部外面に墨書「本」
2	土師器	坏	口径 器高 底径	(130) 42 66	ロクロ整形。底部は二方向からの全面手持ちヘラケズリ。体部下端は未調整。	赤色砂利を含む。淡褐色一部黒褐色。焼成は良好。	No. 42 体部外面に墨書「十」
3	土師器	坏	口径 器高 底径	— <12> (65)	ロクロ整形。底部は全面手持ちヘラケズリ。体部は下端未調整。	細かな砂を含み、赤色微粒子を僅かに含む。淡灰褐色。焼成は良好。	括1 底部外面に墨書「得？」
4	土師器	坏	口径 器高 底径	— <22> 64	ロクロ整形。底部は回転糸切り後未調整。体部下端は未調整。	赤色粒を含む。暗褐色。焼成は良好。	No. 24



5	土師器	高台付坏	口径 器高 底径	(150) <35> —	ロクロ整形。再調整不明。体部は大きく外反する。	砂利を多く含む。淡黄褐色。焼成は良好で硬質。	No. 25, 39
6	土師器	甕	口径 器高 胴最大径	164 <95> 170	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。内面は斜横位ヘラケズリ後ナデ。口縁端部は小さくつまみ出される。	赤色粒、雲母を含む。内外面褐色、内面の一部にスス付着。焼成は良好。	No. 22
7	土師器	甕	口径 器高 胴部径	222 <230> 212	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。内面は斜横位ヘラケズリ後ナデ。口縁端部は長くつまみ出される。	赤色砂利、白色粒子を多く含む。内外面とも淡黄褐色、胴部外面一部黒色。	No. 6~8
8	土師器	甕	口径 器高 胴部径	(208) <213> (302)	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ。下半部は横位ヘラケズリ。内面はヘラナデ後ナデ。摩滅が激しい。	赤色粒を含む。褐色。焼成は良好で硬質だが内面は二次焼成のため剥離が激しい。	No. 4, 6, 20 No. 1同一個体
9	須恵器	転用硯	口径 器高 底径	— — —	ロクロ整形。胴部外面はタタキ整形。内面の当て具痕跡は擦られている。転用硯。	緻密で白色微粒子を僅かに含む。灰白色。焼成は良好で硬質。	No. 3 湖西産
10	石器	砥石	長さ67mm, 幅54mm, 厚さ18mm, 重さ80.9g。				No. 32

### SI-33 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径 器高 底径	148 51 58	口縁部横ナデ。体部から底部ヘラケズリ後ミガキ。一部黒色の所にミガキ痕。体部は口縁部に向かい、薄く鋭くつまみ出される。	砂ぼく白色粒を多く含む。淡黄褐色。焼成は良好。	5F75-25 P3 No. 3
2	土師器	坏	口径 器高 底径	(148) 58 59	体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内外面とも赤彩される。口縁部は短く外反する。	砂ぼく白色粒を多く含む。赤褐色。焼成は不良。	No. 5
3	土師器	高坏	口径 器高 底径	179 143 130	体部外面はヘラケズリ。脚部外面は縦位ヘラケズリ後ミガキ、内面はヘラケズリ。坏部内外面と脚部外面は赤彩される。	白色粒子を多く含む。脚部内面は黒褐色。焼成は良好。	5F75-25 P3 No. 4
4	土師器	壺	口径 器高 底径 胴最大径	103 149 62 156	口縁部は端部からヘラケズリ。胴部は縦位ヘラケズリ後、下半部は横位ヘラケズリ。内面はヘラナデ後ナデ。	白色粒子と赤色粒子を含む。赤褐色。焼成は良好。	5F75-25 P3 No. 1
5	土師器	甕	口径 器高 底径 胴最大径	198 141 67 187	口縁部は端部からヘラケズリ。胴部は縦位外面はヘラケズリ後、斜横位ヘラケズリ。内面はケズリ後ナデ。胴部は斜横位ヘラケズリ後全面ミガキ。口縁部はくの字状に折れる。	白色粒を含む。外面は黒褐色、内面は淡褐色。焼成は良好だが二次焼成を受ける。	5F75-25 P3 No. 2
6	土師器	甕	口径 器高 胴最大径	138 <94> (222)	口縁部は内外面ともヘラケズリ後ナデ(ミガキ)。胴部外面は縦位ヘラケズリ後、斜位ヘラケズリ。胴部外面は全体にミガキ。	白色粒を多く含む。濃褐色。焼成は良好で硬質。	No. 6
7	鉄製品	鏃	全長130mm, 厚さ3mm, 幅5mm。				No. 3

### SI-35 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径 器高 底径	(118) <36> —	ロクロ整形。底部は回転糸切り後、全面手持ちヘラケズリ。体部下端は未調整。	砂粒を含む。内面は黒褐色、茶褐色。外面は褐色、茶褐色。焼成は良好。	No. 17, 21
2	土師器	坏	口径 器高 底径	125 38 58	ロクロ整形。底部は回転糸切り後未調整。体部下端は未調整。	白色粒子を含む。内面は黒褐色、外面は淡褐色。焼成は良好。	カマト No. 20
3	土師器	鉢	口径 器高 底径	135 107 76	ロクロ整形。口縁部は横ナデ。体部外面は斜横位ヘラケズリ。内面は横ナデ。胴部下位に焼成前に長方形の切り取り孔あり。	砂粒を含む。内面は橙褐色、一部黒褐色。焼成は良好。	No. 1
4	土師器	高台付椀	口径 器高 底径	— <42> 88	ロクロ整形。底部は回転糸切り未調整。内面は巾の狭いミガキで黒色処理される。高台は角高台で長い。	白色砂利を含む。黒褐色及び淡褐色。焼成は良好。	カマト No. 19
5	礫		長さ95mm, 幅86mm, 厚さ75mm, 重さ648.9g。			No. 11	
6	礫		長さ71mm, 幅76mm, 厚さ50mm, 重さ280.6g。			No. 10	

### SI-37 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	礫		長さ44mm, 幅44mm, 厚さ22mm, 重さ53.6g。			No. 42
2	礫		長さ56mm, 幅42mm, 厚さ15mm, 重さ44.5g。			一括

### SI-40 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径 器高 底径	133 39 100	口縁部横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面は底面から体部中位まで密なミガキ。	白色微粒子を含む。橙褐色。焼成は良好。	No. 7
2	土師器	甕	口径 器高 底径	— <21> 79	外面は斜位ヘラケズリ。内面はヘラナデ。二次焼成のためか外面は剥離している。	白色粒子、赤色粒子を含む。内面は黒褐色、外面は濃褐色。焼成は良好だが二次焼成を受けている。	No. 32
3	土師器	甕	口径 器高 底径	(306) <89> —	口縁部から頸部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ。内面はヘラナデ。取手は粘土塊を押しつけ整形。	白色微粒子、赤色粒子及び雲母を僅かに含む。褐色及び黒色。焼成は良好。	No. 24



4	土師器	甌	口径 器高 底径	(335) <204> (150)	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後、下位は斜横位ヘラケズリ。内面はナデ後ミガキ。取手は確認できない。	白色粒子、赤色粒子を含む。褐色及び黒色。焼成は良好だが二次焼成のため内面が剥離している。	No. 39, 18~20 22, 23, 25
---	-----	---	----------------	-------------------------	--	--	-----------------------------

#### S I - 4 2 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径 器高 底径	(121) <44> (75)	口縁部は横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面は底面から体部中位までミガキ。	白色微粒子、赤色粒子、黒色粒子を含む。明褐色、底部外面は橙褐色。焼成は良好。	No. 10
2	土師器	坏	口径 器高 底径	121 41 75	口縁部は横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後ミガキ風ナデ。内面は底面から体部中位までのミガキは密で、口縁部近くは粗い。	白色粒子、赤色粒子を含む。内外面とも橙褐色。焼成は良好。外面にスス付着。	No. 39, 40, 42
3	土師器	坏	口径 器高 底径	128 40 78	ロクロ整形。底部は静止糸切り後、周縁部を回転ヘラケズリ。体部下端は回転ヘラケズリ。	赤色粒子、白色粒子を含む。褐色。焼成は良好。	No. 11

#### S I - 4 3 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	底部片 器高 底径	— — —	非ロクロ整形。底部外面はヘラケズリ後ミガキ。内面はミガキ。	白色微粒子を僅かに含む。淡褐色。焼成は良好。	括1 底部外面に墨書
2	鉄製品	鎌	長さ<59>mm, 幅9mm, 背幅2mm。				一括
3	鉄製品	馬具	長さ<143>mm, 幅50mm, 厚さ4×4mm, 4.5×6mm, 4×6mm, 8×7mm。				No. 1

#### S I - 4 4 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径 器高 底径	132 40 82	口縁部は横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後ナデ風ミガキ。内面はナデ後ミガキ。	白色粒を含む。黒褐色。焼成は良好で硬質。	No. 5
2	土師器	坏	口径 器高 底径	129 37 67	口縁部横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後ナデ風ミガキ。内面はナデ仕上げ後体部下位から底面にミガキ。身込み部分は巾の狭いミガキ。	赤色粒子、黒色粒子を含む。明褐色。焼成は良好。	No. 12, 13, 15 体部外面に墨書「神」
3	土師器	甕	口径 器高 底径	200 <100> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後ヘラナデ。胴部内面はヘラナデ後ナデ。剥離が著しい。	白色粒を含む。赤褐色、一部黒褐色。焼成は不良。	No. 17, 18, 20
4	土師器	甕	口径 器高 底径	(210) <103> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。胴部内面は横位ヘラナデ後ナデ。口縁端部はつまみ出される。	白色粒子、赤色粒子を含む。明褐色。焼成は不良。	No. 6
5	土師器	甕	口径 器高 底径	(220) <96> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位及び斜位ヘラケズリ。内面は横位ヘラナデ後ナデ。口縁端部はつまみ出される。	白色粒を含む。暗褐色。焼成は良好。	No. 19カマド
6	土師器	甕	口径 器高 底径	240 <53> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後ミガキ。胴部内面は剥離が著しく調整は不明。口縁端部は凸状につまみ出される。	黒色粒子、赤色粒子を含む。赤褐色。焼成は不良。	No. 15
7	土師器	甕	口径 器高 底径	(220) <75> —	口縁部は横ナデ。頸部外面から胴部は縦位ヘラケズリ後、斜位ヘラケズリ。胴部内面はヘラナデ後ナデ。	白色粒、赤色粒を含む。褐色。焼成は不良。	括1
8	土師器	甌	口径 器高 底径	(262) <50> —	口縁部は横ナデ。胴部外面はヘラケズリ。胴部内面はナデ。取手は粘土塊を貼り付け指ナデ。	白色粒を含む。内面は褐色、外面は黒褐色。焼成は良好。	No. 4, 16
9	須恵器	盤	口径 器高 底径	(370) <41> —	ロクロ整形。体部外面は回転ヘラケズリ。口縁端部は凹面の受け部状になる。	大粒の長石、石英を多く含むが雲母は含まれない。淡灰色。焼成は良好。	No. 4, 5F75-8 常陸産
10	土製品	土玉	径22×23mm, 厚さ21mm, 重さ9.15g。				No. 18
11	土製品	土玉	径24×23mm, 厚さ24mm, 重さ11.92g。全面丁寧なミガキ。				No. 1
12	鉄製品	鎌	長さ<96mm>, 幅24mm, 背幅2mm, 幅27mm, 背幅2mm。				No. 3
13	磔		長さ73mm, 幅39mm, 厚さ32mm, 重さ114.9g。				No. 2
14	磔		長さ35mm, 幅26mm, 厚さ16mm, 重さ19.4g。				括2
15	磔		長さ55mm, 幅34mm, 厚さ22mm, 重さ35.2g。				括3
16	磔		長さ54mm, 幅43mm, 厚さ32mm, 重さ81.3g。				No. 9
17	土製品	支脚	高さ<95>mm。				No. 10

#### S I - 4 5 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	弥生土器	壺	口径 器高	101 <101>	口縁部から頸部は刷毛調整。頸部に単節LRが施文される。	白色粒子、赤色粒子を含む。暗褐色。焼成は良好。	No. 1

#### S I - 4 6 A 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径 器高 丸平底	(136) 33	口縁部横ナデ。体部から底部にかけヘラケズリ後ミガキ。内面は体部中位から底部にかけて丁寧なミガキ。	小砂利を含む。内外面暗褐色、一部黒褐色。焼成は良好で硬質。	No. 50



2	土師器	坏	口径 器高 底径	133 33 88	口縁部は横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はミガキ。内外面とも漆による黒色処理か。	赤色粒を含む。素地は淡褐色。焼成は良好。	No. 32
3	土師器	坏	口径 器高 底径	142 37 98	口縁部は横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はミガキ。内外面とも漆仕上げによる黒色処理。	赤色粒を含む。素地は淡褐色。焼成は良好。二次焼成を受けている。	No. 13
4	土師器	坏	口径 器高 底径	137 37 86	ロクロ整形。底部は静止糸切り後、井桁状の全面手持ちヘラケズリ。内外面とも赤彩される。	小砂利を含む。素地は淡黄褐色。焼成は良好で硬質。	No. 50
5	土師器	甕	口径 器高 底径	— <16> 64	外面は胴部から底部にかけヘラケズリ。内面は剥離が著しく調整不明。	赤色粒子と白色粒子を含む。暗褐色。焼成は良好。二次焼成を受けている。	No. 31
6	土師器	甕	口径 器高 底径	— <33> (74)	外面は胴部から底部にかけヘラケズリ。胴部内面は縦位ナデ。	小砂利を多く含む。褐色。焼成は良好で硬質。	No. 53
7	土師器	甕	口径 器高 底径	— <66> (92)	外面は不定方向のヘラケズリ。内面は縦位ヘラナデ。	赤色粒子、小砂利を含む。濃茶褐色。焼成は良好。	No. 18
8	土師器	埴	口径 器高 底径	(112) <49> —	口縁部ナデ後ミガキ。内外面とも赤彩される。	白色粒子、赤色粒子を僅かに含む。素地は淡黄褐色。焼成は良好。	No. 41 古墳時代前期
9	土師器	甕	口径 器高 底径	— <20> 66	胴部外面はハケ調整。胴部内面はヘラナデ。底部周縁は凸状になる。底部に木葉痕。	白色粒子を多く含む。内面は濃褐色、外面は淡褐色。焼成は良好。	No. 39 古墳時代前期
10	土師器	甕	口径 器高 底径	186 <78> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。胴部内面はヘラナデ後ナデ。口縁端部は短くつまみ出される。	小砂利を含む。暗褐色、一部黒褐色。焼成は良好で硬質。	No. 6, 19, 29, 30
11	土師器	甕	口径 器高 底径	194 <84> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後斜位ヘラケズリ。胴部内面はヘラナデ後ナデ。口縁端部は突起状につまみ出される。	小砂利、赤色粒を含む。濃褐色。焼成は良好。	No. 3, 8, 12, 16, 22~24 27, 28, 38
12	土師器	甕	口径 器高 底径	— <56> (108)	胴部外面は斜横位ヘラケズリ。胴部内面はヘラケズリ後ナデ。	小砂利、赤色粒を多く含む。内面は濃褐色、外面は淡褐色。焼成は良好で硬質。	No. 49
13	土師器	甕	口径 器高 底径 胴最大径	162 165 (87) 170	口縁部は横ナデ。胴部外面はヘラケズリ後ナデ風ミガキ。胴部内面はナデ。口縁部は直線的に外反し、口縁端部は短くつまみ出される。	赤色粒、石英を含む。淡褐色、胴部外面は一部黒色。	No. 2, 9, 10, 11, 14, 17, 18, 20, 2 1, 25
14	石器	石皿	長さ38mm, 幅25mm, 厚さ20mm, 重さ10.1g。				No. 1

#### S I - 4 7 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径 器高 底径	(125) 42 74	ロクロ整形。底部は回転糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	白色粒を含む。赤褐色。焼成は良好。	No. 5, 79, 80 体部内外面に墨書「田」
2	土師器	坏	口径 器高 底径	— <14> 84	ロクロ整形。底部は回転糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	砂粒を含む。黒褐色。焼成は良好。	No. 64, 一括
3	土師器	坏	口径 器高 底径	(118) 38 70	ロクロ整形。底部は回転糸切り後、全面手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。内面はカーボン吸着による黒色処理。	白色粒を含む。外面は淡褐色内面は黒色。焼成は良好。	No. 76
4	土師器	坏	口径 器高 底径	(159) 36 56	ロクロ整形。底部は回転糸切り後、全面手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。内面はカーボン吸着による黒色処理。	赤色粒を含む。外面は赤褐色、内面は黒色。焼成は良好。	No. 70
5	土師器	坏	口径 器高 底径	— <19> 64	ロクロ整形。底部は回転糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。内面はカーボン吸着による黒色処理。	白色粒を含む。外面は赤褐色、内面は黒色。焼成は良好。	No. 72
6	土師器	坏	口径 器高 底径	— <8> 72	ロクロ整形。底部は回転糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。内面はカーボン吸着による黒色処理。	細かな砂と白色粒を含む。内外面とも黒色。焼成は良好。	No. 77
7	土師器	坏	口径 器高 底径	— <12> 69	ロクロ整形。底部は回転糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。内面はカーボン吸着による黒色処理。	白色粒を含む。外面は暗褐色、内面は黒色。焼成は良好。	No. 63
8	土師器	甕	口径 器高 胴最大径	(134) <88> 144	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後、下位は斜位ヘラケズリ。内面はヘラナデ後ナデ。口縁端部はつまみ出される。	白色粒を含む。外面は黒褐色、内面は茶褐色。焼成は良好。	No. 97
9	土師器	甕	口径 器高 底径	(190) <62> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。内面はヘラナデ後ナデ。口縁端部は鋭くつまみ出される。	白色粒を含む。外面は黒褐色、内面は赤褐色。焼成は良好。	No. 81
10	土師器	甕	口径 器高 底径	(190) <63> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ。内面はヘラナデ後ナデ。口縁部はつまみ出される。	赤色粒、白色粒を含む。黒褐色。焼成は良好。	カマド No. 103
11	土師器	甕	口径 器高 底径	(180) <75> —	外面は口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラナデ後ナデ。口縁端部は長くつまみ出される。	白色粒を含む。外面は茶褐色、内面は茶褐色、黒褐色。焼成は良好。	カマド No. 108

12	土師器	甕	口径 器高 底径	(180) <88> —	外面は口縁部横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。内面はヘラナデ後ナデ。口縁端部は鋭く長くつまみ出される。	砂を多く含む。茶褐色。焼成は良好。	カト' No. 104
13	土師器	甕	口径 器高 底径	(219) <64> —	外面は口縁部横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラナデ後ナデ。口縁端部は鋭くつまみ出される。	赤色粒、白色粒を含む。褐色。焼成は良好。	カト' No. 105
14	土師器	甕	口径 器高 底径	213 <89> —	外面は口縁部横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ後ナデ。内面はヘラナデ後ナデ。口縁端部は長くつまみ出される。	赤色粒、白色粒を含む。赤褐色。焼成は良好。	No. 109, 110
15	土師器	甕	口径 器高 底径	— <99> 84	胴部外面は斜位ヘラケズリ。内面は剥離が著しく調整不明。	赤色粒、白色粒を含む。赤褐色。焼成は良好。	No. 106, 111
16	土師器	甕	口径 器高 底径	— <48> 70	胴部外面は斜位ヘラケズリ。内面は指によるナデ。	白色粒を含む。黒褐色。焼成は良好。	No. 96
17	石器	砥石	長さ57mm, 幅31mm, 厚さ19mm, 重さ47.3g。				No. 92

S I - 4 8 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径 器高 丸底	130 32	体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はナデ後ミガキ。薄手で軽い。	白色粒、赤色粒、黒色粒を含む。明褐色。焼成は良好。	No. 9
2	土師器	坏	口径 器高 底径	146 39 60	体部から底部はヘラケズリ後、ナデ風ミガキ。内面は巾広のナデ後ミガキ。底部は削り出される。	白色粒、赤色粒を含む。明褐色。焼成は良好。	No. 12
3	土師器	坏	口径 器高 底径	152 36 91	体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はミガキ。底面が剥離している。	黒色粒を含む。淡褐色。焼成は良好。	No. 10
4	土師器	坏	口径 器高 丸底	139 32	体部から底部はヘラケズリ後ナデ風ミガキ。内面はミガキ。内外面とも剥離が著しい。	白色粒、黒色粒、赤色粒を含む。外面は褐色、内面は暗褐色。焼成は不良。	No. 2
5	土師器	坏	口径 器高 丸底	(154) 37	体部から底部は巾広のヘラケズリ後ミガキ。内面はミガキ。内外面とも剥離が著しい。	砂を多く含む粗い。外面は橙色、内面は淡灰褐色。焼成は良好。	No. 13
6	土師器	坏	口径 器高 底径	154 35 —	体部から底部は巾広のヘラケズリ後ミガキ。内面はナデ後ミガキ。	白色粒を含む。赤褐色。焼成は良好。	No. 11
7	土師器	坏	口径 器高 丸底	— <20>	体部から底部はヘラケズリ。内面はナデ。内面は赤彩される。	白色粒、黒色粒を含む。内面は赤褐色、外面は褐色。焼成は良好。	No. 18
8	土師器	碗	口径 器高 底径	93 45 65	体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はナデ後ミガキ。口縁部はつまみ出され内湾する。	白色粒、赤色粒を含む。褐色。焼成は良好。	No. 8
9	土師器	甕	口径 器高 胴部径	200 <105> <242>	口縁部横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ後ミガキ風ナデ。内面は剥離が著しく調整不明。口縁端部は両端が短くつまみ出される。	白色粒を含む。茶褐色。焼成は不良。	No. 6, 7, カト' No. 20
10	土師器	甕	口径 器高 胴部径	(179) <108> <280>	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラナデ後ナデ。	白色粒を含む。明褐色。焼成は良好。	No. 5, 6
11	石器	砥石	長さ110mm, 幅81mm, 厚さ23mm, 重さ178.7g。				No. 17
12	石器	砥石	長さ66mm, 幅50mm, 厚さ23mm, 重さ91.4g。				No. 14
13	甕		長さ69mm, 幅41mm, 厚さ19mm, 重さ66.9g。				No. 15
14	青銅製品	帯金具?	長さ24mm, 幅6mm, 厚さ5mm, 重さ6.18g。				No. 16

S I - 4 9 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径 器高 底径	130 38 83	体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はミガキ。底部内面は単一方向のミガキ。	黒色粒を含む。明褐色。焼成は良好。	No. 12, 17
2	土師器	坏	口径 器高 丸底	136 34	体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面は丁寧なミガキ。内外面とも剥離する。	白色粒子、赤色粒を含む。褐色。焼成は良好。	No. 16, 18
3	土師器	坏	口径 器高 丸底	133 36	体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面は粗く雑なミガキ。	黒色粒、赤色粒、白色粒子を含む。明褐色。焼成は良好。	No. 2
4	土師器	坏	口径 器高 底径	133 38 73	体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。剥離が著しい。内面はナデ。	赤色粒子と白色粒子を含む。外面は乳褐色、内面は橙褐色。焼成は良好。	No. 19
5	土師器	坏	口径 器高 丸平底	(140) 35	体部から底部はヘラケズリ後丁寧なミガキ。内面の身込み部分はループ状、口縁部は斜位のミガキ。	砂を多量に含む。淡褐色。焼成は良好で硬質。	No. 24
6	土師器	坏	口径 器高 底径	138 41 80	ロクロ整形。底部は全面多方向の手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	赤色粒子、黒色粒子を含む。外面は橙褐色、内面は乳褐色。焼成は良好。	No. 20



7	土師器	坏	口径 器高 底径	(120) 40 80	ロクロ整形。底部は静止糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。内外面とも赤彩される。	白色微粒子、赤色粒子を僅かに含む。素地は淡黄褐色。焼成は良好。	括4
8	土師器	碗	口径 器高 底径	(152) <58> (93)	体部外面はヘラケズリ後ミガキ、内面はミガキ。内外面ともカーボン吸着による黒色処理。	緻密で白色微粒子を僅かに含む。茶褐色。焼成は良好で硬質。	No. 9
9	須恵器	坏	口径 器高 底径	(130) 39 (76)	ロクロ整形。底部はヘラ切り後、全面回転ヘラケズリ。体部下端は回転ヘラケズリ。	白色粒を含む。灰色。焼成は良好で軟質。	括1 常陸産
10	須恵器	蓋	口径 器高 底径	200 41 —	ロクロ整形。天井部は回転ヘラケズリ。口縁端部は短くつまみ出される。	緻密だが白色粒を多く含む。灰色。焼成は良好で硬質。	No. 8, 11, 15 外面に刻書「大」稲敷産?
11	土師器	甕	口径 器高 底径	137 <83> (144)	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ。胴部内面は剥離が著しく調整は不明。	白色粒子、赤色粒を含む。外面は黒褐色、内面は黄褐色、口縁部は黒褐色。焼成は良好。	No. 22
12	土師器	甕	口径 器高 底径	220 <55> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。内面は剥離が著しい。口縁部はくの字状に外反する。	白色粒子、赤色粒を含む。褐色。焼成は良好。	No. 21, 23, 28
13	土師器	甕	口径 器高 底径	— <90> 85	胴部外面は斜位ヘラケズリ。内面は剥離が著しく調整は不明。	白色粒子、透明粒子を含む。外面は褐色、内面は黒褐色。焼成は良好。	括9
14	鉄製品	鎌	長さ<129>mm, 幅26.5mm, 背幅2.5mm。				No. 13, 14
15	鉄製品	刀子	長さ<79mm>, 幅8mm, 背幅6mm, 幅7mm, 背幅5mm。				No. 6

### SI-50 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径 器高 底径	122 41 62	ロクロ整形。底部は全面手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	赤色粒、白色粒を含む。淡黄褐色。焼成は良好。	No. 1 体部外面に墨書「新」
2	土師器	甕	口径 器高 底径	221 <224> —	口縁部は横ナデ。胴部は縦位ヘラケズリ後、下半部を斜位ヘラケズリ。内面はヘラナデ後ナデ。	砂を多く含む。白色粒が目立つ。茶褐色。焼成は良好。	No. 4, 6, 20, 21
3	土師器	甕	口径 器高 底径	298 251 104	口縁部は横ナデ。胴部は縦位ヘラケズリ後、下半部を斜位ヘラケズリ。内面はヘラナデ後ナデ。口縁端部は長くつまみ出され外反する。	砂を多く含む。白色粒が目立つ。茶褐色。焼成は良好。	No. 2, 3, 4, 6, 12~15, 17, 18, 24, 28, 33, 一括, 77ト一括
4	鉄製品	鎌	長さ<101>mm, 幅19mm, 背幅2mm, 幅14mm, 背幅2mm。				No. 5

### SI-51 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径 器高 底径	112 <33> —	口縁部は横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後、ミガキ。内面はミガキ。	白色粒を含む。明褐色。焼成は良好。	No. 1

### SI-52 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径 器高 底径	150 <43> —	体部から底部はヘラケズリ後粗いミガキ。内面はミガキ。	黒色粒、白色粒を含む。外面は褐色、内面は灰色。焼成は良好。	南西一括
2	土師器	坏	口径 器高 底径	(160) <35> —	体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面は丁寧なミガキ。全体に薄手の仕上げで、内面は漆仕上げか。	白色微粒子を含む。外面は黒褐色、内面は赤褐色。焼成は良好。	括1

### SI-53A 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径 器高 底径	112 38 68	口縁部は横ナデ。体部から底部はヘラケズリ。内面はナデ仕上げ。	白色粒を含む。黒褐色。焼成は良好。	括
2	土師器	甕	口径 器高 底径	(150) <20> —	口縁部は横ナデ。口縁端部はつまみ出される。	白色粒を含む。明褐色。焼成は良好。	
3	土師器	甕	口径 器高 底径	(220) <101> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は頸部中位から縦位ヘラケズリ後、斜位ヘラケズリ。内面はヘラナデ後ナデ。	白色粒、黒色粒、赤色粒を含む。赤褐色。焼成は良好。	No. 1, 3, 4, 5
4	鉄製品	鉢	長さ<60>mm, 厚さ4×4mm。				No. 6

### SI-53B 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	炭化種子		長さ23mm, 幅20mm, 厚さ13mm, 重さ1.80g				

### SI-55 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径 器高 底径	137 35 91	ロクロ整形。底部は静止糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。内面はミガキ。	白色粒子、赤色粒を含む。明褐色。焼成は良好。	No. 5 底部外面に墨書

2	土師器	小型甕	口径 器高 底径	97 71 60	口縁部は横ナデ。胴部は横位ヘラケズリ後、斜位ヘラケズリ。内面はヘラナデ。	白色粒子を含む。外面は褐色、内面は橙褐色。焼成は良好。	No. 6
3	土師器	甕	口径 器高 底径	— <37> 86	胴部外面は斜位ヘラケズリ。内面はヘラナデ後ナデ。剥離が著しい。	白色微粒子、赤色微粒子を含む。灰褐色。焼成は良好。	ｶﾞﾄ'No. 7-1
4	土師器	甕	口径 器高 底径	— <63> 88	胴部外面は斜位ヘラケズリ。内面はヘラナデ後ナデ。底部外面は多方向のヘラケズリで、やや突出する。	白色粒子、赤色粒子を含む。暗褐色。焼成は良好。	ｶﾞﾄ'No. 7-2
5	石製品	管玉	滑石製。径7×6mm,長さ15mm,重さ1.09g。未製品。				

S I - 5 6 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	甕	口径 器高 底径	— <38> 90	胴部から底部はヘラケズリされるが、ナデによって調整痕は消えている。内面は剥離が著しく調整不明。	赤色粒を含む。外面は濃茶褐色、内面は褐色。焼成は良好。	No. 4, 5
2	礎		長さ46mm,幅50mm,厚さ22mm,重さ48.5g。			No. 14	
3	石器	砥石	長さ156mm,幅90mm,厚さ51mm,重さ1193.4g。			No. 11	

S I - 5 7 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径 器高 丸底	148 30	体部から底部はヘラケズリ後ナデ風ミガキ。内面はミガキだが、剥離が著しい。	砂を多く含む、白色粒子が目立つ。褐色。焼成は良好。	No. 26, 28, 32
2	土師器	坏	口径 器高 丸底	148 34	体部から底部はヘラケズリ後丁寧なミガキ。外面はヘラミガキ。内面は丁寧なミガキ。	緻密だが赤色粒子を含む。淡褐色。焼成は良好。	No. 55
3	土師器	坏	口径 器高 底径	(152) <35> —	体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はミガキ。	白色粒子を含む。褐色。焼成は良好。	No. 20, 22
4	土師器	碗	口径 器高 底径	(180) <52> —	体部外面はヘラケズリ後、粗いミガキ。内面は丁寧なミガキ。	白色粒微子を含む。淡褐色。焼成は良好。	No. 29, ｶﾞﾄ'括
5	須恵器	蓋	口径 器高 底径	(158) <13> —	天井部は回転ヘラケズリ。口縁端部は反り気味になり、内面の返りは丸く短い。	長石、石英、銀雲母を多量に含む。焼成は良好だが軟質。	ｶﾞﾄ'括 常陸新治産
6	土師器	甕	口径 器高 底径	— <32> 92	胴部外面から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はナデ。底部は丸みをもち突出する。	砂を多く含む。茶褐色。焼成は良好で硬質。	No. 36, 37
7	土師器	甕	口径 器高 底径	(202) <56> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は頸部下方から斜位ヘラケズリ。内面はヘラナデ後ナデ。	砂を多く含む。褐色。焼成は不良。	No. 46
8	土師器	甕	口径 器高 底径	(210) <50> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は頸下方から斜位ヘラケズリ。内面はヘラナデ後ナデ。口縁端部は短くつまみ出され、側面が凹面状になる。	砂を多く含む。茶褐色。焼成は不良。	No. 35, 一括
9	土師器	坏	底部片 器高 底径	— — —	非ロクロ成形。底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はミガキ。	緻密で白色粒子、赤色粒子を僅かに含む。淡黄褐色。焼成は良好で硬質。	括1 底部外面に線刻
10	石器	石斧	長さ107mm,幅66mm,厚さ31mm,重さ355.4g。			No. 54	
11	土製品	支脚	径53×61mm,高さ<119>mm。			No. 39	
12	鉄製品	鎌	長さ148mm,幅18mm,背幅3mm,幅30mm,背幅3mm。			No. 50	
13	琥珀	未製品	長さ13mm,幅11mm,重さ0.59g。			No. 8	
14	炭化種子		長さ19mm,幅18mm,厚さ16mm,重さ1.52g。			No. 1	
15	炭化種子		長さ22mm,幅16mm,厚さ13mm,重さ1.62g。			No. 38	
16	炭化種子		長さ11mm,幅6mm,厚さ0.10g。			No. 5	
17	炭化種子		長さ8mm,幅7mm,厚さ6mm,重さ0.10g。			No. 6	
18	炭化種子		長さ10mm,幅8mm,厚さ7mm,重さ0.11g。			No. 9	

S I - 5 8 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径 器高 底径	114 41 66	ロクロ整形。底部は全面手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	白色粒子、赤色粒子を含む。褐色。焼成は良好。	No. 21
2	土師器	坏	口径 器高 底径	(138) <39> 69	体部から底部外面はヘラケズリ後、巾が狭くまばらなミガキ。内面はナデ後ミガキ。底面と身込み部分で密になる。	白色粒、赤色粒を含む。赤褐色。焼成は良好。	No. 51
3	土師器	坏	底部片 器高 底径	<10> (76)	ロクロ整形。底部は回転系切り後、全面手持ちヘラケズリ。体部下端は未調整。	砂を多く含む、白色粒子が目立つ。淡褐色。焼成は良好。	括2 底部外面に線刻「×」
4	土師器	高台付坏	底部片 器高 底径	— — —	ロクロ成形。底部は静止系切り後、全面回転ヘラケズリ。高台は剥離している。内面は二次焼成を受けてか剥離している。	砂を多く含む、白色粒子が目立つ。暗褐色。焼成は良好。	括4 底部外面に線刻「×」
5	土師器	坏	底部片 器高 底径	— — —	ロクロ成形。底部は全面手持ちヘラケズリ。	赤色微粒子を僅かに含む。黒褐色。焼成は良好。	括3 底部外面に線刻「×」



6	土師器	坏	口径 器高 底径	— — —	非ロクロ成形。底部外面はヘラケズリ後ミガキ。内面はミガキ。	緻密で白色微粒子、赤色粒子を僅かに含む。	括3 底部外面に墨書「西？」
7	須恵器	高坏	口径 器高 底径	160 <80> —	ロクロ整形。体部下端は回転ヘラケズリ。体部は直線的に延び、口縁部は短くつまみだされ、内面に沈線状の凹部が1条巡る。	白色粒を含む。明褐色。焼成は良好。酸化焰焼成。	A, B No. 6
8	土師器	甕	口径 器高 底径	194 <66> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。内面はヘラナデ後ナデ。口縁部は外反気味につまみ出される。	白色粒を含む。赤褐色。焼成は良好。	括1
9	土師器	甕	口径 器高 底径	(204) <84> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は頸部から縦位ヘラケズリ。内面は指頭整形後ナデ。口縁部は僅かにつまみ出される。	白色粒、赤色粒を含む。明褐色。焼成は良好。	括2, カマ <sup>1</sup> 一括
10	土師器	甕	口径 器高 底径	(220) <72> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。内面はヘラナデ後ナデ。口縁部は僅かにつまみ出される。	白色粒、赤色粒を含む。外面は褐色、内面は明褐色。焼成は良好。	No. 12, 24, 34
11	土師器	甕	口径 器高 胴最大径	(220) <158> (212)	口縁部は横ナデ。胴部外面はヘラケズリ後、斜位ヘラケズリ。内面はヘラナデ後ナデ。口縁部は短くつまみ出される。	白色粒、赤色粒を含む。茶褐色。焼成は良好。	No. 7, 13, 25, 27, 30
12	土師器	甕	口径 器高 底径	— <203> 110	胴部外面は縦位ヘラケズリ後、一部斜横位ヘラケズリ。胴部内面はナデ後、縦位のミガキ。孔部はヘラケズリ。	白色粒、赤色粒を含む。褐色。焼成は良好。	No. 46-3, 50
13	土師器	甕	口径 器高 胴最大径	228 <220> 228	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後ナデ。胴部内面はナデ。口縁部は短くつまみ出される。	白色粒、赤色粒を含む。褐色。焼成は良好。	No. 46-2, 53 同一個体 No. 43, 46, 49
14	土師器	甕	口径 器高 胴最大径	308 <192> 280	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後、下半は斜位ヘラケズリ。内面はヘラナデ後ナデ。口縁部は短いが強くつまみ出される。	白色粒、赤色粒を含む。明褐色。焼成は良好。	No. 46-1
15	石製品	紡錘車	径46×46mm, 厚さ18mm, 重さ61.42g。側面に刻書「大」。				No. 48

SI-59 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径 器高 底径	114 40 60	ロクロ整形。底部は回転系切り後、周縁部を回転ヘラケズリ。体部下端は回転ヘラケズリ。	細かな砂を多く含む。黄褐色。焼成は良好。	No. 16, 26, 一括
2	土師器	坏	口径 器高 底径	(136) <37> 86	ロクロ整形。底部は回転系切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	赤色粒、白色粒子を含む。褐色。焼成は良好。	No. 35
3	土師器	坏	口径 器高 底径	(120) <35> 66	ロクロ整形。底部は回転系切り後、全面手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	赤色粒を含む。赤褐色。焼成は良好。	No. 7, 22
4	土師器	坏	口径 器高 底径	— <33> 57	ロクロ整形。底部は回転系切り後、未調整。体部下端は未調整。	砂を多く含む。黄褐色。焼成は良好。	No. 37 底部外面に墨書「□家？」
5	土師器	坏	口径 器高 底径	— <12> 78	ロクロ整形。底部は回転系切り後、全面手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	小砂利を多く含み、大粒の赤色粒子が目立つ。赤褐色。焼成は良好。	括1 底部外面に線刻「×」
6	土師器	坏	口径 器高 底径	— — —	ロクロ成形。底部は回転系切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。	緻密で白色微粒子、赤色微粒子を多く含む。淡黄褐色。焼成は良好。	括3 底部外面に墨書
7	土師器	甕	口径 器高 胴最大径	(173) <114> 178	口縁部横ナデ。胴部外面縦位ヘラケズリ後、下半部を斜横位ヘラケズリ。内面ヘラナデ後ナデ。	砂を含む。赤褐色。焼成は良好。	No. 43, 44, カマ <sup>1</sup> No. 51, 52
8	土師器	甕	口径 器高 底径	(220) <64> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。内面はヘラナデ後ナデ。口縁部は長く外反してつまみ出される。	砂を含む。茶褐色。焼成は良好。	No. 36
9	土師器	甕	口径 器高 底径	(197) <74> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。胴部内面はヘラナデ後ナデ。頸部内面は横位ヘラケズリ。	砂を含む。褐色。焼成は良好。	No. 15, 23, 29, 31, 33, 42, 一括
10	土師器	甕	口径 器高 底径	(260) <170> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後、下半部斜位ヘラケズリ。口縁部は長く外反気味につまみ出される。	赤色粒を含む。橙褐色。焼成は良好。	No. 28, 41, カマ <sup>1</sup> No. 54, 55
11	礫		長さ79mm, 幅69mm, 厚さ28mm, 重さ138.8g。			No. 14	
12	石器	砥石	長さ51mm, 幅49mm, 厚さ27mm, 重さ95.2g。			No. 17	
13	石器	砥石	長さ36mm, 幅38mm, 厚さ38mm, 重さ60.0g。			No. 17	
14	石器	砥石	長さ49mm, 幅41mm, 厚さ20mm, 重さ30.6g。			No. 4	
15	鉄製品	刀子	長さ<76>mm, 幅9mm, 背幅3mm, 幅11mm, 背幅4mm。			No. 45	

SI-60 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径 器高 底径	144 32 —	体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はミガキ。口縁部は鋭くつまみ出される。	白色粒子、赤色粒子を含む。明褐色。焼成は良好。	SI-60B
2	土師器	坏	口径 器高 丸底	141 38 —	体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面のミガキは雑である。	白色粒子、黒色粒を含む。外面は明褐色、内面は黄褐色。焼成は良好。	No. 8, 9



3	土師器	坏	口径 器高 底径	134 36 95	口縁部は横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はミガキ。内外面とも赤彩される。	白色粒子、透明粒子を含む。淡褐色。焼成は良好。	No. 19, 20
4	土師器	坏	口径 器高 底径	150 33 61	体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はミガキ。	白色粒子、赤色粒、黒色粒を含む。黄褐色。焼成は良好。	No. 17 底部外面に墨書「十」
5	須恵器	坏	口径 器高 底径	128 40 92	ロクロ整形。底部はヘラ切り後、全面単一方向の手持ちヘラケズリ。体部下端は未調整。	白色粒子を多く含む。青灰色。焼成は良好。	No. 22, 新治産
6	須恵器	坏	口径 器高 底径	144 48 95	ロクロ整形。底部は回転ヘラケズリの2度切り。体部下端は回転ヘラケズリ。	白色粒、雲母を含む。明灰色。焼成は良好。	No. 16, 底部 外面に線刻「×」新治産
7	土師器	甕	口径 器高 底径	164 <76> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラナデ後ナデ。	白色粒子を含む。褐色、黒褐色。焼成は良好。	No. 21
8	土師器	甕	口径 器高 底径	<52> 97 —	胴部外面は斜位ヘラケズリ後ミガキ。胴部内面はヘラナデ後ナデ。	白色・黒色・赤色粒子を含む。外面は橙褐色及び黒褐色。内面は褐色。	No. 4, SI-60B
9	土師器	甕	口径 器高 底径	<354> <52> 97	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。胴部内面はヘラナデ後ナデ。	白色粒子、黒色粒を含む。外面は黄褐色及び褐色。内面は褐色。	No. 14, P1, 3, 4, 5
10	石器	砥石	長さ	80mm, 幅55mm, 厚さ36mm, 重さ188.3g。			No. 7

### SI-61 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	土師器	坏	口径 (130) 器高 <33> 丸平底 (77)	体部から底部はヘラケズリ後ナデ風ミガキ。内面は巾広のミガキ。軽い。	砂を含む。褐色及び茶褐色。焼成は良好。	No. 6
2	土師器	坏	口径 (148) 器高 30 底径 —	体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はナデ仕上げ。口縁部内面に沈線状の凹面。	白色粒、赤色粒子を含む。淡褐色。焼成は良好。	SI-61B括1
3	土師器	坏	口径 (148) 器高 33 丸底	体部から底部はヘラケズリ後、上半部は巾の狭いミガキ。体部内面は全面丁寧なミガキだが、剥離が著しい。口縁部に幾分沈線状の凹面。	白色粒、石英粒を含む。外面は濃茶褐色、内面は褐色。焼成は良好。	No. 5, 括
4	土師器	盤状坏	口径 (144) 器高 34 底径 102	ロクロ整形。底部は静止糸切り後、全面回転ヘラケズリ。体部下端は回転ヘラケズリ。内外面とも赤彩される。	白色粒を含む。内面は全体的にスス附着。焼成は良好。	No. 2, 括
5	須恵器	高台付坏	口径 (144) 器高 44 底径 (90)	ロクロ整形。底部は全面回転ヘラケズリ後、体部下端を回転ヘラケズリ。	白色粒を含む。外面は灰色、内面は淡灰色。	No. 12 常陸産か?
6	須恵器	高台付坏	口径 (136) 器高 32 底径 101	ロクロ整形。底部は全面回転ヘラケズリ。体部下端は回転ヘラケズリ。	在地的な胎土で白色粒子を多量に含みザラつく。外面は黒色、内面は淡黄灰色。焼成は良好。	No. 4, 体部外面に朱書「十」稲敷産
7	土師器	甕	口径 (129) 器高 <71> 底径 —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。胴部内面はナデ。口縁部は鋭いがつまみ出されてはいない。	赤色粒子を含む。褐色。焼成は良好。	No. 14
8	土師器	甕	口径 (310) 器高 (240) 底径 —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後ミガキ。胴部内面はヘラナデ後ナデ。	褐色。焼成は良好。	No. 7~10, 15, 17, 19, 括
9	鉄製品	刀子	長さ<133>mm, 刃部 幅11mm, 背幅2.5mm, 柄部幅14mm, 厚さ8.5mm, 幅6mm, 背幅2mm。			No. 13

### SI-62 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	土製品	支脚	径54×51.5mm, 高さ79mm。			
2	鉄製品	鏝	長さ<72>mm, 厚さ4×4.5mm。			

### SI-63 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	土製品	支脚	幅<66>×<40>mm, 高さ<60>mm。			No. 2

### SI-64 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	土師器	盤状坏	口径 134 器高 40 丸底	ロクロ整形。底部は静止糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。内外面とも赤彩される。	白色粒、赤色粒、灰色粒を含む。赤褐色。焼成は不良。	No. 13, 14 底部外面に刻書「×」
2	土師器	盤状坏	口径 (140) 器高 42 底径 (98)	ロクロ整形。底部は静止糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。内外面とも赤彩される。	砂を多く含む。赤色粒、白色微粒子が目立つ。焼成は良好。	No. 15
3	土師器	坏	口径 — 器高 — 底径 —	非ロクロ整形。体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はミガキ。	白色粒、赤色粒、透明粒を含む。明褐色。焼成は良好。	SI-64c, 底部外面に墨書
4	須恵器	坏	口径 (134) 器高 43 底径 (67)	ロクロ整形。底部は全面回転ヘラケズリ。体部下端は回転ヘラケズリ。	白色微粒子をわずかに含みしつとりして軽い。灰色。焼成は良好。	No. 12 常陸産?

5	須恵器	高台付坏	口径 器高 底径	146 47 94	ロクロ整形。底部は全面回転ヘラケズリ。体部下端は回転ヘラケズリ。	白色粒を多量に含み器面がざらつく。暗灰色。焼成は良好。	No. 20, 29 常陸産
6	土師器	甕	口径 器高 胴最大径	138 <85> 150	口縁部は横ナデ。頸部中位から胴部は縦位ヘラケズリ。内面はヘラナデ後ナデ。	白色粒、赤色粒を含む。赤褐色。焼成は不良。	No. 21
7	土師器	甕	口径 器高 胴最大径	140 <124> 159	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後、下位は斜位ヘラケズリ。内面はヘラナデ後ナデ。口縁部はつまみ出される。	白色粒、赤色粒を含む。黒褐色。焼成は良好。	No. 22, 26, 38
8	土師器	甕	口径 器高 胴最大径	136 <173> 159	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後、下半部は斜位ヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラナデ後ナデ。	白色粒、黒色粒を含む。赤褐色。焼成は良好。	No. 32, 33, 47
9	土師器	甕	口径 器高 胴最大径	200 <172> 201	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラナデ後ナデ。口縁部はつまみ出される。	白色粒、黒色粒を含む。暗褐色。焼成は良好。	No. 16, 39, 44
10	土師器	甕	口径 器高 底径	— <91> 110	胴部外面は斜位ヘラケズリ。内面はヘラナデ後ミガキ。下端は横位ヘラケズリ。	白色粒、赤色粒を含む。明褐色。焼成は良好。	No. 19, 23
11	鉄製品	鉄鏝	長さ<113>mm, 厚さ3.5×5mm, 厚さ3×3.5mm。				No. 8, 10
12	鉄製品	鉋	長さ<71>mm, 幅5mm, 厚さ2.5mm。				No. 3
13	鉄製品	不明	長さ<58>mm, 厚さ4×5mm。				
14	鉄製品	刀子	長さ<31>mm, 幅2.5mm, 背幅6mm。				No. 4
15	石器	砥石	長さ126mm, 幅62mm, 厚さ32mm, 重さ226.1g。				No. 1

### SI-66 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	甕	口径 器高 底径	164 <107> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ後ミガキ。胴部内面はヘラナデ後ナデ。	白色粒子、赤色粒子を含む。赤褐色。焼成は良好。	括1
2	土製品	土玉	径22×22mm, 厚さ18mm, 重さ8.55g。全面丁寧なミガキ。				

### SI-67 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径 器高 底径	122 45 89	ロクロ整形。底部は静止糸切り後、周辺部を手持ちヘラケズリ。体部下端は未調整。	細かな砂と小砂利を含む。外面は灰黄褐色、内面は黒褐色。焼成は良好。	No. 1, 底部外面に墨書「白」

### SI-68 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径 器高 丸底	122 34 34	口縁部は横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後、粗いミガキ。内面はミガキ。口縁部は鋭くつまみ出される。	白色微粒子、赤色微粒子を含む。暗黄褐色。焼成は良好。	No. 6
2	土師器	甕	口径 器高 底径	— <75> 92	胴部外面は縦位ヘラケズリ後、下半部は斜位ヘラケズリ。内面は斜位ケズリ後ミガキ、下端部内面は横ケズリ。	白色微粒子、金雲母を含む。茶褐色。焼成は良好。	No. 2, 3
3	土製品	土玉	径26×24mm, 厚さ19mm, 重さ10.12g。表面は殆ど摩滅。				No. 1

### SI-70 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径 器高 底径	150 36 113	体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面は巾の狭い丁寧なミガキ。内外面とも赤彩される。	粗い砂を含む。素地は淡黄褐色。焼成は良好。	No. 3, 括, 底部外面に焼成前の線刻「一」
2	土師器	坏	口径 器高 底径	(160) <49> (100)	体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面は丁寧なミガキ。	緻密で白色微粒子、赤色微粒子を僅かに含む。淡茶褐色。焼成は良好で硬質。	No. 9
3	土師器	甕	口径 器高 底径	(214) <35> —	口縁部は横ナデ。	砂を含む。淡赤褐色。焼成は良好。	No. 15
4	土師器	坏	底部片		非ロクロ整形。外面はケズリ後ミガキ。内面はミガキ。	緻密だが砂を多く含む。淡黄褐色。焼成は良好。	括1, 底部外面に墨書「○」
5	礫		長さ43mm, 幅38mm, 厚さ22mm, 重さ43.3g。				括2

### SI-71 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径 器高 底径	126 41 63	ロクロ整形。底部は回転糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	赤色粒を含む。淡灰黄褐色。焼成は良好。	No. 2 底部外面に刻書「#」
2	土師器	坏	口径 器高 底径	130 41 70	ロクロ整形。底部は全面手持ちヘラケズリ。体部下端は未調整。	長石、石英を含む。淡灰黄褐色。焼成は良好。	No. 3, 14 底部外面に刻書「×」
3	土師器	坏	口径 器高 底径	(126) <36> —	ロクロ整形。体部下端の調整は不明。	白色微粒子を多く含む。赤褐色。焼成は良好。	No. 11 体部外面に墨書「神国大」



4	土師器	甕	口径器高底径 <110> —	口径部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後、下半部は斜横位ヘラケズリ。胴部内面はヘラナデ後ナデ。口径端部はつまみ出される。	白色粒子、赤色粒を含む。暗褐色。焼成は良好。	No. 1
5	土師器	甕	口径器高底径 <92> —	口径部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。胴部内面はヘラナデ後ナデ。	砂を多く含む。黄褐色。焼成は良好。	No. 16
6	土師器	甕	口径器高底径 (203)<67> —	口径部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。胴部内面はヘラナデ後ナデ。口径部はくの字状に曲折する。	砂を多くと赤色粒子を多く含む。淡黄褐色。焼成は良好。	No. 19
7	鉄製品	鐵	長さ<95>mm, 厚さ4.5×3mm。			No. 12

S I - 7 2 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	土師器	坏	口径器高丸底 108 42	口径部は横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面は丁寧なミガキ。内外面ともカーボン吸着による黒色処理。	緻密で白色微粒子、透明微粒子を僅かに含む。素地は淡黄褐色。焼成は良好で硬質。	No. 1
2	須恵器	蓋	口径器高天井径 (72) (34) <62>	ロクロ整形。天井部は回転ヘラケズリ。蓋としたが坏Aとしても考えられる。	白色角礫粒子を含む。灰黒色。焼成は良好。	No. 9 常陸産
3	土師器	甕	口径器高底径 — <44> 68	胴部外面は縦位ヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラケズリ後ミガキ。	砂を多く含む。黒褐色。焼成は不良。二次焼成を受け剥離が著しい。	No. 3
4	土師器	甕	口径器高胴最大径 (160) <78> (168)	口径部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後、斜位ヘラケズリ。胴部内面はヘラナデ後ナデ。	緻密で砂を多く含む。褐色、橙褐色。焼成は良好で硬質。	No. 6, 7
5	土師器	甕	口径器高底径 (166) <74> —	口径部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後、斜位ヘラケズリ。内面はヘラナデ後ナデ。	砂を多く含む。茶褐色、暗褐色。焼成は不良。二次焼成により内面は剥離。	No. 11
6	土師器	甕	口径器高底径 (166) <56> —	口径部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラナデ後ナデ。	白色粒を多く含む。橙褐色、明褐色。焼成は良好で硬質。	No. 8

S I - 7 3 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	土師器	坏	口径器高底径 (106) <35> —	口径部は横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はミガキ。	白色微粒子、赤色微粒子を含む。明褐色。焼成は良好で硬質。	括2
2	土師器	坏	口径器高丸底 (144) <45>	体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面は丁寧なミガキ。内外面とも剥離が著しい。	緻密で白色粒子を微量含む。内外面とも淡黄褐色。焼成は良好。	No. 11
3	土師器	坏	口径器高丸底 (144) 37	体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面は丁寧なミガキ。底部はケズリ方向を変え、底面を作り出す。	緻密で白色微粒子を僅かに含む。明褐色。焼成は良好。	No. 17
4	土師器	坏	口径器高底径 (148) 39 96	口径部横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面は弧状の丁寧なミガキ。	緻密で白色微粒子、赤色微粒子を僅かに含む。明褐色。焼成は良好。	No. 6 底部内面に線刻「X」
5	土師器	高坏	口径器高底径 (136) <32> —	口径部は横ナデ。体部外面は剥離が著しく調整不明、内面は黒色処理。	砂を多く含む。外面は橙褐色、一部黒色。内面は黒色。焼成は良好。	5F65-13括5
6	土師器	坏	底部片	ロクロ整形。底部は静止糸切りか。周縁部を手持ちヘラケズリ。	緻密で白色微粒子を僅かに含む。淡褐色。焼成は良好。	括11 底部外面に墨書「□片枚」
7	土師器	甕	口径器高底径 (144) <68> —	口径部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後ナデ風ミガキ。内面は斜横位ヘラナデ後ナデ。	小砂利を含む。暗褐色。焼成は良好。	括8
8	土師器	甕	口径器高胴最大径 (164) <80> (170)	口径部は横ナデ。胴部外面は斜位ケズリ。内面は斜位ヘラケズリ。口径部は強くつまみだされ、先端部が細くなる。	小砂利を含む。外面は淡褐色、内面は明褐色。焼成は良好。	No. 1
9	土師器	甕	口径器高底径 167 <61> —	口径部は横ナデ。胴部外面は頸部から縦位ヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラナデ後ナデ。	緻密だが砂を多く含む。黒褐色。焼成は良好。	No. 8, 9, 10
10	土師器	甕	口径器高底径 (302) <70> —	口径部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラナデ後ナデ、更にミガキ。	砂を多く含む透明粒子が目立つ。赤褐色。焼成は良好。	No. 18, 5F65-13
11	土師器	甕	口径器高底径 (298) <92> —	口径部は横ナデ。胴上部に取手痕あり。調整は剥離が著しく不明。	砂を多く含む白色粒子が目立つ。赤褐色。焼成は良好。	No. 22
12	土師器	甕	口径器高底径 — <37> 44	胴部外面は斜位ケズリ後ミガキ。内面は横位ヘラケズリ後ミガキ。底部は木葉痕が残るが、ケズリ後ミガキ。	緻密で白色微粒子を僅かに含む。明褐色。焼成は良好。	No. 15
13	土師器	甕	口径器高底径 — <33> (80)	胴部外面は斜位ヘラケズリ、内面はヘラナデ後ナデ。	砂を多く含む。白色粒子が目立つ。外面は淡褐色、内面は淡黒色。焼成は良好。	括10



SI-74 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	土師器	手捏土器	口径 (60) 器高 41 底径 47	内外面とも指頭及び指痕による成形。	白色粒子を多く含む。淡褐色。焼成は良好。	No. 2

SI-76 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	土師器	坏	口径 (124) 器高 <30> 底径 —	体部から底部はケズリ後雑なミガキ。内面はナデ仕上げ。	緻密で白色微粒子を僅かに含む。橙褐色。焼成は良好で硬質。	No. 1, 括
2	土師器	坏	口径 144 器高 33 丸平底	体部から底部はケズリ後ミガキ。内面は丁寧なミガキ。	緻密で白色微粒子を僅かに含む。茶褐色及び赤褐色。焼成は良好で硬質。	括1
3	鉄製品	鎌	長さ<24>mm, 幅24.5mm, 背幅1mm。			No. 8
4	土製品	土玉	径24×23mm, 厚さ22mm, 重さ13.72g。			No. 2

SI-77 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	土師器	坏	口径 122 器高 41 底径 60	ロクロ整形。底部は回転系切り後、未調整。体部下端は未調整。	砂を多く含む白色粒子が目立つ。明褐色。焼成は良好で軟質。二次焼成を受けて剥離している。	No. 1, ｶｯﾄ*
2	土師器	坏	口径 (123) 器高 36 底径 (53)	ロクロ整形。底部は回転系切り後、未調整。体部下端は未調整。	砂を多く含む白色粒子が目立つ。淡褐色。焼成は良好で軟質。二次焼成を受けて剥離している。	No. 8, ｶｯﾄ*
3	土師器	皿	口径 147 器高 25 底径 70	ロクロ整形。底部は回転系切り後、未調整。体部下端は未調整。口縁部は幾分内湾気味に立ち上がる。	砂を多く含む小砂利が目立つ。暗褐色及び黄褐色。焼成は良好で軟質。二次焼成を受けて剥離している。	No. 3, ｶｯﾄ*
4	土師器	高台付坏	口径 — 器高 <33> 底径 80	ロクロ整形。底部は回転系切り。高台は長く幾分外反する。	砂を多く含む。淡褐色。焼成は良好。	No. 7, ｶｯﾄ*
5	土師器	甕	口径 172 器高 <77> 底径 —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。内面はナデ。口縁部はほぼ水平に屈曲し、口縁端部は垂直に長くつまみ出される。	砂を多く含む。明褐色。焼成は不良。二次焼成を受け剥離している。	No. 4, ｶｯﾄ*

SI-78 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	土師器	坏	口径 (116) 器高 36 底径 70	ロクロ整形。底部は回転系切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。内面の調整は円滑。	緻密で細かな砂を含む。黄褐色。焼成は良好で硬質。	No. 25, SI-79B 括
2	土師器	坏	口径 (122) 器高 35 底径 64	ロクロ整形。底部は回転系切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。内面の調整は円滑。	緻密で細かな砂を含む。褐色及び灰褐色。焼成は良好で硬質。	No. 11, ｶｯﾄ* 括
3	土師器	坏	口径 (116) 器高 36 底径 60	ロクロ整形。底部は全面手持ちヘラケズリ。体部下端は未調整。	砂を多く含む白色粒子が目立つ。黄褐色。焼成は不良で剥離している。	No. 9, 5F85-7
4	土師器	坏	口径 (120) 器高 40 底径 65	ロクロ整形。底部は回転系切り後、全面手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。内面の調整は円滑。	緻密で細かな砂を含む。灰褐色及び橙褐色。焼成は良好で硬質。	No. 35
5	土師器	坏	口径 (122) 器高 37 底径 62	ロクロ整形。底部は回転系切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	緻密で細かな砂を含む。灰褐色。焼成は良好で硬質。	No. 54, 5F85-7
6	土師器	坏	口径 (118) 器高 38 底径 61	ロクロ整形。底部は回転系切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。内面の調整は円滑。	金雲母、大粒の赤色粒子を含む。淡褐色。焼成は良好。	No. 1
7	土師器	坏	口径 118 器高 36 底径 64	ロクロ整形。底部は回転系切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は未調整。	赤色粒、白色粒子を含む。灰褐色。焼成は不良。	No. 32, ｶｯﾄ* 括
8	土師器	坏	口径 (120) 器高 44 底径 63	ロクロ整形。内面は平滑。底部は回転系切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	緻密で細かな砂を含む。淡黄褐色、底部は黒色。焼成は良好で硬質。	No. 14
9	土師器	坏	口径 — 器高 <14> 底径 64	ロクロ整形。底部は回転系切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	緻密で細かな砂を含む。白色針状物を僅かに含む。淡黄褐色。焼成は良好で硬質。	No. 97 底部外面に線刻「×」
10	土師器	坏	口径 — 器高 <21> 底径 (74)	ロクロ整形。底部は回転系切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。内面はカーボン吸着による黒色処理。	金雲母を含む。外面は明橙褐色、内面は黒色。焼成は良好で硬質。	No. 98 体部外面に墨書
11	土師器	坏	口径 (142) 器高 48 底径 69	ロクロ整形。底部回転系切り後周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。内面カーボン吸着による黒色処理。	緻密で小砂利を含む。淡褐色、内面は黒色。焼成は良好で硬質。	No. 50, 85 体部外面に墨書「秀」
12	土師器	坏	口径 123 器高 44 底径 60	非ロクロ整形。口縁部は横ナデ。体部は斜位ヘラケズリ。底部は単一方向のヘラケズリ。内面はナデ仕上げ。	砂を多く含む。白色粒子が目立つ。茶褐色、赤褐色。焼成は不良。	No. 12, 13, ｶｯﾄ* 括

13	須恵器	坏	口径 器高 底径	— <30> 65	ロクロ整形。底部は回転糸切り後、未調整。体部下端は未調整。	緻密だが大粒の白色角礫粒を含む。暗灰色。焼成は良好で硬質。	No. 28, 44 5F85-7 東海産?
14	土師器	甕	口径 器高 底径	(120) <41> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。胴部内面はヘラナデ後ナデ。口縁端部はつまみ出される。	砂を多く含む。白色粒子が目立つ。茶褐色。焼成は良好。	No. 67
15	土師器	甕	口径 器高 底径	125 <50> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。胴部内面はヘラナデ後ナデ。口縁端部はつまみ出され外反する。	砂を多く含む。赤色粒子が目立つ。赤褐色、茶褐色。焼成は良好。	No. 27, 34, 76, 床上括
16	土師器	甕	口径 器高 底径	(134) <68> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は連続する縦位ヘラケズリ。胴部内面はヘラナデ後ナデ。口縁端部つまみ出される。	砂を多く含む白色粒子と赤色粒子が目立つ。茶褐色。焼成は良好。	No. 62, 83, 86
17	土師器	甕	口径 器高 底径	166 <62> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ後ナデ風ミガキ。内面はヘラナデ後ナデ。口縁端部はつまみ出されるが丸みをもつ。	砂を多く含む。白色粒子が目立つ。茶褐色、黒褐色。焼成は良好。	No. 2, 3, 64, 90
18	土師器	甕	口径 器高 底径	(188) <61> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は頸部下部より縦位ヘラケズリ。胴部内面は横位ヘラナデ後ナデ。口縁端部はつまみ出される。	砂を多く含む。白色粒子が目立つ。暗灰褐色。焼成は良好。	カト' 括No. 1
19	土師器	甕	口径 器高 底径	(212) <55> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。胴部内面はヘラナデ後ナデ。口縁端部は斜めにつまみ出される。	砂を多く含む。白色粒子が目立つ。橙褐色、暗褐色。焼成は良好。	No. 5
20	土師器	甕	口径 器高 底径	— (220) <81>	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。胴部内面はヘラナデ後ナデ。口縁端部は外反気味につまみ出される。	砂を多く含む。白色粒子が目立つ。茶褐色。焼成は良好。	No. 22, 70, 89, 9 1, 92
21	土師器	甕	口径 器高 胴最大径	(222) <112> 236	口縁部横ナデ。胴部外面縦位ヘラケズリ、下位横位ヘラケズリ。胴部内面は木口状工具によりヘラナデか。	砂を多く含む。赤色粒子と白色粒子が目立つ。赤褐色及び黒褐色。焼成は良好。	No. 4, 11, 21, 66 5F85-7
22	土師器	甕	口径 器高 底径	(208) <65> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。胴部内面はヘラナデ後ナデ。口縁端部つまみ出されないが鋭い。	砂を多く含む。赤褐色及び褐色。焼成は良好。	No. 10, 20, 48
23	土師器	甕	口径 器高 底径	(208) <100> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ。胴部内面は剝離が著しく不明。口縁端部つまみ出される。	砂を多く含む。茶褐色及び黒褐色。焼成は良好。	No. 23, 88, 94
24	須恵器	甕	口径 器高 胴最大径	— <180> (270)	胴部外面は縦位のタタキ整形。下半は斜位ヘラケズリ。胴部内面の当具痕は横ナデにより消されている。器面特徴的な小さなひび割れ。	緻密で白色微粒子を微量と小砂利を含む。白灰色。焼成は良好。在地産か。	No. 6, 15, 17, 26 6, 825, 981, 5F8 5-7, SI-95括
25	鉄製品	鐵	長さ	<85>mm,	鐵身 幅14.5mm, 厚さ2.5mm, 頸部 幅4mm, 厚さ3.5mm。		No. 53
26	鉄製品	刀子	長さ	<81>mm,	刃部 幅10mm, 背幅2.5mm, 柄部 幅6.5mm, 背幅2.5mm。		No. 8
27	鉄製品	穂摘具	長さ	<81>mm,	幅17mm, 厚さ7mm。		No. 24
28	土製品	支脚	径	123×115mm,	高さ<202>mm。		カト' No. 19

### SI-79A 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径 器高 底径	(118) 38 (66)	ロクロ整形。底部は全面手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	白色微粒子を含む。外面は黒褐色、内面は橙褐色。焼成は良好。	No. 10, 括
2	土師器	坏	口径 器高 底径	(122) 37 (61)	ロクロ整形。底部は全面手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	白色微粒子を含む。明褐色。焼成は良好。	No. 2
3	石器	敲石	長さ	93mm,	幅87mm, 厚さ46mm, 重さ560.0g。		No. 1-2
4	石器	砥石	長さ	114mm,	幅50mm, 厚さ42mm, 重さ357.3g。		No. 6
5	石器	砥石	長さ	83mm,	幅81mm, 厚さ26mm, 重さ260.0g。		No. 4
6	土製品	土玉	径	24×24mm,	厚さ23mm, 重さ12.12g。		No. 7
7	土製品	土玉	径	27×27mm,	厚さ23mm, 重さ14.86g。		No. 13
8	鉄製品	鐵	長さ	<40>mm,	厚さ2×2mm。		No. 9

### SI-79B 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径 器高 底径	(112) 36 70	ロクロ整形。底部は回転糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	砂を多く含む。淡黄褐色。焼成は良好で硬質。	No. 25, 括
2	土師器	坏	口径 器高 底径	(126) 35 62	ロクロ整形。底部は回転糸切り後未調整。体部下端は未調整。内面は平滑。	雲母、白色微粒子を含む。茶褐色。焼成は良好。	No. 7
3	土師器	坏	口径 器高 底径	— <22> 66	ロクロ整形。底部は回転糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	白色微粒子を含む。淡褐色。焼成は良好。	括2 体部外面に墨 書逆位「大」
4	土師器	坏	口径 器高 底径	— <32> 64	ロクロ整形。底部は全面手持ちヘラケズリ。体部下端は未調整。	赤色微粒子を含む。淡褐色。焼成は良好。	No. 1-2
5	土師器	坏	口径 器高 底径	— <24> (77)	ロクロ整形。底部は回転糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	白色粒を含む。赤褐色。焼成は良好。	SI-79A・B括2 底部外面に刻 書「+」
6	土師器	甕	口径 器高 底径	194 <72> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。胴部内面は当具痕をナデにより消す。	砂を多く含む。橙褐色。焼成は良好。	No. 1-1



7	土師器	鉢	口径 器高 底径	(198) <85> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。胴部内面はヘラナデ後ナデ。口縁頂部は角頭状になる。	雲母を含む。灰褐色。焼成は不良。	No. 2-2
8	土師器	甌	口径 器高 底径	(264) <65> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。胴部内面はヘラナデ後ナデ。	白色微粒子を含む。明褐色。焼成は良好。	No. 3
9	土師器	甕	口径 器高 底径	— <99> —	胴部外面は縦位ヘラケズリ後、下位は横位ヘラケズリ、胴部内面はヘラナデ後ナデ。	白色微粒子を含む。黄褐色。焼成は良好。	No. 2-1, 3, 4 B, A一括, B一括
10	石製品	紡錘車	径38×37mm, 厚さ11mm, 重さ23.61g。側面は丁寧な研磨。				No. 4

### SI-80A 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径 器高 底径	96 67 34	口縁部は横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はミガキ。内外面とも漆による黒色処理。底部は削り出しにより平底を作る。	赤色粒子を含む。淡黄褐色。焼成は良好。	括6
2	土師器	坏	口径 器高 底径	121 <34> —	口縁部は横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はミガキ。内外面とも漆による黒色処理。	砂を多く含み、赤色粒子が目立つ。淡黄褐色。焼成は良好。	括7
3	土師器	坏	口径 器高 底径	(120) <30> —	口縁部は横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はミガキ。剥離が著しい。内外面ともカーボン吸着による黒色処理。	赤色粒、石英粒子を含む。暗黄褐色。焼成は良好。	括8
4	土師器	手埋土器	口径 器高 底径	58 59 28	粘土塊をそのまま作り出す。器面の調整はケズリと指頭による弱いナデ。	白色粒子を含む。淡黄褐色。焼成は良好。	括10
5	土師器	甕	口径 器高 底径	(141) <84> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜横位ヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラナデ後ナデ。	白色粒子を含む。外面は淡黄褐色、内面は暗褐色。焼成は良好。	括4
6	土師器	甕	口径 器高 底径	(140) <63> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後、横位ケズリ。内面はヘラナデ後ナデ。	砂粒を含む。外面は暗黄褐色、内面は暗褐色。焼成は良好。	括3
7	土師器	甕	口径 器高 底径	(146) <93> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラケズリ後ミガキ。	赤色粒を含む。外面は淡褐色、内面は暗黄褐色。	括1
8	土師器	甌	口径 器高 底径	(281) <177> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後、中位では斜横位ヘラケズリ。胴部内面はヘラナデ後ナデ。	白色粒子を含む。黄茶褐色。焼成は良好。	括5
9	土師器	甌	口径 器高 底径	(299) <67> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ。胴部内面はヘラナデ後ナデ。	白色粒、赤色粒子を含む。淡褐色。焼成は良好。	括2
10	礫		長さ115mm, 幅74mm, 厚さ74mm, 重さ805.49g。				括12
11	土製品	支脚	高さ<59>mm。				括13
12	土製品	支脚	高さ<37>mm。				括14
13	鉄製品	刀子	長さ<112>mm, 刃部 幅9mm, 背幅4mm, 柄部 幅7mm, 背幅3mm。				括11
14	石製品	勾玉	長さ27mm, 幅15mm, 厚さ7mm, 重さ4.62g。				括15

### SI-81 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径 器高 底径	(120) <35> —	口縁部横ナデ後、体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はミガキ。内外面とも黒色処理。全体に薄手で丁寧な仕上げ。	緻密で僅かに針状物を含む。内外面とも黒色。焼成は良好。	括7
2	土師器	坏	口径 器高 丸底	(134) <40> —	口縁部は横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後丁寧なミガキ。内面も丁寧なミガキ。漆仕上げと考えられるが、漆は消えている。	緻密で僅かに針状物を含む。内外面とも黒色。焼成は良好。	括9
3	須恵器	蓋	口径 器高 底径	(53) <35> —	ロクロ整形。天井部は回転ヘラケズリ。口縁部は幾分内湾する。	緻密で白色微粒子を僅かに含む。濃灰色。焼成は良好で硬質。	括4, 5F55-23 湖西産
4	土師器	高坏	口径 器高 底径	— <88> —	脚部外面は縦位ケズリ後ミガキ。脚部内面下端は指で巻き込み指ナデ。坏部内面はヘラ調整後ミガキ。内外面とも赤彩される。	白色微粒子、透明微粒子を含む。赤褐色。焼成は良好。	括1
5	土師器	高坏	口径 器高 底径	(100) <31> —	裾部外面は縦位ヘラケズリ後ミガキ。内面は斜位ヘラケズリ。外面は赤彩される。	砂を多く含みザラつく。淡褐色。焼成は良好。	括6
6	土師器	甕	口径 器高 底径	(154) <113> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後、横位ヘラケズリ。内面はヘラケズリ後下位のみナデ。	金雲母を含む。赤褐色及び褐色。焼成は良好。	No. 1, 3
7	土師器	甕	口径 器高 底径	(192) <79> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ後、横位ヘラケズリ。胴部内面はヘラケズリ後ナデ。	砂を多く含み、白色粒子が目立つ。淡黄褐色。焼成は良好。	括2
8	土師器	甕	口径 器高 底径	— <123> 78	胴部外面は斜位ヘラケズリ、中位を横位ヘラケズリ。ヘラケズリ後はミガキ。内面はヘラナデ後ナデ。	砂を多く含み、白色粒子が目立つ。淡灰黄褐色。焼成は良好。	No. 2
9	石製品	勾玉	長さ<19>mm, 幅14mm, 厚さ7mm。				括12
10	炭化種子	桃	長さ23mm, 幅17mm, 厚さ14mm, 重さ1.45g。				括10
11	炭化種子	桃	長さ17mm, 幅15mm, 重さ1.13g。				括11

SI-82 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	土師器	坏	口径 110 器高 35 底径 54	ロクロ整形。底部は回転糸切り後未調整。体部下端は未調整。	砂粒を多量に含む。暗褐色。焼成は良好。	No. 5
2	土師器	坏	口径 (114) 器高 38 底径 58	ロクロ整形。底部は回転糸切り後未調整。体部下端は未調整。	緻密で金雲母、白色針状物、赤色粒子を含む。淡褐色。焼成は良好。	No. 9
3	土師器	坏	口径 (124) 器高 43 底径 74	ロクロ整形。底部は静止糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	小砂利を含む。茶褐色。焼成は良好。	No. 2
4	土師器	高台付坏	口径 (118) 器高 58 底径 72	ロクロ整形。底部は回転糸切り。内面はミガキ。内面はカーボン吸着による黒色処理。	赤色粒を含む。外面は黒褐色、内面は黒色。焼成は良好。	No. 3
5	土師器	甕	口径 140 器高 <127> 胴最大径 172	口縁部横ナデ。胴部外面縦位ケズリ。胴部内面ヘラナデ後ナデ。ロクロ整形のように仕上げられている。	砂を多量に含む。外面は黒褐色、内面は橙褐色。焼成は良好。	No. 8, 10, 11
6	土師器	甕	口径 — 器高 <93> 口径 (150)	胴部外面は横位ヘラケズリ。胴部内面はヘラナデ後、下位は横位ヘラケズリ。	白色微粒子を含む。茶褐色。焼成は良好。	No. 7
7	土製品	支脚	厚さ91×68mm, 高さ<136>mm。			No. 4
8	礎		長さ90mm, 幅31mm, 厚さ29mm, 重さ99.3g。			No. 1

SI-83 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	土師器	甕	口径 <184> 器高 <58> 底径 —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。胴部内面はヘラナデ後ナデ。口縁端部は垂直につまみ出される。	砂を多く含む白色粒子、赤色粒子が目立つ。淡褐色。焼成は良好。	一括

SI-84A 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	土師器	高台付坏	口径 — 器高 — 底径 —	底部は回転糸切り。高台は長くほぼ垂直に貼り付けられている。内面はミガキ。黒色処理される。	銀雲母、長石を含む。外面は淡褐色、内面は黒色。焼成は良好。	No. 24
2	土師器	甕	口径 (140) 器高 <57> 底径 —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。胴部内面はヘラケズリ	金雲母、長石、針状物を含み緻密である。明褐色。焼成は良好。	上層
3	土師器	甕	口径 (142) 器高 <54> 底径 —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。胴部内面はヘラナデ後ナデ。	長石、石英、赤色粒を含む。暗褐色。焼成は良好。	No. 22, 一括
4	土師器	甕	口径 — 器高 <51> 底径 76	内外面ともヘラケズリ後ミガキ。剥離が著しく、調整方向は不明。	銀雲母、針状物を含む。明褐色。焼成は良好。	No. 30
5	土師器	甕	口径 — 器高 <20> 底径 (58)	胴部外面は斜位ヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラケズリ後ミガキ。	緻密で白色針状物を多くと金雲母を含む。明褐色。焼成は良好で軟質。	括4
6	土師器	甕	口径 (197) 器高 <82> 底径 <82>	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。胴部内面はヘラナデ後ナデ。口縁端部は長くつまみ出され外反する。	金雲母、長石、石英を含む。淡褐色。焼成は良好。	No. 25
7	土師器	甕	口径 (196) 器高 <51> 底径 —	口縁部は横ナデ。口縁端部は丸くおさまる。	石英、長石を含む。明褐色。焼成は良好。	No. 1, 10
8	土師器	甕	口径 (184) 器高 <43> 底径 —	口縁部は横ナデ。口縁端部はつまみ出され、外に開く。	長石、石英、銀雲母を含む。明褐色。焼成は良好。	括3
9	土師器	甕	口径 (216) 器高 <54> 底径 —	口縁部は横ナデ。口縁端部は丸くおさまる。	石英、長石、銀雲母を微量含む。淡黄褐色。焼成は良好。	No. 6, 7, 13, 24
10	土師器	甕	口径 (317) 器高 <69> 底径 —	口縁部は横ナデ。胴部外面はケズリ後ミガキ。胴部内面はヘラナデ後ナデ。更にミガキか?	石英、長石、赤色粒を含む。暗褐色。焼成は良好。	No. 2, 8
11	土師器	甕	口径 — 器高 <30> 底径 (196)	胴部外面は斜横位ヘラケズリ。内面はナデ。	長石、石英、半透明粒、赤色粒を含む。外面は暗褐色、内面は淡明褐色。焼成は良好。	No. 20
12	土師器	甕	口径 — 器高 <32> 底径 (126)	胴部外面は斜横位ヘラケズリ。胴部内面はナデ。	長石、石英、赤色粒を含む。明褐色。焼成は良好で軟質。	No. 16
13	須恵器	甕	口径 (144) 器高 <119> 底径 —	口縁部は横ナデ。胴部外面はタタキ整形後、下位は一部刷毛ナデ。胴部内面の当て具痕跡はナデにより消されている。	白色角礫を多量に含む。濃灰黒色。焼成は良好。	括1 在地産
14	須恵器	甕	頸径 (146) 器高 <131> 胴部径 (297)	頸部はナデ。胴部外面はたタタキ、内面はケズリに近いヘラナデ。	白色微粒子を多く含む。針状物を含まない。暗灰色、茶灰色。焼成は良好。	上層, 5F64-10 No. 10 稲敷産



15	土師器	坏	口径 器高 底径	— — —	非ロクロ整形。底部片。体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。	緻密で白色微粒子、赤色微粒子を僅かに含む。	括3 体部外面に墨書
16	土製品	支脚	底径(64)×63mm, 高さ<82.5>mm。				No. 32
17	礎		長さ66mm, 幅39mm, 厚さ16mm, 重さ57.7g。				No. 4
18	鉄製品	刀子	長さ<90>mm, 刃部 幅9mm, 背幅2.5mm, 柄部 幅6mm, 背幅3mm。				No. 15
19	鉄製品	門金具	長さ<110>mm, 幅7mm, 厚さ5mm, 幅7mm, 厚さ4mm。				No. 14
20	鉄製品	礎	長さ<55>mm, 厚さ5×5mm。				No. 34

#### SI-84B 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	土師器	坏	口径 (116) 器高 36 底径 62	体部外面はヘラケズリ後ミガキ。内面はミガキ。器面は剥離が著しい。底部は削り出されて丸みをもつ。	緻密で白色粒子、銀雲母を含む。淡黒褐色。焼成は良好。	No. 12
2	土師器	坏	口径 — 器高 <34> 底径 64	体部外面はヘラケズリ後ミガキ。内面はミガキ。	長石、石英を含む。淡褐色。焼成は良好。	No. 20
3	土師器	甕	口径 — 器高 <60> 底径 (84)	胴部外面は縦位ヘラケズリ後、斜位ヘラケズリ。内面は横位ヘラケズリ。	長石を含む。明淡褐色。焼成は良好。	No. 11
4	土師器	甕	口径 (226) 器高 <74> 底径 —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。内面はヘラナデ後ナデ。口縁端部はつまみ出されるが短い。	緻密で白色粒子、赤色粒を含む。淡暗褐色。焼成は良好で軟質。	No. 21
5	土師器	甕	口径 (184) 器高 <126> 胴最径 173	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後ミガキ。胴部内面はヘラケズリ後ミガキ。	砂を多くと金雲母、赤色粒を含む。淡褐色。焼成は良好。	No. 13
6	須恵器	長頸壺	口径 — 器高 <157> 胴部径 174	ロクロ整形。胴部外面は回転ヘラケズリ。底部内面と外面の肩部周りに自然釉が見られる。	緻密で白色微粒子を多くと黒色粒子を含む。灰色。焼成は良好で硬質。	No. 7~9, 12 湖西産
7	礎		長さ77mm, 幅58mm, 厚さ61mm, 重さ320.7g。			No. 10

#### SI-84C 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	土師器	甕	口径 (183) 器高 271 底径 (102) 胴部径 (212)	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後、中位は雑な斜横位ヘラケズリ。胴部内面はヘラナデ後ナデ。口縁端部は短くつまみ出される。	砂を多く含み、白色粒、赤色粒(2mm)が目立つ。外面は明褐色、内面は淡褐色。焼成は良好。	No. 4
2	土師器	甕	口径 (190) 器高 <19> 胴部径 <194>	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。胴部内面はヘラナデ後ナデ。口縁端部は外反気味につまみ出される。	長石、赤色粒、半透明粒を含む。淡暗褐色。焼成は良好。	No. 8
3	土師器	甕	口径 (208) 器高 <103> 胴部径 (216)	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。胴部内面はヘラナデ後ナデ。口縁端部は僅かにつまみ出される。	砂を多くと小砂利、白色粒子、銀雲母を含む。淡褐色。焼成は良好。	No. 6
4	土師器	甕	口径 (210) 器高 (164) 胴部径 (194)	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後、下半は斜位ヘラケズリ。胴部内面はヘラナデ後ナデ。口縁端部は長く外反する。	砂を多く含み、白色粒、赤色粒(2mm)が目立つ。外面は明褐色、内面は淡褐色。焼成は良好。	No. 3, 5
5	土師器	甕	口径 (316) 器高 <158> 胴部径 (275)	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後、下半は斜位ヘラケズリ。内面はヘラナデ後ナデ。口縁端部は細くつまみ出される。	砂を多く含み、白色粒子が目立つ。明褐色。焼成は良好。	No. 2

#### SI-84D 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	土師器	坏	口径 138 器高 39 底径 40	口縁部は横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はミガキ。剥離と磨滅が著しい。	緻密で銀雲母、赤色粒、砂を含む。淡暗褐色。焼成は良好。	No. 6
2	土師器	高台付坏	口径 — 器高 — 底径 87	ロクロ整形。底部は静止糸切り後、周縁部を回転ヘラケズリ。体部下端は不明。	砂を多く含み白色粒子が目立つ。淡黄褐色。焼成は良好。	No. 8
3	土師器	坏	口径 — 器高 <27> 底径 77	ロクロ整形。底部は静止糸切り後、全面手持ちヘラケズリだが、糸切り痕が残る。体部下端は手持ちヘラケズリ。	砂を多く含み白色粒子、赤色粒が目立つ。明褐色。焼成は良好。	No. 9
4	土師器	甕	口径 (155) 器高 <66> 底径 —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。胴部内面はヘラナデ後ナデ。口縁端部は短くつまみ出される。	砂を多く含み白色粒子赤色粒子が目立つ。外面は灰黄褐色、内面は濃灰黄褐色。焼成は良好。	No. 3
5	石器	砥石	長さ150mm, 幅91mm, 厚さ47mm, 重さ839.1g。			No. 1

#### SI-85A・C 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	土師器	坏	口径 130 器高 34 底径 —	体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面は丁寧なミガキ。内外面ともカーボン吸着による黒色処理。	白色粒子を含む。外面は暗褐色、内面は黒色。焼成は良好で硬質。	A カマト No. 1
2	土師器	坏	口径 (155) 器高 33 底径 63	体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面は丁寧なミガキ。底部はケズリ出される。	緻密で細かい砂を含む。赤褐色及び明褐色。焼成は良好。	A No. 3, 11

3	土師器	坏	口径 器高 底径	— <13> 62	ロクロ整形。底部は回転糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は未調整。	赤色粒、白色粒を多く含む。淡褐色。焼成は良好。	A No. 1 底部外面に墨書「息」
4	土師器	甕	口径 器高 底径	(190) <64> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は横位ヘラケズリ後ミガキ。胴部内面はヘラケズリ後ナデ。	白色粒子、赤色粒子を多く含む。外面は暗灰褐色、内面は暗淡褐色。焼成は良好。	B No. 5
5	土師器	手捏土器	口径 器高 丸底	41 36	指頭により成形。ナデ仕上げ。	白色微粒子を多く含む。黒褐色。焼成は良好。	B No. 4
6	土製品	土玉	径27×27mm, 厚さ28mm, 重さ17.53g。				No. 9
7	石製品	勾玉	長さ32mm, 幅17mm, 厚さ8mm, 重さ5.00g。				一括

### SI-86 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径 器高 丸底	(112) 38	口縁部横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はミガキ。内外面ともカーボン吸着による黒色処理。	緻密で白色微粒子を僅かに含む。黄褐色。焼成は良好。	括3
2	土師器	坏	口径 器高 底径	(114) <33> —	口縁部横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はミガキ。内外面とも漆仕上げによる黒色処理。	砂を多く含む。白色粒子が目立つ。外面は暗褐色、内面は黒褐色。焼成は良好。	No. 3
3	土師器	坏	口径 器高 底径	(114) <35> —	体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面は丁寧なミガキ。内外面ともカーボン吸着による黒色処理。	砂を多く含む。黄褐色。焼成は良好。	括5
4	土師器	盤	口径 器高 底径	(170) 30 —	体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はミガキ。内外面とも漆仕上げによる黒色処理。	砂を多く含む。白色粒子が目立つ。淡褐色。焼成は良好。	No. 1
5	土師器	碗?	口径 器高 底径	— <31> (66)	体部は斜位ヘラケズリ後ミガキ。内面はミガキ。坏類と同じミガキ技法。	白色粒を含む。淡褐色。焼成は良好。	No. 7
6	土師器	鉢	口径 器高 底径	(294) <57> —	口縁部は横ナデ。体部はヘラケズリ後ミガキ。内面はミガキ。	砂を多く含む。淡橙黄褐色。焼成は良好。	括2
7	土師器	甕	口径 器高 底径	(141) <39> —	口縁部は横ナデ。胴部外面はヘラケズリ後ナデ。内面はヘラナデ後ナデ。	砂を含む。淡褐色。焼成は良好。	括7
8	土師器	甕	口径 器高 底径	(190) <62> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラナデ後ナデ。	白色粒子を含む。外面は褐色、内面は橙黄褐色。焼成は良好。	括1
9	土師器	甕	口径 器高 底径	(180) <70> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後横位ヘラケズリ、内面はヘラナデ後ナデ。	砂を含む。淡褐色。焼成は良好。	No. 6
10	土師器	甕	口径 器高 底径	(196) <119> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後ミガキ。胴部内面はヘラナデ後ナデ。	砂を多く含む。白色粒子が目立つ。淡黄褐色。焼成は良好。	No. 4
11	土師器	甕	口径 器高 底径	— <54> (109)	胴部外面は斜位ヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラナデ。底部はミガキ。	砂を多く含む。白色粒子が目立つ。茶褐色。焼成は良好。	No. 5
12	軽石		長さ72mm, 幅43mm, 厚さ33mm, 重さ19.09g。				

### SI-87 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	甕	口径 器高 底径	(130) <57> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ後ミガキ。内面は剥離が著しく不明。	緻密で砂を多く含む。白色針状物を含む。橙褐色。焼成は不良。	一括
2	土師器	盤	口径 器高 底径	(162) <29> —	体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はミガキ。	緻密で白色微粒子を僅かに含む。橙褐色。焼成は良好。	一括

### SI-89 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	甕	口径 器高 底径	— <55> 106	胴部外面は斜位ヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラケズリ後ナデ。	砂を多く含む。外面は灰褐色、内面は淡黄褐色。焼成は良好。	No. 1

### SI-90B 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	須恵器	坏	口径 器高 底径	128 81 35	ロクロ整形。底部はヘラ切り後、手持ちヘラケズリ。体部下端は未調整。	砂、白色粒を含む。灰オリーブ色。焼成は不良。	SI-90B 帛ト No.1常盤産

### SI-91 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径 器高 丸平底	121 39 61	体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面は丁寧なミガキだが、剥離が著しく不明瞭。	砂を含む。黄褐色。焼成は良好。	No. 7



2	土師器	坏	口径器高底径 (136) <28> -	体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面は丁寧なミガキ。	砂を含み、小砂利が目立つ。淡褐色。焼成は良好。	括2	
3	土師器	坏	口径器高底径 (120) 40 83	ロクロ整形。底部は全面手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	金雲母を多く、針状物を僅かに含む。5mm大の赤色粒が混じる。焼成は良好。	No. 2 底部外面に線刻「×」(焼成前か)	
4	土師器	坏	底部片口径器高底径 -	ロクロ成形。底部は全面手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。形態は盤状坏。	白色粒子を含む。素地は淡黄褐色。焼成は良好。	括3 底部外面に線刻「×」	
5	土師器	甕	口径器高底径 140 <37> -	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ケズリ後ミガキ。胴部内面はヘラナデ後ナデ。	砂を多く含む。淡茶褐色。焼成はやや不良。	括1	
6	土師器	蓋	口径器高底径 180 34 -	ロクロ整形。天井部は3段の回転ヘラケズリ。口縁端部は長くつまみ出される。つまみは欠落。	砂を多く含むザラつく。明褐色。焼成は良好。在地産の酸化焰焼成の須恵器とも考えられる。	No. 8, 9, 11, 12	
7	土師器	高坏	口径器高底径 - <30> (110)	ロクロ成形。掘端部は鋭くつまみ出される。	砂を多く含むが粒子は緻密。明褐色。焼成は良好。在地産の酸化焰焼成の須恵器とも考えられる。	括4	
8	石器	砥石	長さ37mm, 幅39mm, 厚さ24mm, 重さ52.3g。				括5
9	礫		長さ48mm, 幅31mm, 厚さ7mm, 重さ16.7g。				括6
10	鉄製品	鐵	長さ<42>mm, 厚さ4×3mm。				No. 4

S I - 9 2 A 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径器高丸底 (100) 31	口縁部は横ナデ後ミガキ。体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。口縁部外面と内面は漆による黒色処理。	緻密な粘土で砂の微粒子を含む。褐色。焼成は良好。	括2	
2	土師器	坏	口径器高底径 (113) <33> -	口縁部は横ナデ後ミガキ。体部から底部はヘラケズリ後丁寧なミガキ。内面はミガキで、カーボン吸着による黒色処理。	針状物を含む。灰褐色、黄褐色。焼成は良好。	塚5F65-3, 括4	
3	土師器	坏	口径器高丸底 (104) <35>	体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はミガキで、カーボン吸着による黒色処理。	緻密で金雲母を含む。茶褐色。焼成は良好。	No. 6	
4	土師器	坏	口径器高丸底 (110) <39>	口縁部は体部から底部はヘラケズリ後ナデ風ミガキ。内面は巾の狭いミガキで、カーボン吸着による黒色処理。	緻密で白色微粒子を僅かに含む。外面は赤褐色、内面は黒色。焼成は良好。	括3	
5	土師器	坏	口径器高底径 (110) <40> -	体部から底部はヘラケズリ後ナデ風ミガキ。内面は巾広の雑なミガキ。	緻密で白色微粒子を含む。赤褐色。焼成は良好。	括1	
6	土師器	甕	口径器高底径 (180) <63> -	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ケズリ後、雑なミガキ。胴部内面はヘラナデ後ナデ。	砂を多く含む、赤色粒子が目立つ。茶褐色。焼成は良好。	No. 3	
7	土師器	甕	口径器高胴最大径 (142) <100> (137)	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ケズリ後、雑なミガキ。下半部は斜位ケズリ後ミガキ。内面はヘラナデ後ナデ。	砂を多く含む。淡赤褐色、褐色。焼成はやや不良。	括5	
8	土製品	支脚	底径78.5×66mm, 高さ<100>mm。				
9	土師器	手捏土器	口径器高底径 (48) 37 (40)	外面は指頭による整形後ナデ。底部はヘラケズリ後ナデ。	砂を多く含む。赤褐色。焼成は良好。	括6	
10	土師器	手捏土器	口径器高底径 (60) 42 80	外面はヘラケズリによる調整。内面は指ナデ。底部はヘラケズリ後ナデ。	砂を多く含む。赤褐色。焼成は良好。	No. 4	
11	土師器	手捏土器	口径器高底径 (70) 40 60	外面はヘラケズリ後ナデ。内面は指ナデ。底部はヘラケズリ。	砂を多く含む。赤褐色。焼成は良好。	No. 5	
12	土製品	土玉	径22×25mm, 厚さ19mm, 重さ8.63g。				括8

S I - 9 4 A・B・C 覆土遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	土師器	坏	口径器高底径 (114) <36> -	体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はミガキ。	白色粒を含み、ザラつく。淡橙褐色。焼成は不良。	5F64-10 No. 49
2	土師器	坏	口径器高丸底 120 35	口縁部は横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はミガキ。カーボン吸着の黒色処理。	赤色粒を含む。外面は淡赤褐色、内面は淡黄褐色。焼成はやや不良。	5F64-10 No. 8, 288
3	土師器	盤	口径器高丸平底 146 <22>	口唇部から底部までヘラケズリ後ミガキ。内面はループ状のミガキ。	赤色粒を含む。橙褐色。焼成は良好。	5F64-10 括1
4	土師器	坏	口径器高底径 (118) 43 71	ロクロ整形。底部は回転糸切り後未調整。体部下端は手持ちヘラケズリ。	赤色粒を含む。淡褐色。焼成は良好。	5F64-10 No. 56
5	土師器	坏	口径器高底径 (114) 43 70	ロクロ整形。底部は回転糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は未調整。	白色微粒子、赤褐色微粒子を含む。橙褐色。焼成は良好。	5F64-10 No. 57 底部外面に墨書「日」

6	土師器	坏	口径 器高 底径	(125) 36 70	ロクロ整形。底部は回転糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	白色粒を含む。淡褐色。焼成は良好。	5F64-10 No. 52, 括
7	土師器	坏	口径 器高 底径	(128) <38> 71	ロクロ整形。底部は全面手持ちヘラケズリ。体部下端は回転ヘラケズリ。薄手である。	赤色粒を含みザラつく。淡暗褐色。焼成は良好。	5F64-10 括2
8	土師器	坏	口径 器高 底径	(135) 39 75	ロクロ整形。底部は回転糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリされるが雑で周回しない。	白色粒を含む。外面は淡黒褐色、内面は淡茶褐色。焼成は良好。	5F64-10 No. 62
9	土師器	高台付碗	口径 器高 底径	— <37> 73	ロクロ整形。底部は回転糸切り。内面はミガキ。カーボン吸着による黒色処理。高台は細く外に開く。	砂を多く含み、白色粒子が目立つ。橙褐色及び橙褐色。焼成は良好。	5F64-10 No. 9
10	土師器	高台付碗	口径 器高 底径	— <23> 67	ロクロ整形。底部は全面回転ヘラケズリ。内面はミガキ。カーボン吸着による黒色処理。外面に墨付着。高台は短く外に開く。	砂を多く含み、赤色粒子が目立つ。淡褐色及び淡黒褐色。焼成は良好。	5F64-10 No. 84
11	土師器	高台付碗	口径 器高 底径	— <24> (70)	ロクロ整形。底部は回転ヘラケズリ。内面はミガキ。カーボン吸着による黒色処理。やや厚手で外面に墨が付着している。	緻密で白色微粒子を僅かに含む。淡褐色及び黒色。焼成は良好。	5F64-10 No. 5
12	土師器	高台付碗	口径 器高 底径	— <17> (70)	ロクロ整形。底部は回転ヘラケズリ。内面はミガキ。カーボン吸着による黒色処理。薄手の作り。外面に墨付着。高台は細く延びる。	砂を多く含み、赤色微粒子が目立つ。外面は橙褐色、内面は淡橙褐色。焼成は良好。	5F64-10 No. 14
13	土師器	坏	口径 器高 底径	— <27> —	ロクロ整形。口縁部は幾分外反気味。	砂を多く含み、赤色微粒子が目立つ。明茶褐色。焼成は良好。	5F64-10, 体部外面に墨書「内」
14	土師器	坏	口径 器高 底径	— <32> —	非ロクロ整形。口縁部は横ナデ。体部はヘラケズリ後ミガキ風ナデか。内面はナデ仕上げ。。	砂を多く含み白色微粒子、赤色微粒子が目立つ。茶褐色。焼成は良好。	5F64-10, 体部外面に墨書「白」
15	土師器	坏	口径 器高 底径	— <19> —	ロクロ成形。	緻密で白色微粒子を僅かに含む。淡黄褐色。焼成は良好で硬質。	5F64-10, 体部外面に墨書「子部」
16	土師器	坏	口径 器高 丸平底	— <20> —	非ロクロ成形。体部から底部はヘラケズリ後、ミガキ風ナデか。内面はナデ仕上げ。	砂と小砂利を多く含む。茶褐色及び赤褐色。焼成は良好。	5F64-10 No. 4, 底部外面に墨書「白」
17	土師器	甕	口径 器高 底径	(126) <44> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。内面はヘラナデ後ナデ。口縁端部は長くつまみ出され、幾分外反する。	砂を多く含み白色粒子が目立つ。黒褐色、茶褐色。焼成は良好。	5F64-10 No. 38
18	土師器	甕	口径 器高 底径	128 49 —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。内面はヘラナデ後ナデ。口縁端部は垂直につまみ出される。	赤色粒子、白色粒子を多く含む。茶褐色。焼成は良好。	5F64-10 No. 22
19	土師器	甕	口径 器高 底径	(148) <43> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。内面はヘラケズリ後ナデ。口縁端部は細く垂直につまみ出される。	緻密だが白色微粒子、小砂利を多く含む。淡茶褐色。焼成は良好。	5F64-10 一括
20	土師器	甕	口径 器高 底径	(188) <50> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後ナデ。内面はヘラナデ後ナデ。口縁端部はつまみ出され細くなる。	白色粒を多く含む。橙褐色及び褐色。焼成はやや不良。	5F64-10 No. 4, 345
21	土師器	甕	口径 器高 底径	216 <103> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後ナデ。内面はヘラケズリ後ナデ。口縁端部は垂直につまみ出される。	砂を多く含み、白色粒子が目立つ。明褐色。焼成は良好。	5F64-10 No. 8
22	須恵器	長頸壺	口径 器高 底径	— <124> —	ロクロ整形。口縁部は意図的に割られた状況。発泡した淡濃緑色の釉が全体に付着。	緻密で白色粒、小砂利を僅かに含む。白灰色。焼成は良好で硬質。	5F64-10 No. 13 P9 湖西産
23	土製品	羽口	長さ	122mm, 径66mm。			5F64-10 No. 44

S I - 9 4 A 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径 器高 底径	(114) 39 <72>	ロクロ整形。底部は単一方向の全面手持ちヘラケズリ。体部下端は未調整。	砂を含む。暗褐色。焼成は良好。	括2
2	土師器	坏	口径 器高 底径	— <11> 72	ロクロ整形。底部は全面手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	小砂利と砂を多く含む。大粒の赤色粒子、白色粒子を含む。茶褐色。焼成は良好。	括2 底部外面に墨書「七」
3	土師器	高台付皿	口径 器高 台部径	— <17> (70)	ロクロ整形。底部は回転ヘラケズリ。内面は単一方向の丁寧なミガキ。黒色処理。高台の端部はつまみ出される。	砂粒、白色粒を含む。茶褐色。焼成は良好。	括4
4	土師器	坏	口径 器高 底径	— (81)	ロクロ整形。底部は回転糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	緻密で白色微粒子を僅かに含む。淡黄褐色。焼成は良好で硬質。	括1 底部外面に墨書
5	土師器	坏	口径 器高 底径	— —	ロクロ整形。	砂を多く含み、赤色微粒子が目立つ。明褐色。焼成は良好。	括1 体部外面に墨書
6	土師器	坏	口径 器高 底径	— —	ロクロ整形。	緻密で白色微粒子、赤色微粒子を含む。明褐色。焼成は良好。	括3 体部外面に墨書
7	土師器	甕	口径 器高 胴最大径	(160) <147> (160)	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ケズリ後、下半部は斜位ヘラケズリ。内面はヘラナデ(ケズリ)後ナデ。口縁端部は鋭くつまみ出される。	砂を含む。外面は黒褐色、内面は暗褐色。焼成は良好。	括1 No. 4



8	土師器	甕	口径 器高 底径	(184) <10> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ケズリ。胴部内面はヘラナデ後ナデ。口縁端部は外反気味につまみ出される。	小砂利と砂を多く含む。赤褐色。焼成は良好。	No. 1-2					
9	土師器	甕	口径 器高 胴最大径	(218) <115> (215)	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ケズリ。胴部内面はヘラナデ後ナデ。口縁端部は外反気味につまみ出される。	砂を含む。淡褐色。焼成は良好。	No. 1-1					
10	土師器	甕	口径 器高 底径	— <83> —	胴部外面は縦位ケズリ。胴部内面はヘラナデ(ケズリ)後ナデ。	砂を含む。明褐色。焼成は良好。	カト No. 1					
11	礫		長さ	49mm	幅	47mm	厚さ	13mm	重さ	37.5g		括3

#### SI-94B 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径 器高 底径	120 41 67	ロクロ整形。底部は全面手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	白色粒子、赤色粒子を含む。明褐色。焼成は良好。	No. 4 底部外面に墨書「七」
2	土師器	坏	口径 器高 底径	(120) 38 (70)	ロクロ整形。底部は回転系切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	白色粒子、赤色粒子を含む。明褐色。焼成は良好。	No. 7 底部外面に墨書「七」
3	土師器	坏	口径 器高 底径	(120) 38 (76)	ロクロ整形。底部は全面手持ちヘラケズリ。体部下端は回転ヘラケズリ。	赤色微粒子、白色微粒子を含む。明褐色。焼成は良好。	No. 2
4	土師器	甕	口径 器高 底径	(208) <71> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。頸部内面は横位ヘラケズリ。内面はヘラナデ(ケズリ)後ナデ。	赤色粒、白色粒を含む。暗褐色。焼成は良好。	No. 5
5	土師器	甕	口径 器高 底径	— <113> —	頸部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。内面はナデ後更に斜めのナデ。薄手である。	赤色粒、砂粒を含む。明褐色。焼成は良好。	No. 3

#### SI-94C 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	高台付坏	口径 器高 台部径	— <27> 75	ロクロ整形。底部は回転ヘラケズリ。内面は剥離が著しく調整は不明。	砂粒を含む。明褐色。焼成は良好。	No. 1
2	土師器	甕	口径 器高 底径	(180) <55> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ケズリ。内面はヘラナデ(ケズリ)後ナデ。口縁端部は短くつまみ出される。	砂粒、赤色粒を含む。明褐色。焼成は良好。	括1

#### SI-95 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径 器高 底径	124 47 60	非ロクロ成形。口縁部は横ナデ。体部外面は連弧状のヘラケズリ後ナデ。底部は手持ちヘラケズリ。内面はナデ仕上げか。	砂を多く含む。白色粒子が目立つ。赤褐色。焼成は良好。	No. 2, 括
2	土師器	坏	口径 器高 底径	134 43 72	ロクロ整形。底部は回転系切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。内外面ともカーボン吸着による黒色処理。	赤色粒、白色粒、透明粒を含む。外面は黒色、褐色。内面は黒色。焼成は良好。	No. 3
3	土師器	坏	口径 器高 底径	— <17> 68	非ロクロ成形。体部から底部はヘラケズリ後ナデ風ミガキ。内面はナデ後ミガキ。	砂を多く含む。白色粒子と小砂利が目立つ。赤褐色。焼成は良好。	括10 底部外面に墨書「田」
4	土師器	坏	口径 器高 底径	(124) 37 68	ロクロ整形。底部は全面手持ちヘラケズリ。体部下端は未調整。	緻密で白色微粒子、赤色微粒子を僅かに含む。褐色。焼成は良好。	括7
5	土師器	坏	口径 器高 底径	(120) 36 —	ロクロ整形。底部は全面手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	緻密で白色微粒子を僅かに含む。黄褐色。焼成は良好。	括9
6	土師器	坏	口径 器高 底径	(120) 38 68	ロクロ整形。底部は回転系切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	砂を多く含む。白色粒子が目立つ。茶褐色。焼成は良好。	括5
7	土師器	坏	口径 器高 底径	— <34> (78)	ロクロ整形。底部全面手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。内面はカーボン吸着による黒色処理。	砂粒を含む。外面は黄褐色、内面は黒色。焼成は良好。	括3
8	土師器	坏	口径 器高 底径	122 42 64	ロクロ整形。底部は回転系切り後、全面手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	緻密だが赤色粒、白色粒が目立つ。淡黄褐色。焼成は良好。	No. 9 体部外面に墨書「竹？」
9	土師器	坏	口径 器高 底径	(157) <37> —	ロクロ整形。口縁部は幾分外反する。内面はミガキ。内面はカーボン吸着による黒色処理。	砂を多く含む。白色微粒子、赤色微粒子が目立つ。黄褐色。焼成は良好。	括6 体部外面に墨書「作口」
10	土師器	坏	口径 器高 底径	120 37 60	ロクロ整形。底部は回転系切り後、未調整。体部下端は未調整。	砂粒を含む。橙褐色。焼成は良好。	No. 8, 括
11	土師器	坏	口径 器高 底径	(120) 35 62	ロクロ整形。底部は回転系切り後、未調整。体部下端は未調整。	緻密で僅かに白色針状物、金雲母を含む。橙褐色。焼成は良好。	括8

12	土師器	高台付坏	口径器高底径	— <26> 64	ロクロ整形。底部は回転糸切り後、未調整。内面剥離が著しい。高台は長く伸び、端部は丸みをもつ。	緻密で白色微粒子、赤色微粒子を含む。外面は褐色、内面は黒色。焼成は良好。	括2
13	土師器	高台付坏	口径器高底径	— <21> 72	ロクロ整形。底部は回転糸切り後、未調整。高台の端部は角高台になる。	砂粒を含みザラつく。橙褐色。焼成は良好。	括4
14	土師器	坏	底部片器高底径	— —	非ロクロ成形。底部外面はヘラケズリ。内面の調整は不明。	砂を多く含み白色微粒子が目立つ。大粒の赤色粒子を含む。淡褐色。焼成は良。	括7 底部外面に墨書「田」
15	土師器	坏	体部片器高底径	— —	ロクロ成形。調整は不明。	緻密で白色微粒子、赤色微粒子を僅かに含む。淡灰褐色。焼成は良。	括8 体部外面に墨書「木」
16	土師器	甕	口径器高底径	210 <97> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。胴部内面はヘラナデ後ナデ。口縁端部は長くつまみ出される。	砂を多く含み、白色微粒子が目立つ。橙褐色。焼成は良好。	カト' No. 1, 2
17	土師器	甕	口径器高底径	(226) <78> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。胴部内面はヘラナデ後ナデ。	砂を多く含み、白色微粒子が目立つ。赤茶褐色。焼成は良好。	括1
18	土師器	甕	口径器高底径	(224) <56> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。胴部内面はヘラナデ後ナデ。	砂を多く含み、白色微粒子が目立つ。茶褐色。焼成は良好。	No. 5
19	土師器	甕	口径器高底径	— <47> 90	胴部外面は斜横位ヘラケズリ。胴部内面は指ナデ仕上げ。	砂を多く含み、白色微粒子が目立つ。赤茶褐色。焼成はやや不良。	No. 11
20	土師器	甕	口径器高底径	— <22> 82	胴部外面は斜横位ヘラケズリ。胴部内面はヘラナデ。底部内面は指ナデつけ。	砂を多く含み、白色微粒子が目立つ。外面は橙褐色、内面は黒色。焼成は良好。	No. 13
21	鉄製品	鎌	長さ	<128>mm, 鎌身 幅9mm, 厚さ3mm, 頸部 幅7mm, 厚さ5mm, 基部 幅4mm, 厚さ3mm。			No. 6
22	鉄製品	刀子	長さ	<31>mm, 幅8mm, 背幅3mm。			
23	鉄製品	鎌	長さ	<78>mm, 鎌身 幅15mm, 厚さ6mm, 頸部 幅9mm, 厚さ4.5mm, 基部 幅5mm, 厚さ4mm。			No. 7
24	鉄製品	鎌	長さ	<60>mm, 幅33mm, 背幅4mm。			
25	土製品	支脚	高さ	<190>mm, 厚さ139×110mm。			カト' No. 13
26	土製品	丸玉	径	×9mm, 厚さ8mm, 重さ0.53g。穿孔部上部に粘土皺。外面はミガキで焼成は良好。淡褐色。			一括

S I - 96 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	土師器	坏	口径器高底径 116 37 64	ロクロ整形。底部は二方向からの全面手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	赤色粒子、白色粒子を含む。淡褐色。焼成は良好。	No. 1, 2
2	土師器	坏	口径器高底径 122 39 60	ロクロ整形。底部は回転糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	白色微粒子、赤色粒子を含む。褐色。焼成は良好。	No. 10
3	土師器	坏	口径器高底径 (119) 39 66	ロクロ整形。底部は回転糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	白色微粒子、赤色微粒子を含む。淡黄褐色。焼成は良好。	No. 4
4	土師器	高台付碗	口径器高底径 (105) <37> —	非ロクロ成形。口縁部は横ナデ。体部外面は口唇部から縦位ヘラケズリ。体部内面はナデ仕上げ。	白色粒子を含む。褐色。焼成は良好。	括7
5	須恵器	坏	口径器高底径 — <25> 58	ロクロ整形。底部は回転糸切り後、未調整。体部下端は未調整。	針状物、白色粒子、白色角礫を多く含む。灰オリーブ色。焼成は良好。	No. 9 北武蔵鳩山窯か
6	土師器	碗	口径器高底径 (156) <66> —	非ロクロ成形。体部外面は斜横位ヘラケズリ後、本来はミガキ調整だが剥離が著しく消えている。内面は巾広の丁寧なミガキ。	緻密で赤色粒子を含む。黄褐色。焼成は良好。	括6
7	土師器	甕	口径器高底径 (173) <58> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。胴部内面はヘラナデ後ナデ。口縁端部は鋭く短く、垂直につまみ出される。	砂を多く含み、白色微粒子が目立つ。褐色。焼成は良好。	No. 7, 8
8	土師器	甕	口径器高底径 (214) <83> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。胴部内面はヘラナデ後ナデ。口縁端部は粘土紐を張り付けられたように丸みをもつ。	白色粒子を多く含む。褐色。焼成は良好。	括11
9	土師器	甕	口径器高底径 (232) <63> —	口縁部は横ナデ。外面頸部から胴部は斜位ヘラケズリ後ミガキ。内面頸部はヘラケズリ後ミガキ。胴部外面はヘラケズリ後ミガキ。	砂を多く含み、白色粒子が目立つ。茶褐色。焼成は良好。	括2, 5F74-25
10	土師器	甕	口径器高底径 (336) <29> —	口縁部は横ナデ。頸部外面は縦位ヘラケズリ。頸部内面はヘラナデ後ナデ。口縁端部は蓋受けのように折り曲げられる。	白色粒子を含む。外面は褐色、内面は黒褐色。焼成は良好。	括4, P3
11	土師器	甕	口径器高底径 (334) <120> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後斜位ヘラケズリ。内面はヘラナデ後、斜横位ヘラナデ後ナデ。	白色粒、赤色粒を含む。褐色、淡黄褐色。焼成は良好。	No. 5
12	土師器	甕	口径器高底径 — <40> 98	内外面とも剥離が著しく、調整不明。底部は突出している。	砂を多く含む。暗褐色。焼成は不良。	括1
13	須恵器	甕	口径器高底径 — <55> (140)	胴部外面は斜位ヘラケズリ。内面は胴部、底部ともナデ。	白色粒子を多く含む。外面は褐色、内面は暗褐色。焼成は良好。	No. 3



14	鉄製品	鎌	長さ<86>mm, 幅20mm, 背幅2mm.	No. 2
15	鉄製品	穂摘具	長さ<21>mm, 幅21mm, 厚さ2mm.	No. 3

SK-22 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	土師器	坏	口径 器高 丸底 146 <32>	体部から底部はヘラケズリ後、ミガキ。内面はミガキ。	赤色粒を含む。明褐色。焼成は良好。	No. 49
2	土師器	坏	口径 器高 丸平底 (142) <31>	体部から底部はヘラケズリ後、ミガキ。内面はミガキ。	赤色粒を含む。明褐色。焼成は良好。	括3
3	土師器	坏	口径 器高 丸平底 (147) <35>	体部から底部はヘラケズリ後、ミガキ。内面は巾の狭い丁寧なミガキ。剝離が著しい。	赤色粒を含む。赤褐色。焼成は良好。	No. 50
4	土師器	坏	口径 器高 平底 (150) <31> —	体部から底部はヘラケズリ後、ミガキ。内面はミガキ。身込み部分に巾広のループ状ミガキ。	細かな砂を多く含む。明褐色。焼成は良好。	No. 45
5	土師器	坏	口径 器高 丸平底 142 32	体部から底部はヘラケズリ後、ミガキ。内面はミガキ。口唇部の剝離が著しい。	赤色粒を含む。明褐色。焼成は良好。	No. 46
6	土師器	坏	口径 器高 底径 (150) <34> —	体部から底部はヘラケズリ後、ミガキ。内面は丁寧なミガキ。底面は削り方向の変換により、底部を作り出す。	赤色粒を含む。明褐色。焼成は良好。	5F65-21 No. 21
7	土師器	坏	口径 器高 丸平底 150 37	体部から底部はヘラケズリ後、丁寧なミガキ。内面は巾の広いミガキ。底面は放射状のミガキ。内外面とも黒色処理。	赤色粒を含む。素地は淡黄褐色。焼成は良好。	No. 48
8	土師器	坏	口径 器高 丸平底 142 35	体部から底部はヘラケズリ後、ナデ風ミガキ。内面はミガキ。	赤色粒を含む。淡褐色。焼成は良好。	5F65-21 No. 29
9	土師器	坏	口径 器高 底径 156 33 —	体部から底部は巾広のヘラケズリ後、ナデ風ミガキ。内面は連弧状ミガキ。	赤色粒を含む。赤褐色。焼成は良好で硬質。	5F65-21 No. 26
10	土師器	坏	口径 器高 底径 168 33 —	体部から底部はヘラケズリ後、ナデ風ミガキ。内面は連弧状ミガキ。	白色粒子、赤色粒子を含む。橙褐色、一部黒色。焼成は良好。	5F65-21 No. 25
11	土師器	碗	口径 器高 底径 (180) <54> —	体部から底部はヘラケズリ後、ミガキ。内面はミガキ。	緻密で白色微粒子、赤色粒子を僅かに含む。明褐色。焼成は良好。	括2
12	土師器	坏	底部片 器高 底径 — —	ロクロ成形。底部は全面手持ちヘラケズリ。	白色微粒子、赤色微粒子を含む。暗淡褐色。焼成は良好。	5F65-16 底部外面に墨書「白」
13	土師器	高台付坏	口径 器高 底径 (112) 48 82	ロクロ整形。底部の切り離しは不明。内面は丁寧なミガキ。黒色処理される。	砂を多く含む白色粒子赤色粒子が目立つ。内面は黒色、外面は橙褐色。焼成は良好。	5F65-16括6
14	須恵器	坏	口径 器高 底径 (150) 46 —	ロクロ整形。底部はヘラ切り後、全面手持ちヘラケズリ。体部下端は未調整。	白色大粒、石英、雲母を含む。灰色。焼成は良好。	5F65-21 No. 23, 新治産
15	須恵器	高台付坏	口径 器高 底径 148 <44> 96	ロクロ整形。底部は回転ヘラケズリ。口縁部はつまみ出され外反する。	白色微粒子を含み緻密。灰色。焼成は良好で硬質。	5F65-21 No. 19 SI-57No. 16 東海産?
16	須恵器	高台付坏	口径 器高 底径 (186) 36 (146)	ロクロ整形。底部は回転ヘラケズリ。内面は硯に転用され墨が付着し、平滑になっている。口縁端部は擦られ体部がU字状になっている。	緻密で白色微粒子を僅かに含む。灰白色。焼成は良好で硬質。	5F65-21 No. 12 SI-91 湖西産
17	土師器	甕	口径 器高 底径 (140) <52> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。内面はヘラナデ(ケズリ)後ナデ。口縁端部は鋭くつまみ出される。	砂を多く含む。淡褐色。焼成は良好。	5F65-21 No. 1
18	土師器	甕	口径 器高 底径 (147) <53> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラナデ後ナデ。頸部内面はヘラケズリ後ナデ。	砂を多く含む。褐色。焼成は良好。	5F65-16 No. 3
19	土師器	甕	口径 器高 底径 (160) <40> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後ミガキ。胴部内面はナデ。	砂を多く含む。黒褐色。焼成は良好。	5F65-21 No. 11
20	土師器	甕	口径 器高 底径 (160) <58> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラナデ後ナデ。口縁端部は短くつまみ出される。	砂を多く含む。褐色。焼成はやや不良。	5F65-16 No. 5
21	土師器	甕	口径 器高 底径 (161) <58> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ。胴部内面はヘラナデ後ナデ。	砂を含む。赤褐色。焼成は良好。	No. 35
22	土師器	甕	口径 器高 底径 (190) <63> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ケズリ後、横位ヘラケズリ。内面は横位ケズリ後ナデ。口縁端部は短くつまみ出される。	砂を多く含む。明褐色。焼成は良好。	No. 43
23	土師器	甕	口径 器高 底径 (240) —	口縁部は横ナデ。胴部外面は剝離が著しい。胴部内面はヘラナデ後ナデ。口縁端部は外反気味につまみ出される。	長石、雲母、石英を含む。茶褐色及び黄褐色。焼成は不良。	No. 47, 5F65-21 No. 2, 3, 18, 括 常総型甕

24	土師器	甕	口径 器高 底径	— <125> 116	胴部外面は斜横位ヘラケズリ後ナデ。内面はヘラナデ後ナデ。底部はケズリ後ミガキ。	砂を多く含む。淡褐色。焼成はやや不良。	5F65-21 No. 15 ~17
25	土師器	甕	口径 器高 底径	(220) <72> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ後ミガキ。内面はナデ。	砂を含む。褐色。焼成は良好。	No. 52
26	土師器	甕	口径 器高 底径	(260) <50> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は頸部から縦位ヘラケズリ。頸部内面はヘラナデ(ケズリ)後ナデ。	砂を含む。茶褐色。焼成はやや不良。	No. 42
27	土師器	甕	口径 器高 底径	(252) <62> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。胴部内面はナデ後、粗いミガキ。	白色粒子、赤色粒微粒子が目立つ。明褐色。焼成は良好。	5F65-16 No. 34 5F65-21
28	土師器	甕	口径 器高 底径	(241) <48> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。胴部内面はヘラナデ後ナデ。	砂を含む。淡褐色。焼成は良好。	5F65-16
29	土師器	甕	口径 器高 底径	— <55> (130)	胴部外面は縦位ヘラケズリ。下端は斜位ヘラケズリ後ミガキ。孔部はヘラケズリ。	砂を多く含む赤色粒子が目立つ。明褐色。焼成は良好。	5F65-16 No. 18
30	土師器	甕	口径 器高 底径	— <50> (120)	胴部外面は斜位ケズリ後ミガキ、胴部内面はヘラケズリ後ナデ、さらに縦位ミガキ。	砂を多く含む。褐色。焼成は良好。	No. 40 5F65-16 No. 18
31	土師器	甕	口径 器高 底径	— <140> 100	胴部外面は縦位ヘラケズリ。内面は横位ヘラケズリ後ナデ、さらに縦位ミガキ。	砂を多く含む、白色粒子が目立つ。明褐色。焼成は良好。	5F65-16 No. 14, 17
32	鉄製品	鐵?	長さ36mm, 幅6.5mm, 厚さ5mm×3mm, 4mm×2.5mm。				5F65-21 No. 28

SX-90 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径 器高 底径	(116) 34 —	口縁部は内外面とも横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はミガキ。内外面とも漆仕上げによる黒色処理。	砂を多く含む、白色微粒子が目立つ。素地は淡黄褐色。黒色。焼成は不良。	No. 464
2	土師器	坏	口径 器高 底径	(160) <33> —	口唇部から底部はヘラケズリ後、全面巾広の丁寧なミガキ。内面はミガキ。内外面とも漆仕上げにより黒色処理。	砂を多く含む、白色微粒子が目立つ。外面は淡黒褐色、内面は暗褐色。焼成は良好。	No. 175, 276
3	土師器	坏	口径 器高 丸底	154 33	口唇部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面の下半は巾の狭い丁寧なミガキ。内外面とも漆仕上げにより黒色処理。	赤色粒、白色粒を含む。橙褐色及び暗褐色。焼成は良好。	No. 134, 301, X-4
4	土師器	坏	口径 器高 丸底	150 36	口唇部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はミガキ。内外面とも漆仕上げにより黒色処理。	砂を多く含む、赤色粒が目立つ。淡褐色。焼成は良好。	No. 1105, 括7c
5	土師器	坏	口径 器高 丸底	(154) 44	口唇部から底部はヘラケズリ後ミガキ。底面は削り方向を変え底部を作り出す。内面は丁寧なミガキ。内外面とも漆仕上げにより黒色処理。	砂を多く含む、白色微粒子が目立つ。茶褐色。焼成は良好。	No. 1108 底部外面に刻書「X」
6	土師器	坏	口径 器高 丸底	154 42	口唇部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面は連弧状の丁寧なミガキ。内外面とも漆仕上げにより黒色処理。	緻密で白色微粒子を含む。濃褐色及び暗褐色。焼成は良好。	4重5貝中、コラス3層
7	土師器	坏	口径 器高 丸底	(162) 36 82	口唇部から底部はヘラケズリ後丁寧なミガキ。内面は丁寧なミガキ。内外面とも漆仕上げにより黒色処理。口縁部は幾分外反する。	砂を多く含む。外面は明褐色、内面は茶褐色。焼成は良好。	括7c
8	土師器	坏	口径 器高 丸底	146 40	口唇部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はミガキ。内面は漆仕上げによる黒色処理か。	砂と小砂利を含む。暗褐色。焼成は良好。	No. 405
9	土師器	坏	口径 器高 丸底	157 41	口縁部は横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後、丁寧なミガキ。内面は丁寧なミガキでカーボン吸着による黒色処理。	砂を多く含む、白色粒子が目立つ。外面は淡褐色、内面は黒色。焼成は良好。	No. 957
10	土師器	坏	口径 器高 丸底	164 38	口縁部は横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面上半部は連弧状のミガキ、下半部は横ミガキでカーボン吸着による黒色処理。	砂を多く含む、白色粒子が目立つ。外面は淡褐色、内面は暗褐色。焼成は良好。	No. 1104
11	土師器	坏	口径 器高 丸底	(136) 44 66	口縁部は横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後ナデ風ミガキ。内面はナデ仕上げで、カーボン吸着による黒色処理。	赤色粒を多く含む。外面は明褐色、内面は黒色。焼成は良好。	No. 1033
12	土師器	坏	口径 器高 丸底	144 36	口唇部から底部はヘラケズリ後、丁寧なミガキ。底面は削り方向を変え底部を作り出す。内面はミガキで、カーボン吸着の黒色処理。	砂を多く含む、白色微粒子が目立つ。外面は褐色、内面は黒褐色。焼成は良好。	No. 272, 676, 677
13	土師器	坏	口径 器高 底径	(156) — —	口唇部から底部は連弧状に近いヘラケズリ後ミガキ。内面は丁寧なミガキで、カーボン吸着による黒色処理。	砂を多く含む、白色微粒子が目立つ。外面は淡褐色、内面は黒褐色。焼成は良好。	No. 456
14	土師器	坏	口径 器高 丸底	133 33	口唇部から底部はヘラケズリ後雑なミガキ。内面はミガキ。	大粒の白色粒子と赤色粒子を含む。外面は赤褐色、内面は淡褐色、一部黒色化。焼成は不良。	No. 581
15	土師器	坏	口径 器高 底径	(150) 42 —	口唇部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面は剥離が著しく調整不明。	赤色粒を含む。淡褐色。焼成は良好。	No. 61



16	土師器	坏	口径器高底径	(148) <34> —	口縁部は横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後ナデ風ミガキ。内面はミガキ。	赤色粒と白色粒子を含む。外面は淡褐色及び灰褐色。内面は茶褐色。焼成は良好。	No. 336, 343
17	土師器	坏	口径器高丸底	(156) 34	口唇部から底部はヘラケズリ後ヘラミガキ。内面は丁寧なミガキで、底面は単一方向のミガキ。非常に薄手の作り。	白色粒を含む。橙褐色。焼成は良好。	No. 316
18	土師器	坏	口径器高底径	(138) — —	口唇部から底部はヘラケズリ後、丁寧なミガキ。内面はミガキ。内外面とも剥離が著しい。口縁部は幾分内湾する。	砂を多く含む。赤色粒子が目立つ。淡褐色。焼成は良好。	括1
19	土師器	坏	口径器高丸底	(142) 34	口唇部から底部はヘラケズリ後ミガキされるが、内外面とも剥離が著しく調整不明。	赤色粒を多く含む。淡茶褐色。焼成はやや不良。	No. 522, 括
20	土師器	坏	口径器高底径	(152) — —	口唇部から底部はヘラケズリ後ナデ風ミガキ。内面は丁寧なミガキ。口縁部は幾分内湾する。	砂を多く含む。赤色粒が目立つ。淡褐色。焼成は良好。	括2
21	土師器	坏	口径器高底径	140 39 —	口唇部から底部はヘラケズリ後、丁寧なミガキだが剥離が著しい。内面はミガキ。	緻密で赤色粒子、白色粒子を含む。橙褐色。焼成は良好。	No. 8, 898, 923, 括
22	土師器	坏	口径器高底径	(150) <34> —	口唇部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はミガキ。	緻密で白色微粒子を僅かに含む。淡褐色。焼成は良好。	No. 893, 895
23	土師器	坏	口径器高丸底	148 36	口縁部は横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後、巾の狭い丁寧なミガキ。内面はミガキ。底面は正方射のミガキ。	緻密で白色微粒子を僅かに含む。外面は朱褐色、内面は淡橙褐色。焼成は良好で硬質。	No. 958
24	土師器	坏	口径器高丸底	147 37	口唇部から底部は巾の狭いヘラケズリ後ミガキ。内面は丁寧なミガキ。	赤色粒を含む。淡褐色。焼成は良好。	No. 268, 269, 692, 745
25	土師器	坏	口径器高丸底	(140) 35	口唇部から底部はヘラケズリ後ミガキ。底面では削り方向が変わっている。内面はミガキ。	赤色粒子、白色粒子を含む。橙褐色。焼成は良好。	括7
26	土師器	坏	口径器高丸底	148 40	口唇部から底部はヘラケズリ後、丁寧なミガキ。剥離が著しい。内面は丁寧なミガキ。	白色粒、赤色微粒子を含む。赤褐色。焼成は良好。	No. 7, 955-2
27	土師器	坏	口径器高丸底	158 35	口唇部から底部は巾広のヘラケズリ後ミガキ。内面は巾広の丁寧なミガキ。	砂を多く含む。外面は明褐色、内面は褐色。焼成は良好。	No. 962, 括
28	土師器	坏	口径器高丸底	(158) 39	口唇部から底部はヘラケズリ後、丁寧なミガキ。内面は巾広の丁寧なミガキ。	砂を多く含む。明褐色。焼成は良好。	No. 580, 904
29	土師器	坏	口径器高丸底	154 40	口唇部から底部は巾広のヘラケズリ後、丁寧で密なミガキ。内面は巾の狭いミガキ。口縁部は僅かに外反する。	緻密で砂と赤色粒を多く含む。褐色、暗褐色。焼成は良好。	No. 658, 956, 963
30	土師器	坏	口径器高丸底	164 41	口唇部から底部はヘラケズリ後、丁寧なミガキ。内面は丁寧なミガキ。底面を削り方向を変え作り出す。	細かな砂を多く含む。淡褐色及び橙褐色。焼成は良好。	No. 147, 639, 921, 922, 1067
31	土師器	坏	口径器高丸平底	(176) 35	口縁部は横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はミガキ。底面は削り方向を変え作り出す。	緻密な細かい胎土。白色微粒子を僅かに含む。淡褐色。焼成は良好。	No. 68, 括
32	土師器	坏(盤)	口径器高底径	(166) <32> 126	口唇部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はミガキで身込み部分は鋭利なミガキ。底部は平底気味となるが突出している。	細かな砂を含む。外面は褐色、内面は淡黒褐色。焼成は良好。	No. 171, 243, 252
33	土師器	坏	口径器高底径	162 37 —	口縁部は横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。剥離が著しい。内面はミガキ。底部は平底気味となるが突出している。	砂を多く含む。橙褐色。焼成は良好。	No. 不明, 括体部外面に線刻
34	土師器	坏	口径器高丸底	(146) 34	口唇部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面は斜位ミガキ後、底面単一方向ミガキ。底面は削り方向を変え作り出す。	緻密な細かい胎土。白色微粒子を僅かに含む。淡褐色。焼成は良好。	No. 419
35	土師器	坏	口径器高丸底	150 37	口唇部から底部はヘラケズリ後、雑なミガキ。内面はミガキ。底面は削り方向を変え作り出す。口縁端部は幾分内湾する。	砂を多く含む。明褐色。焼成は良好。	No. 901
36	土師器	坏	口径器高底径	(150) <37> —	口唇部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はミガキ。底面は削り方向を変え作り出す。	白色粒を含む。褐色及び茶褐色。焼成は良好。	No. 201
37	土師器	坏	口径器高底径	141 38 56	口唇部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面は丁寧なミガキ。底面は削り方向を変え、小さな平底を作り出す。	緻密で白色微粒子を僅かに含む。外面は赤褐色、内面は淡褐色。焼成はやや不良。	No. 977, 一括
38	土師器	坏	口径器高底径	168 40 65	口縁部は横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面は二段のミガキ。底面は削り方向を変え、小さな平底を作り出す。	砂を多く含む。外面は黄褐色及び橙褐色。内面は黄褐色。焼成は良好。	No. 247, 253
39	土師器	坏	口径器高底径	(150) 36 70	口縁部は横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面は丁寧なミガキ。底面は削り方向を変え、小さな平底を作り出す。	緻密で細かな胎土。白色粒子、赤色粒子を含む。明茶褐色。焼成は良好。	No. 455, 1023, 1028
40	土師器	坏	口径器高底径	(150) 37 56	口唇部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はミガキ。底面は削り方向を変え、小さな平底を作り出す。	砂を多く含む。明褐色。焼成は良好。	No. 1107
41	土師器	坏	口径器高底径	(148) <34> —	口唇部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面は剥離が著しいので調整不明。内面は赤彩される。底面は平底気味となる。	白色粒子を多く含む。褐色。焼成は良好。	No. 23, 139

42	土師器	盤状坏	口径 器高 底径	(130) 31 96	ロクロ整形。底部は全面手持ちヘラケズリ。体部下端は未調整。内外面とも赤彩される。	緻密で白色微粒子、赤色微粒子を僅かに含む。素地は淡黄褐色。焼成は良好で硬質。	No. 254, 括
43	土師器	盤	口径 器高 底径	180 30 166	非ロクロ成形。口唇部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はミガキ。内外面とも赤彩される。	緻密で赤色微粒子、白色微粒子を多く含む。素地は淡黄褐色。焼成は良好。	No. 404, 807~809, 括
44	土師器	蓋	口径 器高 底径	(114) 35 —	天井部はヘラケズリ後ミガキ。内面はミガキだが剥離が著しい。つまみ頂部は平らになる。口縁端部つまみ出され返りはない。	砂を多く含み、白色微粒子が目立つ。明褐色。焼成は良好。	No. 116
45	土師器	碗	口径 器高 底径	(154) 51 83	口唇部から底部はヘラケズリ後、ヘラナデ風ミガキ。内面はミガキ。底面の周縁部は再調整される。	緻密で白色粒子を僅かに含む。外面は淡褐色、内面は橙褐色。焼成は良好で硬質。	No. 297, 299, 253, 728, 978 括, 5F74-20
46	土師器	碗	口径 器高 底径	(172) <57> —	口唇部から底部はヘラケズリ後、丁寧なミガキ。内面はミガキ。底面は削り方向を変え作り出すが、平底にはなっていない。	白色粒を含む。橙褐色。焼成は良好。	No. 804
47	土師器	鉢	口径 器高 丸底	159 67	口縁部横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後ナデ風ミガキ。内面はナデ仕上げ。カーボン吸着による黒色処理。	白色粒子、赤色粒子を含む。外面は明褐色、内面は黒色、明茶褐色。	No. 388, 392
48	土師器	小形壺	口径 器高 底径	94 83 70	口縁部は横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラナデ後、口縁部と下半部が細い丁寧なミガキ。	粗い白色粒子、赤色粒子を含む。明褐色。焼成は良好。	No. 52, 1056
49	須恵器	坏	口径 器高 底径	— <11> (92)	ロクロ整形。底部の切り離しと調整は剥離が著しく不明瞭。体部下端は未調整。	緻密で小砂利を僅かに含み、白色粒子はほとんど含まない。淡灰色。焼成は良好だが軟質。	No. 348 稲敷産か
50	須恵器	坏	口径 器高 底径	— <13> (96)	ロクロ整形。底部は全面手持ちヘラケズリ。体部下端は未調整。	長石、石英、金雲母を多量と赤色粒子を含む。淡灰褐色。焼成はあまく軟質。	No. 111, 1074 新治産
51	須恵器	坏	口径 器高 底径	129 40 60	ロクロ整形。底部は全面回転ヘラケズリ。体部下端は回転ヘラケズリ。	長石、石英、金雲母を多量に含む。灰黄褐色で黄色味が強い。焼成は良好。	No. 1055 新治産
52	須恵器	坏	口径 器高 底径	149 38 90	ロクロ整形。底部はヘラ切り後、手持ちヘラケズリ。体部下端は未調整。	長石、石英、雲母を多量に含む。灰色及び灰褐色。焼成は良好。	No. 1102, 括 新治産
53	須恵器	坏	口径 器高 底径	146 43 (80)	ロクロ整形。底部は全面手持ちヘラケズリ。体部下端は未調整。	長石、石英、銀雲母を多量含む。灰色及び濃灰色。焼成は良好。	No. 955 新治産
54	須恵器	高台付坏	口径 器高 台部径	— <14> 124	ロクロ整形。底部は全面回転ヘラケズリ。高台は幾分丸みをもつ角高台。	白色微粒子を多量と赤色微粒子を少量含む。外面は淡黒褐色、内面は淡茶褐色。焼成はあまい。	No. 379 稲敷産か
55	須恵器	高台付坏	口径 器高 台部径	(140) 31 <112>	ロクロ整形。底部は全面回転ヘラケズリ。高台は削り出し。形態は外開きの角高台。	緻密で白色微粒子を多く含む。灰色。焼成は良好だが軟質。	No. 314 稲敷産
56	須恵器	高台付坏	口径 器高 台部径	147 40 102	ロクロ整形。底部は全面回転ヘラケズリ。高台は角高台で貼り付け。	緻密で白色微粒子をごく僅かに含む。灰色。焼成は良好で硬質。	No. 195, 200, 203 湖西産
57	須恵器	高台付坏	口径 器高 台部径	(147) 39 105	ロクロ整形。底部は全面回転ヘラケズリ。高台は角高台。	緻密で僅かに白色微粒子を含む。淡灰色。焼成は良好で硬質。	No. 1103, 1106, 底部外面に刻書「一」湖西産
58	須恵器	蓋	口径 器高 底径	147 26 —	ロクロ整形。天井部は回転ヘラケズリ。口縁部はハの字状に開き、内面の返りは弱丸みをもつ。	緻密で白色微粒子と小砂利を僅かに含む。黄灰白色。焼成は良好。	No. 428 稲敷産
59	須恵器	蓋	口径 器高 底径	153 27 —	ロクロ整形。天井部は回転ヘラケズリ。口縁部は反り気味になり、内面の返りは細いひも状になっている。	長石、石英、雲母を含む。淡灰色。焼成は良好だが軟質。	No. 291, 688, 694, 730, 732 括 新治産
60	須恵器	蓋	口径 器高 底径	160 <22> —	ロクロ整形。天井部は回転ヘラケズリ。口縁部は反り気味になり、内面の返りは丸みをもつ。	長石、石英、雲母を含む。淡灰色。焼成は良好。	No. 1085 新治産
61	須恵器	蓋	口径 器高 底径	(154) 25 —	ロクロ整形。天井部は回転ヘラケズリ。口縁部は反り気味になり、内面の返りは細く短い紐状である。つまみは頂部が平らで端部は鋭い。	長石、石英、雲母を含む。灰黄褐色。焼成は良好で軟質。	No. 703 新治産
62	須恵器	蓋	口径 器高 底径	155 29 —	ロクロ整形。天井部は回転ヘラケズリ。口縁部は反り気味になり、内面の返りは細い紐状になっている。	緻密で砂を多く、白色微粒子と小砂利を僅かに含む。淡灰色。焼成は良好。	No. 197, 207, 208, 212 稲敷産
63	須恵器	蓋	口径 器高 底径	160 36 —	ロクロ整形。天井部は回転ヘラケズリ。口縁部はハの字状に開き、内面の返りは細い紐状になっている。	緻密で砂っぽい白色微粒子を僅かに含む。淡灰色。焼成は良好。	No. 133, 652, 653 稲敷産
64	須恵器	蓋	口径 器高 底径	160 27 —	ロクロ整形。天井部は回転ヘラケズリ。口縁部は反り気味になり、内面の返りは丸みをもつ。	長石、石英、雲母を含む。外面は黄褐色、内面は茶黄褐色。焼成はあまく軟質。	No. 104, 151, 括, 5F75-15 新治産
65	土師器	甕	口径 器高 胴最大径	(242) <286> (282)	口縁部は横ナデ。胴部外面はタタキ調整後ナデ。肩部より縦方向のミガキ。胴部内面はヘラケズリ後ナデ。口縁部は垂直につまみ出され	長石、石英、雲母を多量に含む。淡灰褐色及び茶褐色。焼成は良好。	No. 2, 3, 15, 17, 519 常総型甕
66	土師器	甕	口径 器高 底径	(197) <86> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラナデ。	砂を多く含み、赤色粒が目立つ。淡褐色、一部黒色。焼成は良好。	No. 6



67	土師器	甕	口径器高底径 — <89> 108	胴部外面はヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラケズリ後ナデ。	砂を多く含み、白色粒子、赤色粒子が目立つ。外面は暗赤褐色、内面は黄褐色。焼成は良好。	No. 13, 18, 19
68	土師器	甕	口径器高底径 200 <153> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラナデ後ナデ。口縁端部は短くつまみ出される。	砂を多く含み、白色粒子が目立つ。赤褐色、茶褐色。焼成は良好。	No. 20, 889, 1054, 1072, 括
69	土師器	甕	口径器高底径 — <45> 125	胴部外面は斜位ヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラナデ後ナデ。底部は突出する。	砂を多く含み、白色粒子が目立つ。茶褐色。焼成は良好。	No. 27, 256, 258, 259, 261, 673
70	土師器	甕	口径器高底径 208 <120> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラナデ後ナデ。口縁部側面は面取り状になる。	砂を多く含む。赤褐色、一部黒色。焼成は良好。	No. 35, 505, 517
71	土師器	甕	口径器高底径 (201) <86> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラナデ後ナデ。口縁端部は短くつまみ出される。	砂を多く含み、白色粒が目立つ。赤茶褐色。焼成は不良。	No. 43
72	土師器	甕	口径器高底径 (176) <63> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ後ミガキ。内面はケズリ後ナデ。口縁端部は短くつまみ出される。	緻密で白色微粒子、赤色微粒子を僅かに含む。赤褐色及び茶褐色。焼成は良好でやや軟質。	No. 53, 570
73	土師器	甕	口径器高底径 190 <156> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は二方向からの斜位ヘラケズリ後ミガキ。内面は横位ヘラナデ後ナデ。口縁端部は側面が凹面状になる。	白色粒を含む。褐色及び黄褐色。焼成は良好で硬質。	No. 54, 100, 105, 553, 5F74-15
74	土師器	甕	口径器高底径 (170) <55> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は横位ヘラケズリ後ミガキ。内面は剥離が著しく調整不明。口縁部は素縁で大きく外反する。	白色粒を含む。暗褐色。焼成は良好。	No. 78, 括
75	土師器	甕	口径器高底径 170 183 86	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ後、下半部横位ヘラケズリ。内面は巾広のヘラナデ後ナデ。口縁部は素縁で大きく外反する。	白色粒子、赤色粒子を多く含む粗い。茶褐色、下部黒褐色。焼成は良好。	No. 81
76	土師器	甕	口径器高底径 (264) <71> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は頸部から斜位ヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラナデ後ミガキ。口縁部は大きく外反する。	砂を多く含み、白色粒が目立つ。茶褐色。焼成は良好。	No. 91
77	土師器	甕	口径器高底径 (226) <53> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は横位ヘラケズリ。内面はヘラケズリ後ナデ。	白色微粒子を多く含む。暗茶褐色。焼成は良好。	No. 95
78	土師器	甕	口径器高底径 258 442 (116) 胴最大径 386	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ後ミガキ。胴部内面はヘラ調整後ナデ。口縁端部は短く垂直につまみ出される。	白色粒子、赤色粒子を含む。内面淡褐色、外面赤褐色。焼成は良好。	No. 114, 119, 122, 130, 136, 141, 144, 150, 165, 184, 214, 572, 577, 578, 641, 648, 649, 651, 917, 918, 925, 945, 1059, 1060
79	土師器	甕	口径器高底径 (246) <236> 胴最大径 245	口縁部は横ナデ。胴部外面はタタキ整形後ナデ。胴部中位から縦方向のミガキ。内面はヘラナデ後ナデ。口縁部は短くつまみ出される。	長石、石英、雲母を多量に含む。淡茶褐色。焼成は良好で硬質。	No. 129, 172, 474, 476, 555, 559, 599 常総型甕
80	土師器	甕	口径器高底径 206 <132> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ後ミガキ。内面は頸部下からヘラケズリ後ナデ。口縁部は素縁で大きく外反する。	白色粒を含む。橙褐色、一部黒褐色。焼成は良好で硬質。	No. 145, 582, 598, 921
81	土師器	甕	口径器高底径 (200) <80> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は二方向からの斜位ヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラケズリ後ナデ。	白色粒を含む。明褐色。焼成は良好。	No. 124~126
82	土師器	甕	口径器高底径 160 <57> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラケズリ後ナデ。	細かな砂と赤色粒を含む。赤茶褐色。焼成は良好。	No. 146, 632
83	土師器	甕	口径器高底径 (210) <59> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は横位ヘラケズリ後、ミガキ。内面はヘラナデ後ナデ。口縁端部は強くつまみ出され、側面に凹面が作られる。	白色粒を多く含む。暗褐色。焼成は良好。	No. 153, 155
84	土師器	甕	口径器高底径 223 <62> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後ミガキ。胴部内面はヘラナデ後ナデ。口縁部は素縁で大きく外反する。	白色粒子を含む。赤茶褐色。焼成は良好。	No. 156
85	土師器	甕	口径器高底径 150 <147> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ。胴部内面は上位横位ケズリ後ナデ、下位は斜位ケズリ。口縁部は素縁で大きく外反する。	橙褐色、茶褐色、黒色。焼成は良好。	No. 158, 597, 940
86	土師器	甕	口径器高底径 (174) <63> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラケズリ後ナデ。口縁部は短くつまみ出され。	白色粒、黒色粒を含む。茶褐色。焼成は良好。	No. 160, 584
87	土師器	甕	口径器高底径 (224) <34> —	口縁部は横ナデ。口縁端部は内側に折るようにつまみ出される。	白色粒を多く含む。茶褐色。焼成は良好。	No. 179, 590, 942
88	土師器	甕	口径器高底径 228 <215> 胴最大径 292	口縁部横ナデ。胴部外面はタタキ整形後ナデ。胴部中位から縦方向のミガキ。内面はヘラケズリ後ナデ。口縁端部は鋭くつまみ出される。	長石、石英、雲母を多く含む。黄褐色及び外面一部灰褐色。焼成は良好で硬質。	No. 186, 357, 359, 360, 629, 636, 646, 699, 常総型甕
89	土師器	甕	口径器高底径 (220) <79> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラナデ後ナデ。	白色粒を含む。淡褐色。焼成は良好。	No. 187, 218, 219

90	土師器	甕	口径器高底径 (207) <56> —	口縁部は横ナデ。口縁端部は両端がつまみ出される。	赤色粒、白色粒を含む。黄褐色。焼成は良好。	No. 188, 231, 233, 237, 5F74-15 括
91	土師器	甕	口径器高底径 184 <81> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラケズリ後ナデ。口縁端部は上方に鋭くつままれる。	砂を多く含む。茶褐色。焼成は良好。	No. 215, 623, 959, 606
92	土師器	甕	口径器高底径 (194) <60> —	口縁部は横ナデ。胴部外面はヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラケズリ後ナデ。口縁端部は下方に凸部がみられる。	白色・茶色・灰色粒を含みやや粗い。茶褐色。焼成は良好。	No. 224, 235, 240, 241, 245
93	土師器	甕	口径器高底径 (210) <59> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラケズリ後ナデ。口縁端部は短く外側につまみ出される。	砂と白色粒子、赤色粒子を多く含む。外面赤褐色、内面橙褐色。焼成は良好。	No. 275, 5F74-20
94	土師器	甕	口径器高底径 (200) <75> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラケズリ後ナデ。刺彫が著しい。口縁部は大きく外反する。	白色粒子、赤色粒子を含む。明褐色。焼成は良好。	No. 282
95	土師器	甕	口径器高底径 (216) <46> —	口縁部横ナデ。胴部外面は頸部から縦位ヘラケズリ。口縁部は大きく外反する。	白色粒子、赤色粒子を含む。赤褐色。焼成は良好。	No. 304, 451
96	土師器	甕	口径器高底径 (180) <57> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は頸部から縦位ヘラケズリ後ナデ。内面はヘラケズリ後ナデ。	砂を多く含む白色粒子、赤色粒子が目立つ。暗茶褐色。焼成は良好。	No. 324
97	土師器	甕	口径器高底径 (220) <72> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ。内面はヘラケズリ後ヘラナデ。口縁端部は外側に強くつまみ出される。	緻密で白色粒子が目立つ。暗褐色。焼成は良好。	No. 327, 329
98	土師器	甕	口径器高底径 (166) <52> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラナデ。口縁部は素縁で弱く外反する。	白色粒子を多く含む。暗褐色。焼成は良好。	No. 364
99	土師器	甕	口径器高底径 (150) <47> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラナデ後ナデ。口縁部は素縁で弱く外反する。	白色粒子を多く含む。暗褐色。焼成は良好。	No. 370, 387
100	土師器	甕	口径器高底径 (160) <65> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラケズリ(ナデ)後ナデ。口縁端部は短くつまみ出される。	砂を多く含む白色粒子、赤色粒子が目立つ。外面暗褐色、内面黒褐色。焼成は良好。	No. 383, 384, 794
101	土師器	甕	口径器高底径 156 <74> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後、斜位ヘラケズリ。内面はヘラナデ後ナデ。口縁部は素縁で弱く外反する。	砂を多く含む。外面茶褐色、内面淡橙褐色。焼成は良好で軽量。	No. 399, 1052, 5F74-15
102	土師器	甕	口径器高底径 207 <40> —	口縁部横ナデ。口縁端部は両端がつまみ出され、側面は面取り状になる。	白色微粒子を僅かに含む。明褐色。焼成は良好。	No. 398, 400
103	土師器	甕	口径器高底径 (180) <88> —	口縁部横ナデ。頸部に輪積痕。胴部外面は斜位ヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラケズリ後ナデ。口縁端部は両端がつまみ出される。	砂を多く含む白色粒子、赤色粒子を多く含む。茶褐色。焼成は良好。	No. 403, 406
104	土師器	甕	口径器高底径 (164) <54> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は横位ヘラケズリ後ミガキ。口縁部は素縁で大きく外反する。	白色粒を含む。暗褐色。焼成はやや不良。	No. 421, 1010
105	土師器	甕	口径器高底径 (200) <47> —	口縁部は横ナデ。胴部内面はヘラナデ後ナデ。口縁部は素縁で大きく外反する。	白色粒子を多く含む。淡褐色。焼成は良好。	No. 433
106	土師器	甕	口径器高底径 160 <50> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は頸部から斜位ヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラナデ後ナデ。口縁端部は玉縁状につまみ出される。	緻密だが砂を多く含む。明褐色。焼成は良好。	No. 440, 818
107	土師器	甕	口径器高底径 (156) <51> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。内面はヘラナデ後ナデ。口縁端部は鋭くつまみ出される。	砂を多く含む、白色粒子、赤色粒子が目立つ。黒赤褐色及び黒褐色。焼成はやや不良。	No. 445, 853, 括
108	土師器	甕	器高底径 <127> 71 胴最大径 180	胴部外面は縦位ヘラケズリ後、斜横位ヘラケズリ。内面はナデ上げ。	白色粒を含む。褐色、茶褐色。焼成はやや不良。	No. 449, 450, 867, 1048, 1049
109	土師器	甕	口径器高底径 (168) <70> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ後ナデ(ミガキ)。内面は頸部から横位ヘラケズリ後ナデ。口縁端部は両端が弱くつままれる。	砂を多く含む、白色粒子が目立つ。褐色、茶褐色。焼成は良好。	No. 452, 5F74-15
110	土師器	甕	口径器高底径 122 <120> —	口縁部横ナデ。頸部は斜位ヘラケズリ。胴部は縦位ヘラケズリ後、下半横位ヘラケズリ。内面は斜位ヘラケズリ後、下半は横位ヘラケズリ。	白色粒、赤色粒を含む。淡褐色。焼成は良好。	No. 473, 478
111	土師器	甕	口径器高底径 (177) <71> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は横位ヘラケズリ。内面はナデ。	白色粒子を多く含む。外面赤褐色、内面淡赤褐色。焼成は良好。	No. 480
112	土師器	甕	口径器高底径 184 <131> 胴最大径 218	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ケズリ後雑なミガキ、内面はヘラナデ後ナデ。口縁端部は垂直に鋭くつまみ出される。	緻密で白色微粒子、赤色微粒子を多く含む。橙褐色。焼成は良好。	No. 482
113	土師器	甕	口径器高底径 (170) <65> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。内面は頸部から横位ケズリ後ナデ。口縁部側面に凹凸面がみられる。	砂を多量に含む。褐色及び橙褐色。焼成は良好。	No. 520



114	土師器	甕	口径器高底径	(196) <80> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラナデ後ナデ。口縁端部は両端が鋭くなる。	砂を多く含む。赤茶褐色及び淡褐色。焼成は良好。	No. 545, 548
115	土師器	甕	口径器高底径	(184) <89> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は二方向からの斜位ヘラケズリ後ミガキ。内面は横位ヘラナデ後ナデ。口縁端部は外反気味につまみ出される。	砂を多く含む。白色粒子が目立つ。赤黒褐色及び黒褐色。焼成は良好。	No. 576, 582, 92 0, 5F74-15
116	土師器	甕	口径器高底径	— <90> 107	胴部外面は斜位ヘラケズリ後ナデ。内面はヘラナデ後ナデ。	砂を多く含む。白色粒子と赤色粒子が目立つ。暗褐色及び明褐色。焼成は良好。	No. 593
117	土師器	甕	口径器高底径	222 <159> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ後ミガキ。胴部内面はヘラケズリ後ナデ。口縁端部は鋭くつまみ出される。	白色粒子、赤色粒子を含む。茶褐色、一部黒色。焼成は良好。	No.594, 909, 910, 911, 1060, 1068, 1070, 1073, 1076, 118
118	土師器	甕	口径器高底径	— <75> 124	胴部外面は斜位ヘラケズリ後ミガキ。胴部内面はヘラケズリ後ナデ。底部は丸みをもち突出する。	白色粒子、赤色粒子を含む。外面は赤褐色、一部黒色。内面は茶褐色。焼成は良好。	No. 663, 667, 668, 976, 978, 1087, 117
119	土師器	甕	口径器高底径	(217) <55> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ後ミガキ。口縁端部は両端が鋭くつまみ出される。	白色粒を含む。暗褐色。焼成はやや不良。	No. 608, 括
120	土師器	甕	口径器高胴最大径	(150) <119> 174	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ後、下半部は斜横位ヘラケズリ。内面はヘラナデ後ナデ。	赤色粒子を含む。淡黄褐色。焼成は良好。	No. 612, 614, 616, 617, 622, 969 121と同一個体
121	土師器	甕	口径器高底径	— <93> 94	胴部外面は斜横位ヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラナデ後ナデ。底部は丸みをもち突出する。	赤色粒子を含む。淡黄褐色。焼成は良好。	No. 614, 914, 1071, 1073 120と同一個体
122	土師器	甕	口径器高底径	(200) <93> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラケズリ後ナデ。口縁部は素縁で緩やかに大きく外反する。	白色粒子、赤色粒子を含む。茶褐色。焼成は良好。	No. 624
123	土師器	甕	口径器高胴最大径	(172) <137> (192)	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後ヘラナデ風ミガキ。内面はヘラナデ後ナデ。口縁部は素縁で外反する。	白色粒子を含む。淡赤褐色。焼成は良好。	No. 625
124	土師器	甕	口径器高底径	161 <65> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラナデ後ナデ。口縁部は素縁で外反する。	白色粒子を含む。明褐色。焼成は良好。	No. 639, 941
125	土師器	甕	口径器高底径	— <56> 92	胴部外面は斜横位ヘラケズリ後ナデ。内面はヘラナデ後ナデ。底部外面は単一方向のケズリ。底部は丸みをもち突出する。	白色粒子、赤色粒子を含む。茶褐色。焼成は良好。	No. 650
126	土師器	甕	口径器高底径	(164) <79> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラナデ後ナデ。口縁部は素縁で大きく外反する。	白色粒を含む。茶褐色。焼成は良好。	No. 744
127	土師器	甕	口径器高底径	170 <102> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ後ミガキ。内面は頸部がヘラケズリ後ナデ。胴部はヘラナデ後ナデ。口縁部は素縁で外反する。	白色粒子を含む。黒茶褐色。焼成は良好。	No. 784, 986, 5F74-15
128	土師器	甕	口径器高底径	(150) <50> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラケズリ後ミガキ。口縁部は素縁で短く外反する。	白色粒を含む。淡茶褐色。焼成は良好。	No. 873, 1049
129	土師器	甕	口径器高底径	169 <48> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラケズリ後ナデ。口縁端部は両端がつまみ出される。	白色粒子を含む。淡茶褐色。焼成は良好。	No. 924
130	土師器	甕	口径器高底径	(174) <69> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラナデ後ナデ。口縁部は緩やかに外反する。	白色粒子を多く含む。赤褐色。焼成は良好。	No. 927
131	土師器	甕	口径器高底径	145 <85> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラナデ後ナデ。口縁部は緩やかに外反する。	白色粒子、赤色粒子を含む。外面明褐色、内面黒褐色及び明褐色。焼成は良好。	No. 929, 930
132	土師器	甕	口径器高底径	196 <113> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラナデ後ナデ。口縁端部は幾分つまみ出される。	白色粒子、赤色粒子を多く含む。暗褐色。焼成は良好。	No. 1001, 1003, 1080
133	土師器	甕	口径器高底径	(222) <80> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラ調整後ナデ。口縁部は素縁で弱く外反する。	白色粒、黒色微粒子を含む。暗褐色。焼成は良好。	No. 1004
134	土師器	甕	口径器高胴最大径	198 <215> 212	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後斜位ヘラケズリ。内面は頸部から横位ヘラケズリ後ナデ。口縁部はくの字状に曲折する。	砂を多く含む。白色粒子、赤色粒子が目立つ。内面橙褐色及び暗橙褐色、外面黒褐色。焼成は良好。	No. 1012, 1021, 1082, 1083, 1084
135	土師器	甕	口径器高胴最大径	164 <113> 211	口縁部横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ後、下半を逆方向のヘラケズリ、更にミガキ。内面はヘラナデ後ナデ。	白色粒子を多く含む。明褐色。焼成は良好。	No. 1053
136	土師器	甕	口径器高底径	204 <84> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラナデ後ナデ。口縁端部はつまみ出され、両端が鋭くなる。	赤色粒、白色粒を含む。明茶褐色。焼成は不良。	No. 1066, 1091
137	土師器	甕	口径器高底径	144 <82> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後、斜位ヘラケズリ。内面はヘラナデ後ナデ。口縁部は素縁で緩やかに外反する。	緻密だが砂を多く含む。白色粒子が目立つ。赤褐色。焼成は良好。	No. 1069

138	土師器	甕	口径器高底径 — <65> 78	胴部外面は斜位ケズリ後ミガキ。内面は剥離が著しい。底部は丸みをもち突出する。	白色粒子を多く含む。外面淡褐色、内面黒褐色。焼成は良好。	No. 1077
139	土師器	甕	口径器高胴最大径(174) (161) <136>	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラナデ後ナデ。口縁部は素縁で直線的に立ち上がる。	白色粒を含む。外面黒褐色、内面暗褐色。焼成は良好。	No. 1081
140	土師器	甕	口径器高底径 — <152> 122	胴部外面は斜位ケズリ後ナデ(ミガキ)、内面はヘラナデ後ナデ。底部は丸みをもち突出する。	砂を多く含む。白色粒子と赤色粒子が目立つ。暗褐色。焼成は良好。	No. 1091, 括
141	土師器	甕	口径器高底径 212 <80> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ後ミガキ。内面は横位ヘラケズリ後ナデ。口縁部は緩やかに外反する。	緻密で白色微粒子、赤色微粒子を僅かに含む。赤褐色、一部黒色。焼成は良好で硬質。	No. 1094, 4C, 括
142	土師器	甕	口径器高底径 (136) <63> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラケズリ後ナデ。口縁部は素縁で緩やかに外反する。	緻密で白色微粒子、赤色微粒子を僅かに含む。暗褐色。焼成は良好。	No. 1096, 1099
143	土師器	甕	口径器高胴最大径(162) (164) <132>	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラナデ後ナデ。口縁部は素縁で緩やかに外反する。	白色粒子を多く含む。茶褐色。焼成は良好。	No. 1097, 1098
144	土師器	甕	口径器高底径 (164) <72> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラナデ後ナデ。口縁部は緩やかに外反する。	白色粒、石英を含む。淡茶褐色。焼成は良好。	括3
145	土師器	甕	口径器高底径 170 <75> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラナデ後ナデ。口縁部は緩やかに外反し、端部はつまみ出される。	緻密で白色微粒子、赤色微粒子を僅かに含む。明褐色。焼成は良好。	括4
146	土師器	甕	口径器高底径 178 <36> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラケズリ後ナデ。口縁部は素縁で大きく緩やかに外反する。	白色微粒子を多量と赤色粒を含む。暗赤褐色。焼成は良好。	4A-5
147	土師器	甕	口径器高底径 208 <59> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラケズリ後ナデ。口縁部は強く外につまみ出される。	砂を多く含む。白色粒子が目立つ。茶褐色。焼成は良好。	括8
148	土師器	甕	口径器高底径 (204) <65> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は頸部より斜位ヘラケズリ後ナデ。内面はヘラケズリ後ナデ。口縁部は素縁で緩やかに外反する。	緻密で白色微粒子、赤色微粒子を僅かに含む。橙褐色。焼成は良好。	5F74-15
149	土師器	甕	口径器高底径 — <17> 80	胴部外面は縦方向のミガキ。内面は横位ヘラナデ。底部外面に木葉痕。	長石、石英、雲母を多量に含む。外面赤褐色、内面淡黒褐色。焼成はあまい。	SB-2貝内常総型壺
150	土師器	甕	口径器高底径 320 <90> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後、斜位ヘラケズリ。更にミガキ。内面は横位方向のミガキ後、縦位ミガキ。	白色微粒子、赤色微粒子を多く含む。赤褐色、一部黒色。焼成は良好でやや硬質。	No. 94, 96
151	土師器	甕	口径器高底径 240 <156> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ後、縦方向のミガキ。内面はヘラケズリ後ナデ。更にミガキ。	砂を多く含む白色粒子、赤色粒子が目立つ。赤褐色、一部黒褐色。焼成は良好。	No. 128
152	土師器	甕	口径器高底径 (280) <52> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後ミガキ。内面はナデ後、雑なミガキ。口縁部は短く両端部はつまみ出される。	砂を多く含む。白色粒子、赤色粒子が目立つ。黒褐色及び茶褐色。焼成は良好。	No. 162, 163, 58 7
153	土師器	甕	口径器高底径 (300) <72> —	口縁部横ナデ。胴部外面斜位ヘラケズリ後ミガキ。口縁部の内面横方向のミガキ。胴部ヘラケズリ後ナデ、更に縦方向の雑なミガキ。	砂を多く含む。白色粒子、赤色粒子が目立つ。赤褐色及び黒褐色。焼成は良好。	No. 306, 743
154	土師器	甕	口径器高底径 (306) <78> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ後ミガキ。内面は頸部から縦方向のミガキ。口縁部は短く外反する。	白色粒子、赤色粒子を多く含む。茶褐色。焼成は良好。	No. 335, 981
155	土師器	甕	口径器高底径 340 <145> —	口縁部横ナデ。胴部外面縦位ヘラケズリ後、斜横位ヘラケズリ。更にミガキ。口縁部内面は横ミガキ。胴部内面ヘラケズリ後ミガキ。	白色粒子、赤色粒子を多く含む。茶褐色及び黒色。焼成は良好。	No. 1020, 1050, 1051
156	土師器	甕	口径器高底径 (300) <65> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後ミガキ。内面はナデ後雑なミガキ。口縁部は短く外反する。	白色粒子、赤色微粒子を含む。茶褐色及び暗褐色。焼成は良好。	括5
157	土師器	甕	口径器高底径 300 <100> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ後ミガキ。内面は頸部が横方向のミガキ。胴部はヘラケズリ後、縦方向のミガキ。	白色微粒子、赤色粒を多く含む。赤褐色。焼成は良好。	7貝, SY-3
158	土製品	支脚	底径92×82mm, 高さ<177>mm。			No. 158
159	土製品	支脚	径86×85mm, 高さ<145>mm。			No. 159, 328
160	土製品	支脚	厚さ75×<51>mm, 高さ<146>mm。			No. 47, 60, 160
161	土製品	丸玉	径10×9mm, 厚さ7mm, 重さ0.68g。			貝4B層
162	石製品	丸玉	径9×9mm, 厚さ8mm, 重さ0.92g。			一括
163	鉄製品	刀子	長さ<99>mm, 刃部幅7mm, 背幅4mm, 柄部幅6mm, 背幅3mm。			No. 333
164	鉄製品	刀子	長さ<89>mm, 刃部幅11mm, 背幅3mm, 柄部幅7mm, 背幅3mm。			No. 711
165	鉄製品	刀子	長さ<34>mm, 幅7mm, 背幅2mm。			No. 731
166	鉄製品	鎌	長さ<153>mm, 幅13mm, 背幅2mm, 幅33mm, 背幅4mm。			No. 1005
167	鉄製品	鎌	長さ<88>mm, 幅17mm, 背幅3mm。			No. 1045



C区遺物観察表

SI-101 遺物観察表

( )は推定値、< >は現存値

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	土師器	坏	口径 (156) 器高 <33> 丸平底	口唇部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はミガキ。	赤色粒子を含む。淡褐色及び暗褐色。焼成は良好。	No. 4
2	土師器	坏	口径 (144) 器高 <33> 丸底	口唇部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はミガキ風ナデ。	赤色粒子を含む。淡黄褐色。焼成は良好。	No. 13
3	土師器	坏	口径 (146) 器高 <37> 丸底	口縁部は横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はミガキ。	赤色粒子を含む。褐色。焼成は良好。	No. 33
4	土師器	坏	口径 (148) 器高 40 丸底	口縁部は横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はミガキ。	赤色粒子を含み、ザラつく。淡褐色。焼成は良好。	No. 25
5	土師器	坏	口径 (117) 器高 36 底径 57	ロクロ整形。底部は回転糸切り後未調整。体部下端は未調整。	赤色粒を含む。暗褐色。焼成は良好。	No. 1
6	須恵器	高台付坏	口径 (158) 器高 36 台部径 (108)	ロクロ整形。底部は回転ヘラケズリ。高台は角高台で内傾して貼り付けられる。	緻密で白色微粒子を僅かに含む。灰白色。焼成は良好で硬質。	No. 15, 括湖西産
7	土師器	甕	口径 154 器高 90 底径 50	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ後ミガキ。胴部内面は斜横位ヘラケズリ後ミガキ。	赤色粒子を含む。褐色。底部にスス付着。焼成はやや不良。	No. 27
8	土師器	甕	口径 (226) 器高 <41> 底径 —	口縁部は横ナデ。口縁端部は両端が短くつまみ出される。	砂を多く含み、白色粒子が目立つ。濃褐色。焼成は良好。	括2
9	土師器	甕	口径 (208) 器高 <65> 底径 —	口縁部横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ後ミガキ。頸部内面は横位ヘラケズリ。胴部は斜位ヘラケズリ。	砂を含み、白色粒子と赤色粒子が目立つ。褐色。焼成は良好。	括1
10	土師器	甕	口径 (168) 器高 <59> 底径 —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後、頸部は横位ヘラケズリ。胴部内面はヘラナデ後ナデ。	赤色粒子を含む。濃茶褐色。焼成は良好。	No. 39
11	土師器	甕	口径 (136) 器高 <54> 底径 —	口縁部は横ナデ。胴部外面は頸部から縦位ヘラケズリ。内面はヘラナデ後ナデ。口縁部は緩やかに外反し、口縁端部は強くつまみ出される。	赤色粒子を含む。淡褐色。焼成は良好で硬質。	No. 11
12	土師器	甕	口径 (162) 器高 <52> 底径 —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。内面は横位ケズリ後ナデ。口縁部は直線的に外反する。	赤色粒子を含む。濃褐色。焼成は良好。	括3
13	須恵器	長頸壺	口径 (122) 器高 <56> 底径 —	ロクロ整形。口縁部は素縁で緩やかに外反する。	白色粒を含む。灰白色。焼成は良好。	No. 38
14	土師器	高坏	口径 — 器高 <50> 底径 101	坏部外面から脚部は縦位ヘラケズリ後ミガキ。脚部内面は横位ヘラケズリ後ナデ。坏部はミガキ。	赤色粒子を含む。褐色。焼成は良好。	No. 5
15	土師器	甕	口径 — 器高 — 底径 —	ロクロ整形。甕か蓋の口縁部片と考えられるが、類例が見あたらず。口縁端部の折り返し(巻き込み)は特徴的である。	緻密で白色微粒子を僅かに含む。橙褐色。焼成は良好。	括4
16	軽石		長さ89mm, 幅54mm, 厚さ53mm, 重さ30.9g。			No. 16
17	石器	砥石	長さ51mm, 幅56mm, 厚さ39mm, 重さ148.69g。			括5
18	石器	砥石	長さ48mm, 幅48mm, 厚さ23mm, 重さ52.13g。			括6
19	礫		長さ63mm, 幅21mm, 厚さ11mm, 重さ16.14g。			No. 6
20	礫		長さ49mm, 幅35mm, 厚さ15mm, 重さ27.51g。			括7
21	石器	砥石	長さ54mm, 幅46mm, 厚さ31mm, 重さ93.99g。			No. 10
22	土製品	支脚	高さ<50>mm, 厚さ<31>mm。			No. 18
23	土製品	土玉	径23mm, 厚さ22mm, 重さ10.00g。			括8
24	鉄製品	鎌	長さ<56>mm, 幅29mm, 厚さ2.5mm。			No. 3
25	鉄製品	刀子	長さ<79>mm, 幅6mm, 厚さ2.5mm。			No. 42
26	鉄製品	不明	長さ<35>mm, 幅11mm, 厚さ7mm。			括9
27	鉄製品	刀子	長さ<41>mm, 幅11mm, 厚さ3.5mm。			No. 14

SI-102 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	土師器	坏	口径 (142) 器高 <40> 底径 —	口唇部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はミガキ。	白色粒子、赤色粒を含む。褐色。焼成は良好。	括3
2	土師器	甕	口径 — 器高 <56> 底径 76	口縁部は横ナデ。胴部外面はミガキ、下端部は斜位ケズリ。内面は斜位ケズリ。口縁部は素縁で緩やかに外反する。	白色粒子を含む。黄褐色、黒褐色、橙褐色。焼成は良好。	括1
3	土師器	甕	口径 (150) 器高 <50> 底径 —	胴部外面は斜位ヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラナデ後ナデ。	白色粒子、透明粒子、赤色粒を含む。濃褐色。焼成は良好。	括2
4	石製品	鋸型	長さ80mm, 幅15mm, 厚さ4.5mm, 重さ9.24g。			No. 2

5	鉄製品	刀子	長さ<95>mm, 刃部 幅6.5mm, 背幅2mm, 柄部 幅6mm, 背幅 3mm。	括4
6	鉄製品	刀子	長さ<81>mm, 刃部 幅11mm, 背幅2.5mm, 柄部 幅3mm, 背幅2.5mm。	No. 1
7	鉄製品	鎌	長さ146mm, 幅19mm, 背幅2.5mm, 幅32mm, 背幅2.5mm。	No. 3
8	土製品	支脚	高さ<81>mm。	括5
9	礫		長さ59mm, 幅64mm, 厚さ40mm。	5F95-13 No. 1
10	礫		長さ60mm, 幅48mm, 厚さ23mm, 重さ82.0g。	括6

#### SI-104 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	礫		長さ44mm, 幅21mm, 厚さ19mm, 重さ29.49g。			括1

#### SI-105 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	石器	砥石	長さ163mm, 幅60mm, 厚さ33mm, 重さ521.88g。			No.6

#### SI-107 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	土師器	坏	口径 — 器高 <21> 底径 61	ロクロ整形。底部は回転糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。カーボン吸着による黒色処理。	砂を含む。黒褐色。焼成は良好。	No. 19
2	土師器	手捏土器	口径 — 器高 <33> 底径 40	外面は指頭によりナデ仕上げ。口縁部は細くつまみ出される。	砂を含む。茶褐色。焼成は良好。	括2
3	土師器	坏	口径 — 器高 — 底径 —	ロクロ整形。底部は全面手持ちヘラケズリ。	緻密で白色微粒子を僅かに含む。淡黄褐色。焼成は良好で硬質。	括1, 底部外面に墨書「白」?
4	石器	砥石	長さ80mm, 幅75mm, 厚さ55mm, 重さ464.04g。			No. 1
5	石器	凹石	長さ75mm, 幅56mm, 厚さ41mm, 重さ191.84g。			No. 21
6	土製品	支脚	高さ<38>mm, 厚さ<48>mm。			No. 25
7	石器	砥石	長さ60mm, 幅47mm, 厚さ39mm, 重さ89.83g。			No. 17

#### SI-108 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	土師器	坏	口径 (123) 器高 <36> 底径 58	ロクロ整形。底部は回転糸切り後、未調整。体部下端は未調整。	赤色粒を含む。茶褐色。焼成は良好。	No. 1
2	土師器	坏	口径 (114) 器高 40 底径 (58)	ロクロ整形。底部は回転糸切り後、未調整。体部下端は未調整。	緻密で金雲母、白色針状物を含む。焼成は良好。	No. 2
3	土師器	坏	口径 (140) 器高 38 丸平底	口縁部は横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はミガキ。	砂を多く含み、白色粒子が目立つ。焼成は良好。	No. 7
4	土師器	坏(盤)	口径 (200) 器高 <33> 丸平底	口縁部は横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はミガキ。	緻密で白色粒子と赤色粒子が目立つ。焼成は良好。	No. 8

#### SI-109 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	土師器	坏	口径 (126) 器高 31 丸底	口縁部は横ナデ後、丁寧なミガキ。体部から底部はヘラケズリミガキ。内面は丁寧なミガキ。内面は漆による黒色処理。	白色粒子、赤色粒を含む。黄褐色。焼成は良好。	No. 36, 37
2	土師器	坏	口径 123 器高 46 丸底	口縁部横ナデ後、丁寧なミガキ。体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面は丁寧なミガキ。内外面とも漆による黒色処理。	白色粒子、赤色粒を含む。明褐色。焼成は良好。	No. 11
3	土師器	壺	口径 (104) 器高 112 胴最大径<155>	口縁部は横ナデ。胴部外面は横位ヘラケズリ後ミガキ。胴部内面は横位ヘラケズリ後ミガキ。口縁部は素縁で内湾する。	白色粒子、赤色粒を含む。外面は濃褐色、内面は褐色。焼成は良好。	No. 25, 26
4	土師器	鉢(碗)	口径 (152) 器高 <110> 底径 —	口縁部は横ナデ後、雑なミガキ。体部から底部は横位ヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラナデ後、雑なミガキ。	白色粒子、黒色粒を含む。黒褐色。焼成は良好。	No. 31
5	土師器	甕	口径 121 器高 <57> 胴最大径 126	口縁部は横ナデ。胴部外面は横位ヘラケズリ。口縁部内面はミガキ。胴部はヘラナデ後ナデ。口縁部は素縁で直線的に開く。	白色粒子を含む。黒褐色、濃褐色、褐色。焼成は良好。	No. 5, 22, 23
6	土師器	甕	口径 (138) 器高 <132> 底径 — 胴最大径(150)	口縁部横ナデ。胴部外面縦位ヘラケズリ後、上半を横位ヘラケズリ。下位は斜位ヘラケズリ。内面ヘラナデ後ナデ。口縁部緩やかに外反する。口縁部端は鋭く両端がつまみ出される。	白色粒子、透明粒子、黒色粒を含む。褐色。焼成は良好。	No. 18
7	土師器	甕	口径 (165) 器高 <90> 底径 —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ケズリ後、斜位ヘラケズリ。内面はヘラナデ後ナデ。口縁部は素縁で、大きく緩やかに外反する。	砂を多く含み、白色粒子が目立つ。外面は濃褐色、褐色。内面は明褐色。焼成は良好。	No. 28
8	土師器	甕	口径 (172) 器高 <69> 底径 —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後、斜位ヘラケズリ。内面はヘラナデ後ナデ。口縁部は素縁で、大きく緩やかに外反する。	砂を多く含み、白色粒子と赤色粒が目立つ。外面は黒褐色、内面は明褐色。焼成は良好。	No. 2



9	土師器	甕	口径 器高 底径	— <38> (62)	胴部外面はヘラケズリ後、雑なミガキ。胴部内面はヘラナデ後ナデ。	砂を多く含む。茶褐色。焼成は不良。	No. 13
10	土師器	甕	口径 器高 底径	— <38> 63	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後ミガキ。胴部内面は斜横位ヘラケズリ後、雑なミガキ。口縁部は素縁で、緩やかに外反する。	緻密だが砂を含み、白色粒子と赤色粒子が目立つ。茶褐色。焼成は不良。	No. 29
11	磔		長さ	97mm, 幅63mm, 厚さ45mm, 重さ380.92g。			No. 10
12	土製品	紡錘車	径	56×54mm, 厚さ25mm, 重さ85.13g。			No. 34

### SI-110 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径 器高 丸平底	(120) <32>	外面横ナデ後、丁寧なミガキ。体部から底部はヘラケズリ後、丁寧なミガキ。底面は放射線状に近いミガキ。内外面とも漆による黒色処理。	緻密で白色微粒子を僅かに含む。濃褐色。焼成は良好。	括10
2	土師器	手捏土器	口径 器高 底径	77 <32> 44	外面はヘラ調整後指ナデ。内面は指ナデ。口縁部は直線的で、鋭くつまみ出される。	砂を多く含む。濃褐色。焼成は良好。	括4
3	土師器	高坏	口径 器高 底径	(183) <55> —	体部外面は斜横位ヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラ調整後ミガキ。内外面とも赤彩される。	砂を多く含む。赤色粒子と白色微粒子が目立つ。素地は淡黄褐色。焼成は良好。	括7
4	土師器	甕	口径 器高 底径	(166) <76> —	胴部外面は口縁部から頸部にかけて縦位ヘラケズリ。胴部ヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラケズリ後ナデ。	砂を多く含む。赤色粒子と白色粒子が目立つ。淡褐色。焼成は良好。	括6
5	土師器	甕	口径 器高 胴最大径	— <110> (188)	胴部外面は縦位ヘラケズリ後ミガキ。胴部内面は斜位ヘラケズリ後ナデ。	砂を多く含む。白色粒子と赤色粒子が目立つ。淡褐色。焼成は良好。	括5
6	石製品	紡錘車	径	42×44mm, 厚さ8mm, 重さ21.14g。両面に線刻による文様。上面は渦巻き文、下面は直弧文が施される。			括1
7	石製品	垂飾品	長さ	24mm, 幅20mm, 厚さ2.5mm, 重さ1.49g。			括5
8	磔		長さ	32mm, 幅36mm, 厚さ7mm, 重さ8.28g。			括2
9	磔		長さ	38mm, 幅41mm, 厚さ13mm, 重さ17.81g。			括3
10	磔		長さ	60mm, 幅65mm, 厚さ16mm, 重さ71.92g。			外周括4

### SI-111 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏(碗)	口径 器高 底径	(156) 68 44	口縁部から体部は斜横位ヘラケズリ。内面はヘラ調整後ナデ。内外面とも赤彩される。口縁部は内湾し、体部は薄手に仕上げられる。	赤色微粒子、白色微粒子を多く含む。素地は淡黄褐色。焼成は良好。	No. 27
2	土師器	高坏	口径 器高 底径	(187) <66> —	体部外面は横位ヘラケズリ、基部は縦位ヘラケズリ後横位ヘラケズリ。内面はヘラケズリ後ミガキ。内外面赤彩される。	赤色微粒子、白色微粒子を多く含む。素地は淡黄褐色。焼成は良好。	No. 1
3	土師器	高坏脚部	口径 器高 底径	— <61> —	脚部外面は縦位ヘラケズリ後ミガキ。内面は横位ヘラケズリ。外面は赤彩される。	赤色微粒子、白色微粒子多くを含む。素地は淡黄褐色。焼成は良好。	No. 23
4	土師器	甕	口径 器高 底径	133 <31> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ後ミガキ。胴部内面は斜位ヘラケズリ後ナデ。口縁部は短くほぼ垂直に立ち上がる。	砂を多く含む。大粒の赤色粒子が目立つ。茶褐色及び暗褐色。焼成は良好。	
5	土師器	甕	口径 器高 底径	(194) <88> —	口縁部は二段の斜位ヘラケズリ後ミガキ。胴部外面は斜位ヘラケズリ後ミガキ。内面斜位ヘラケズリ後ナデ。	砂を多く含む。白色粒子と赤色微粒子が目立つ。茶褐色及び暗褐色。焼成は良好。	
6	土師器	甕	口径 器高 底径	— <35> 56	胴部外面は斜位ヘラケズリ後ミガキ。胴部内面はヘラナデ後ナデ。	砂を多く含む。白色粒子と赤色粒子が目立つ。茶褐色及び暗褐色。焼成は良好。	
7	石器	砥石	長さ	156mm, 幅68mm, 厚さ23mm, 重さ342.6g。			No. 12
8	軽石		長さ	110mm, 幅74mm, 厚さ56mm, 重さ99.99g。			No. 2
9	土製品	支脚	高さ	<103>mm, 径125mm。			No. 20
10	土製品	支脚	高さ	157mm, 径141×122mm。			No. 18~22

### SI-112 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径 器高 底径	(116) (38) (68)	ロクロ整形。底部は全面手持ちヘラケズリ。体部下端は未調整。	緻密で白色微粒子と赤色微粒子を僅かに含む。暗褐色及び茶褐色。二次焼成を受けて脆い。	括3
2	土師器	坏	口径 器高 底径	(116) 42 (66)	ロクロ整形。底部は回転系切り後未調整。体部下端は手持ちヘラケズリ。	緻密で白色微粒子と赤色粒子を含む。黒褐色。二次焼成を受ける。	No. 2
3	土師器	坏	口径 器高 底径	132 45 62	ロクロ整形。底部は回転系切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は未調整。	緻密で白色粒、赤色粒を僅かに含む。濃褐色。焼成は良好。	No. 6
4	土師器	坏	口径 器高 丸底	114 35	口縁部は横ナデ後ミガキ。体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はミガキ。内外面ともカーボン吸着による黒色処理。	緻密で白色微粒子と赤色微粒子粒を含む。黒褐色。焼成は良好。	括4

5	土師器	坏	口径器高底径	(128) <38> —	ロクロ整形。体部下端の調整は不明。体部は内湾気味に立ち上がる。	緻密で白色粒子、赤色粒子を僅かに含む。褐色。焼成は良好。	No. 20
6	土師器	坏	口径器高底径	(130) <41> —	ロクロ整形。体部下端は手持ちヘラケズリ。口縁部は外反する。	緻密で白色微粒子、赤色粒子を含む。淡褐色、一部黒色。焼成は良好。	括5
7	土師器	坏	口径器高底径	— <20> 70	ロクロ整形。底部は回転糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。内面はミガキ。内外面とも黒色処理。	緻密で白色粒を僅かに含む。素地は茶褐色。焼成は良好。	No. 2-2
8	土師器	坏	口径器高底径	— <10> (72)	ロクロ整形。底部は回転糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	砂を多く含む。白色粒、赤色粒が目立つ。淡褐色。焼成は良好。	No. 24 底部外面に墨書「美？」
9	土師器	坏	口径器高底径	130 43 62	ロクロ整形。底部は回転糸切り後未調整。体部下端は手持ちヘラケズリ。	緻密で白色微粒子、赤色微粒子を僅かに含む。淡褐色。焼成は良好。	No. 7 底部内面に刻書「×」
10	土師器	碗	口径器高底径	— <32> 67	非ロクロ整形。体部から底部はヘラケズリ。内面は連弧状のミガキ。	粗い砂を多く含む。白色微粒子が目立つ。外面は明褐色、内面は茶褐色。焼成は良好。	No. 1, 体部外面と底部内面に墨書「中」
11	土師器	皿	口径器高底径	(138) <23> —	ロクロ整形。体部下端の調整は不明。内面は丁寧なミガキ。カーボン吸着による内面は黒色処理。	白色粒子を含む。外面は淡褐色、内面は黒色。焼成は良好。	括2, 体部外面に墨書「力」
12	土師器	甕	口径器高底径	— — —	胴部外面は縦位ヘラケズリ後、横位ヘラケズリ。内面はナデ。	緻密だが白色粒子を多く含む。淡黄褐色。焼成は良好。	括1, 体部外面に墨書
13	土師器	甕	口径器高底径 胴最大径	209 <127> 185 —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後、下半部が斜位ヘラケズリ。内面はヘラ後ナデ。口縁部は直線的に開き、口縁端部は垂直につまみ出される。	砂を多く含む。白色粒子と赤色粒子が目立つ。赤褐色。焼成は良好。	No. 13, 16, 17
14	土師器	瓶	口径器高底径 胴最大径	(248) 242 216 105	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後、下半部が斜位ヘラケズリ。内面は頸部からヘラナデ後ナデ。下端は横位ヘラケズリ。	砂を多く含む。白色粒子と赤色粒子多く含む。褐色。焼成は良好。	No. 8
15	鉄製品	紡錘車	径36mm, 厚さ2mm, 芯部長さ<18>mm。				括6
16	銭貨	銅銭	「福壽神寶」径23.5mm				No. 9

SI-113 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	碗	口径器高底径	130 <53> —	体部から底部はヘラ調整後ミガキ。内面はヘラ調整後ミガキ。内外面とも赤彩される。	緻密で赤色微粒子と白色粒子を僅かに含む。素地は暗褐色。焼成は良好。	No. 38, 括
2	土師器	碗	口径器高底径	130 <57> —	体部から底部はヘラ調整後ミガキ。内面はヘラ調整後ミガキ。内外面とも赤彩される。口縁部は短くつまみ出される。	緻密で白色粒子を僅かに含む。素地は茶褐色。焼成は良好。	No. 34
3	土師器	碗	口径器高底径	(166) <66> 46	体部から底部はヘラ調整後ミガキ。内面はヘラ調整後ミガキ。内外面とも赤彩される。	緻密で白色微粒子と赤色粒子を含む。素地は暗褐色。焼成は良好。	No. 42
4	土師器	埴	口径器高底径	143 61 36	口縁部から底部刷毛調整後ミガキ。内面はヘラ調整後ミガキ。内外面とも赤彩される。口縁部直線的に開き、口縁端部鋭くつまみ出される。	緻密で白色微粒子、赤色粒子を含む。素地は赤褐色。焼成は良好。	No. 35
5	土師器	坏	口径器高底径	— <13> 66	ロクロ整形。底部は回転糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は未調整。	緻密で細かな砂を含む。白色微粒子は僅かである。素地は淡褐色。焼成は良好。	括2 底部外面に墨書「者？」
6	土師器	鉢	口径器高底径	193 120 54	口縁部から体部は刷毛調整後ミガキ。胴部内面はヘラ調整ナデ。底部はヘラケズリ。口縁部は長く内湾する。	白色粒子を多く含む。赤褐色。二次焼成を受け一部黒色。焼成は良好。	No. 39-1
7	土師器	甕	口径器高底径 胴最大径	(140) <130> 182	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ後ミガキ。内面は斜位ヘラケズリ後ナデ。口縁部は内湾気味に立ち上がる。	緻密で細かな砂を多く含む。白色針状物を僅かに含む。褐色。焼成は良好。	No. 9, 11, 13, 14, 27
8	土師器	甕	口径器高底径 胴最大径	168 <118> (180)	口縁部は内外面とも細かい刷毛調整。胴部は刷毛調整後ミガキ。内面はヘラナデ後ナデか。	砂を多く含む。白色微粒子が目立つ。淡茶褐色。焼成は良好。	No. 37, 39, 40, 41
9	土師器	甕	口径器高底径	— <32> 74	胴部外面はヘラケズリ。内面はヘラナデ後ナデ。	細かな砂と小砂利を多く含む。外面は濃褐色、内面は淡黄褐色。焼成は不良。	No. 1
10	土師器	甕	口径器高底径	(156) <88> —	口縁部は横位の刷毛調整。頸部から胴部は斜横位の刷毛調整。内面は頸部から胴部はヘラケズリ後ナデ。	砂を多く含む。赤色粒子と白色粒が目立つ。褐色。焼成は良好。	No. 43, 54
11	土師器	甕	口径器高底径	138 <77> —	口縁部は横位の刷毛調整。頸部は縦位、胴部は斜位の刷毛調整。内面は口縁部が横位刷毛調整。胴部はヘラナデ後ナデ。	砂を多く含む。白色粒子と赤色粒子が目立つ。褐色。焼成は良好で硬質。	No. 36
12	土師器	甕	口径器高底径 胴最大径	<129> 252 64	胴部外面は斜位の刷毛調整。内面は刷毛調整後ナデ。底部はヘラケズリ。	粗い砂を多く含む。白色微粒子が目立つ。淡褐色。焼成は不良。	No. 39-3
13	土師器	甕	口径器高底径 胴最大径	<300> 320 74	胴部外面は刷毛調整後ヘラケズリ、更にミガキ。内面は斜位ヘラケズリ後、底部から掻き上げ調整後ミガキ。	粗い砂を多く含む。白色微粒子が目立つ。赤褐色。焼成は良好。	No. 3, 5, 14~19, 38, 49~52



14	土師器	手捏土器	口径器高底径	(50)<38>24	外面は指頭整形。内面は指ナデ。口縁部は鋭くつまみ出される。	緻密で細かな砂を含み、白色微粒子は少ない。淡灰褐色、黒色。焼成は良好で硬質。	括3
15	土師器	手捏土器	口径器高底径	(59)<61>38	外面は指頭整形。内面は指ナデ。口縁部は鋭くつまみ出される。	白色微粒子を多くと、大粒の赤色粒を僅かに含む。茶褐色。焼成は良好。	括4
16	土師器	手捏土器	口径器高底径	(61)<50>38	外面は指頭整形。内面は指ナデ。口縁部はつまみ出されるが、端部は丸くなる。	細かな砂を多く含み、白色微粒子が目立つ。茶褐色。焼成は良好。	No. 29
17	土師器	高坏脚部	口径器高底径	—<77>—	脚部外面は縦位ヘラケズリ後ミガキ。内面は横位ヘラケズリ。坏部内面と脚部内外面とも赤彩される。	緻密で白色微粒子、赤色微粒子を多く含む。素地は赤褐色及び暗褐色。焼成は良好。	No. 47
18	土師器	高坏脚部	口径器高底径	—<62>—	脚部外面はヘラケズリ後ミガキ。内面は横位ヘラケズリ。脚部外面は赤彩される。	緻密だが細かな砂を多く含み、白色微粒子が目立つ。素地は淡黄褐色。焼成は良好。	No. 20
19	土師器	高坏脚部	口径器高底径	—<55>—	脚部外面は縦位ヘラケズリ後ミガキ。内面は横位ヘラケズリ。脚部外面は赤彩される。	緻密だが砂を多く含み、白色微粒子が目立つ。素地は淡黄褐色。二次焼成を受けて脆い。	No. 21
20	土製品	土玉			径32×33mm, 厚さ33mm, 重さ30.11g。黒色で焼成は不良。		No. 33
21	剣形石製模造品				長さ41mm, 幅25mm, 厚さ4mm, 重さ5.38g。		括9
22	石器	砥石			長さ89mm, 幅44mm, 厚さ30mm, 重さ88.68g。		括8
23	礫				長さ26mm, 幅23mm, 厚さ16mm, 重さ17.12g。		括6
24	礫				長さ54mm, 幅53mm, 厚さ26mm, 重さ80.72g。		括7

#### SI-114 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	甕	口径器高底径	—<27>56	胴部外面は斜横位ヘラケズリ。内面はヘラナデ後ナデ。	砂を多く含み、白色粒子が目立つ。外面は橙褐色、内面は暗褐色。焼成は良好。	No. 1, 2, 3
2	石器	砥石			長さ153mm, 幅58mm, 厚さ37mm, 重さ442.92g。		No. 4

#### SI-115 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径器高底径	130 138 75	非ロクロ。体部から底部はヘラケズリ後、巾広のミガキ。内面はヘラ調整後雑なミガキ。	白色粒子、赤色粒子を含む。黄褐色、橙褐色、黒褐色。焼成は良好。	No. 7 底部外面に墨書「田」
2	土師器	坏	口径器高底径	(118)40 60	ロクロ整形。底部は回転系切り後、全面手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	白色粒子、黒色粒、赤色粒を含む。明褐色、橙褐色。焼成は良好。	括2
3	土師器	坏	口径器高底径	120 36 64	ロクロ整形。底部は回転系切り後未調整。体部下端は巾の狭い手持ちヘラケズリ。	白色粒子、黒色粒を含む。乳褐色、外面底部付近黒褐色。焼成は良好。	括1
4	土師器	坏	口径器高底径	(122)39 75	ロクロ整形。底部は回転系切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	白色粒子、黒色粒を含む。乳褐色。焼成は良好。二次焼成を受けている。	No. 1
5	土師器	坏	口径器高底径	120 36 80	ロクロ整形。底部は静止系切り後、全面手持ちヘラケズリ。体部下端は未調整。底部に墨痕か。	白色粒子、赤色粒を含む。黒褐色、一部橙褐色。焼成は良好。	No. 11
6	土師器	坏	口径器高底径	122 <40>(76)	ロクロ整形。底部は全面手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。内外面にスス付着。	白色粒子、赤色粒を含む。黄褐色、黒褐色。焼成は良好。	No. 14
7	土師器	甕	口径器高底径	203 122 —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後、下部は斜位ヘラケズリ。内面は横位ヘラナデ後ナデ。口縁端部は短くつまみ出される。	白色粒子、赤色粒子を含む。淡褐色、褐色。焼成は良好。	No. 2
8	土師器	甕	口径器高底径	178 <70>—	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後ナデ。内面はヘラナデ後ナデ。口縁端部は丸みを持ち、つまみ出される。	白色粒子、赤色粒を含む。橙褐色、黒褐色。焼成は良好。	No. 3
9	土師器	甕	口径器高底径	222 <50>—	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ。内面はヘラナデ後ナデ。口縁端部は両端が短くつまみ出される。	白色粒子を含む。褐色。焼成は良好。	No. 16-1
10	礫				長さ72mm, 幅107mm, 厚さ19mm, 重さ193.88g。		No. 11
11	石器	砥石			長さ50mm, 幅74mm, 厚さ30mm, 重さ115.61g。		No. 10

#### SI-116 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	盤状坏	口径器高底径	131 88 36	ロクロ整形。底部は静止系切り後、全面手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。内外面とも赤彩される。	緻密で白色微粒子を含む。素地は淡黄褐色。焼成は良好で硬質。	※1 No. 1
2	土師器	甕	口径器高底径	—<24>40	胴部外面はヘラケズリ後ナデ。内面はヘラナデ後ナデ。底部はヘラケズリ。口縁部はコの字状に外反する。	細かな砂を多く含み、白色微粒子が目立つ。淡黄褐色。焼成は良好で硬質。	No. 2
3	土師器	甕	口径器高底径	147 <50>—	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラナデ後ナデ。口縁部は直立に立ち上がり、口縁端部近くで外反する。	砂を多く含み、赤色粒子と白色粒子が目立つ。明褐色。焼成は良好。	括1

4	土師器	甕	口径 器高 底径	— <85> 88	胴部外面は多方向のヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラナゲ後ナデ。底部はヘラケズリ後ミガキ。	砂を多く含み、大粒の赤色粒子と白色微粒子が目立つ。茶褐色。焼成は不良で脆い	No. 3, 4, 5, ｶﾞﾄ, 括
5	鉄製品	刀子	長さ<115>mm, 刃部 幅15mm, 背幅3mm, 柄部 幅8.5mm, 背幅3mm。				No. 1

S I - 1 1 7 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	土師器	坏	口径 (110) 器高 35 底径 (61)	ロクロ整形。底部は回転糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	砂粒、白色粒を含む。明茶褐色。焼成は良好。	No. 27
2	土師器	坏	口径 116 器高 41 底径 71	ロクロ整形。底部は回転糸切り後、2方向の全面手持ちヘラケズリされるが省略されている。体部下端は手持ちヘラケズリ。	砂粒、白色粒を含む。淡明褐色。焼成は良好。	No. 2, 4
3	土師器	坏	口径 122 器高 39 底径 64	ロクロ整形。底部は回転糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	砂粒、赤色大粒、半透明粒を含む。明褐色。焼成は良好で軟質。	No. 11
4	土師器	坏	口径 (134) 器高 (43) 底径 43	ロクロ整形。底部は回転糸切り後、全面手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	砂粒、赤色粒を含む。明褐色。焼成は良好。	括7
5	土師器	坏	口径 (115) 器高 37 底径 64	ロクロ整形。底部は回転糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	白色粒子、赤色粒、砂粒を含む。焼成は良好。	括4, A
6	土師器	坏	口径 116 器高 40 底径 70	ロクロ整形。底部は回転糸切り後、全面手持ちヘラケズリだが半分省略される。体部下端は手持ちヘラケズリ。	砂粒、白色粒、赤色粒を含む。淡黄褐色。焼成は良好。	No. 10
7	土師器	坏	口径 (120) 器高 <40> 底径 68	ロクロ整形。底部は回転糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。内面は黒色処理か。	大粒の白色粒子、赤色粒子を含む。明褐色。焼成は良好。	No. 13, 一括9
8	土師器	坏	口径 125 器高 41 底径 81	ロクロ整形。底部は回転糸切り後、周縁部を巾の狭い手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。内面は黒色処理か。	砂粒、白色粒、赤色粒を含む。暗褐色。焼成は良好。	括1
9	土師器	坏	口径 (118) 器高 42 底径 (69)	ロクロ整形。底部は回転糸切り後、全面手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	砂粒、赤色粒を含む。淡褐色。焼成は良好。	括8
10	土師器	坏	口径 (122) 器高 41 底径 71	ロクロ整形。底部は回転糸切り後、周縁部を巾の狭い手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	赤色粒、砂粒を含む。淡褐色。焼成は良好。	括2, A
11	土師器	坏	口径 112 器高 40 底径 74	ロクロ整形。底部は回転糸切り後、全面手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	砂粒を含む。淡黄褐色。焼成は良好。	No. 1
12	土師器	坏	口径 133 器高 44 底径 52	ロクロ整形。底部は回転糸切り後未調整。体部下端は未調整。内面は黒色処理か。	砂粒、石英を含む。黒褐色。焼成は良好で軟質。	No. 14
13	土師器	坏	口径 (121) 器高 39 底径 (68)	ロクロ整形。底部は回転糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	砂粒、赤色粒を含む。淡褐色。焼成は良好。	No. 8, 括14
14	土師器	坏	口径 120 器高 45 底径 68	ロクロ整形。底部は回転糸切り後、全面手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	砂粒、白色粒子、赤色粒子を含む。淡明褐色。焼成は良好。	No. 3, A
15	土師器	坏	口径 (122) 器高 41 底径 <76>	ロクロ整形。底部は回転糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。内面黒色処理か。	砂粒、白色粒子を含む。淡暗褐色。焼成は良好。	No. 15
16	土師器	坏	口径 (118) 器高 36 底径 (76)	ロクロ整形。底部は回転糸切り後、全面手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	砂粒、白色粒を含む。淡褐色。焼成は良好。	括13
17	土師器	坏	口径 (124) 器高 37 底径 73	ロクロ整形。底部は回転糸切り後、5回の矢車状手持ちヘラケズリ。体部下端も5回の矢車状手持ちヘラケズリ。	細かな砂、赤色微粒子、粘土粒を多く含む。淡褐色。焼成は良好で軟質。	No. 5 体部外面に墨書「田」
18	土師器	坏	口径 (110) 器高 37 底径 68	ロクロ整形。底部は回転糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	赤色粒子、小砂利(2mm)、金雲母を多く含む。明褐色。焼成は良好。	括3, A 体部外面に墨書
19	土師器	坏	口径 116 器高 38 底径 64	ロクロ整形。底部は回転糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	砂粒、白色粒子を含む。淡褐色。焼成は良好で軟質。	No. 12 底部外面に刻書「キ」
20	土師器	坏	口径 — 器高 <12> 底径 (68)	ロクロ整形。底部は回転糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ、体部下端は手持ちヘラケズリ。	砂粒、赤色粒を含む。淡褐色。焼成は良好。	括11 底部外面に格子模様の線刻
21	土師器	坏	口径 (124) 器高 <39> 底径 59	ロクロ整形。底部は回転糸切り後未調整。体部下端は手持ちヘラケズリ。	白色粒、砂粒を含む。明褐色。焼成は良好で軟質。	No. 7 底部内面に刻書「×」
22	土師器	坏	口径 (118) 器高 41 底径 69	ロクロ整形。底部は回転糸切り後、全面手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	赤色粒、白色粒子、半透明粒、砂粒を含む。淡明褐色。焼成は良好。	括19 体部外面に墨書「市前」



23	土師器	坏	口径 器高 底径	(143) <40> —	口縁部は横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面は横位ヘラケズリ後ミガキ。	砂を多く含み、白色微粒子と赤色粒子が目立つ。茶褐色。焼成は良好。	括12
24	土師器	坏	口径 器高 底径	— <10> —	ロクロ整形。薄手の作り。	緻密で赤色粒子、白色微粒子を僅かに含む。淡褐色。焼成は良好。	括29, 体部外面に墨書
25	土師器	坏	口径 器高 底径	— <45> —	非ロクロ整形。体部内面はナデ。底部の内外面のみミガキ。	緻密で赤色微粒子を僅かに含む。白色粒子を含む。淡灰褐色。焼成は良好。	括20, 体部外面に墨書「神」
26	土師器	坏	口径 器高 底径	— — —	ロクロ整形。底部は全面手持ちヘラケズリ。	雲母、白色微粒子を含む。淡赤褐色。焼成は良好。	括21, 体部外面に墨書「白」
27	土師器	坏	口径 器高 底径	— <19> —	ロクロ整形。	緻密だが砂を多く含む。暗赤褐色。焼成は良好。	括22, 体部外面に墨書
28	土師器	坏	口径 器高 底径	— <34> —	ロクロ整形。体部下端は手持ちヘラケズリ。	白色微粒子、赤色粒、小砂利含む。褐色。焼成は良好。	括30, 体部外面に墨書
29	土師器	皿	口径 器高 底径	(180) (31) (76)	ロクロ整形。体部下端は回転ヘラケズリ。口縁部は内側に曲折し、端部は僅かにつまみ出される。内面はカーボン吸着による黒色処理。	砂を多く含み、白色粒子と赤色粒子が目立つ。淡褐色。焼成は良好。炭化物付着。	括31
30	土師器	皿	口径 器高 底径	(180) <17> 76	ロクロ整形。底部は全面回転ヘラケズリ。体部下端は回転ヘラケズリ。口縁部は内側に曲折する。	緻密だが赤色粒子と白色微粒子を多く含む。明褐色。焼成は良好。	括28
31	土師器	皿	口径 器高 底径	— <11> (76)	ロクロ整形。底部は全面回転ヘラケズリ。体部下端は回転ヘラケズリ。	緻密だが赤色粒子と白色微粒子を多く含む。淡褐色。焼成は良好。	括32
32	土師器	甕	口径 器高 底径	(166) <83> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。内面はヘラナデ後ナデ。口縁端部はほぼ垂直につまみ出される。	砂を多く含み、赤色粒、白色粒が目立つ。明褐色。焼成は良好。	括27
33	土師器	甕	口径 器高 底径	164 <121> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ、下半部は横位ヘラケズリ。内面はヘラナデ後ナデ。口縁端部は鋭くつまみ出される。	白色粒子、砂粒を含む。明褐色。焼成は良好。	No. 9
34	土師器	甕	口径 器高 底径	(213) <32> —	口縁部は横ナデ。口縁端部は垂直につまみ出される。	砂粒を含む。淡明褐色。焼成は良好。	括18
35	土師器	甕	口径 器高 底径	(224) <78> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ。内面はヘラナデ後ナデ。口縁端部は両端が短くつまみ出される。	白色粒子、砂粒を含む。明褐色。焼成は良好で軟質。	No. 18, 19
36	土師器	甕	口径 器高 底径	(236) <60> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。内面はヘラナデ後ナデ。口縁端部は外反気味につまみ出される。	砂粒、赤色粒を含む。明褐色。焼成は良好。	括17
37	須恵器	広口甕	口径 器高 底径	(233) <62> —	ロクロ整形。口縁部は複合口縁。	砂を多く含み、白色粒子が目立つ。茶褐色。焼成は良好。	No. 23 在地産
38	土師器	甕	口径 器高 底径	— <77> 62	胴部外面は斜位ヘラケズリ。内面はヘラナデ後ナデ。底部はヘラケズリ。	砂粒、白色粒を含む。暗褐色。焼成は良好。	No. 6
39	土師器	甕	口径 器高 底径	— <14> 79	胴部下位は横位ヘラケズリ。内面はヘラナデ後ナデ。底部はヘラケズリ。	砂粒、白色粒を含む。暗褐色。焼成は良好。	括26
40	鉄製品	鐵	長さ	<91>mm, 厚さ2.5×2.5mm, 厚さ3×3mm			No. 26
41	鐵		長さ	39mm, 幅38mm, 厚さ29mm, 重さ45.68g。			括33
42	鐵		長さ	72mm, 幅35mm, 厚さ31mm, 重さ89.75g。			No. 22
43	土製品	支脚	高さ	<37>mm, 厚さ<30>mm。			括34

#### S I - 1 1 8 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径 器高 底径	(140) <33> —	口唇部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラ調整後、斜位のミガキ。口縁端部は内側に巻き込まれる。	砂を多く含み、赤色微粒子が目立つ。淡褐色。焼成は良好。	No. 2, 4
2	土師器	甕	口径 器高 底径	(160) <93> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。内面はヘラナデ後ナデ。口縁部は素縁で、緩やかに外反する。	砂を多く含み、白色微粒子が目立つ。茶褐色。焼成は良好。	No. 1, 11, 括
3	土師器	甕	口径 器高 底径	153 (78) —	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラナデ後ナデ。口縁部は素縁で、緩やかに外反する。	砂を多く含み、赤色微粒子が目立つ。黒褐色。焼成は良好。	No. 9, 括
4	鉄製品	鐵	長さ	<58>mm, 厚さ4.5×3.5mm。			No. 8

#### S I - 1 1 9 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	鉢	口径 器高 底径	(146) <40> —	口縁部は横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面は口縁部から底部にかけてミガキ。口縁部は幾分外反する。	砂を多く含み、白色微粒子が目立つ。暗褐色。焼成は良好。	括2

2	土師器	甕	口径器高底径 (126) <64> -	口縁部から胴部は縦位ヘラケズリ。内面は口縁部が横位ヘラケズリ後ミガキ。胴部はヘラ調整後ミガキ。	白色粒子、赤色粒子を含む。黄褐色。焼成は良好。	括1
3	土師器	甕	口径器高底径 - <20> (66)	胴部外面は斜位ヘラケズリ。底部はヘラケズリ。内面はヘラ調整後ミガキ。	砂を多く含み、白色粒子が目立つ。褐色。焼成は良好。	括4, 1と同一個体か?

SI-120 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	土師器	坏	口径器高底径 (128) 39 82	非クロコ整形。口縁部は横ナデ。体部から底部はヘラケズリ。内面はナデ仕上げ。口縁部は外反気味に小さくつまみ出される。	緻密で白色微粒子、赤色粒子を含む。明褐色。焼成は良好。	No. 20, SI-119, No. 2
2	土師器	埴	口径器高底径 (110) <39> -	口縁部はヘラ調整後、横位のミガキ。内面はミガキ。胴部はヘラケズリ後、横位のミガキ。	緻密だが砂を多く含み、白色微粒子が目立つ。赤褐色。焼成は良好。	括1 3と同一個体。
3	土師器	直口壺	口径器高底径 (104) - 30	口縁部はヘラ調整後、縦位のミガキ。胴部はヘラケズリ後、横位のミガキ。底部はヘラケズリ後ミガキ。	緻密で赤色粒、白色粒子を含む。明褐色。焼成は良好。	No. 16, 34, 括, SI-119 2と同一個体。
4	土師器	埴	口径器高底径 129 77 33	口縁部はヘラケズリ後ミガキ。胴部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラ調整後ナデ。内外面とも赤彩される。	緻密で白色粒子を含む。焼成は良好。	No. 2
5	土師器	高坏	口径器高底径 130 101 80	坏部外面から脚部は斜横位ヘラケズリ後、縦位のミガキ。内面は横位のミガキ。脚部内面はケズリ後ナデ。坏部は内外面とも赤彩される。	緻密だが白色角礫を多く含む。暗褐色及び黒褐色。焼成は良好。	No. 1 搬入品か?
6	土師器	高坏	口径器高底径 162 121 28 111	坏部外面は縦位のハケ調整後、横位ミガキ。坏部下位から脚部は縦位ミガキ。坏部内面はハケ調整後ミガキ。脚部上部がヘラケズリ、下部はハケ調整後ミガキ。内外面とも赤彩される。	緻密だが白色角礫を多く含む。暗褐色及び黒褐色。焼成は良好。	No. 3 搬入品か?
7	土師器	高坏	口径器高底径 - <85> 124	脚部外面は縦位ヘラケズリ後ミガキ。内面は横位ケズリ。坏部内面はミガキ。赤彩される。坏部と脚部の接合はソケット式になっている。	白色粒、赤色粒を含む。明褐色。焼成は良好。	No. 4
8	土師器	坏	口径器高底径 - - -	クロコ整形。底部は全面手持ちヘラケズリ。	緻密だが細かな砂を多く、赤色微粒子が目立つ。淡褐色。焼成は良好。	括2, 底部内面に墨書「光」
9	土師器	甕	口径器高底径 (185) 195 62 216	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後、上位を横位ヘラケズリ。下半を斜位ヘラケズリ。内面は斜位ヘラケズリ後ミガキ。	砂を多く含み、白色微粒子が目立つ。暗褐色。焼成は不良。	No. 12~15, 40
10	土師器	甕	口径器高底径 133 132 20 143	口縁部は横ナデ後、一部横位ヘラケズリ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後、下半部は斜横位ヘラケズリ。底部ヘラケズリ。内面は横位ヘラケズリ後ミガキ。	赤色粒子、白色粒子を含む。淡褐色、暗褐色。焼成は良好。	No. 28
11	土師器	甕	口径器高底径 <183> 259 76	口縁部ヘラケズリ後ミガキ。胴部外面斜位の刷毛。内面口縁部から胴部はヘラケズリ後ミガキ。口縁部くの字状に直線的に開く。	白色微粒子を含む。赤褐色、暗褐色。焼成は不良。下部に二次焼成がみられる。底部木葉痕。	No. 5, 9, 11, 38, 39
12	土師器	甕	口径器高底径 219 148 57	口縁部外面横位ヘラケズリ後ミガキ。胴部は斜位ヘラケズリ後ミガキ。内面口縁部横ナデ。胴部は斜位ケズリ後ミガキ。口縁部はくの字状に直線的に開く。	白色粒子を含む。濃茶褐色。焼成は良好。内外面とも赤彩。	No. 18, 24, 29, 30, 41
13	土師器	甕	口径器高底径 <165> 240 72 220	調整痕はほとんど見えない。一次調整は口縁部は横ナデ。胴部内外面は縦位ヘラケズリ及び斜位ヘラケズリされるが、二次調整は口縁部外面を除いて全面ミガキ。	白色礫の大粒を多量に含む。暗褐色。焼成は良好。	No. 2, 26 搬入品か?
14	土師器	甕	口径器高底径 (174) <81> -	口縁部は内外面とも刷毛調整。胴部外面は刷毛調整後ヘラケズリ、更にミガキ。内面はヘラケズリ後ミガキ。口縁部はくの字状に開く。	白色粒子を多く含む。明褐色。焼成は良好。	括3, 住1
15	土師器	広口壺	口径器高底径 144 <63> -	口縁部外面は指頭整形後ナデ。頸部から胴部は刷毛調整後ミガキ。内面は口縁から頸部にかけて刷毛調整後雑なミガキ。胴部はケズリ後ナデ。口縁部は複合口縁で長く外反する。	黒色粒子、白色粒子を含む。明褐色。焼成は良好。	No. 31, 34
16	土師器	壺	口径器高底径 - <60> -	胴部外面はヘラケズリ後ミガキ。内面は頸部がナデ。胴部は高坏脚部と同じ絞り成形で縦じわが残る。下半は横位ヘラケズリ。	白色微粒子、赤色微粒子を含む。暗褐色。焼成は良好。	No. 36
17	土師器	壺	口径器高底径 - <32> 44	胴部外面は底部にかけヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラケズリ後ミガキ。胴下半部は丸みもち膨らむ。	白色微粒子を含む。黒褐色。焼成は良好。	No. 37
18	土師器	壺	口径器高底径 - <26> 48	胴部外面から底部は斜横位ヘラケズリ。胴部内面は小口状の工具による縦位ヘラナデ。胴下半部は丸みもち膨らむ。	白色粒、赤色粒子を含む。暗褐色。焼成は良好。	No. 22
19	土師器	甕	口径器高底径 - <25> 55	胴部外面は斜位ヘラケズリ。内面は剥離しているがヘラケズリ後ミガキ。胴下半部は外反しながら立ち上がる。	赤色粒、白色粒、黒色粒を含む。暗褐色。焼成は不良。	No. 33
20	礫			長さ63mm, 幅60mm, 厚さ32mm, 重さ121.46g。		括4
21	礫			長さ37mm, 幅34mm, 厚さ27mm, 重さ41.08g。		括5
22	礫			長さ44mm, 幅35mm, 厚さ22mm, 重さ45.17g。面は丸みを持つ。		括6



SI-121 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	土師器	坏	口径 (120) 器高 <65> 底径 (60)	口縁部は横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後、雑なミガキ。内面の調整は剥離により不明。底部は平底である。	白色微粒子を僅かに含む。二次焼成を受け、赤褐色及び黒色化している。	No.4, ｶﾄﾞ 括
2	土師器	坏	口径 (194) 器高 <50> 底径 —	口縁部は横ナデ後、横位のミガキ底部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラ調整後ミガキ。口縁部は長くつまみ出され外反する。	白色粒を含む。褐色、黒褐色。焼成は良好。	括3
3	土師器	甕	口径 — 器高 <20> 底径 60	胴部下半から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラナデ。	緻密で白色微粒子を僅かに含む。赤褐色。焼成は良好。	括1
4	土師器	高坏	口径 — 器高 <28> 底径 —	坏部内外面ともヘラ調整後丁寧なミガキ。内外面とも赤彩される。	砂を多く含む、白色微粒子が目立つ。素地は淡黄褐色。焼成は良好。	括2

SI-122 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	土師器	碗	口径 (158) 器高 61 底径 54	口縁部横ナデ。体部外面から底部は斜位ヘラケズリ後ミガキ。体部内面は斜位ヘラケズリ後ミガキ。内外面とも赤彩される。	白色微粒子、赤色粒子を僅かに含む。橙褐色。焼成は良好。	括9
2	土師器	坏	口径 118 器高 53 底径 50	口縁部は横位ナデ。体部外面から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラケズリ後ナデ仕上げ。底部は平底である。	緻密で白色微粒子を僅かに含む。褐色及び黒色。焼成は良好。	括10
3	土師器	甕	口径 137 器高 <91> 底径 — 胴最大径 146	口縁部内外面とも横ナデ。胴部外面縦位ヘラケズリ後、下半を斜位ヘラケズリ後、全面ミガキ。内面はヘラケズリ後、放射線状のミガキ。一部除き赤彩される。口縁部小さく外反する。	白色粒子、赤色粒子を多く含む。橙黄褐色、焼成は良好。	No.4
4	土師器	甕	口径 (142) 器高 <95> 底径 — 胴最大径 142	口縁部内外面とも横ナデ。胴部外面縦位ヘラケズリ後、下半を斜位ヘラケズリ後、更に全面をミガキ。内面は斜横位ヘラケズリ後ナデ。内外面とも赤彩される。口縁部は直線的に外に開く。	白色粒子を多く含む。赤褐色。焼成は良好。	括1
5	土師器	壺	器高 94 胴径 130 底径 30 胴最大径 137	外面は頸部から胴部にかけて横位ケズリ。内面は頸部が雑なミガキ。胴部はヘラナデ後ナデ。胴部外面と内面口縁部が赤彩される。	白色粒子を含む。褐色。焼成は良好。	No.1
6	土師器	高坏	口径 (176) 器高 124 裾部径 (113)	坏部は斜横位ヘラケズリ後ミガキ。脚部は外面が縦位ヘラケズリ後ミガキ。脚部内面は斜横位ヘラケズリ。脚部内面を除いて赤彩される。	白色粒子を含む。脚部内面は褐色。焼成は良好。	No.6 脚部内面に線刻「×」
7	土師器	高坏	口径 — 器高 <91> 裾部径 —	坏部内外面とも丁寧なミガキ。脚部外面は縦位ヘラケズリ後ミガキ。内面横位ヘラケズリ。	白色微粒子を多く含む。素地は淡黄褐色。焼成は良好。脚部内面が黒色処理される他は赤彩される。	No.5
8	石製品	白玉	長さ6mm, 幅6mm, 厚さ3mm, 重さ0.11g。			No.2

SI-123 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	土師器	坏	口径 118 器高 39 底径 72	非ロクロ整形。口縁部は横ナデ。体部は典型的な連弧状ヘラケズリ。内面はナデ仕上げ。	緻密で白色微粒子を僅かに含む。暗褐色及び淡黒色。焼成は良好。	No.1, 内面底部にスス付着
2	土師器	坏	口径 124 器高 45 底径 76	口縁部は横ナデ。体部から底部は手持ちヘラケズリ。一見非ロクロだが内面及び口縁部のナデはロクロ整形のように丁寧。	緻密で白色粒子、赤色微粒子を含む。素地は淡黄褐色。焼成は良好。内外面とも赤彩。	No.2
3	土師器	甕	口径 152 器高 <79> 底径 —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。内面はヘラナデ後ナデ。口縁部は緩やかに外反し、口縁端部は垂直気味につまみ出される。	砂を多く含む、白色粒子と赤色粒子が目立つ。淡褐色。焼成は良好。	括3
4	土師器	甕	口径 (112) 器高 <41> 底径 —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後、斜位ヘラケズリ。内面はナデ仕上げ。口縁部は直線的に開く。	砂を多く含む、小砂利が目立つ。淡茶褐色。焼成は良好。	括2
5	土師器	坏	口径 — 器高 — 底径 —	ロクロ成形。回転系切り後、全面手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	緻密で白色微粒子を僅かに含む。淡灰黄色。焼成は良好で硬質。	括4, 底部外面に墨書「古？」
6	土師器	坏(皿)	口径 — 器高 — 底径 —	ロクロ成形。底部は回転系切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。	砂を多く含む、白色微粒子と赤色粒子が目立つ。淡褐色。焼成は良好。	括5, 底部外面に墨書。
7	土師器	坏	口径 — 器高 — 底径 —	ロクロ成形。底部は回転系切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	白色粒子を多量に含む。茶褐色。焼成は良好で硬質。	括6, 底部外面に墨書2カ所

SI-124 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	土師器	坏	口径 — 器高 — 丸底 —	非ロクロ成形。底部外面はヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラケズリ後ミガキ。体部内外面は赤彩されている可能性あり。6世紀前半か。	砂を多く含む、白色粒子と小砂利が目立つ。外面は淡茶褐色、内面は暗茶褐色。焼成は良好。黒斑あり。	外周溝括1, 底部外面に焼成前の刻書「×」

2	土師器	甕	口径 器高 底径	(122) <40> —	口縁部横位ヘラケズリ後ミガキ。頸部から胴部はヘラケズリ後ミガキ。内面口縁部から頸部にかけてミガキ。胴部はヘラケズリ後ミガキ。	白色角礫を多く含む。淡褐色。焼成は良好で硬質。	括3, 搬入甕
3	鉄製品	刀子			長さ<32>mm, 幅11mm, 背幅3.5mm。		括4
4	土製品	土玉			径27×25mm, 厚さ28mm, 重さ15.33g。ナデ後ミガキ。胎土は硬質で緻密だが、焼成は不良。		括5

S I - 1 2 5 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径 器高 丸底	(120) 37	口縁部は内外面とも横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はミガキ。	白色粒、茶色粒、透明粒を含む。暗褐色、外面一部黒色。焼成は良好。	括4
2	土師器	坏	口径 器高 丸底	146 <31>	口縁部は横ナデ後ミガキ。体部から底部はヘラケズリ後、雑なミガキ。内面はヘラケズリ後ミガキ。	白色粒、茶色粒を含む。暗褐色。底部外面は黒色。焼成は良好。	括1
3	土師器	坏	口径 器高 丸底	(130) <48>	口縁部は横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラケズリ後ミガキ。	白色粒子、赤色粒子を含みザラつく。明褐色、外面の一部黒褐色。焼成は良好。	No. 1
4	土師器	手捏土器	口径 器高 底径	(56) 41 48	指頭による成形と調整。底部はミガキ。内面は指ナデ。口縁部端部強くつまみ出される。	白色微粒子、赤色微粒子を含む。暗赤褐色、外面の一部黒色。焼成は良好。	括7
5	土師器	手捏土器	口径 器高 底径	— <29> 21	指頭による整形後ヘラケズリ。内面はヘラケズリ後ナデ。	白色粒子を多く含む粗い。暗淡褐色。焼成は良好。	括8
6	土師器	甕	口径 器高 底径	(180) <79> —	口縁部は横ナデ。胴部外面と内面は剥離が著しく調整不明。口縁部は直立気味に立ち上がり外反する。	白色微粒子、赤色微粒子を含む。外面は淡褐色、内面は淡黄褐色。焼成は良好で軟質。	括3
7	土師器	甕	口径 器高 底径	— <60> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜横位ヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラナデ後ナデ。口縁部は僅かに外反する。	白色微粒子を含みやや粗い。外面は黒褐色、内面は茶褐色。焼成は良好。	外周溝括2
8	土師器	甕	口径 器高 底径	— <77> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜横位ミガキ、内面はヘラナデ。口縁部端部は内湾気味につまみ出される。	白色微粒子、赤色粒子、雲母を含む。赤褐色。焼成は良好で硬質。	括5
9	土師器	甕	口径 器高 底径	— <60> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後ナデ。内面は口縁部から頸部が横位ミガキ、胴部は縦位ミガキ。口縁部端部は外反する。	白色微粒子、赤色微粒子を含む。暗褐色、内面一部黒色。焼成は良好。	外周溝括6

S I - 1 2 6 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	埴	口径 器高 底径	113 60 21	口縁部は内外面とも丁寧な縦位ミガキ。体部外面は丁寧な横ミガキ。内面は斜位ヘラケズリ。内外面とも赤彩される。	砂粒を含む。淡褐色。焼成は良好。	No. 2
2	土師器	高坏	口径 器高 底径	144 <69> —	内外面とも方向は不明だが丁寧なミガキで、赤彩される。	赤色粒、白色粒を多く含む。茶褐色。焼成は良好。	No. 6
3	土師器	甕	口径 器高 底径	133 109 56	口縁部は横ナデ後、縦位ミガキ。胴部は内外面ともヘラケズリ後ミガキ。口縁部はくの字状に開く。	砂を多めに白色粒子、赤色粒を含む。灰褐色。焼成は良好。	No. 3
4	土師器	壺	口径 器高 底径 胴最大径	(106) <110> — (203)	口縁部外面は縦位ヘラケズリ。内面はヘラナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ後ミガキ。内面は斜横位ヘラケズリ。胴部外面と口縁部の一部は赤彩される。	砂を多く含む、赤色粒子が目立つ。淡褐色。焼成は良好。	括2
5	土師器	甕	口径 器高 底径 胴最大径	(326) <134> — (338)	口縁部は内外面ともナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ後ミガキ、内面は縦位ヘラケズリ。外面は赤彩。	砂を多く含む、赤色粒子が目立つ。明褐色。焼成は良好。	括1
6	土製品	土玉			径24mm, 厚さ25mm, 重さ6.78g。砂を多く含む白色微粒子が目立つ。		括3
7	土製品	丸玉			長さ10mm, 幅11mm, 厚さ7mm, 重さ0.72g。胎土は精錬され非常に緻密で土器の胎土とは異なる。焼成は黒色であるため一見不良に見えるが、故意に黒色仕上げにした可能性がある。		セクション外
8	石製品	垂装品			長さ40mm, 厚さ8.5×6mm, 重さ3.52g。勾玉か。		No. 1
9	礫				長さ68mm, 幅41mm, 厚さ34mm, 重さ130.2g。		括4
10	礫				長さ39mm, 幅50mm, 厚さ30mm, 重さ67.90g。		括5
11	礫				長さ70mm, 幅59mm, 厚さ50mm, 重さ291.1g。		括6

S I - 1 2 7 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径 器高 底径	121 35 66	ロクロ整形。底部は全面手持ちヘラケズリ。体部下端は未調整。	赤色粒、砂粒、白色粒を含む。淡灰褐色。焼成は良好。	No. 2
2	土師器	坏	口径 器高 底径	(124) 43 (58)	ロクロ整形。底部は回転糸切り後未調整。体部下端は手持ちヘラケズリ。	砂、赤色粒を含む。淡褐色。焼成は良好。	括8, A
3	土師器	坏	口径 器高 底径	(130) 54 60	ロクロ整形。底部は回転糸切り後未調整。体部下端は未調整。体部内面に輪痕がみられる。薄手でシャープである。	砂粒を含む。淡暗褐色。焼成は良好。	括9



4	土師器	坏	口径 器高 底径	131 40 62	ロクロ整形。底部は回転糸切り後未調整。体部下端は未調整。口縁部内側に帯状のタール付着。	白色粒子、小砂利を含む。淡黄褐色。焼成は良好で硬質。	No. 4, 体部外面に墨書「大井」「穴」
5	土師器	坏	口径 器高 底径	134 40 63	ロクロ整形。底部は回転糸切り後未調整。体部下端は未調整。薄手でシャープである。	砂を多く含み、白色微粒子が目立つ。赤暗褐色。焼成は良好。	No. 5, 体部外面に墨書「穴太」?
6	土師器	甕	口径 器高 底径	(200) <89> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。内面はヘラナデ後ナデ。口縁部は緩やかに外反し、口縁端部は垂直につまみ出される。	砂を多く含み、白色粒が目立つ。明褐色。焼成は良好。	括6
7	土師器	坏	口径 器高	— <37>	ロクロ整形。体部下端は未調整。	緻密で白色微粒子を僅かに含む。淡褐色。焼成は良好で硬質。	括10, 体部外面に墨書
8	土師器	坏	口径 器高	— <26>	ロクロ整形。内面ミガキか。	緻密で白色微粒子を極僅かに含む。淡褐色。焼成は良好で硬質。	括11, 体部外面に墨書
9	土師器	坏	口径 器高	— <19>	ロクロ整形。	砂を多く含み、白色微粒子が目立つ。暗赤褐色。焼成は良好。	括5, 体部外面に墨書
10	礫		長さ34mm, 幅44mm, 厚さ7mm, 重さ11.05g。				括12
11	礫		長さ43mm, 幅38mm, 厚さ27mm, 重さ39.36g。				括13

### SI-128 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	弥生土器	甕	口径 器高 底径	(234) <82> —	口縁部外面に施文された縄文原体は単節R L。口唇頂部は押捺。	砂粒を含む。黒褐色。焼成は良好で軟質。	No. 8
2	土製品	紡錘車	径57mm, 厚さ26mm, 重さ89.85g。両面には縄文原体単節R Lが施文されている。			白色微粒子が目立つ。	No. 1
3	石器	砥石	長さ62mm, 幅38mm, 厚さ7mm, 重さ35.88g。				No. 4

### SI-129 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	高坏	口径 器高 裾部径	186 <79> —	体部は内外面ともヘラケズリ後ミガキ。内外面とも赤彩される。坏部と脚部はソケット状に接合される。	砂を含む。明褐色。焼成は良好。	No. 1
2	石器	砥石	長さ91mm, 幅26mm, 厚さ17mm, 重さ37.93g。				括1

### SI-130 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径 器高 底径	(138) 57 47	口縁部は横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後ナデ。内面はヘラケズリ後ナデ。内外面とも赤彩される。口縁部は内湾する。	白色粒子、赤色小砂利を含む。赤褐色及び淡褐色。焼成は良好で軟質。	括4
2	土師器	坏	口径 器高 丸平底	(140) 39 —	口縁部は横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラケズリ後ナデ。底面のみミガキ。	砂を多く含み、白色粒子と赤色粒子が目立つ。外面は赤褐色、内面は暗茶褐色。焼成は良好でやや硬質。	括3
3	土師器	坏	口縁部片 器高 底径	<51> — —	内外面ともヘラケズリ後ナデ。内外面とも赤彩される。口縁部は内湾する。	白色微粒子、赤色粒を含む。素地は暗褐色。焼成は良好で硬質。	括5
4	土師器	埴	口径 器高 底径	96 <39> —	口縁部はヘラケズリ後、横位ミガキ。内面は横位ヘラケズリ後ナデ。内外面とも赤彩される。	砂を多く含み、白色粒子と赤色粒子が目立つ。素地は淡黄褐色。焼成は良好。	括6
5	土師器	鉢	口縁部片 器高 底径	<45> — —	口縁部は横ナデ。胴部はヘラケズリ後ミガキ。内面はナデ風ミガキ。内外面とも赤彩される。	白色粒子、赤色粒子を多く含む。素地は淡黄褐色。焼成は良好で硬質。	括7
6	土師器	埴	口径 器高 底径	— <74> —	口縁部から胴部は、内外面ともヘラケズリ後ミガキ。内外面とも赤彩される。	白色粒子、赤色粒子を含む。素地は暗褐色。焼成は良好。	括8
7	土師器	高坏	口径 器高 裾部径	— <54> —	坏部外面はヘラケズリ後ナデ(ミガキ)。内面はナデ(ミガキ)。内外面とも赤彩される。	白色粒子、黒色粒子を含む。素地は淡黄褐色。焼成は良好で硬質。	括9
8	土師器	高坏	口径 器高 裾部径	— <74> —	脚部外面はヘラケズリ後ミガキ。内面は巾の広い横位ヘラケズリ。外面は赤彩される。	緻密で白色粒子、赤色粒子を含む。暗褐色。焼成は良好で硬質。	No. 8
9	土師器	埴	口径 器高 底径 胴最大径	100 103 27 97	口縁部外面は縦位ヘラケズリ後ミガキ。内面は斜横位ヘラケズリ後ミガキ。胴部外面は斜横位ヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラケズリ後ナデ。胴部中央孔は焼成後の穿孔。	緻密で白色粒子、赤色粒子を含む。外面は橙褐色、内面は暗褐色。焼成は良好で硬質。	No. 7
10	土師器	埴	口径 器高 底径 胴最大径	84 93 29 96	口縁部外面は縦位ヘラケズリ後ミガキ。内面は斜横位ヘラケズリ後ミガキ。胴部外面は横位ヘラケズリ後ミガキ。内面はナデ。	緻密で白色微粒子を多く含む。暗褐色及び淡褐色。焼成は良好で硬質。	括10
11	土師器	埴	口径 器高 胴最大径	— <102> (145)	胴部外面は斜位ヘラケズリとナデ(ミガキ)。胴部内面は斜横位ヘラケズリ後ナデ(ミガキ)。	白色粒子、赤色粒子を含み粗い。外面は黒色、暗褐色。内面は黒褐色。焼成は良好。	括1
12	土師器	手捏土器	口径 器高 底径	(71) <37> —	指頭整形後ヘラケズリ後ナデ。内面はヘラケズリ後ヘラナデ。	白色微粒子を多く含み粗い。暗淡褐色及び淡褐色。焼成は良好でやや軟質。	括11

13	土師器	手捏土器	口径 器高 底径	— <27> 33	指頭成形後、内外面とも指頭によるナデ調整。	緻密で白色微粒子、赤色微粒子を僅かに含む。茶褐色。焼成は良好で硬質。	括12
14	土師器	甕	口径 器高 底径	— <31> 80	胴部外面は斜位ヘラケズリとナデ(ミガキ)。胴部内面は斜横位ヘラケズリ後ナデ(ミガキ)。	緻密で白色微粒子、赤色微粒子を僅かに含む。茶褐色及び黒褐色。焼成は良好で硬質。	No. 6
15	土師器	甕	口径 器高 底径 胴最大径	(196) (240) (52) (224)	口縁部は横ナデ後、横位ヘラケズリ。胴部外面は斜位ヘラケズリ。底部はヘラケズリ。胴部内面は多方向のヘラケズリ後ナデ。	白色微粒子と大粒の赤色粒を含む。赤褐色及び黒色。焼成は良好で硬質。	No. 2
16	土師器	甕	口径 器高 胴最大径	164 <163> 246	口縁部は横ナデ。頸部外面は縦位ヘラケズリ。胴部外面は斜位ヘラケズリ後ヘラナデ。胴部内面はヘラケズリ後ヘラナデ。	緻密で白色粒子、赤色粒を含む。暗淡褐色、一部黒色。焼成は良好で硬質。	括13
17	土師器	甕	口径 器高 底径	— <17> 74	底部外面はヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラケズリ後ナデ。	大粒の白色粒子、赤色粒子を含みやや粗い。淡暗褐色。焼成は良好でやや軟質。	括2
18	土師器	甕	口径 器高 底径	— <37> 62	胴部外面から底部はヘラケズリ後ヘラナデか。内面はヘラケズリ後ナデ。	白色微粒子を多く含みやや粗い。黒色及び茶褐色。焼成は良好で硬質。	括14
19	土師器	甕	口径 器高 底径	— <25> 70	胴部外面はから底部は刷毛調整後ヘラケズリ。内面はヘラケズリ。	白色粒子、赤色粒子を含み粗い。茶褐色、一部黒褐色。焼成は良好。	括15
20	土製品	土玉	径27×26mm, 厚さ22mm, 重さ16.22g。布紋りによる整形でミガキ。下部の孔周りは平坦。胎土は土師器類と同一。淡褐色及び暗褐色。				括16
21	礫		長さ90mm, 幅44mm, 厚さ31mm, 重さ121.90g。				括17
22	軽石		長さ98mm, 幅50mm, 厚さ46mm, 重さ44.88g。				No. 4
23	軽石		長さ124mm, 幅85mm, 厚さ88mm, 重さ173.11g。				No. 9, 括

### SI-131 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	弥生土器	甕	口径 器高 底径	— <166> —	頸部に2段の結節縄文を施し、胴部は単節LR縄文を施文。内面ナデ。	細かな砂を多く含み、大粒の赤色粒子と白色微粒子が目立つ。黒褐色及び暗褐色。焼成は良好で硬質。	No. 1
2	礫		長さ87mm, 幅59mm, 厚さ24mm, 重さ177.14g。後世に混入か。			括7	
3	土師器	坏	口径 器高 底径	(134) 43 (50)	ロクロ整形。底部は回転糸切り後未調整。体部下端は未調整。	緻密で白色微粒子、赤色粒子を僅かに含む。白色微粒子を含む。黒褐色。焼成は良好。	括3
4	土師器	坏	口径 器高 底径	— <34> (60)	ロクロ整形。底部は回転糸切り後未調整。体部下端は未調整。	緻密だが砂利を含む。淡褐色。焼成は良好で硬質。	括1, 底部内面に墨書「元」
5	土師器	坏	口径 器高 底径	— <20> (78)	ロクロ整形。底部は手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	緻密で白色微粒子、赤色微粒子を僅か含む。淡灰褐色。焼成は良好。	括2, 体部外面に墨書「工」
6	土師器	甕	口径 器高 底径	(170) <32> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。胴部内面はヘラナデ後ナデ。口縁端部はつまみ出されるが下方に垂れる。	砂を多く含み、白色粒子と赤色微粒子が目立つ。明褐色。焼成は良好。	括5
7	土師器	甕	口径 器高 底径	(204) <40> —	口縁部は横ナデ後、縦位ヘラナデ風ミガキ。内面はヘラナデ後ナデ。口縁部はくの字状に外に開く。	砂を多く含み、白色粒子と赤色粒子が目立つ。外面淡黄褐色及び黒色。内面明褐色。焼成は良好で硬質。	括6

### SI-132 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径 器高 底径	128 41 74	ロクロ整形。底部は全面手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	緻密だが白色粒子多く含む。橙褐色。焼成は良好。	No. 2
2	土師器	坏	口径 器高 底径	126 37 68	ロクロ整形。底部は全面手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。内面の調整は平滑。	緻密だが大粒の赤色粒を多く含む。淡褐色。焼成は良好。	No. 2, 8 体部外面に墨書「野田」
3	土師器	坏	口径 器高 底径	(116) 40 58	ロクロ整形。底部は回転糸切り後未調整。体部下端は未調整。	砂を多く含み、白色粒子が目立ち、器面がざらつく。淡茶褐色及び暗褐色。焼成は良好。	No. 3 体部外面に墨書「益」
4	土師器	坏	口径 器高 底径	158 49 96	ロクロ整形。底部は全面手持ちヘラケズリ。体部下端は未調整。箱型坏か。	緻密だが小砂利を含む。外面は褐色、橙褐色。内面は褐色。焼成は良好。	No. 4, A
5	土師器	坏	口径 器高 底径	— <23> —	ロクロ整形。口縁端部は幾分外反する。	緻密で白色微粒子、赤色微粒子を僅かに含む。淡橙褐色。焼成は良好。	括1 体部外面に墨書逆位「益」
6	土師器	甕	口径 器高 底径	(216) 80 —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。内面は横位ヘラケズリ後ナデ。口縁部はくの字状に外反し、口縁端部は外につまみ出される。	砂を多く含み、白色粒子が目立つ。赤褐色及び茶褐色。焼成は良好。	No. 1, 7, 9, 括
7	土師器	甕	口径 器高 底径 胴最大径	218 253 78 210	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後、中位から横位ヘラケズリ。胴部内面は横位ヘラケズリ後ナデ。口縁部はくの字状に外反し、口縁端部は内湾気味につまみ出される。	砂を多く含み、白色粒子が目立つ。茶褐色及び橙褐色焼成は良好。	No. 5



SI-133 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	土師器	坏	口径 (120) 器高 <27> 底径 -	外面は口縁部は横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はミガキ。	緻密で白色微粒子を僅かに含む。橙褐色。焼成は良好。	No. 2
2	土師器	坏	口径 (108) 器高 34 底径 (62)	ロクロ整形。底部全面手持ちヘラケズリ。体部下端の調整は不明。	緻密で白色微粒子、赤色微粒子を僅かに含む。淡褐色。焼成は良好。	括1
3	土師器	坏	口径 (144) 器高 44 底径 (76)	非ロクロ整形。体部から底部は手持ちヘラケズリ。内面はまばらで雑なミガキ。	砂を多く含み、赤色微粒子が目立つ。暗褐色。焼成は良好。	No. 1
4	土師器	甕	胴最大径 247 器高 250 底径 80	胴部外面斜位ヘラケズリ後全体に斜横位ヘラケズリ。下部は縦位ミガキ。胴部内面上半部横位ヘラケズリ後ナデ。下半部斜横位ケズリ。	砂を多く含み、白色粒子が目立つ。外面は黒褐色及び赤褐色。内面は黒色。焼成は良好。	No. 1, 3

SI-135 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	土師器	坏	口径 127 器高 42 底径 72	ロクロ整形。底部は回転糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。再調整の中は非常に狭い。	砂を多く含み、白色微粒子が目立つ。淡黄茶褐色。焼成は良好で硬質。	No. 1, 括 底部外面に墨書「大家」

SI-141 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	土師器	坏	口径 (138) 器高 32 底径 (78)	非ロクロ整形。口縁部は横ナデ。体部から底部はヘラケズリ後ナデ風ミガキ。内面はミガキ。	赤色粒、砂、白色粒を含む。淡黄褐色。焼成は良好。	括1
2	石器	砥石	長さ70mm, 幅47mm, 厚さ18mm, 重さ61.42g。			括3
3	土製品	土玉	径21×23mm, 厚さ20mm, 重さ7.48g。			括2

SI-146 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	土師器	坏	口径 138 器高 39 底径 59	ロクロ整形。底部は回転糸切り後未調整。体部下端は未調整。全体が摩耗している。	砂と小砂利を多く含み、赤色粒が目立つ。器面がざらつく。淡黄褐色。焼成はあまい。	No. 1
2	土師器	坏	口径 132 器高 39 底径 57	ロクロ整形。底部は回転糸切り後未調整。体部下端は未調整。全体が摩耗している。	砂と小砂利を多く含み、赤色粒が目立つ。器面がざらつく。暗褐色。焼成は良好。	No. 2
3	礫		長さ111mm, 幅70mm, 厚さ53mm, 重さ451.15g。			No. 6
4	鉄製品	刀子	長さ<37>mm, 幅9mm, 背幅4mm。			括1

SI-147 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	土師器	坏	口径 (140) 器高 37 丸底	口縁部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラ調整後ミガキ。	赤色粒を含む。外面は明褐色、一部黒色。内面は明褐色。焼成は良好。	No. 6
2	土師器	甕	口径 (112) 器高 115 底径 70	口縁部は横ナデ。胴部外面は横位ヘラケズリ後、下半部を多方向からのヘラケズリ。胴部内面はヘラナデ後ナデ。	緻密で白色微粒子を僅かに含む。外面は淡褐色、一部黒色。内面は淡黒色、黄褐色。焼成は良好。	No. 4, 5, SI-147 括
3	土師器	甕	口径 (181) 器高 <53> 底径 -	口縁部は横ナデ。口縁端部は両端が短くつまみ出され、側面が凹面状になる。	砂を多く含み、白色粒子が目立つ。淡茶褐色。焼成は良好で硬質。	No. 3
4	土師器	甕	口径 (200) 器高 <131> 底径 -	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜横位ヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラナデ後ナデ。	砂を多く含む。外面は暗黒褐色、内面は暗褐色。焼成は良好で硬質。	No. 2

SI-148 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	土師器	坏	口径 (200) 器高 <34> 丸平底	口縁部横ナデ。体部から底部ヘラケズリ後、丁寧なミガキ。内面ヘラ調整後、丁寧なミガキ。内外面とも黒色処理か。漆の可能性あり。	緻密で白色微粒子を僅かに含む。外面は暗褐色、内面は黒色。焼成は良好。	No. 1
2	土師器	甕?	口径 - 器高 - 頸部径 (226)	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜横ヘラケズリ後ミガキ。胴部内面ナデ。焼成前に直径5mmの小孔が穿孔される。	緻密だが砂を含み、白色微粒子が目立つ。焼成は良好で硬質。	括1

SI-149 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	土師器	坏	口径 (138) 器高 45 底径 (83)	ロクロ整形。底部は二方向の全面手持ちヘラケズリ。体部下端は未調整。内面はミガキされず、黒色処理。	砂を多く含み、大粒の赤色粒を含み器面がザラつく。外面は暗淡褐色、内面は黒灰色。焼成は良好。	No. 6
2	土師器	坏	口径 121 器高 38 底径 70	ロクロ整形。底部は回転糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。内外面とも平滑。	緻密で白色粒子、赤色粒子を含む。淡黄褐色。砂を多く含むが焼成は良好で軟質。	No. 5

3	土師器	甕	口径 器高 底径 胴最大径(145)	(105) 148 86	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後、中位から下部にかけヘラケズリ。更にミガキ。内面はヘラナデ後ナデ。底部外面に木葉痕。	細かな砂を多く含み、白色微粒子と赤色微粒子が目立つ。茶褐色、外面一部黒色。焼成は良好で軟質。	No. 7, 平安時代の甕で木葉痕は稀少
4	土師器	甌	口径 器高 底径	— <119> (90)	胴部外面は上半部がナデ、下半部が多方向のヘラケズリ。内面はヘラナデ後ナデ。孔部の内外面横位ヘラケズリにより調整される。	白色・茶色・灰色・半透明粒を含みやや粗い。外面は橙褐色、内面は赤褐色。焼成は良好。	括1
5	土製品	支脚	高さ	<107>mm, 径63×(54)mm。			括2
6	石器	砥石	長さ	125mm, 幅129mm, 厚さ52mm, 重さ1110.75g。			No. 8

### SI-151 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径 器高 底径	(106) 41 (57)	ロクロ整形。底部は回転糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。内面の調整は平滑。	細かな砂を多く含み、白色粒子が目立つ。外面は淡黒褐色、内面は淡褐色。焼成は良好。	括1, A
2	須恵器	片口鉢	口径 器高 底径	(200) <60> —	ロクロ整形。口縁部は横ナデ。胴部外面はタタキ整形。内面はナデ。口縁端部は中央部が凹面になる。	細かな砂と白色微粒子を多く含む。暗褐色。焼成は良好。	括3 在地産
3	土師器	甕	口径 器高 底径 胴最大径(194)	208 <89> — 194	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後、下半を斜位ヘラケズリ。内面はヘラナデ後ナデ。口縁部はコの字状に曲折し、口縁端部は外につまみ出される。	粗く砂を多く含み、赤色粒と白色粒子が目立つ。赤褐色。焼成は良好。	括2
4	須恵器	甕	口径 器高 底径	(254) <63> —	ロクロ整形。口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位のタタキ整形。内面は当て具痕がナデ消される。	砂を多く含み、赤色粒子と白色粒子が目立つ。明褐色。焼成は良好。酸化焰焼成。	No. 1, 5, 7 在地産
5	須恵器	甕	口径 器高 底径	— <107> (172)	ロクロ整形。胴部外面は縦位タタキ整形後、下位は斜位ヘラケズリ。内面は当て具痕がナデ消される。	砂を多く含み、赤色粒子と白色粒子が目立つ。明褐色。焼成は良好。酸化焰焼成。	No. 1, 6 在地産

### SI-152 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径 器高 底径	(136) 35 (66)	ロクロ整形。底部は全面手持ちヘラケズリ。体部下端は未調整。内面はミガキ。内面は黒色処理。	砂を多く含み、白色粒子が目立つ。淡灰褐色及び黒色。焼成は良好。	括3
2	土師器	坏	底部片 器高 底径	— <18> (93)	ロクロ整形。底部回転糸切り後、周縁部手持ちヘラケズリ。体部下端手持ちヘラケズリ。底面は放射状の丁寧なミガキ。内面黒色処理。	砂を多く含み、白色粒子を含む。淡茶褐色及び黒色。焼成は良好。	括1
3	土師器	坏	口径 器高 底径	(150) <38> —	ロクロ整形。内面はミガキで黒色処理される。内外面とも平滑。	砂を多く含み、白色粒子と赤色粒子が目立つ。淡黄褐色及び黒色。焼成は良好。	括2 外面体部に墨書「匡」?
4	土師器	甕	口径 器高 底径	(176) <67> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。内面はヘラナデ後ナデ。口縁端部は長く垂直につまみ出される。	砂を多く含み、白色粒子と大粒の赤色粒を含む。淡黄褐色。焼成は良好。	No. 1-2
5	土師器	甌	口径 器高 底径	(278) <79> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。つまみは貼り付けヘラケズリ。口縁端部は長く垂直につまみ出される。	砂を多く含み、白色粒子と大粒の赤色粒を含む。赤褐色、外面一部黒色。焼成は良好。	No. 1-1

### SI-153 遺物観察表

( )は推定値、< >は現存値

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	甕	口径 器高 底径	(156) <63> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後、斜横位ヘラケズリ。内面はヘラナデ後ナデ。口縁端部は両端がつまみ出される。	砂を多く含み、赤色粒子と白色粒子を含む。赤黒褐色。焼成は良好。	No. 1

### SI-154 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径 器高 底径	(134) 40 (67)	ロクロ整形。底部は回転糸切り後未調整。体部下端は未調整。	緻密で白色微粒子、金雲母微粒子、白色針状物を含む。明橙褐色。焼成は良好だが軟質。	括2
2	土師器	坏	口径 器高 底径	(126) 40 (54)	ロクロ整形。底部は回転糸切り後未調整。体部下端は未調整。	緻密で金雲母微粒子を含む。茶褐色。焼成は良好だが軟質。	括6
3	土師器	坏	口径 器高 底径	— <15> 60	ロクロ整形。底部は回転糸切り後未調整。体部下端は未調整。	砂を多く含み、大粒の赤色粒を含む。淡褐色。焼成は良好。	※No. 1
4	土師器	甕	口径 器高 底径	(146) <65> —	口縁部横ナデ。胴部外面縦位ヘラケズリ。内面斜位ヘラナデ後ナデ。頸部内面横位ヘラケズリ後ナデ。口縁端部は短くつまみ出される。	緻密で白色微粒子を多く含む。暗褐色及び黒褐色。焼成は良好。	No. 2
5	土師器	甕	口径 器高 底径	— <25> 148	ロクロ整形。胴部外面の下半は縦位ヘラケズリ後雑なミガキ。底部は回転糸切り後、手持ちヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラケズリ後ナデ。	砂を多く含み、小砂利と白色微粒子が目立つ。淡褐色。焼成は良好。酸化焰焼成。	No. 3
6	須恵器	甌	口径 器高 底径	(268) <160> —	ロクロ整形。口縁部横ナデ。胴部外面は縦位タタキ整形。内面はナデ。	砂を多く含み、白色微粒子が目立つ。暗褐色及び黒褐色。焼成は良好。酸化焰焼成。	No. 1



7	須恵器	甕	口径器高底径	— <55> —	ロクロ整形。胴部外面は縦位タタキ整形後、下部は斜位ヘラケズリ。内面は横位ヘラナデ後ナデ。	砂を多く含み、白色微粒子が目立つ。暗褐色及び黒褐色。焼成は良好。酸化焙焼成。	括7
8	須恵器	甕	口径器高底径	— <69> —	ロクロ整形。胴部外面は縦位タタキ整形。内面はヘラナデ後ナデ。	砂を多く含み、小砂利と白色微粒子を僅かに含む。暗褐色及び赤褐色。焼成は良好。酸化焙焼成。	括1 括
9	須恵器	甕	口径器高底径	<100> —	ロクロ整形。胴部外面は格子タタキ整形。内面はヘラナデ後ナデ。	砂を多く含み、白色粒子と大粒の赤色粒子が目立つ。茶褐色。焼成は良好。酸化焙焼成。	No. 7, 括, 括1 No. 3
10	鉄製品	刀子	長さ	<44>mm, 幅7mm, 背幅4mm。			括8

### SI-155 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径器高底径	(122) 41 68	ロクロ整形。底部は全面手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。	緻密だが砂を多く含み、白色微粒子を僅かに含む。暗茶褐色。焼成は良好で硬質。	No. 2A
2	土師器	坏	口径器高底径	(130) <31> —	ロクロ整形。体部下端の調整は不明。	緻密で白色微粒子を多く含む。灰茶褐色。焼成は良好で硬質。	括2
3	土師器	坏	口径器高底径	— <34> —	ロクロ整形。	緻密で白色微粒子を僅かに含む。淡明褐色。焼成は良好で軟質。	括1 外面に墨書「見參？」
4	土師器	手握土器	胴部径器高丸底	40 24	土玉状の粘土塊に指を入れ、指頭による整形。口縁部には整形時のヒビが無数に残される。	緻密で白色微粒子を含む。明褐色。焼成は良好。	No. 1
5	土師器	甕	口径器高底径	(168) <118> 胴最大径 166	口縁部横ナデ。胴部外面縦位ヘラケズリ後、下半部を横位ヘラケズリ。胴部内面ヘラナデ後ナデ。口縁部は素縁で端部は僅かに内湾する。	砂を多く含み、白色粒子が目立つ。黒褐色及び茶褐色。焼成は良好だが二次焼成を受けている。	括1 括1
6	土師器	甕	口径器高底径	(196) <81> —	口縁部横ナデ。胴部外面縦位ヘラケズリ。胴部内面ヘラナデ後ナデ。口縁部はくの字状に曲折し、口縁端部は外反気味につまみ出される。	砂を多く含み、白色粒子が目立つ。赤褐色及び暗褐色。焼成は良好だが二次焼成を受け脆い。	括1 括2
7	土師器	瓶	口径器高底径	290 <145> —	口縁部横ナデ。胴部外面縦位ヘラケズリ。胴部内面ヘラナデ後ナデ。口縁端部は垂直につまみ出される。取手部はヘラケズリ後ナデ。	砂を多く含み、白色粒と赤色粒が目立つ。外面は黒褐色、内面は橙褐色。焼成は良好で硬質。	括, 括1 No. 1
8	土師器	甕	口縁部片器高底径	<61> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。胴部内面は斜位ヘラナデ後ナデ。口縁端部は外反気味に弱くつまみ出される。	砂を多く含み、白色微粒子が目立ち、器面がザラつく。暗褐色及び黒褐色。焼成は良好で硬質。	No. 3

### SI-156 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	甕	器高底径	<115> (72) 胴最大径 (155)	胴部外面は縦位ヘラケズリ後、下半部は斜横位ヘラケズリ。内面は横位ヘラナデ後ナデ。	砂を多く含み、白色粒子と赤色粒子が目立つ。黒褐色。焼成は良好。	No. 1
2	土師器	甕	口径器高底径	— <44> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。内面はヘラナデ後ナデ。口縁端部はほぼ垂直につまみ出される。	砂を多く含み、白色粒子と赤色粒子が目立つ。外面は暗褐色、内面は褐色。焼成は良好。	括1

### SI-157 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考	
1	土師器	坏	口径器高底径	(124) 41 63	ロクロ整形。底部は回転糸切り後未調整。体部下端は手持ちヘラケズリ。	緻密で白色微粒子を多く含む。淡黄褐色、淡黒褐色。焼成は良好。	括1
2	土師器	坏	口径器高底径	(133) 44 50	ロクロ整形。底部は回転糸切り後未調整。体部下端は手持ちヘラケズリ。	緻密だが赤色粒を含む。淡褐色。焼成は不良。	No. 2
3	土師器	甕	口径器高底径	(124) <36> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。胴部内面は横位ヘラナデ後ナデ。口縁端部は僅かにつまみ出されるが丸みをもつ。	砂を多く含み、白色粒子が目立つ。明褐色。焼成は良好。	No. 5
4	土師器	甕	口径器高底径	(192) <57> —	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。内面はヘラナデ後ナデ。口縁端部短いが鋭くつまみ出される。	砂を多く含み、赤色粒が目立つ。淡褐色。焼成は良好。	No. 2
5	土師器	瓶	口径器高底径	(314) <115> 胴最大径 (274)	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ。胴部内面は斜横位ヘラナデ後ナデ。口縁端部は丸みをもつが幾分つまみ出される。	砂を多く含み、赤色粒が目立つ。赤褐色。焼成は良好。	No. 3, 一括 括1 一括
6	土師器	坏	口径器高底径	— <35> —	ロクロ整形。体部下端は手持ちヘラケズリ。	緻密だが赤色微粒子、白色微粒子を多く含む。灰褐色及び淡黄褐色。焼成は良好で硬質。	括3 体部外面に墨書
7	土師器	鉢	口径器高底径	(160) <39> —	ロクロ整形。口縁部横ナデ。胴部外面は横位ヘラケズリ後、斜位ヘラケズリ。内面はナデ。	緻密だが白色微粒子を多く含む。淡褐色。焼成は良好。	括4

SI-158・159 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	土師器	坏	口径 (112) 器高 41 底径 80	ロクロ整形。底部は静止糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は未調整。	緻密だが白色微粒子を多く含む。明褐色。焼成は良好。	括1
2	土師器	坏	口径 122 器高 36 底径 74	ロクロ整形。底部は回転糸切り後、周縁部を手持ちヘラケズリ。体部下端は手持ちヘラケズリ。内面はカーボン吸着による黒色処理。	緻密だが細かな砂を多く含む、白色微粒子が目立つ。焼成は良好。破片毎にモザイク状の変色	SI-158, 159括 No. 1, 2
3	土師器	坏	底部片 器高 底径	ロクロ整形。底部は静止糸切り後、全面回転ヘラケズリ。	緻密だが小砂利と白色微粒子を多く含む。淡褐色。焼成は良好で硬質。	括2 底部外面に墨書「酒」

SI-160 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	土師器	甌	口径 (290) 器高 <89) 底径 -	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位ヘラケズリ。胴部内面はヘラナデ後ナデ。	砂を多く含む、白色粒子が目立つ。黄褐色及び黒色。焼成は良好で硬質。	No. 1

SI-161・162 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	土師器	甌	口径 130 器高 <90) 胴最大径(130)	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後、下半部を斜横位ヘラケズリ。内面はヘラナデ後ナデ。口縁端部は素直につまみ出される。	砂を多く含む、小砂利が目立つ。外面は赤褐色、内面は黒色。二次焼成を受けている。	No. 3, 4
2	土師器	甌	口径 (170) 器高 <81) 胴最大径(175)	口縁部横ナデ。胴部外面縦位ヘラケズリ後、下半部斜横位ヘラケズリ。内面横位ヘラナデ後ナデ。口縁端部は鋭くつまみ出される。	砂を多く含む、白色微粒子が目立つ。茶褐色及び暗褐色。焼成は良好だが二次焼成を受けている。	No. 11
3	土師器	甌	口径 178 器高 104 底径 -	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位ヘラケズリ後、下半部が斜横位ヘラケズリ。内面は斜横位ヘラナデ後ナデ。口縁部は素縁で外に開く。	砂を多く含む、赤色粒子が目立つ。赤褐色及び黒褐色。焼成は良好だが二次焼成を受けている。	No. 9, 10, 12
4	須恵器	甌	口径 - 器高 <163) 胴最大径(300)	胴部外面は縦位のタタキ整形。内面はタタキ整形後当て具痕とともにナデ消される。頸部内外面は横ナデ。	砂を多く含む、白色粒子と赤色粒子が目立つ。暗茶褐色。焼成は良好。	No. 5 在地産

SI-163 遺物観察表

番号	器種	器形	法量(mm)	手法の特徴	胎土・色調・焼成	備考
1	土師器	椀	口径 (161) 器高 <59) 底径 -	口縁部は鋭くつまみ出され、面取り状に削られている。体部から底部はヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラケズリ後ミガキ。	砂を多く含む、白色粒子が目立つ。素地は赤褐色。焼成は良好。スス付着。内外面とも赤彩。	No. 29, 30
2	土師器	高坏	口径 197 器高 <61) 底径 -	坏部は内外面ともヘラケズリ後ミガキ。内外面とも赤彩される。脚部外面は縦位ヘラケズリ後ミガキ。体部は直線的だが幾分内湾する。	砂を多く含む、白色粒子が目立つ。素地は赤褐色。焼成は良好。一部黒色化している。	No. 71
3	土師器	高坏	口径 (205) 器高 <76) 底径 -	坏部は内外面ともヘラケズリ後ミガキ。内外面とも赤彩される。脚部外面は縦位ヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラ調整後赤彩される。	砂を多く含む、白色粒子が目立つ。素地は赤褐色。焼成は良好。内外面に多量のススが付着。	No. 2, 70
4	土師器	高坏	口径 - 器高 <81) 器高 135 裾径 -	脚部外面は縦位ヘラケズリ後丁寧な縦位ミガキ。内面は紋り整形後、下半をヘラケズリ。赤彩されることが基本だが痕跡は確認されない。	砂を多く含む、白色粒子と赤色粒子が目立つ。淡黄褐色。焼成は良好。一部黒色化している。	No. 64, 71 2番、3番とは別個体
5	土師器	甌	口径 124 器高 (100) 底径 48 胴最大径 125	口縁部は内外面とも斜位ヘラケズリ後ミガキ。胴部外面は横位ケズリ後ミガキ。内面は横位ヘラケズリ後ナデ。胴部は内外面とも赤採される。	緻密だが細かな砂と白色粒、小砂利を多く含む。素地は淡黄褐色。焼成は良好。多量のススが付着。	No. 48, 86
6	土師器	甌	口径 150 器高 <42) 底径 -	口縁部から頸部は縦位ヘラケズ後、縦位ミガキ。内面は横位ヘラケズリ後、横位ミガキ。口縁部は複合口縁。	砂を多く含む、白色粒子が目立つ。淡茶褐色。焼成は良好。ススが付着。	No. 85
7	灰軸陶器	把手付瓶	器高 <73) 底径 (104)	底部は全面回転ヘラケズリ。胴部下半部は回転ヘラケズリ。濃緑色の釉が流れる。	緻密で白色角礫を僅かに含む。乳白灰色。焼成は良好。	No. 69 猿投窯黒笹90号窯式か
8	土師器	甌	口径 172 器高 <169) 胴最大径 238	外面の口縁部から胴部はヘラケズリ後ミガキ。内面はヘラケズリ後ミガキ。口縁部は素縁で直線的に開く。	砂を多く含む、白色粒子と大粒の赤色粒子が目立つ。黄褐色及び暗赤褐色。焼成は良好。赤彩か。	No. 3, 5, 6, 70
9	土師器	甌	口径 (190) 器高 257 底径 72 胴最大径 246	外面の口縁部から胴部上半部縦位ヘラケズリ後、縦位ミガキ。内面は口縁部が幅広のミガキ。頸部は横位ヘラケズリ。胴部はヘラケズリ後ミガキ。	砂を多く含む、赤色粒と白色粒子、小砂利が目立つ。黒褐色及び暗褐色。焼成は良好。ススが多く付着。外面は赤彩か。	No. 11, 12, 15, 18~22, 24~26, 29, 80~84
10	土師器	甌	口径 (190) 器高 <129) 胴最大径(265)	口縁部横ナデ後、頸部より斜位ヘラケズリ後ミガキ。内面頸部横位ヘラケズリ。胴部ヘラケズリ後ミガキ。口縁部は素縁で直線的に開く。	緻密で白色微粒子を多く含む。淡赤褐色及び淡黄褐色。焼成は良好。	No. 39
11	土師器	甌	口径 - 器高 <67) 底径 (78)	胴部外面は斜位ヘラケズリ後ミガキ。胴部内面は斜横位ヘラケズリ後ミガキ。	砂を多く含む、小砂利、白色角礫、赤色粒が目立つ。を含む。黒褐色。焼成は良好。	No. 53 搬入品?
12	土師器	甌	口径 - 器高 <92) 底径 80	胴部外面は縦位ヘラケズリ後、下端部は斜位ヘラケズリ。全面ミガキ。胴部内面は斜横位ヘラケズリ後ミガキ。	砂を多量に含む、白色粒子が目立つ。赤褐色及び黒褐色。焼成は良好。ススが付着。外面は赤彩か。	No. 54, 55
13	石器	砥石	長さ237mm, 幅100mm, 厚さ73mm, 重さ2.150g。			No. 7



# 写 真 图 版



新台遺跡

城山遺跡

夏台遺跡

神山谷遺跡





神山谷遺跡北部（空撮南側から）







A区調査区 (空撮南側から)



A区調査区 (空撮北側から)





151号住居跡



151号住居跡セクション



151号住居跡P2



151号住居跡竈セクション



151号住居跡竈



152号住居跡

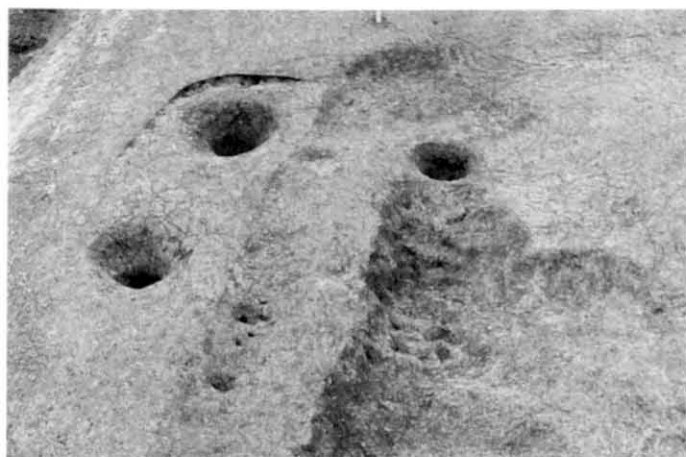


152号住居跡遺物出土状況

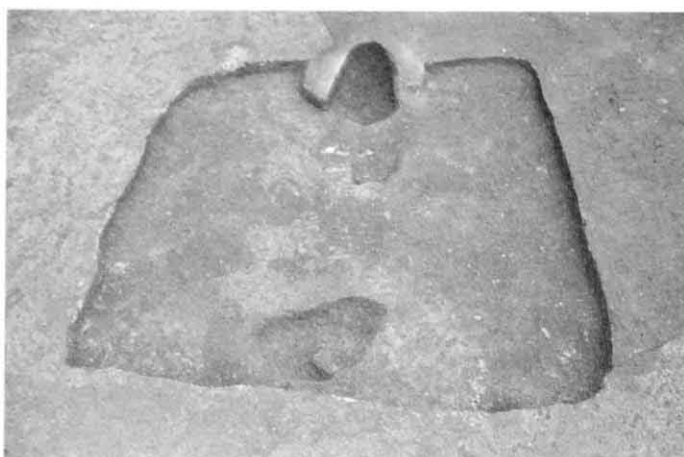




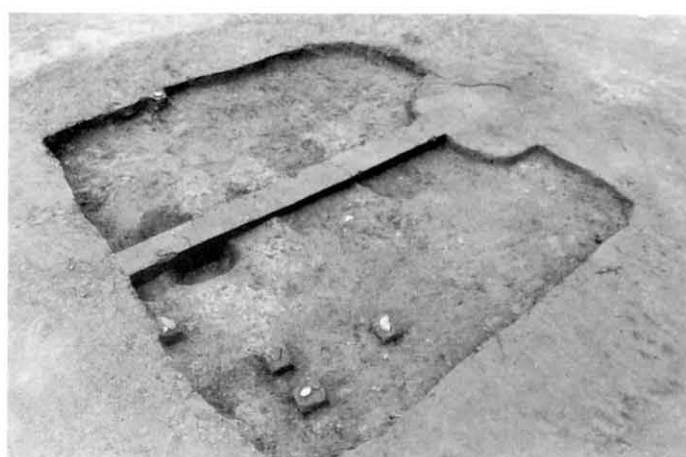
153号住居跡



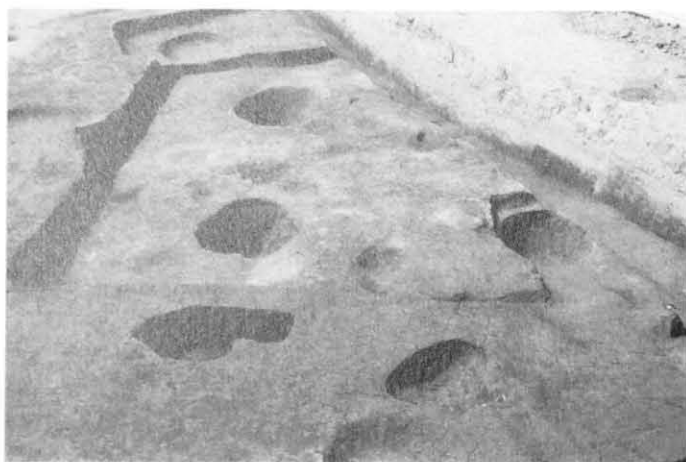
155号住居跡



156号住居跡



156号住居跡遺物出土状況



157号住居跡



157A号住居跡遺物出土状況



157B号住居跡





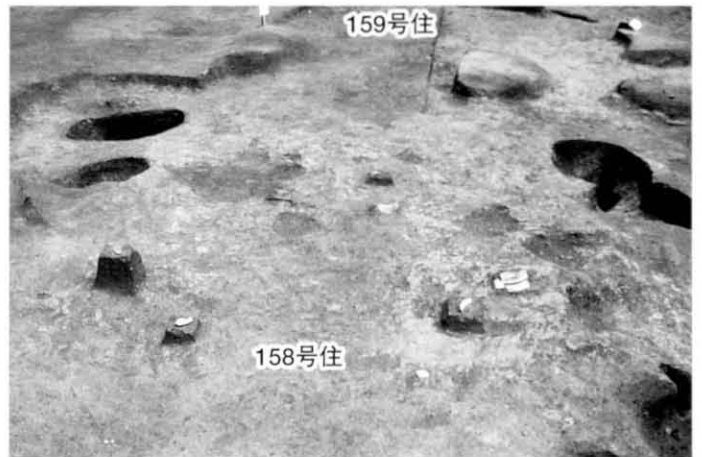
158号住居跡



158号住居跡遺物出土状況



158号住居跡遺物出土状況



158・159号住居跡



159号住居跡



159号住居跡竈



160号住居跡遺物出土状況



160号住居跡竈周辺遺物出土状況





162号住居跡



162・163号住居跡柱穴



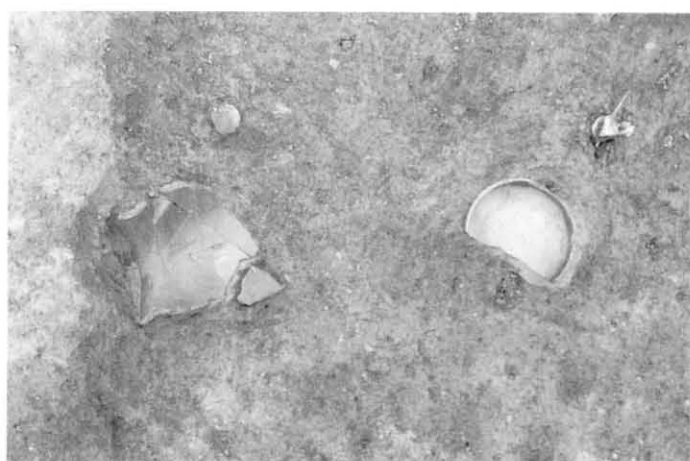
162号住居跡竈



162号住居跡竈遺物出土狀況



162号住居跡竈周辺遺物出土狀況



162号住居跡竈周辺遺物出土狀況



163号住居跡

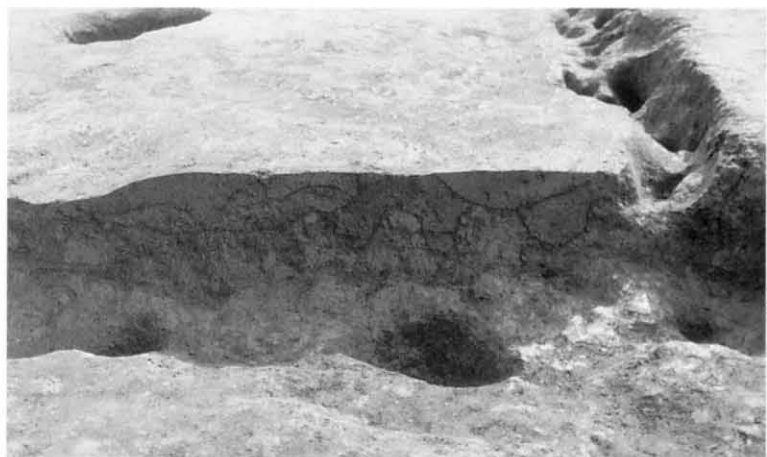


163号住居跡遺物出土狀況





163号住居跡竈



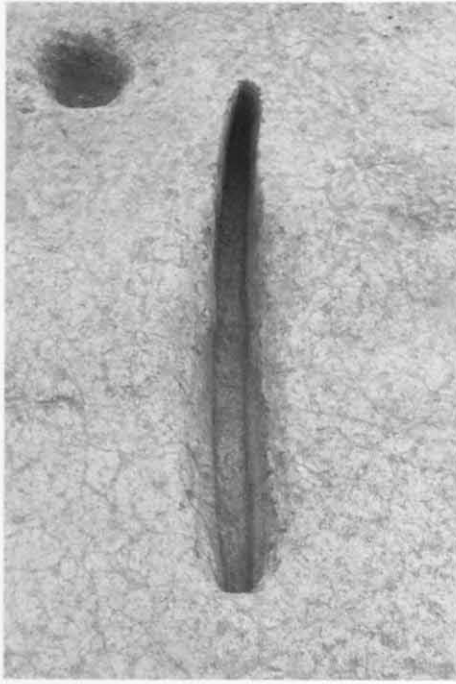
163号住居跡竈セクション



方形土坑



遺物出土状況



1号落とし穴



1号・2号落とし穴



2号落とし穴



2号落とし穴



2号落とし穴セクション





掘立柱建物跡群（空撮）

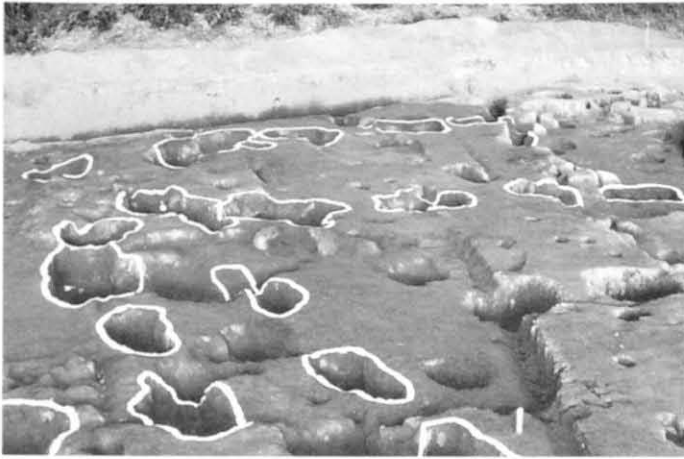


1号・2号掘立柱建物跡



1号・2号掘立柱建物跡





1～3号掘立柱建物跡



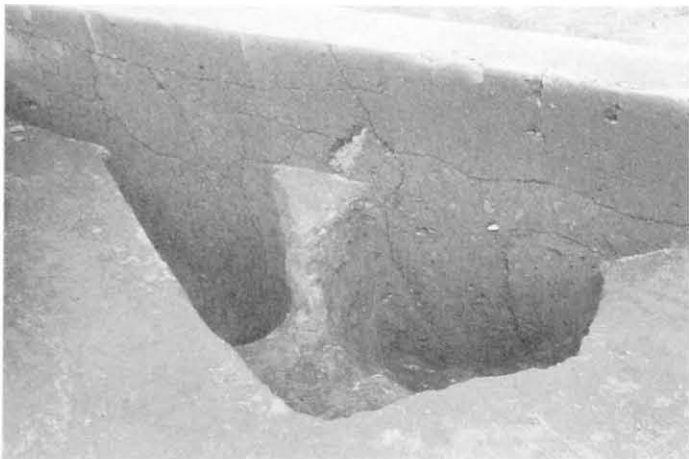
1～3号掘立柱建物跡



3号掘立柱建物跡



1号掘立柱建物跡セクション



2号掘立柱建物跡セクション



3号掘立柱建物跡セクション

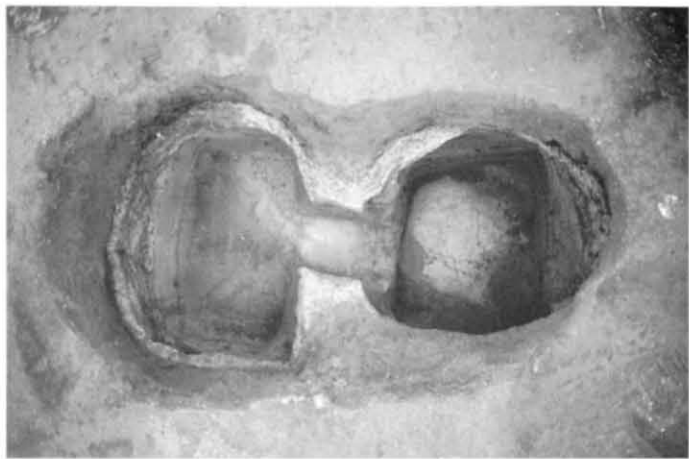


1号地下式坑



1号地下式坑





2号地下式坑



2号地下式坑



2号地下式坑



2号地下式坑



2号地下式坑

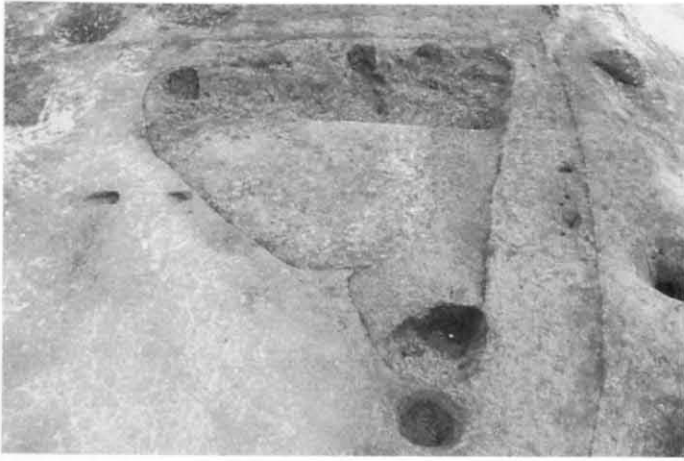


2号地下式坑



2号地下式坑





粘土貼土坑



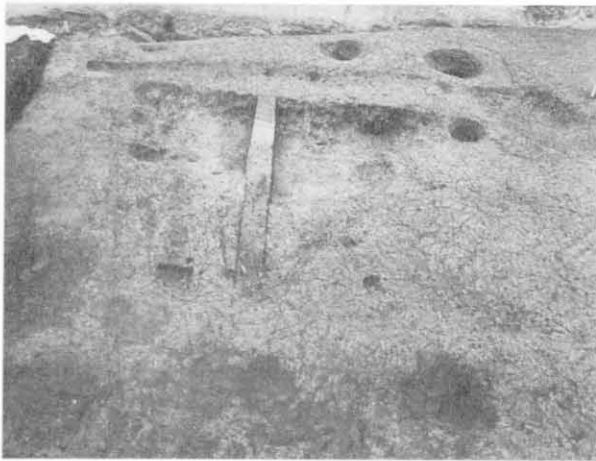
粘土貼土坑



粘土貼土坑 (粘土除去後)



粘土貼土坑 (完掘状況)



粘土貼土坑



粘土貼土坑



粘土貼土坑



粘土貼土坑





2号堀内道跡（空撮）



1号道跡（空撮）



1号道跡





2号堀



2号堀

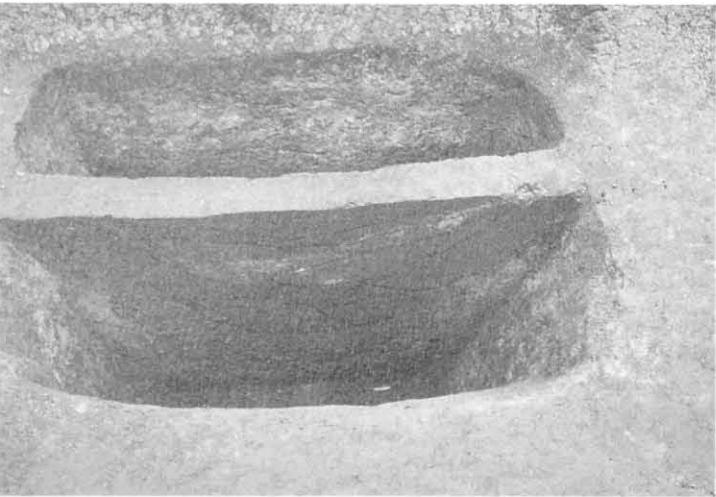
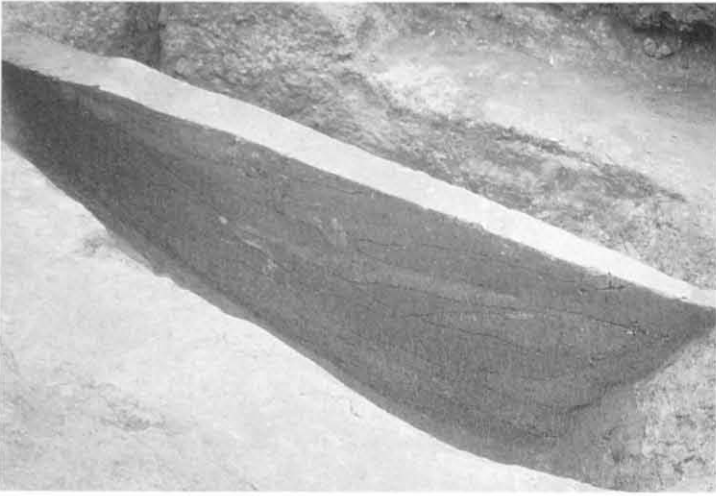


2号堀



2号堀





2号堀



3号堀







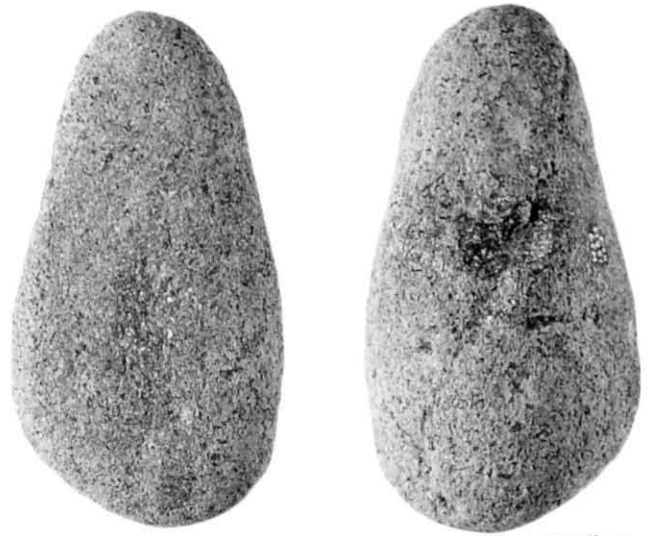
1号道跡 (空撮南側から)



1号道跡



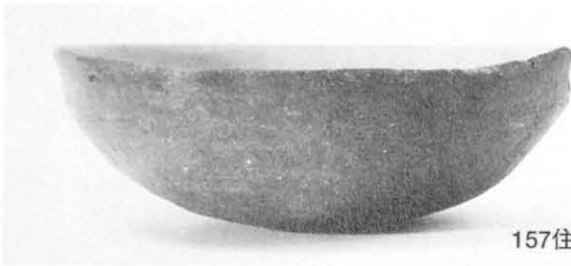
151住,1



156住,2



151住,5



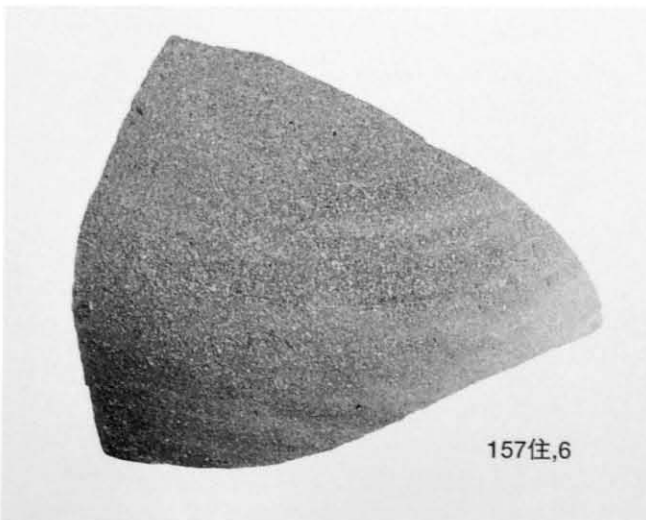
157住,1



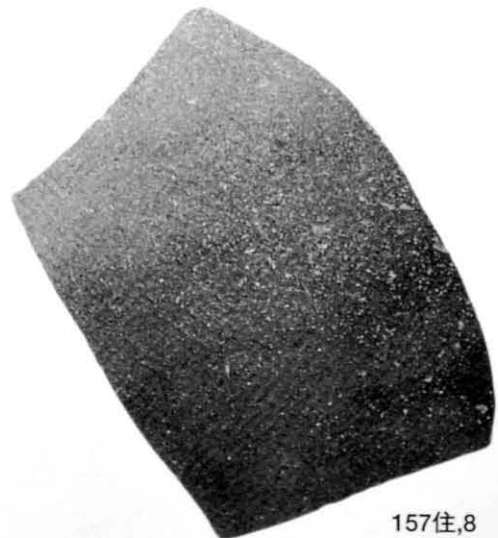
157住,7



157住,2

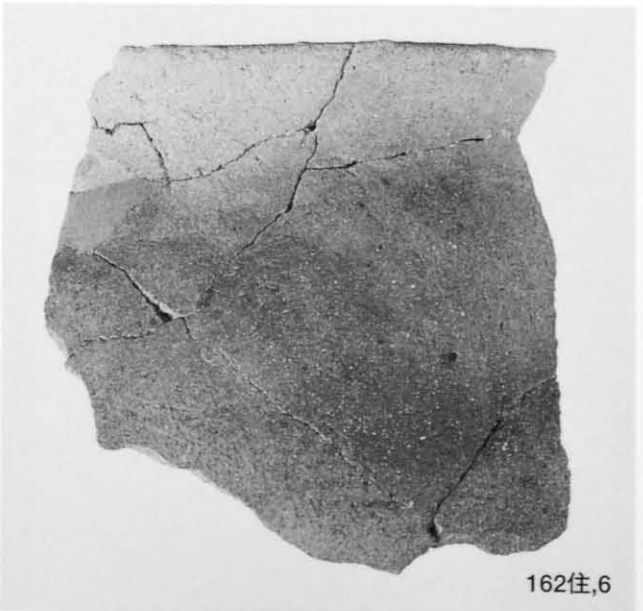
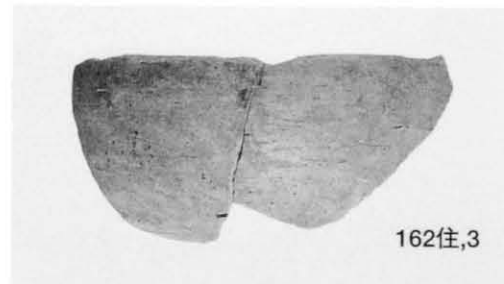
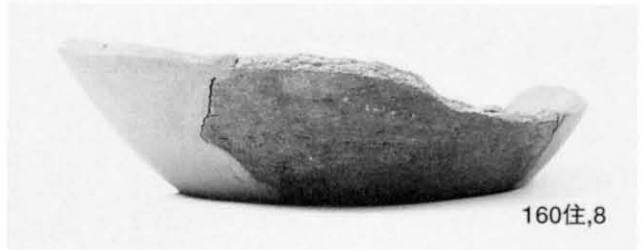
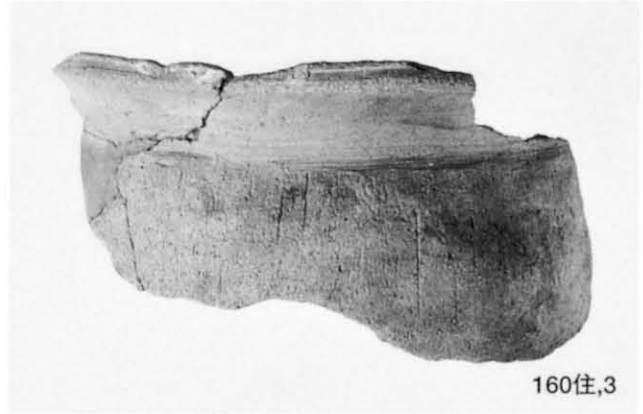
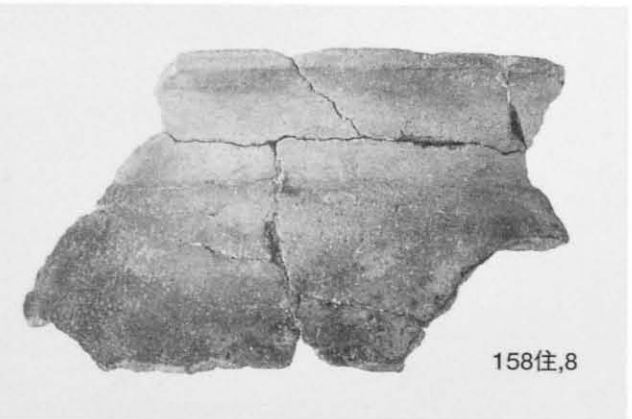
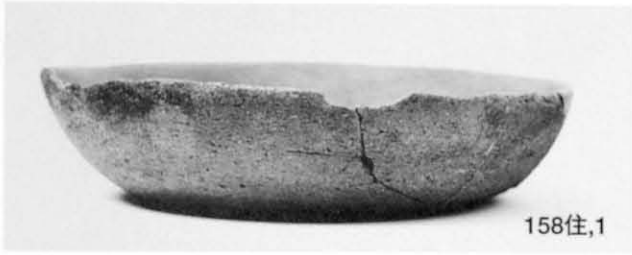


157住,6



157住,8







164B住,1



方形土坑,1



166住,1



167住,2



方形土坑,2



167住,7





神山谷遺跡南部 (空撮西側から)



神山谷遺跡南部 (空撮南側から)





B区調査前（空撮西側から）



B区調査前（空撮西側から）





神山谷遺跡 (空撮北側から)



B区・C2区調査風景 (空撮西側から)

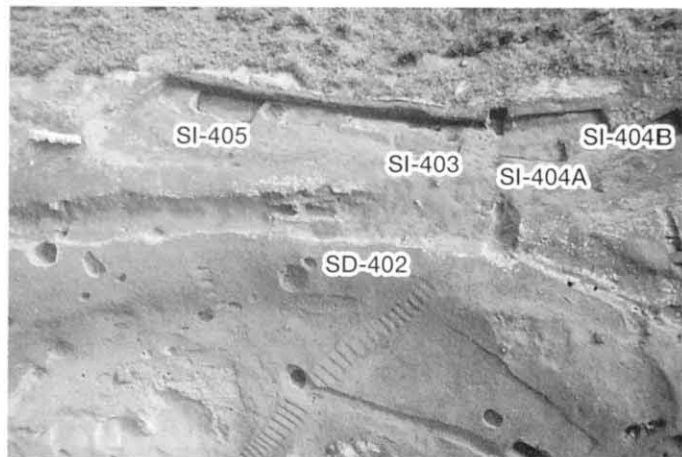




B 2 区 (空撮北から)



B 2 区 (空撮西から)



B 2 区尾根部遺構検出状況



SI-401



SI-401

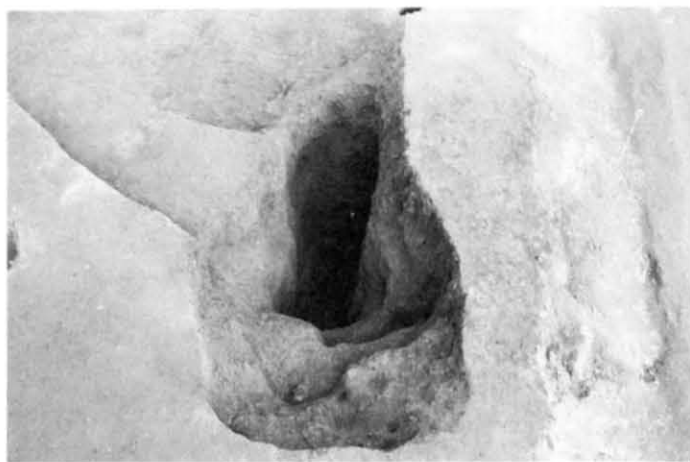


東側斜面住居跡検出状況





3号落とし穴



9号落とし穴



10号落とし穴



SK-410



SK-412



SK-412



SK-426

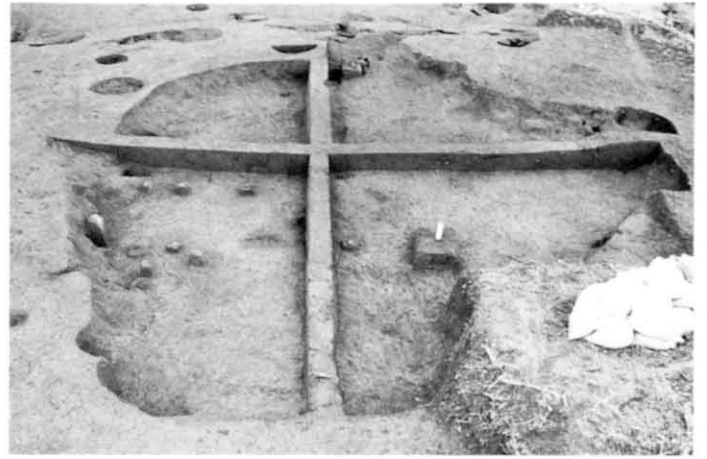


SK-426





中世墓域



中世墓域



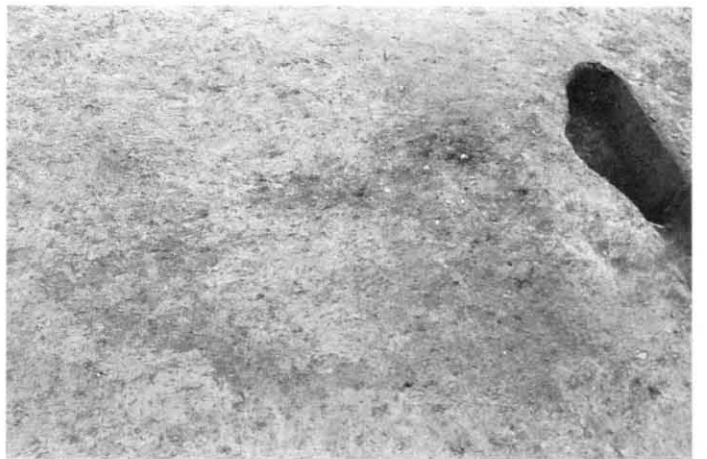
中世墓域 (北側)



中世墓域 (東側)



中世墓域 (南側)



SK-414A検出状況



SK-414A・SK-415



SK-414A遺物出土状況





SK-416・SK-417



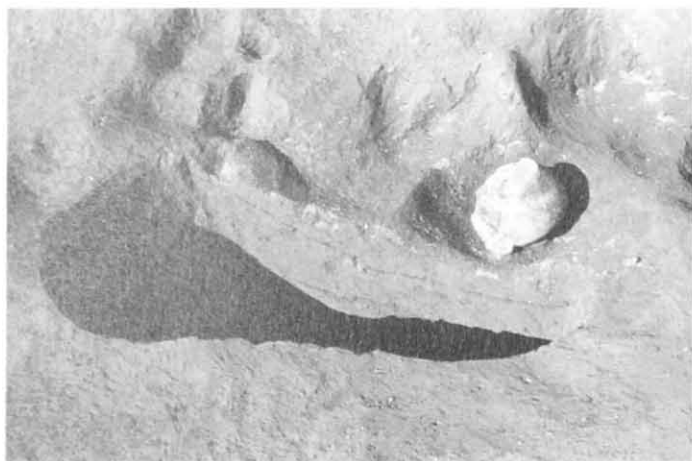
SK-417遺物出土状況



SK-418遺物出土状況



SK-418



SK-419遺物出土状況



SK-419



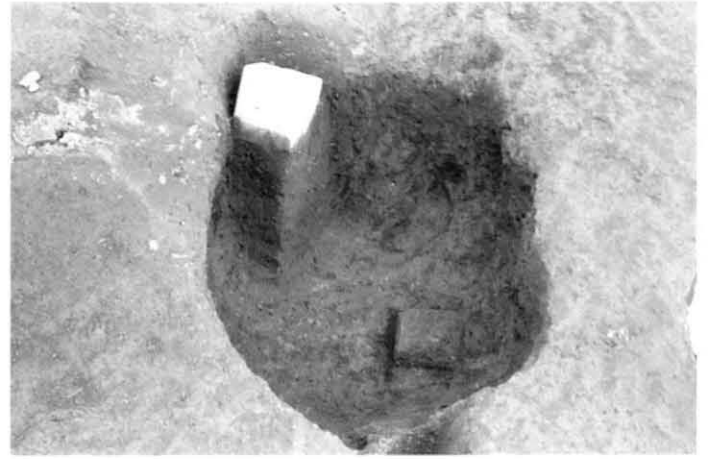
SK-419



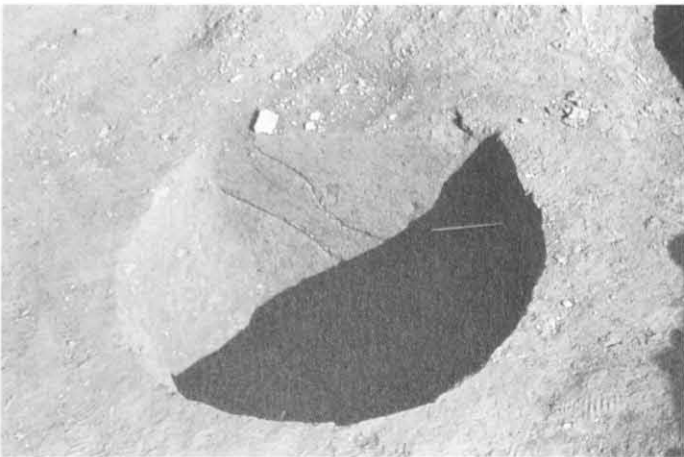
中世墓域



SK-420遺物出土状況



SK-420



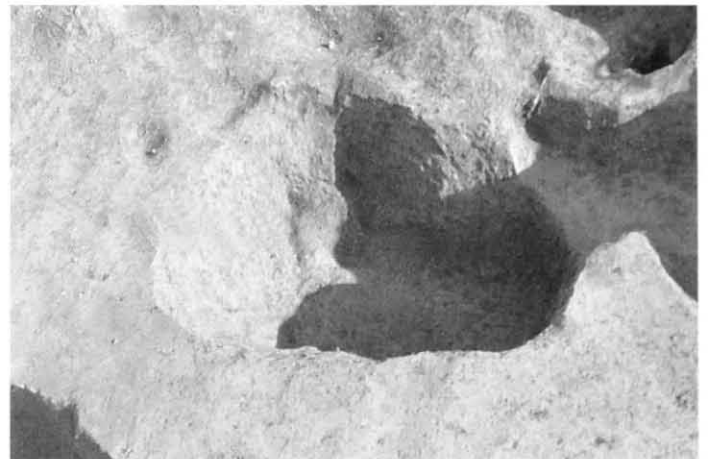
SK-421



SK-421



SK-422



SK-422



SK-423A



SK-423A

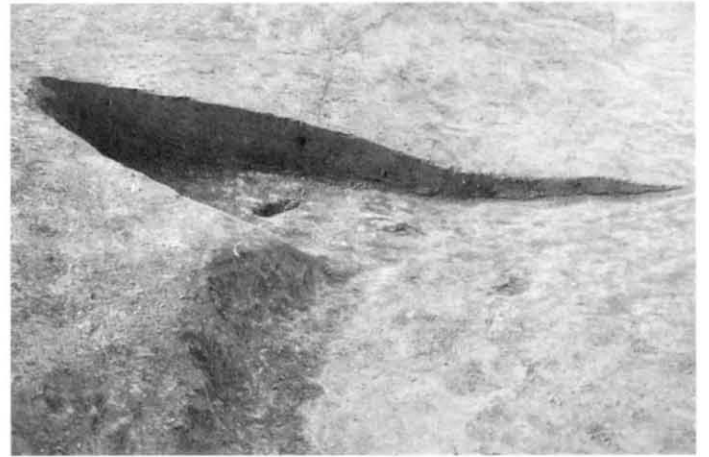




SD-401



SD-401西端土層断面



SD-401中央部土層断面



B 2区 (空撮)



SD-401及びSD-402



SD-402



SD-402硬化面検出状況





斜面部須恵器出土地点（南西から）



斜面部須恵器出土地点（北東から）



須恵器出土状況



須恵器出土状況



須恵器出土状況



須恵器出土状況



須恵器出土状況





B区北部 (空撮)

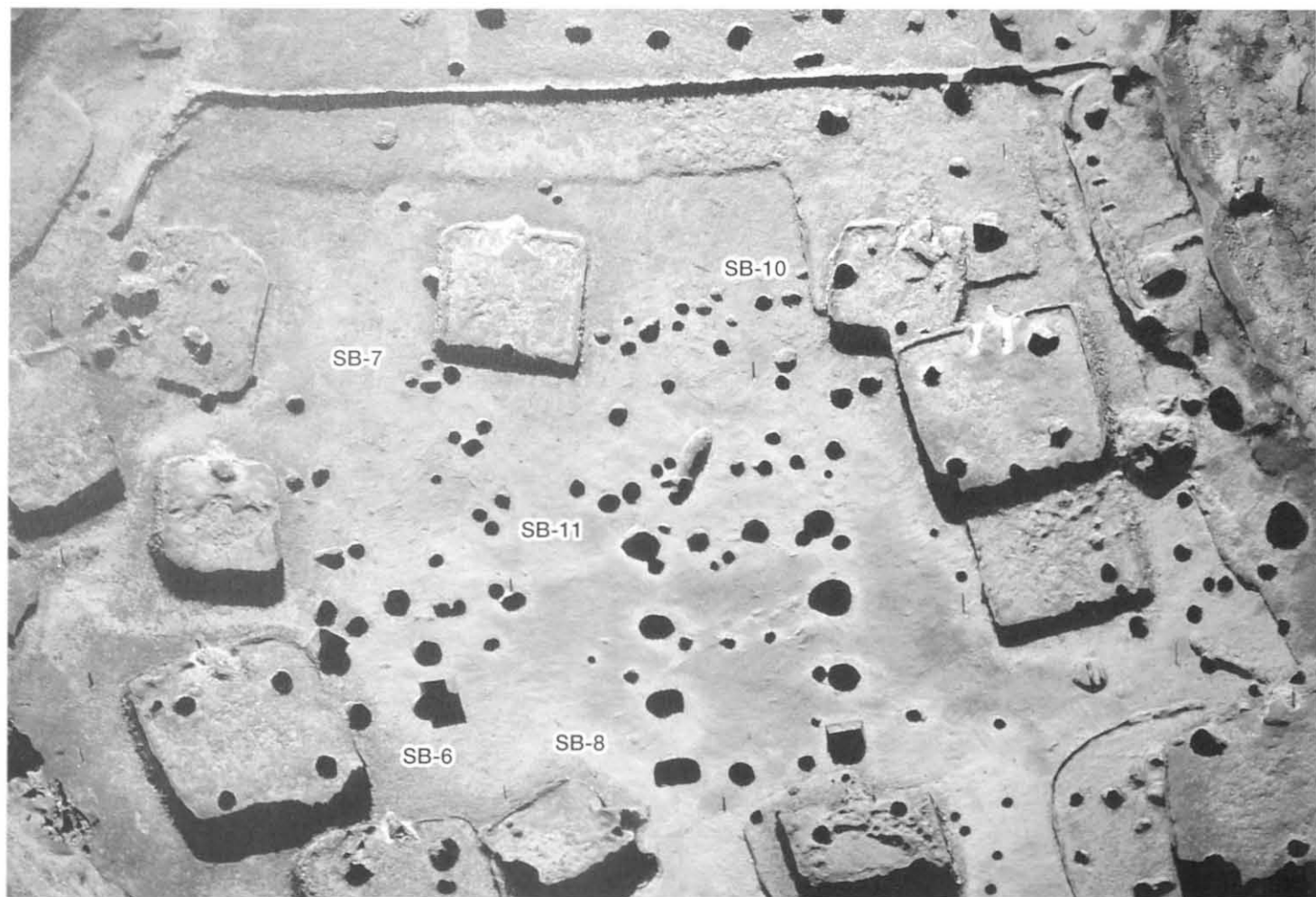


B区中央部 (空撮)





B区中央部 (空撮)



B区中央部掘立柱建物跡群 (空撮)



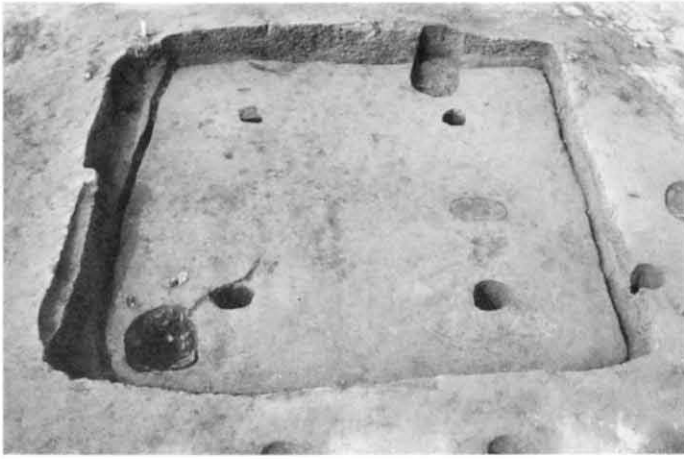


B区南端部 (空撮)



C2区 (空撮)





SI-1



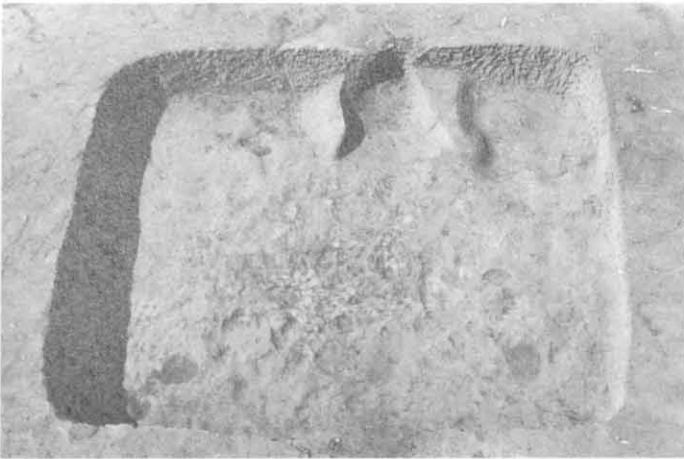
SI-1遺物出土状況



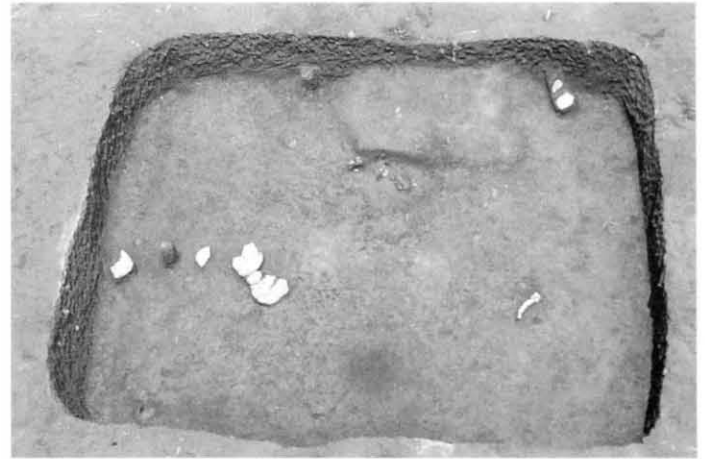
SI-1セクション



SI-1P5内遺物出土状況



SI-2



SI-2遺物出土状況



SI-3A・3B遺物出土状況



SI-3A遺物出土状況





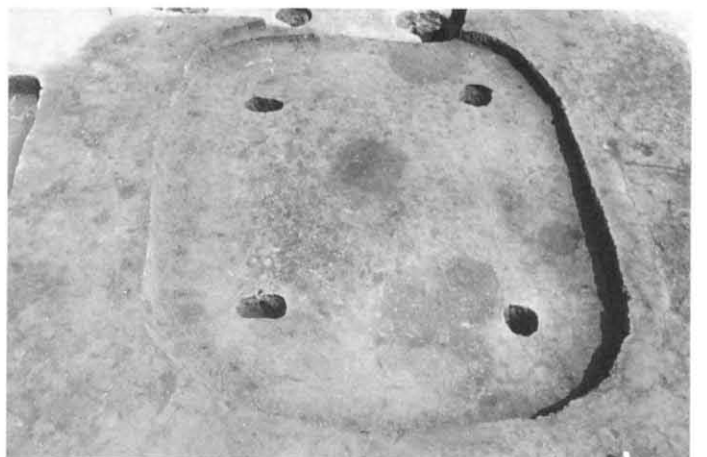
SI-4



SI-4竈



SI-5遺物出土状況



SI-5



SI-6・7A・7B遺物出土状況



SI-6・7A・7B遺物出土状況

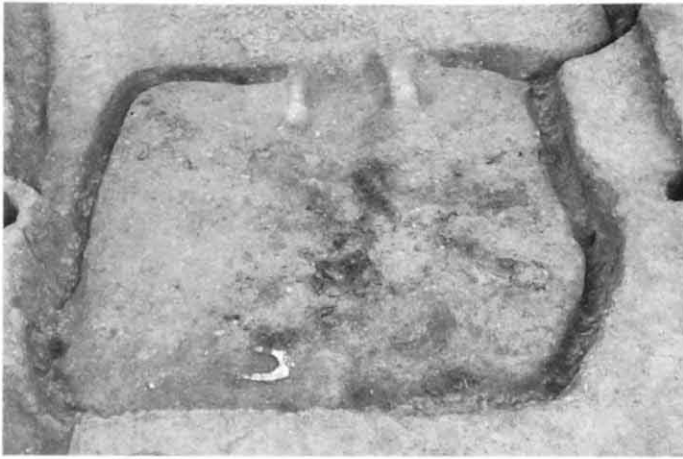


SI-6



SI-6遺物出土状況





SI-7A



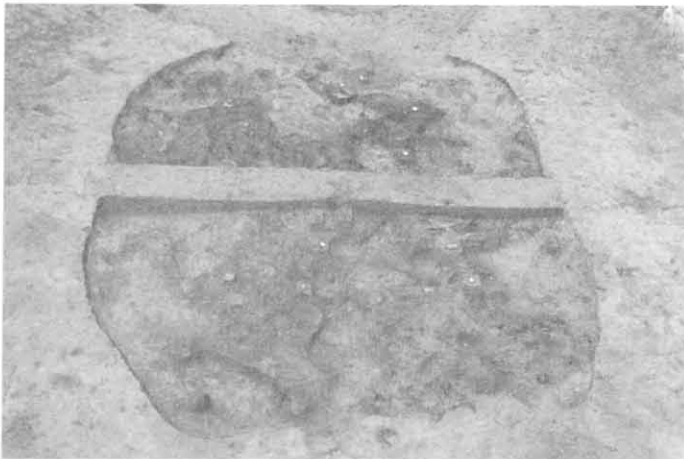
SI-7A炭化材出土状況



SI-7A鋤出土状況



SI-7A鋤出土状況



SI-8遺物出土状況



SI-8



SI-9遺物出土状況



SI-9





SI-11B



SI-10 · 11A · 11B



SI-10遺物出土状況



SI-11A



SI-10遺物出土状況



SI-12B



SI-12A · 12B遺物出土状況



SI-12B遺物出土状況





SI-12B遺物出土状況



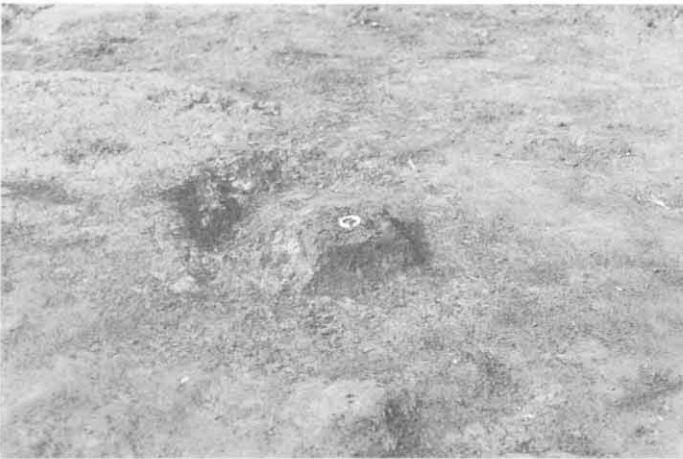
SI-13遺物出土状況



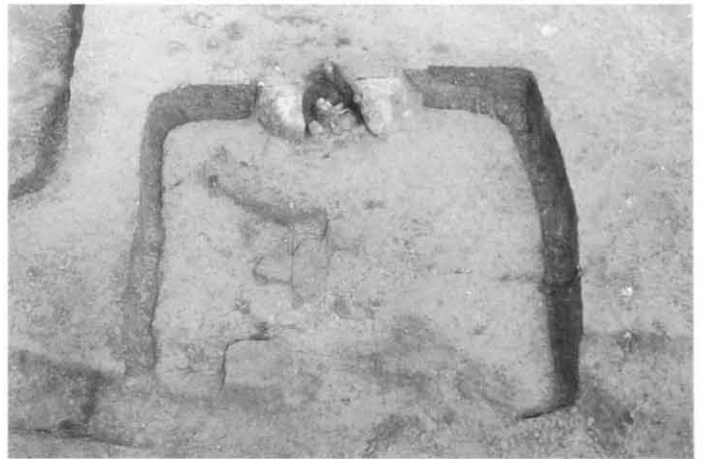
SI-13竈



SI-13



SI-13耳環出土状況



SI-14



SI-14竈遺物出土状況

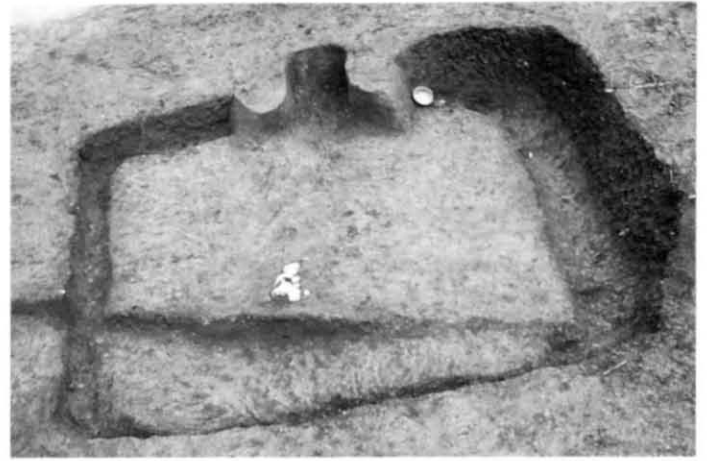


SI-15遺物出土状況





SI-15遺物出土状況



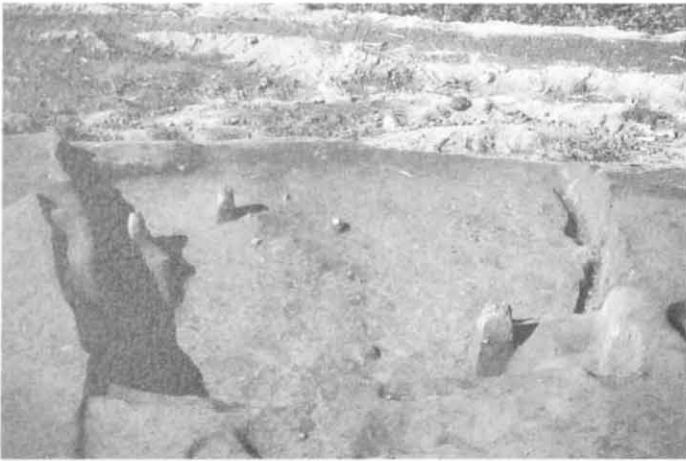
SI-15遺物出土状況



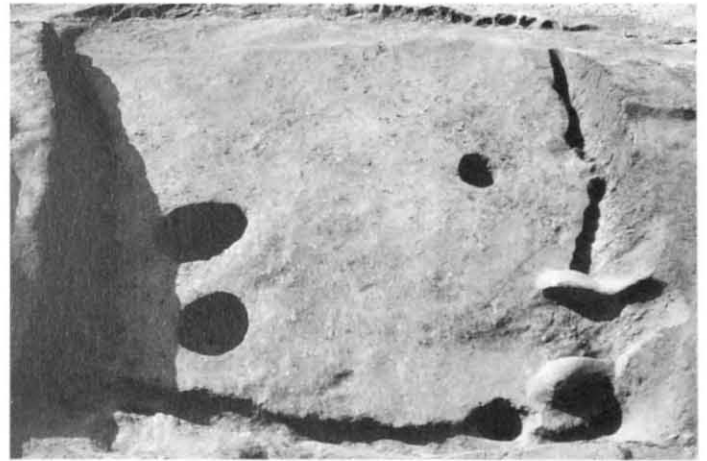
SI-15遺物出土状況



SI-16・29遺物出土状況



SI-16遺物出土状況



SI-16



SI-16竈



SI-17遺物出土状況





SI-17竈内遺物出土状況



SI-19遺物出土状況



SI-19



SI-19粘土及び遺物出土状況



SI-19遺物出土状況



SI-19竈内遺物出土状況

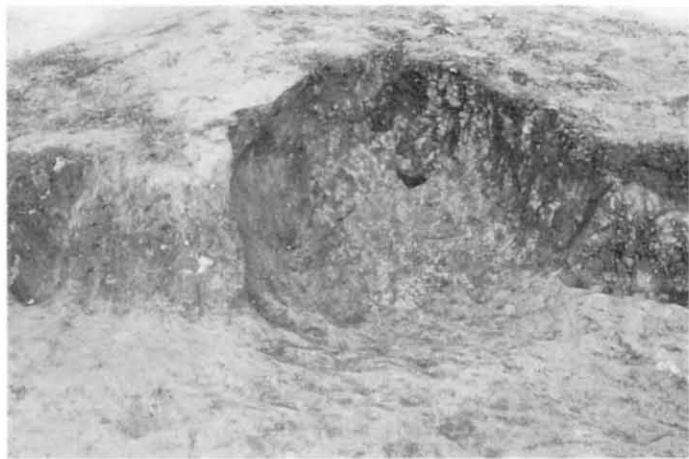


SI-19竈内遺物出土状況

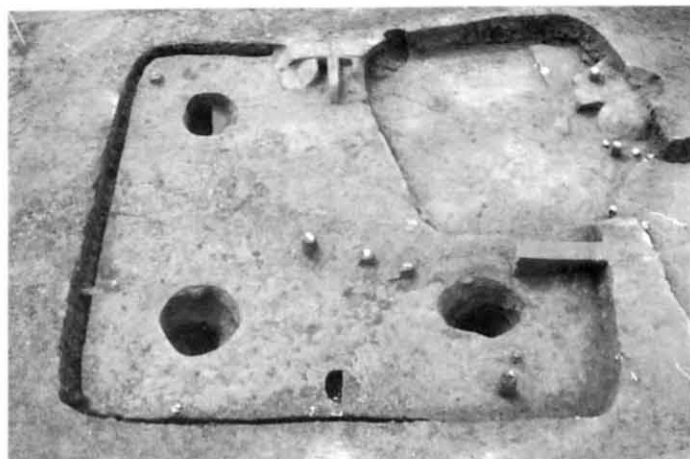


SI-19竈内遺物出土状況





SI-19竈



SI-20・21遺物出土状況



SI-20遺物出土状況



SI-20貼床及び遺物出土状況



SI-20



SI-20・21



SI-21竈



SI-22A・22B





SI-22A遺物出土状況



SI-22B



SI-22B竈内遺物出土状況



SI-23



SI-23竈内遺物出土状況



SI-24



SI-24遺物出土状況

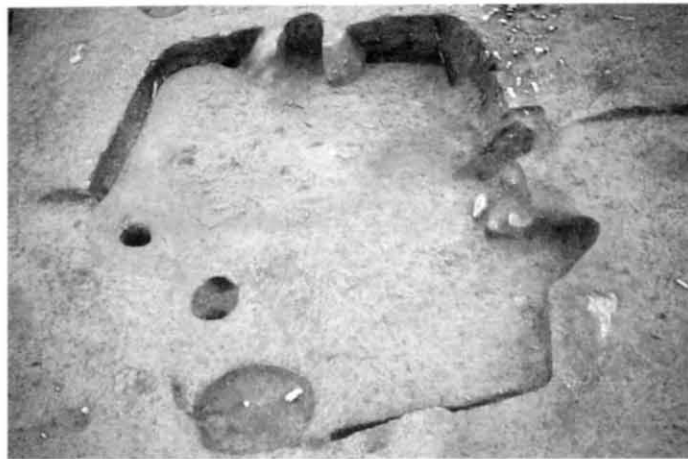


SI-24





SI-24遺物出土状況



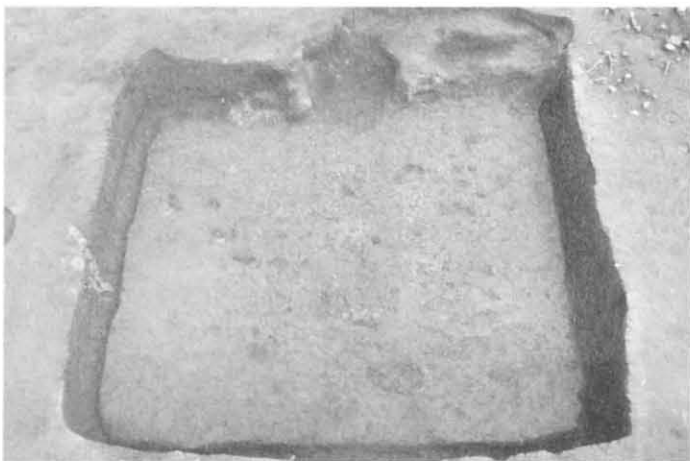
SI-25A・25B



SI-25B竈



SI-26遺物出土状況



SI-26



SI-27B遺物出土状況



SI-27B竈内遺物出土状況

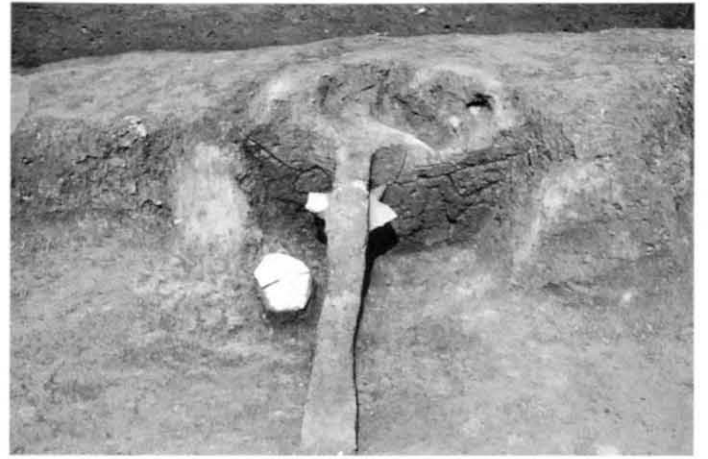


SI-27B竈





SI-27B竈内遺物出土状況



SI-27B竈内遺物出土状況



SI-27B竈



SI-27A遺物出土状況



SI-27A竈



SI-27A遺物出土状況



SI-27C



SI-27A竈





SI-27A



SI-27A竈内セクション



SI-27C遺物出土状況



SI-28遺物出土状況



SI-28遺物出土状況



SI-29A・29B



SI-29A竈





SI-28・29A・29B遺物出土状況



SI-28遺物出土状況



SI-28遺物出土状況



SI-28遺物出土状況



SI-28遺物出土状況



SI-29A・29B遺物出土状況



SI-28・29A・29B遺物出土状況





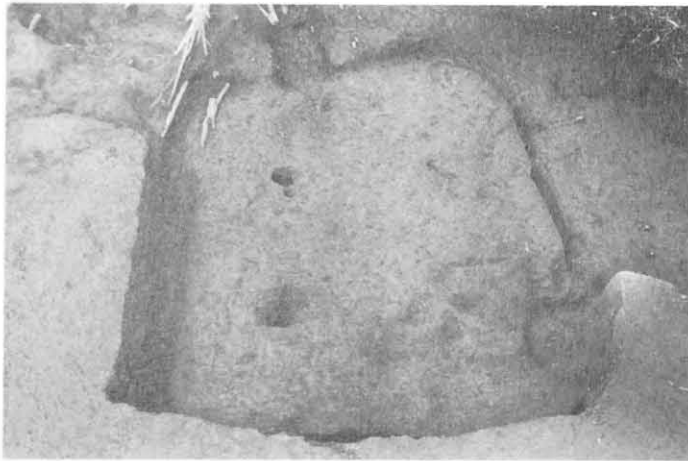
SI-30A・30B・30C



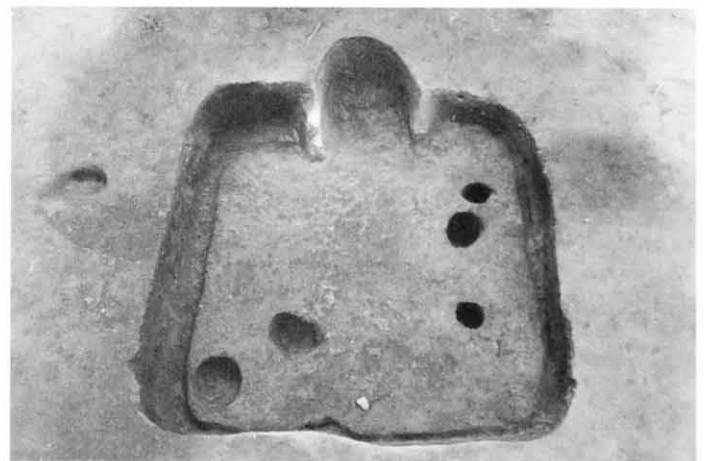
SI-30A



SI-30A遺物出土状況



SI-31



SI-32遺物出土状況



SI-32遺物出土状況



SI-32遺物出土状況





SI-33遺物出土状況



SI-33P3遺物出土状況



SI-33P3遺物出土状況



SI-33P3遺物出土状況



SI-33P3遺物出土状況



SI-33P3遺物出土状況



SI-34炭化材出土状況



SI-34

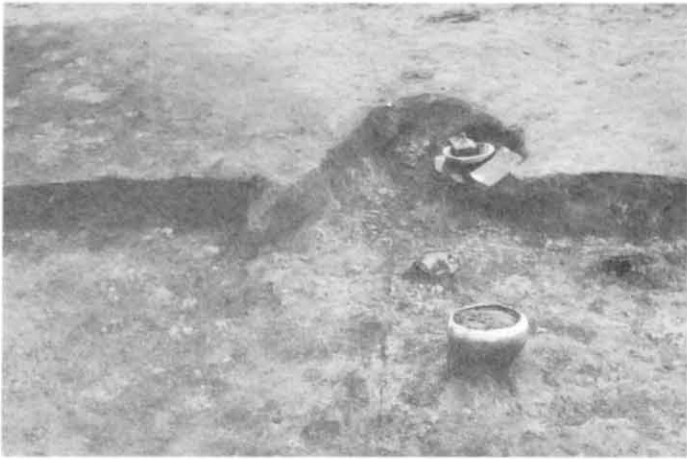




SI-35



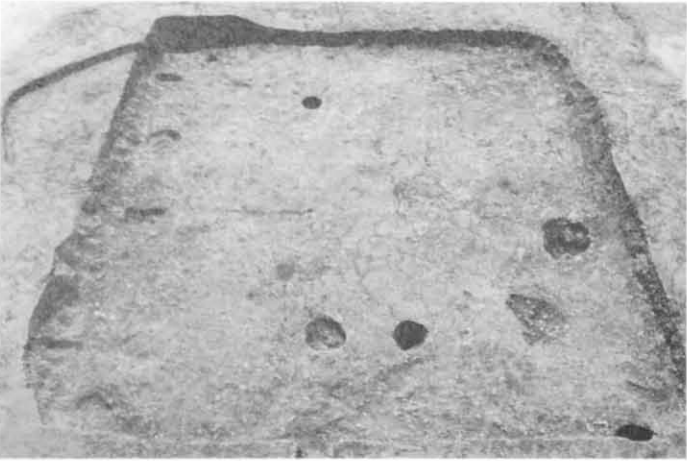
SI-35遺物出土状況



SI-35竈内遺物出土状況



SI-36



SI-37

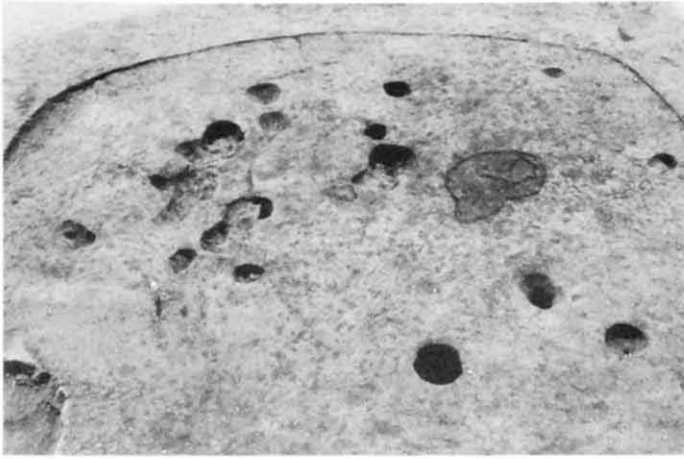


SI-37遺物出土状況



SI-37





SI-39



SI-40遺物出土状況



SI-40



SI-41



SI-42



SI-43

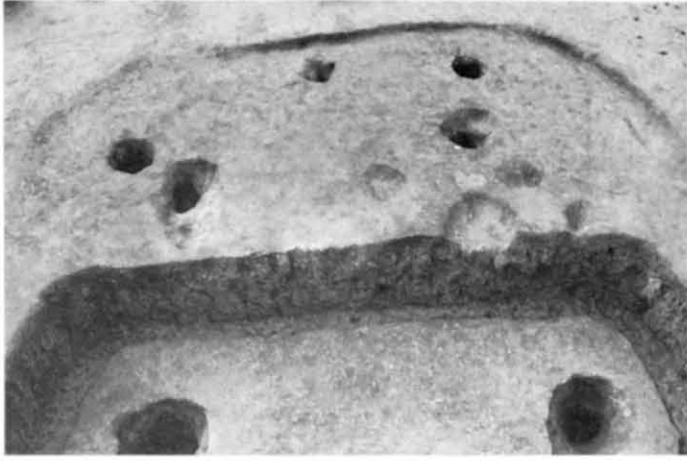


SI-43遺物出土状況

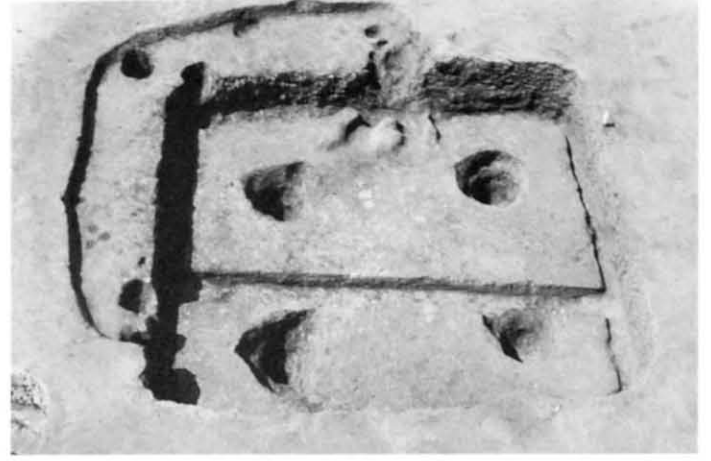


SI-44





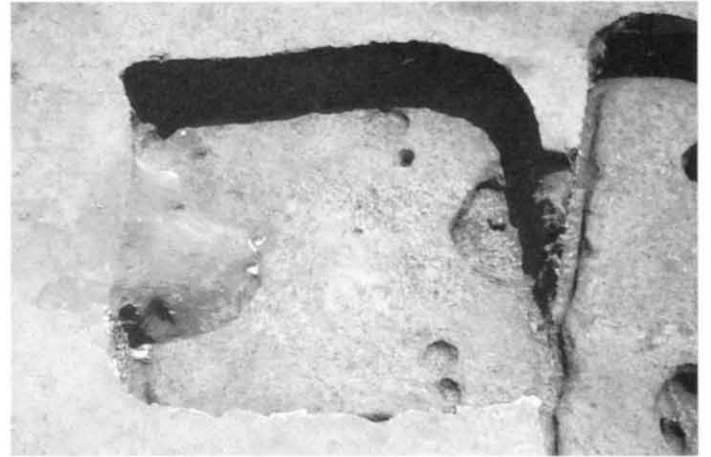
SI-45



SI-46A・46B



SI-46A遺物出土状況



SI-47遺物出土状況



SI-47竈遺物出土状況



SI-47



SI-48



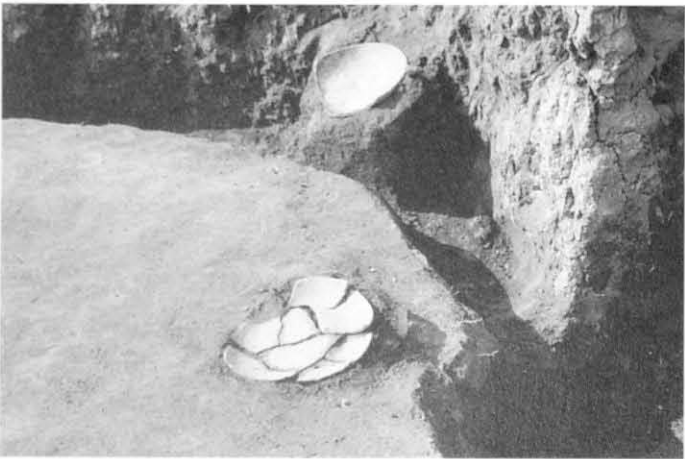
SI-48遺物出土状況



SI-48遺物出土状況



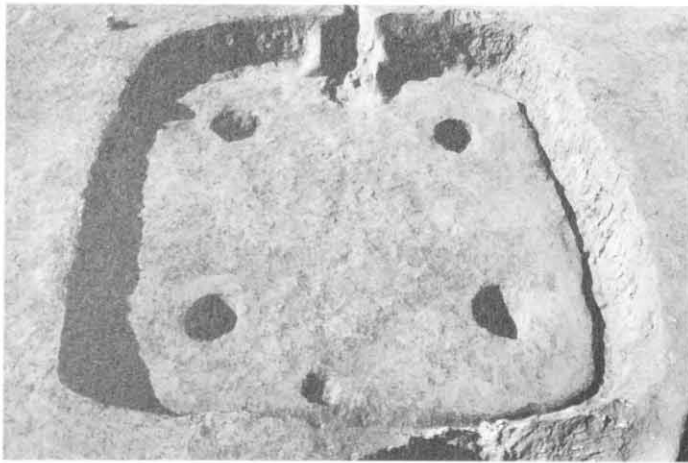
SI-48遺物出土状況



SI-48遺物出土状況



SI-48遺物出土状況



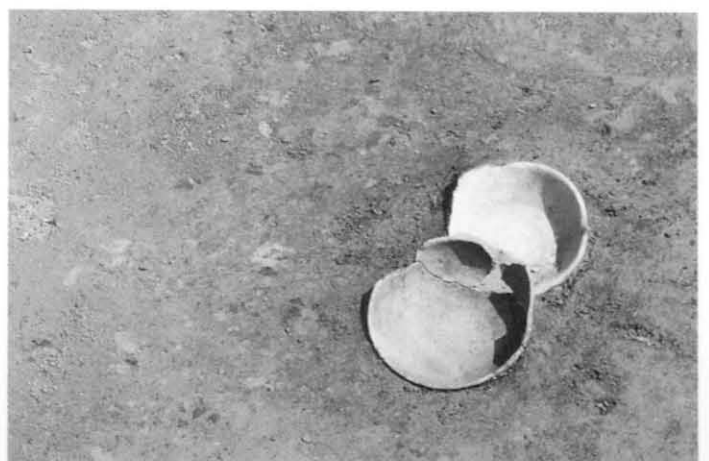
SI-49



SI-49遺物出土状況

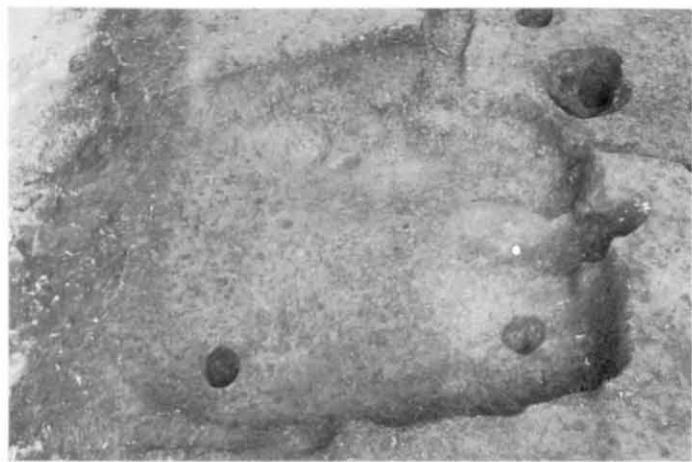


SI-49遺物出土状況



SI-49遺物出土状況





SI-50



SI-50遺物出土状況



SI-50遺物出土状況



SI-50竈B



SI-51



SI-51遺物出土状況



SI-52



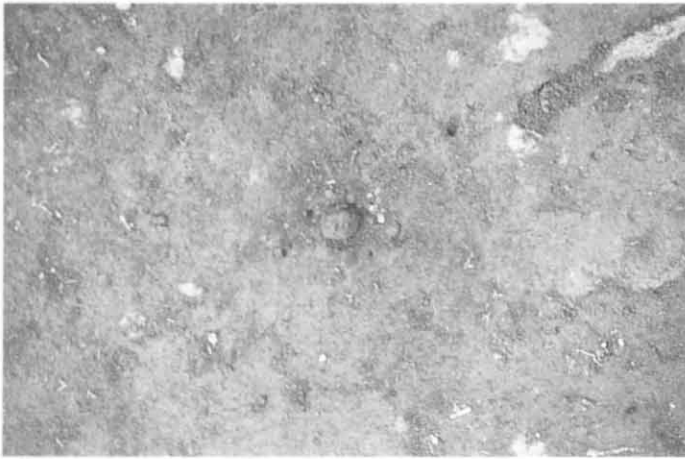
SI-52竈



SI-53A・53B



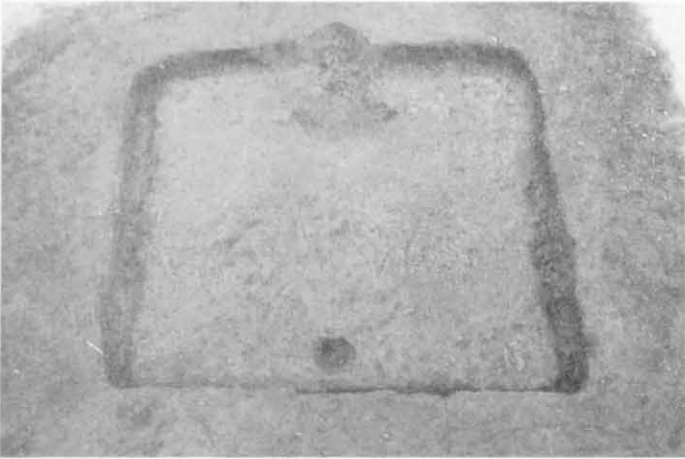
SI-53A



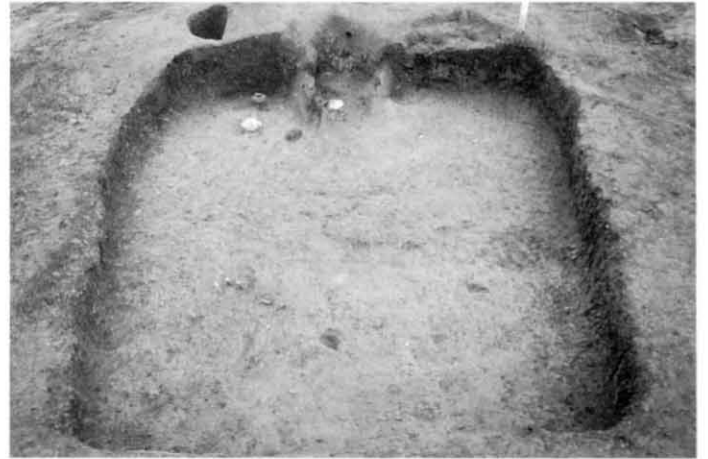
SI-53B種子出土状況



SI-53A竈



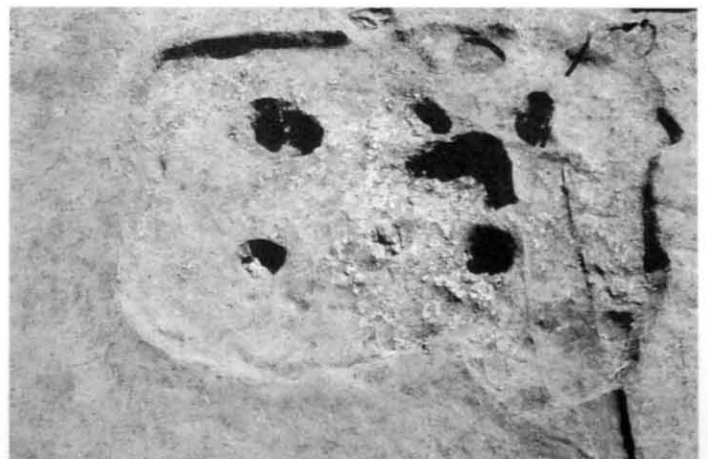
SI-54



SI-55遺物出土状況

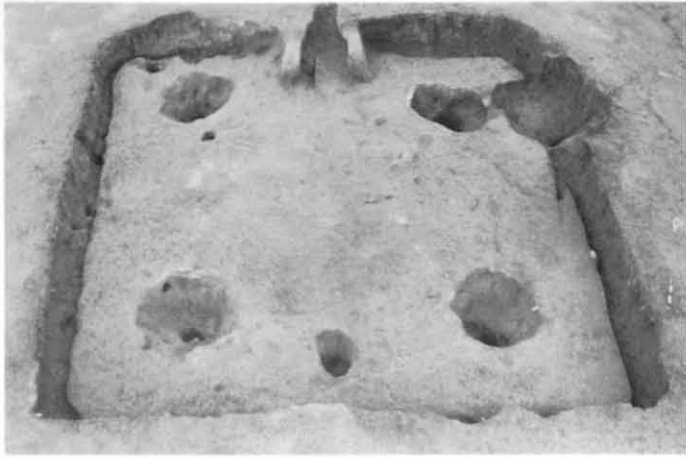


SI-55遺物出土状況



SI-56





SI-57



SI-57遺物出土状況



SI-57竈



SI-57鎌出土状況



SI-57カヤ出土状況



SI-57カヤ出土状況



SI-58B遺物出土状況



SI-58A・58B遺物出土状況





SI-59



SI-59遺物出土状況



SI-60



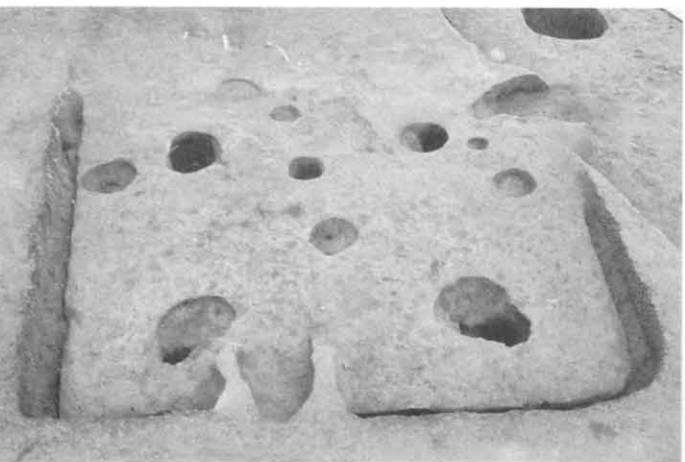
SI-60遺物出土状況



SI-60遺物出土状況



SI-60遺物出土状況

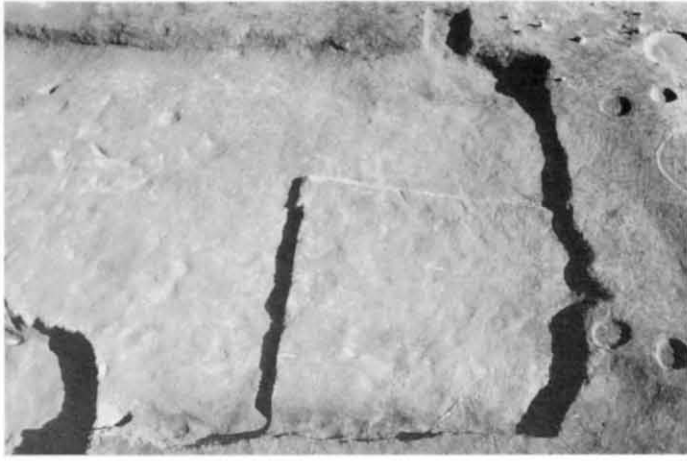


SI-62



SI-62竈





SI-63



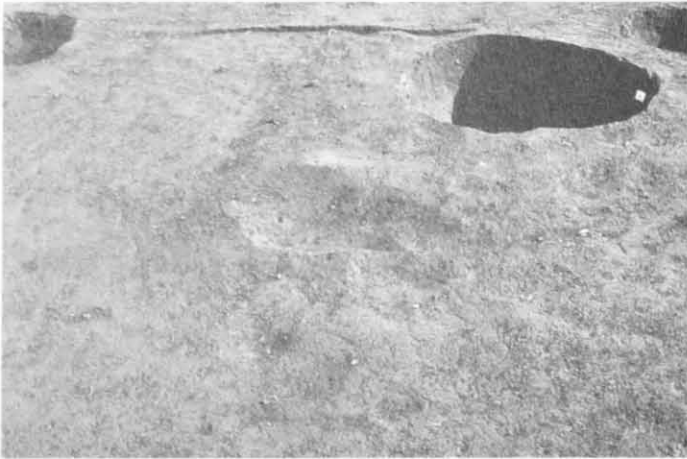
SI-64



SI-64



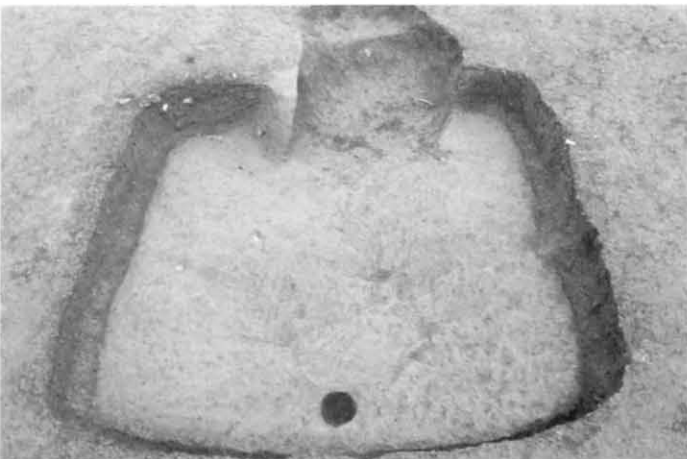
SI-64遺物出土状況



SI-65



SI-66

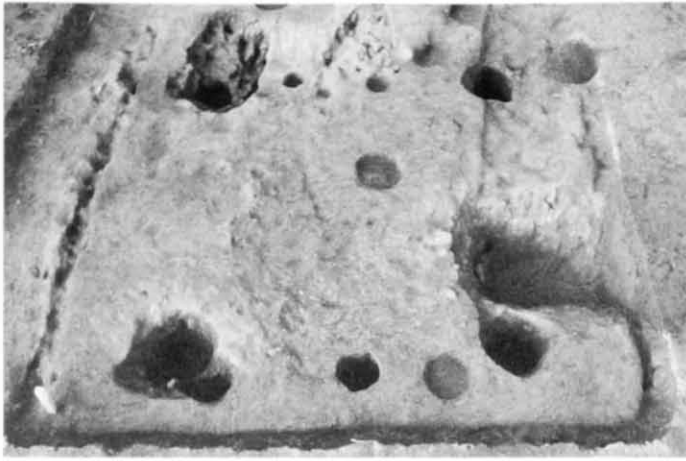


SI-67



SI-67遺物出土状況





SI-68



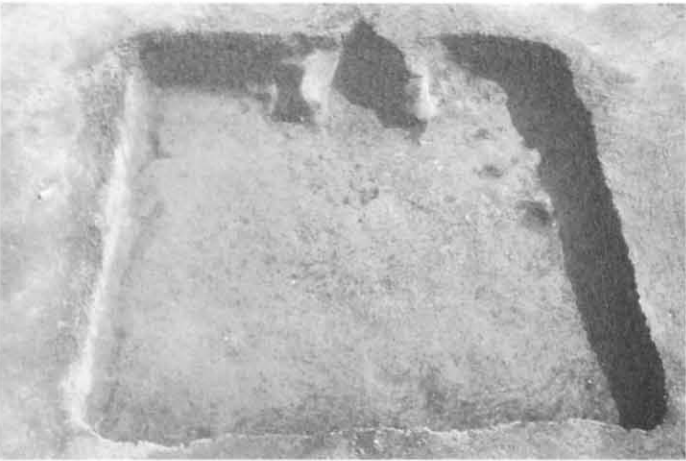
SI-69



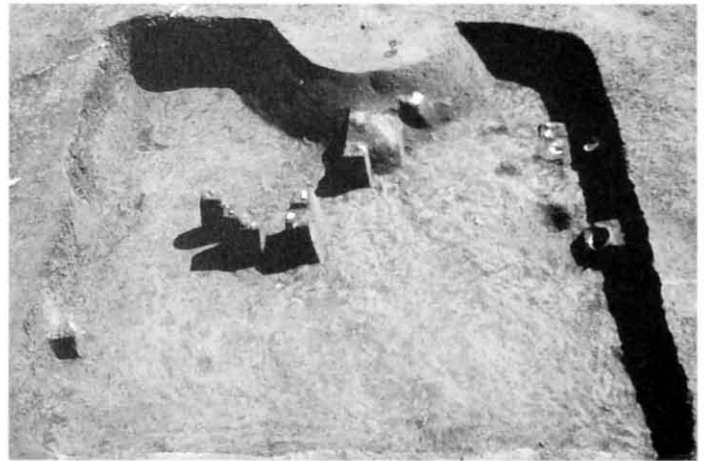
SI-70



SI-70遺物出土状況



SI-71



SI-71遺物出土状況



SI-71竈内遺物出土状況



SI-71遺物出土状況





SI-72遺物出土状況



SI-73A・73B



SI-73A・73B遺物出土状況



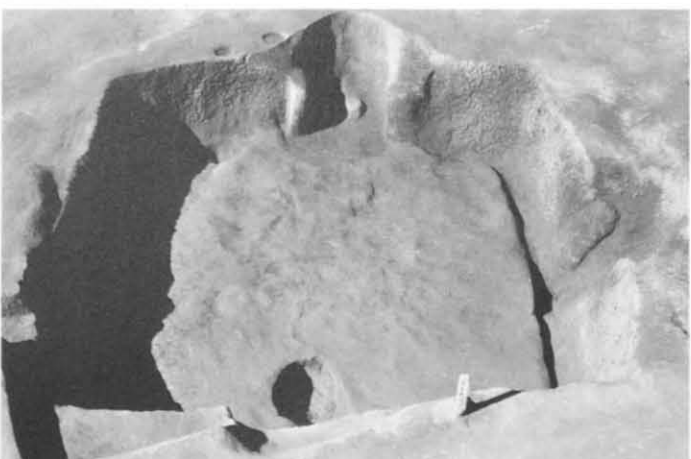
SI-74



SI-77



SI-77竈内遺物出土状況



SI-78



SI-78遺物出土状況





SI-78竈内遺物出土状況



SI-79A



SI-79B



SI-79B竈内遺物出土状況



SI-80A・80B



SI-80A・80B



SI-81



SI-81竈内遺物出土状況





SI-82



SI-82遺物出土状況



SI-83遺物出土状況



SI-83竈



SI-84A



SI-84A・84B遺物出土状況



SI-84A竈A



SI-84A竈B



SI-84A竈B断面





SI-85A



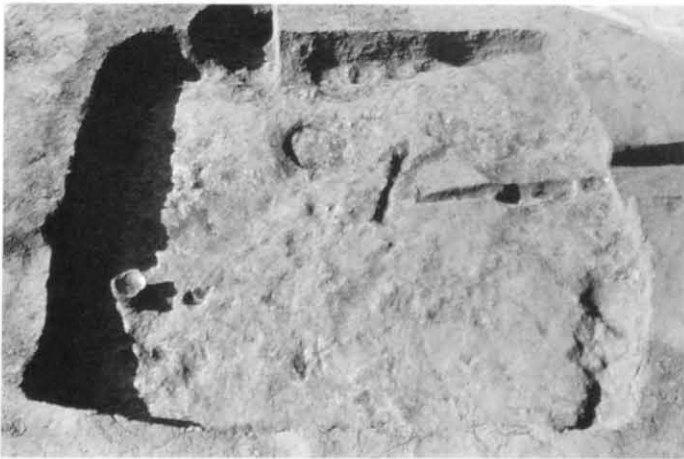
SI-85A



SI-86遺物出土状況



SI-87



SI-89遺物出土状況



SX-90



SX-90遺物出土状況

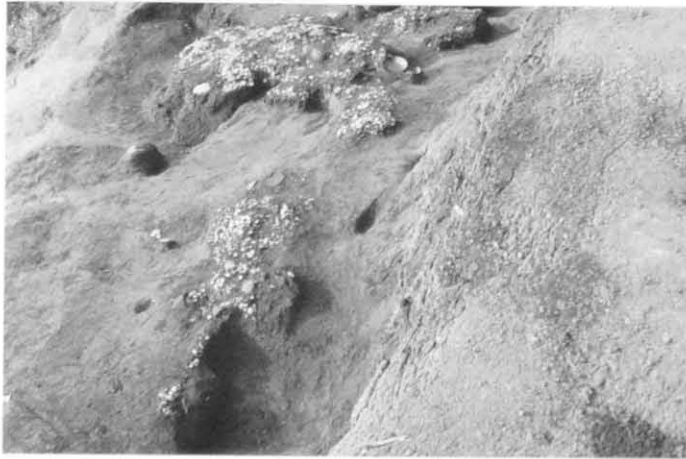




SX-90



SX-90遺物出土状況



SX-90遺物出土状況



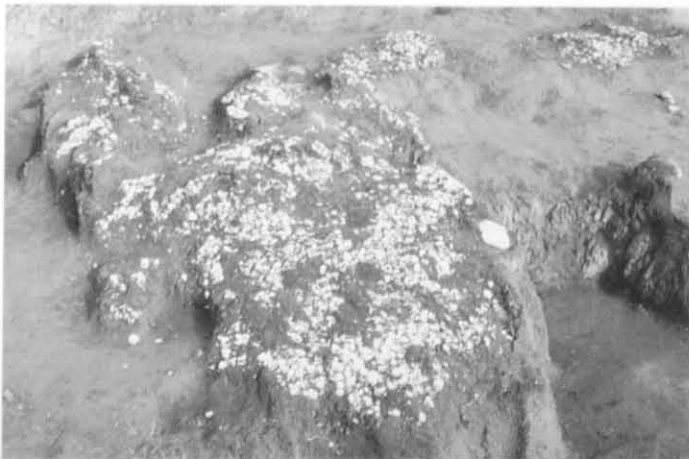
SX-90貝検出状況



SX-90遺物出土状況



SX-90遺物出土状況



SX-90貝検出状況



SX-90貝検出状況





SX-90貝層堆積狀況



SX-90貝層堆積狀況



SX-90貝層堆積狀況



SI-90B



SI-90B



SI-90B竈内遺物出土狀況



SI-90B • 90C



SI-91





SI-91遺物出土状況



SI-92A



SI-92A竈



SI-92A・92B



SK-22



SK-22遺物出土状況



SI-94A・94B・94Cセクション



SI-94Cセクション





SI-94A・94B



SI-94A・94B・94C



SI-94A・94B・94C



SI-94A竈



SI-95



SI-95竈支脚出土状況

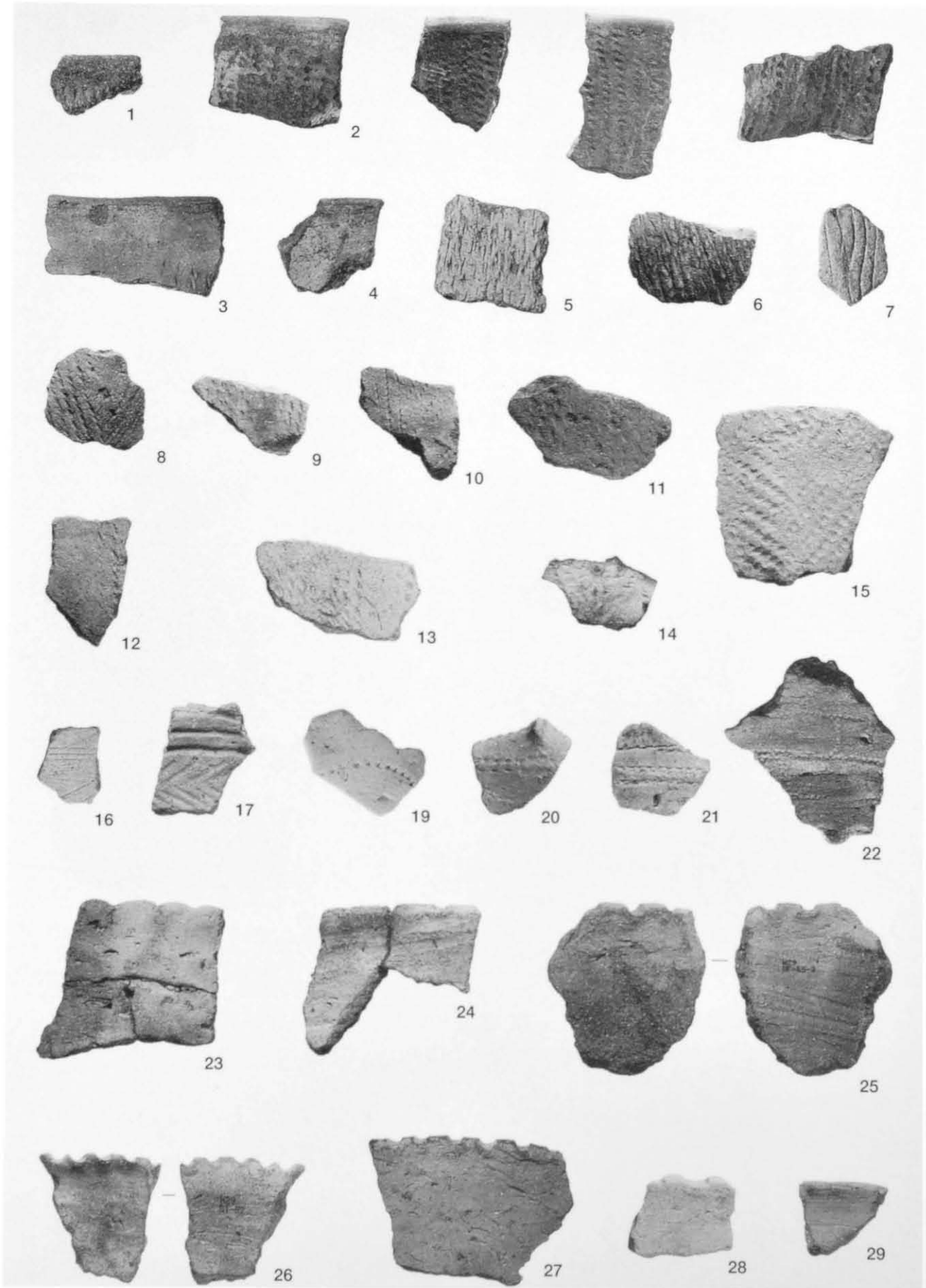


SI-96A・96B・96C

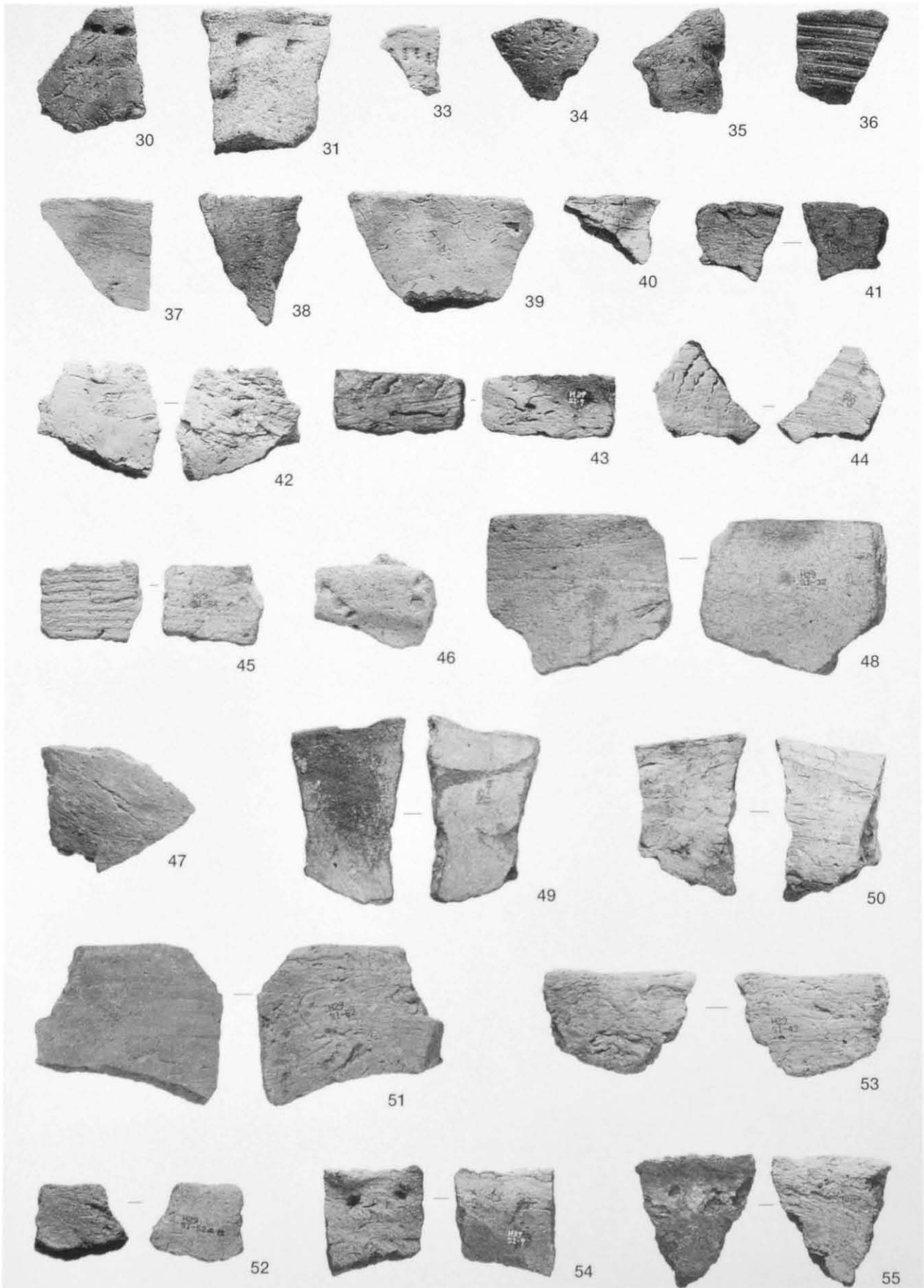


SI-96B床面



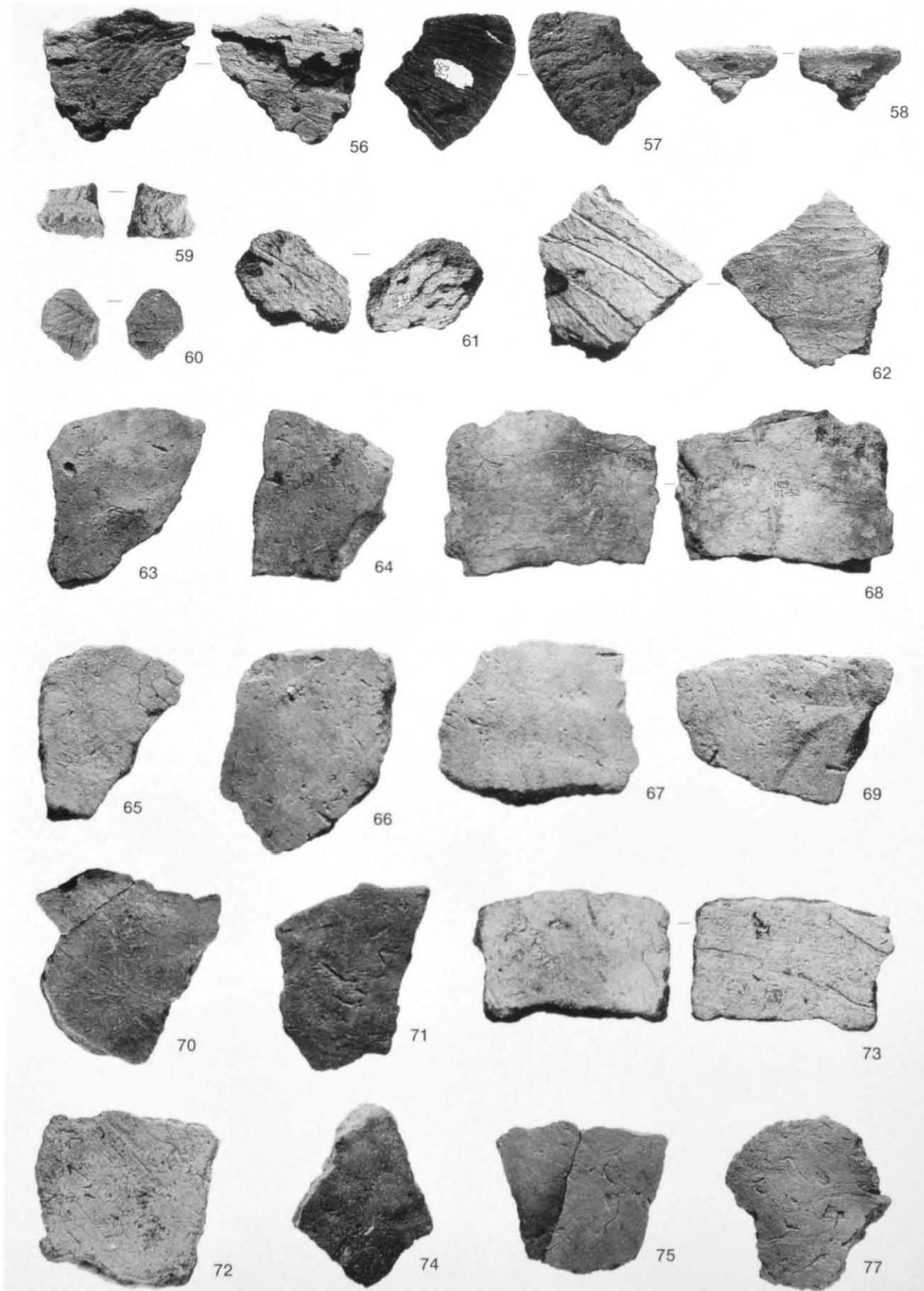


縄文土器 (1)

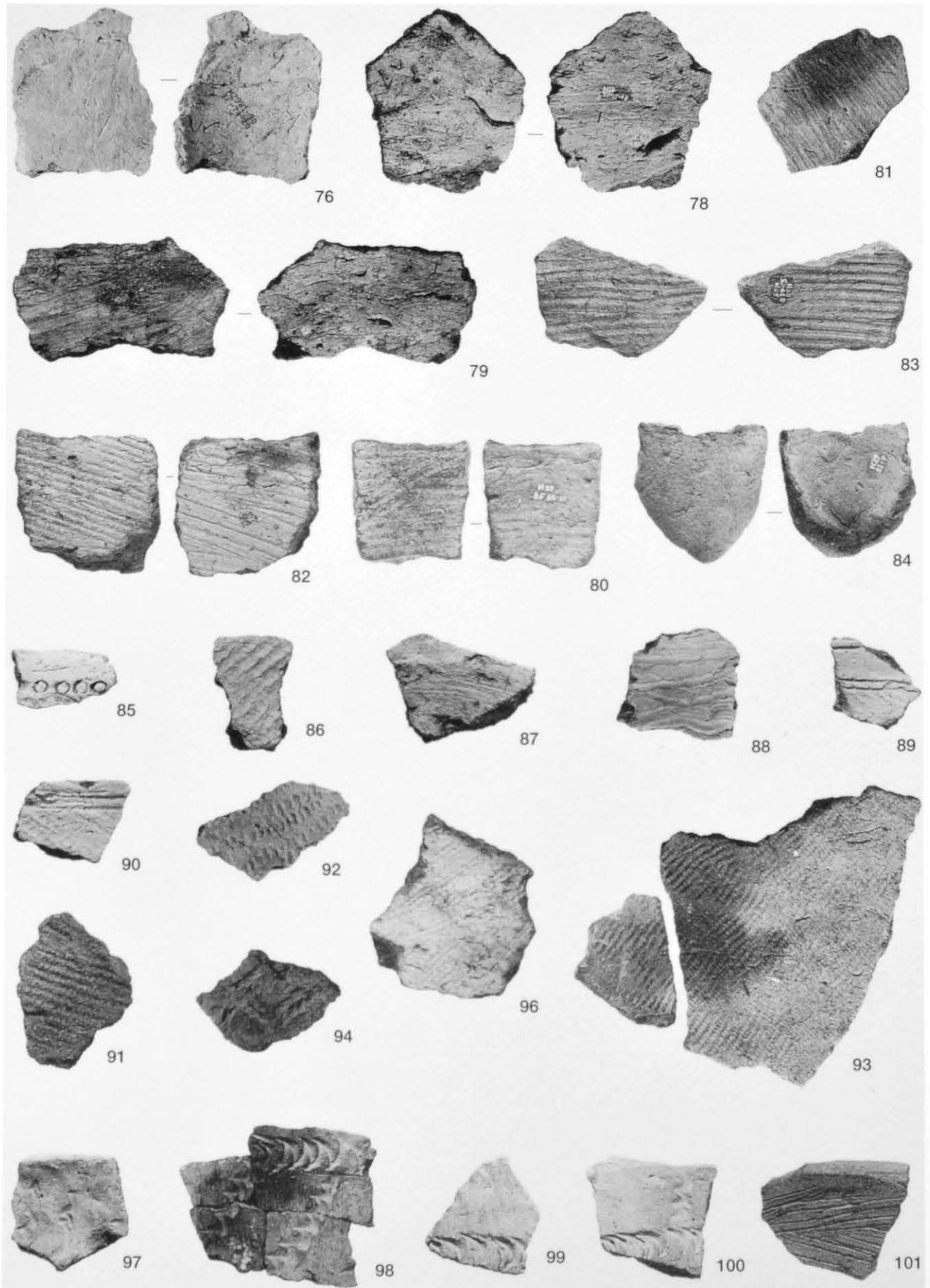


繩文土器 (2)



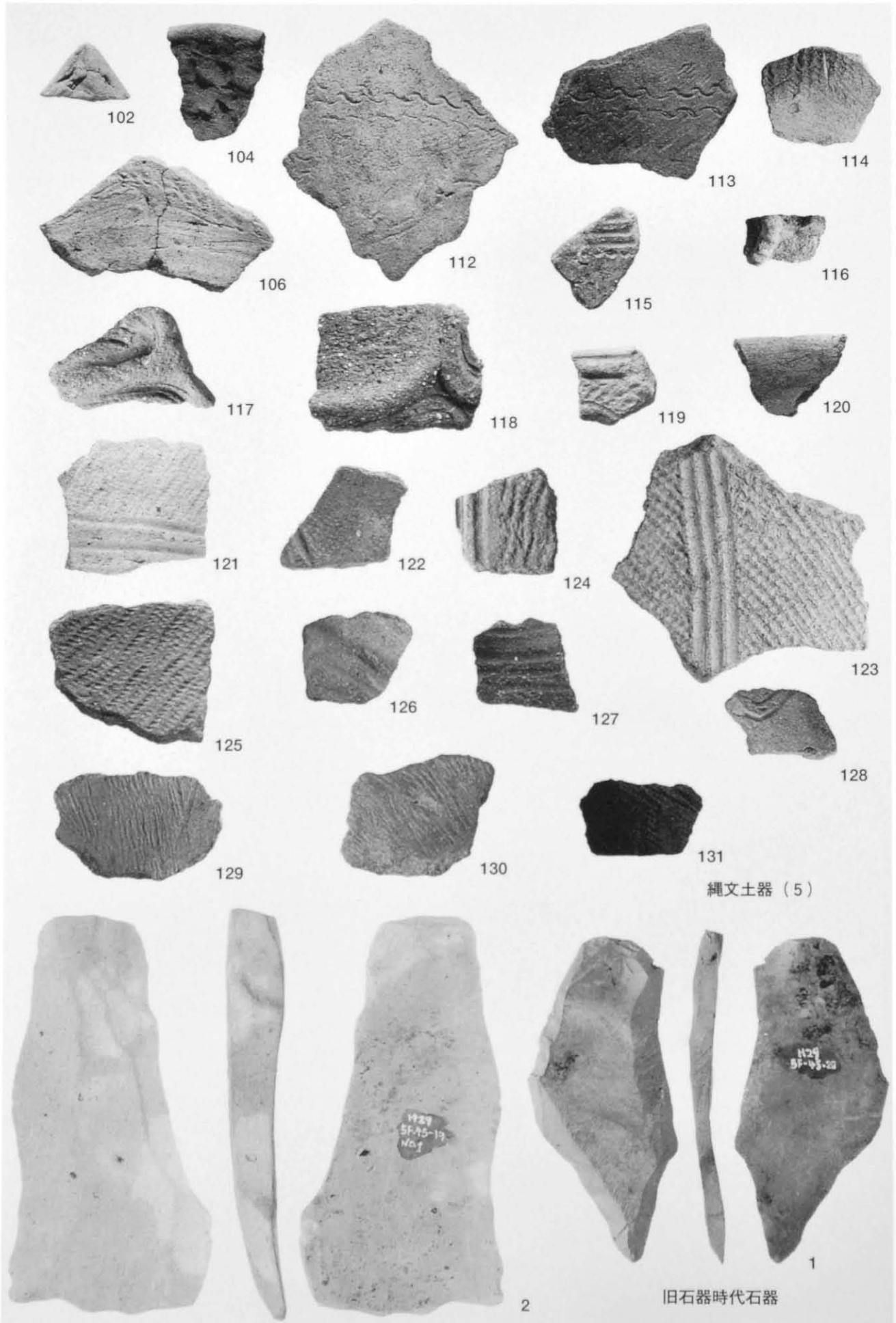


縄文土器 (3)



縄文土器 (4)





102

104

106

117

121

125

129

112

118

122

126

130

113

115

119

124

127

131

114

116

120

123

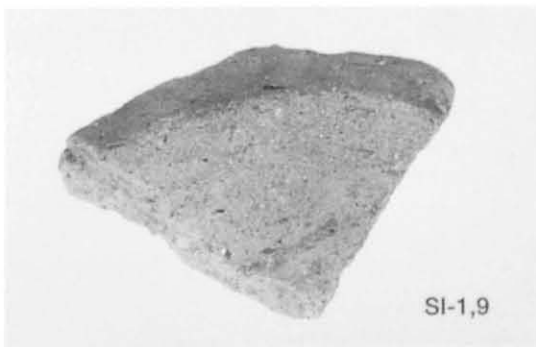
128

縄文土器 (5)

1

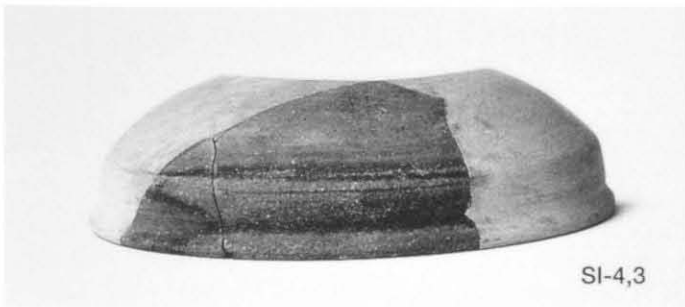
旧石器時代石器

2









SI-4,3



SI-4,6



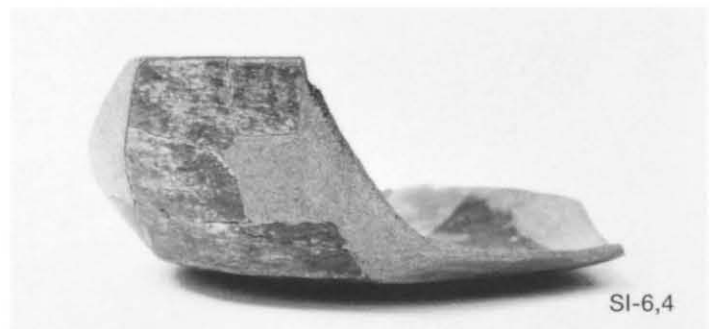
SI-4,4



SI-4,7



SI-6,2



SI-6,4



SI-7A,1

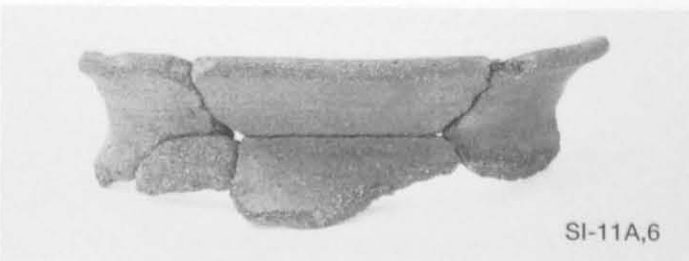


SI-7A,2



SI-7A,3







SI-11B,1



SI-13,3



SI-13,1



SI-13,4



SI-13,2



SI-13,5



SI-13,6



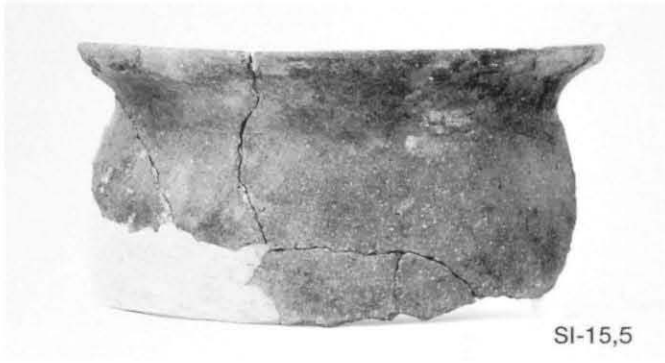
SI-13,7



SI-13,8







SI-15,5



SI-15,7



SI-15,6



SI-16,2



SI-16,4



SI-17,1



SI-17,2



SI-19,1



SI-19,5



SI-19,2



SI-19,6





SI-19,13



SI-19,16



SI-19,15



SI-20,2



SI-20,5



SI-20,4



SI-22A · 22B,1



SI-22A · 22B,2



SI-22A · 22B,3



2の底部



SI-22A · 22B,4



SI-22A · 22B,5



SI-23,1



SI-23,6



SI-23,2



SI-23,9



SI-23,7



SI-24,1



SI-24,2





SI-24,3



SI-24,5



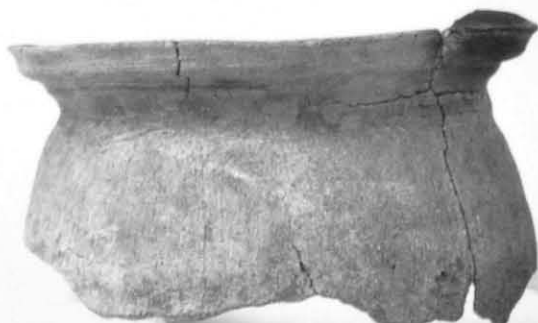
SI-24,4



SI-24,6



SI-25A,1



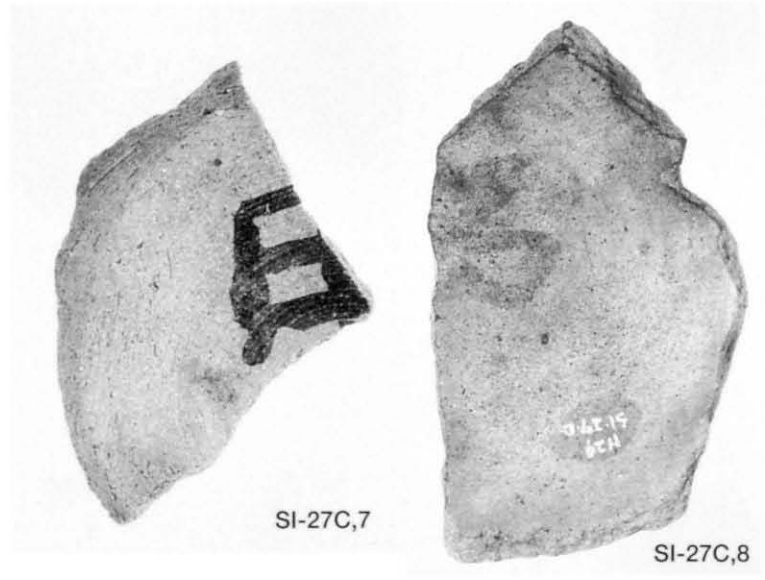
SI-25B,2



SI-25B,3









SI-28,13



SI-29A,2



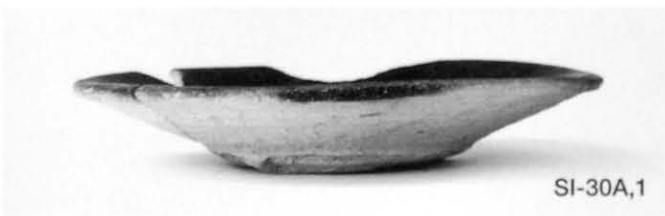
SI-29A,3



SI-28,16



SI-29B,1



SI-30A,1

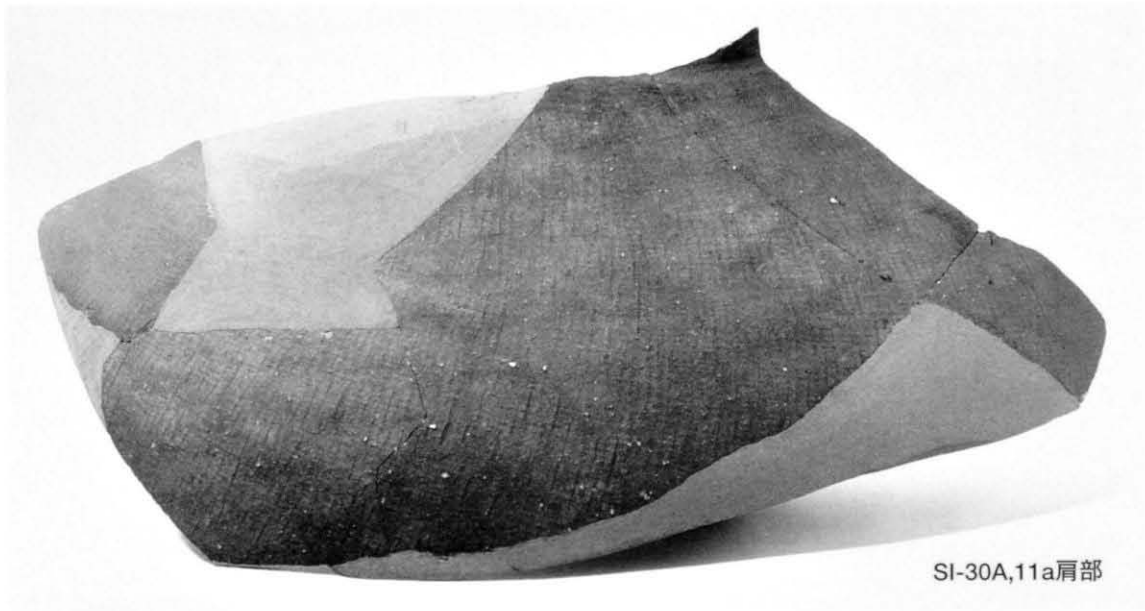


SI-30A,2



SI-30A,8





SI-30A,11a肩部



SI-30A,11b底部



底面



SI-30B,1



SI-30C,1



SI-30D,1



SI-31,1



SI-30D,2



SI-32,1



SI-32,6



SI-32,2



SI-32,4



SI-32,7





SI-33,P3



SI-33,1



SI-33,4



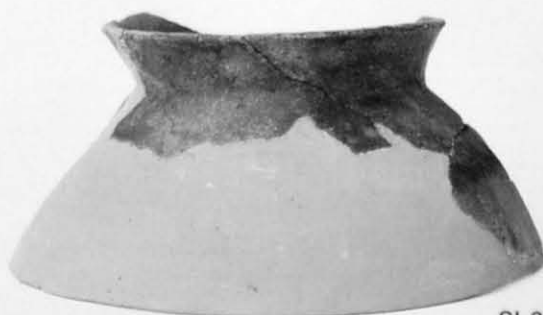
SI-33,2



SI-33,5



SI-33,3



SI-33,6



SI-35,1



SI-35,2



SI-35,4



SI-35,3



SI-40,1



SI-44,1



SI-42,2



SI-44,2



SI-42,3



SI-44,3





SI-46A · 46B,1



SI-46A · 46B,2



SI-46A · 46B,3



SI-46A · 46B,4



SI-46A · 46B,8



SI-47,1



SI-47,1の内面墨書「田」



SI-46A · 46B,10



SI-46A · 46B,13



SI-47,3



SI-47,4



SI-47,13



SI-47,15



SI-47,14



SI-48,5



SI-48,1



SI-48,6



SI-48,2



SI-48,8



SI-48,3



SI-48,9



SI-48,4



SI-49,1



SI-49,4



SI-49,2



SI-49,5



SI-49,3



SI-49,6





SI-49,7



SI-49,9



SI-49,8



SI-49,11



SI-49,10



SI-49,12



SI-50,1



SI-50,3



SI-50,2



SI-51,1



SI-52,2



SI-53A,1



SI-55,1



SI-57,1



SI-57,2



SI-57,3



SI-55,2



SI-58A · 58B,1



SI-55,3



SI-58A · 58B,2

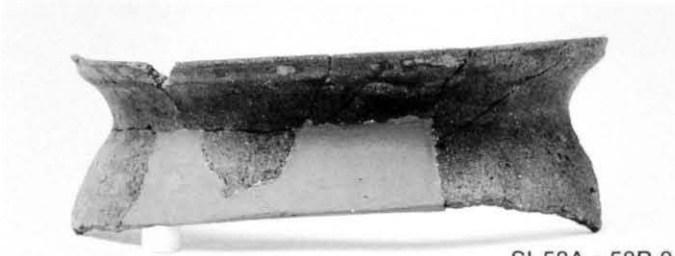


SI-55,4



SI-58A · 58B,7





SI-58A · 58B,8



SI-58A · 58B,12



SI-58A · 58B,11



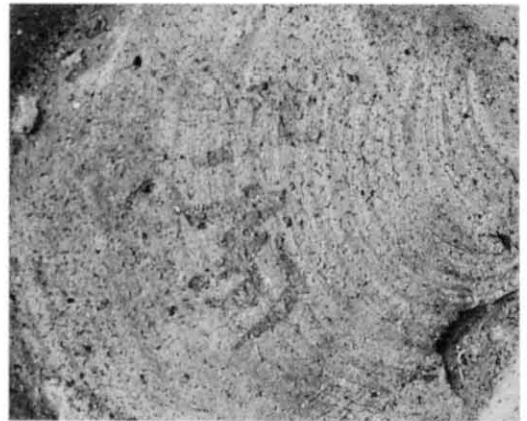
SI-58A · 58B,14



SI-58A · 58B,13



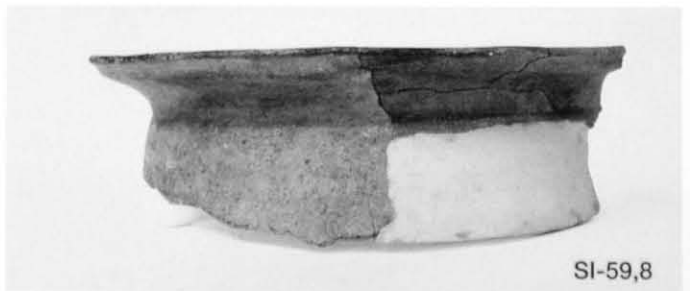
SI-59,1



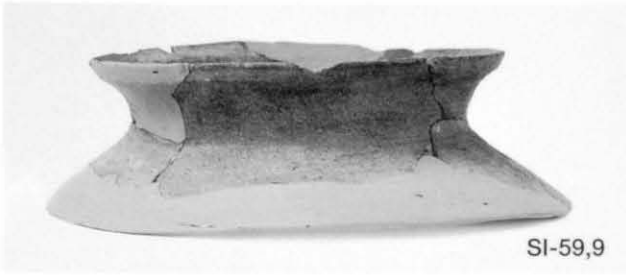
SI-59,4



SI-59,7



SI-59,8



SI-59,9



SI-59,10



SI-60,1



SI-60,6



SI-60,2



SI-60,7



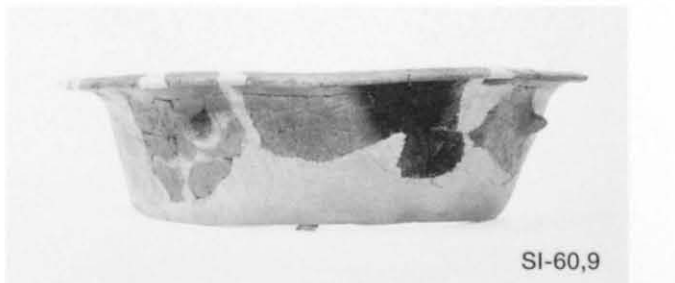
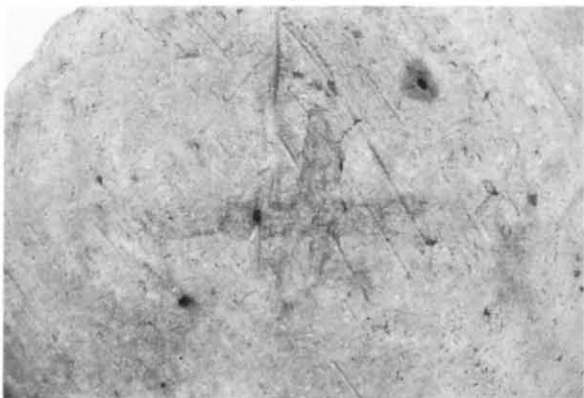
SI-60,3



SI-60,4



SI-60,8



SI-60,9



SI-60,5

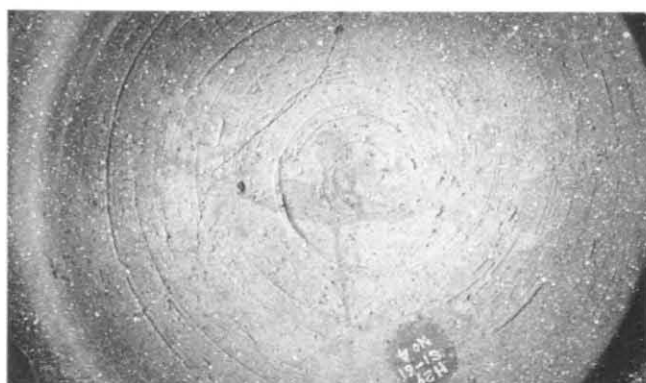


SI-61,4





SI-61,6



SI-61,8



SI-64,1



SI-64,2



SI-64,5



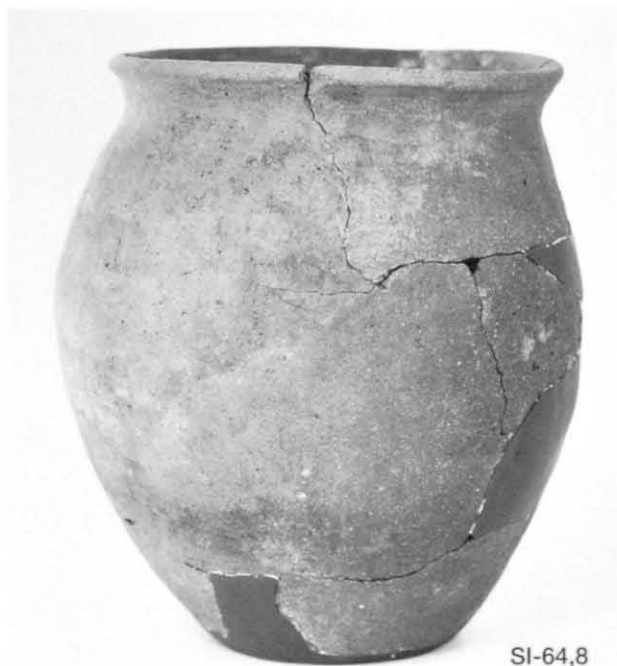
SI-64,4



SI-64,6



SI-64,7



SI-64,8



SI-64,9



SI-64,10



SI-67,1



SI-66,1



SI-68,1



SI-71,1



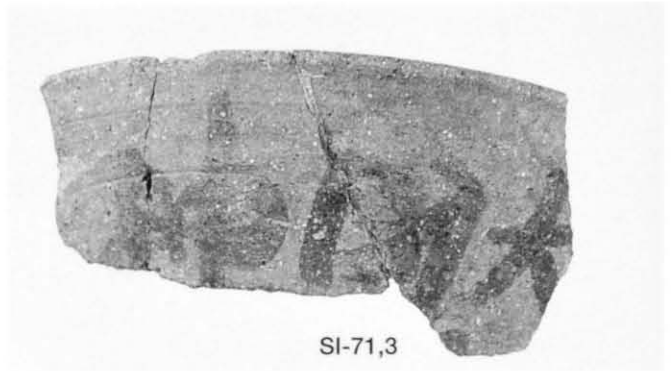
SI-70,1







SI-71,2



SI-71,3



SI-71,4



SI-71,5



SI-72,1



SI-72,3



SI-72,2



SI-72,4



SI-73A,2



SI-73A,4



SI-73A,3



SI-73A,5



SI-73A,6



SI-73A,9



SI-74,1



SI-73A,11



SI-76,1



SI-76,2



SI-77,5



SI-77,1



SI-78,1



SI-77,2

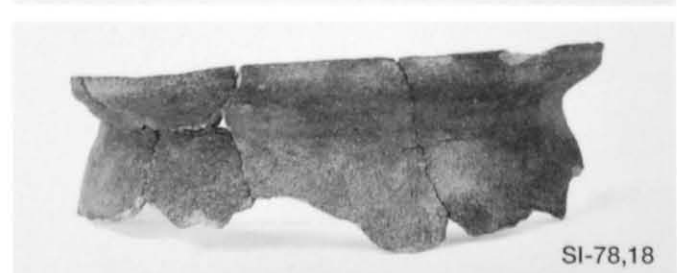


SI-78,2



SI-77,3







SI-78,21



SI-78,22



SI-79A,1



SI-78,24



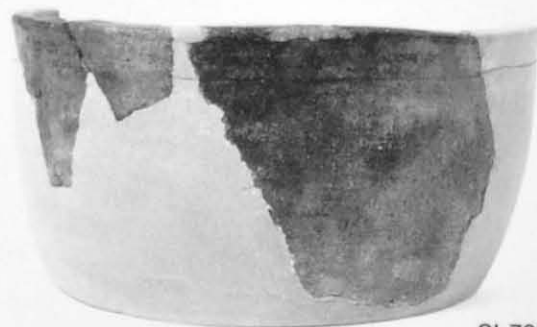
SI-79A,2



SI-79B,6



SI-79B,2



SI-79B,7



SI-79B,3



SI-79B,4



SI-79B,9







SI-82,1



SI-82,2



SI-82,3



SI-84A,13



SI-84A,14



SI-84B,1



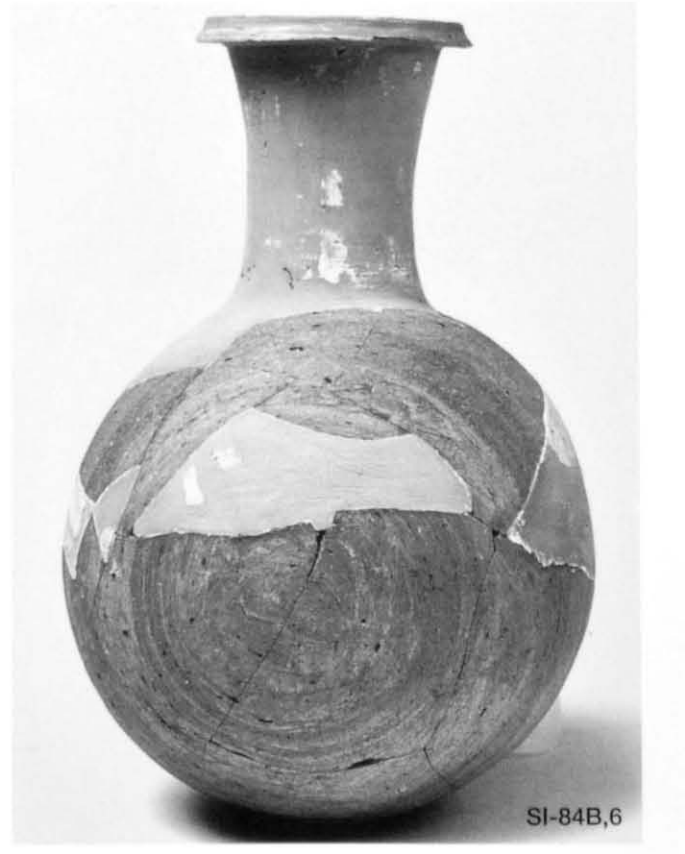
SI-82,4



SI-82,5



SI-84B,3



SI-84B,6





SI-84C,2



SI-84C,4



SI-84C,5



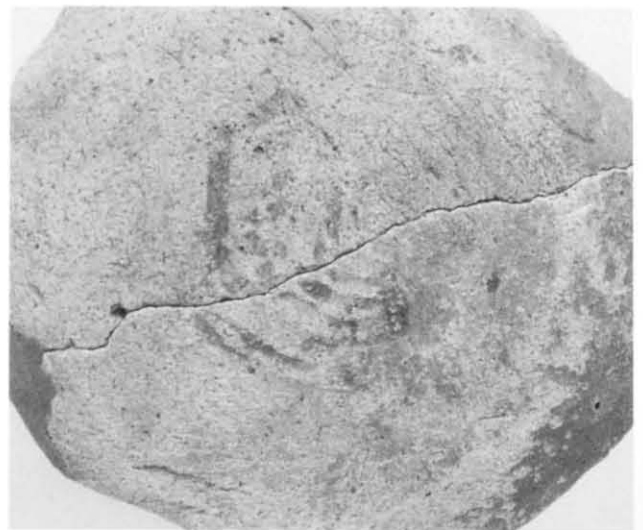
SI-84D,2



SI-84D,1



SI-84D,4



SI-85A · 85C,3



SI-85A · 85C,1



SI-85A · 85C,5



SI-85A · 85C,2



SI-86,1



SI-86,3



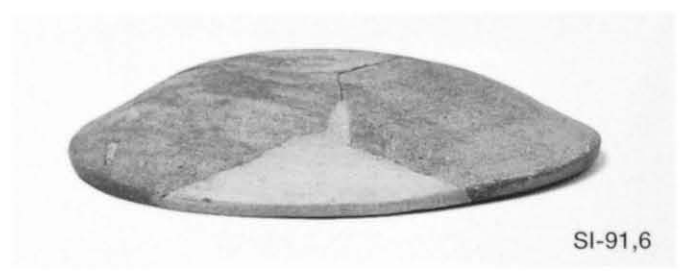
SI-86,2



SI-86,4



SI-91,1



SI-91,6



SI-91,2



SI-91,7



SI-91,3



SI-92A,3



SI-92A,1



SI-92A,4



SI-92A,2



SI-92A,5





SI-92A,10



SI-92A,11



SK-22,1



SK-22,5



SK-22,2



SK-22,7



SK-22,3



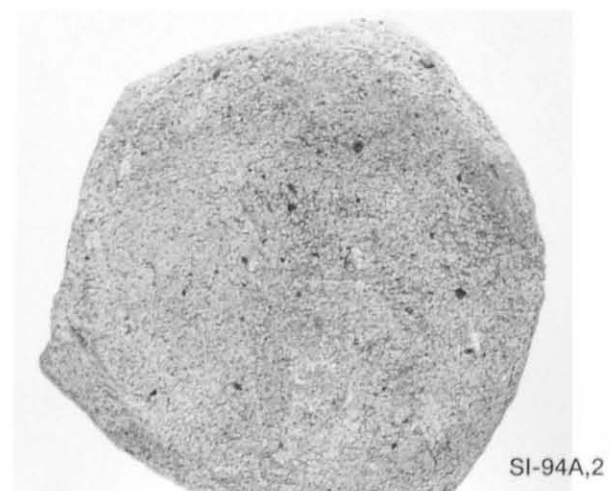
SK-22,24



SK-22,4



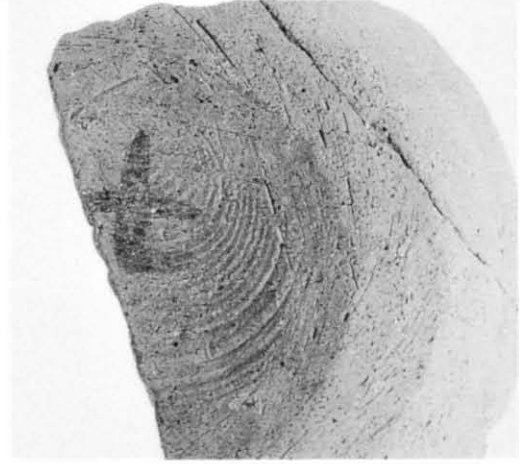
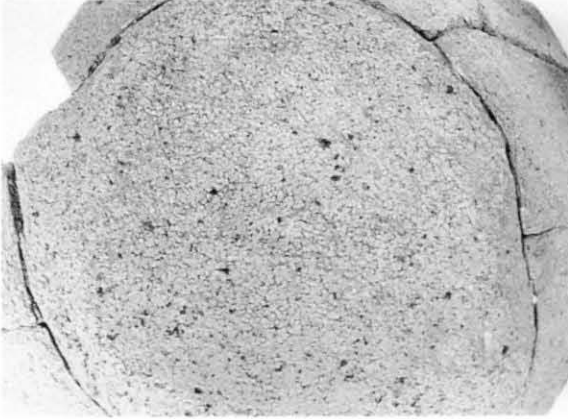
SI-94A,1



SI-94A,2



SI-94A,7







SI-94確認面,7



SI-94確認面,8



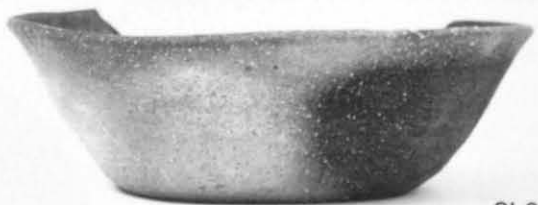
SI-94確認面,9



SI-94確認面,18



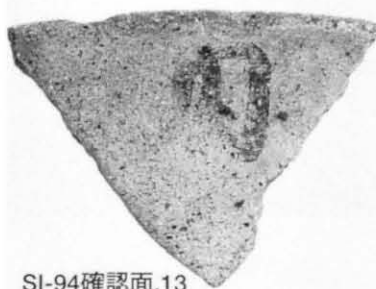
SI-95,1



SI-95,2



SI-95,3



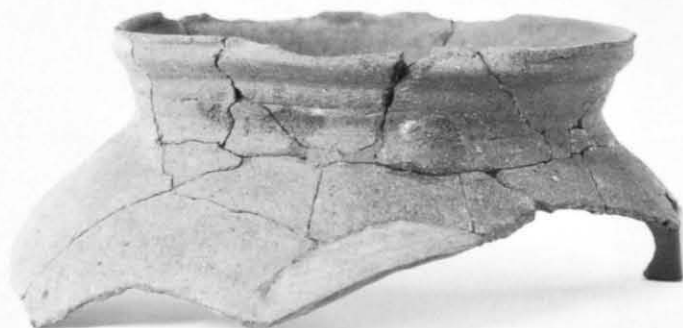
SI-94確認面,13



SI-94確認面,14



SI-94確認面,15



SI-94確認面,21



SI-95,4



SI-95,8



SI-95,9



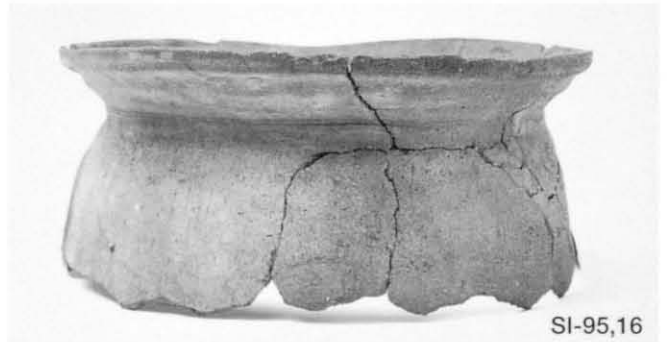
SI-95,10



SI-95,13



SI-95,11



SI-95,16



SI-95,12



SI-95,19



SI-96,1



SI-96,5



SI-96,2



SI-96,3



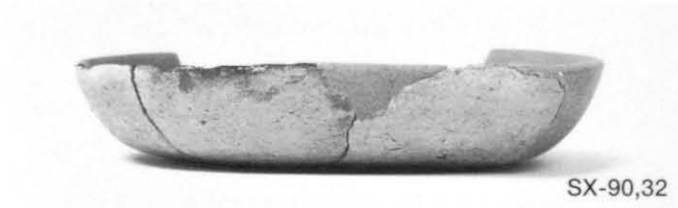
SI-96,6







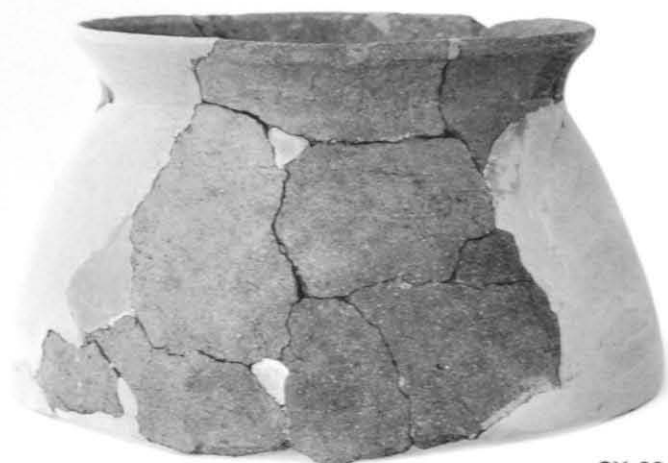












SX-90,68



SX-90,70



SX-90,73



SX-90,75



SX-90,78



SX-90,80





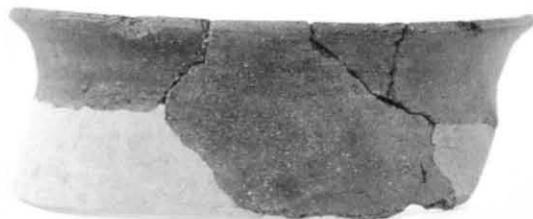
SX-90,82



SX-90,91



SX-90,84



SX-90,99



SX-90,85



SX-90,108



SX-90,88



SX-90,110



SX-90,115



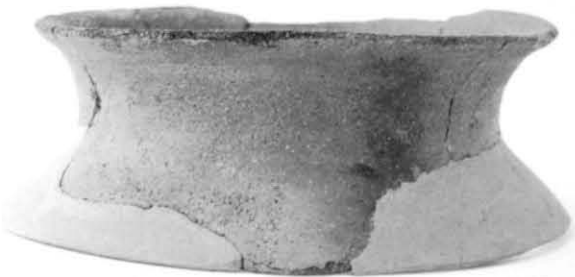
SX-90,117



SX-90,120



SX-90,118



SX-90,124



SX-90,123

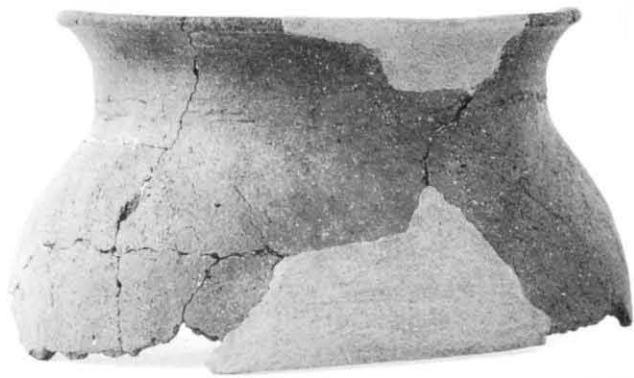


SX-90,127



SX-90,129





SX-90,131



SX-90,136



SX-90,132



SX-90,137



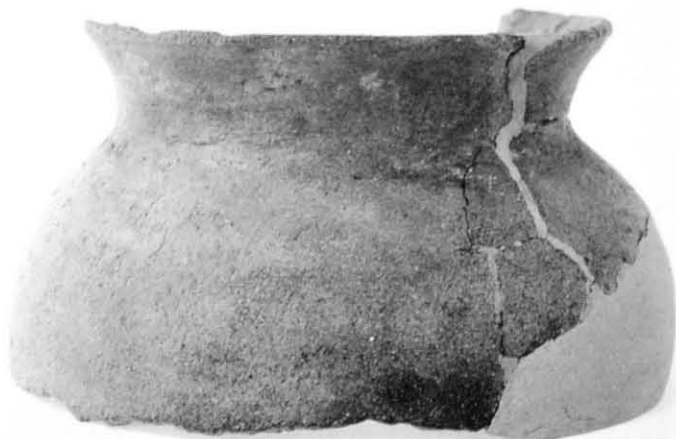
SX-90,134



SX-90,141



SX-90,146



SX-90,135



SX-90,147



SI-12,6



SI-16,5



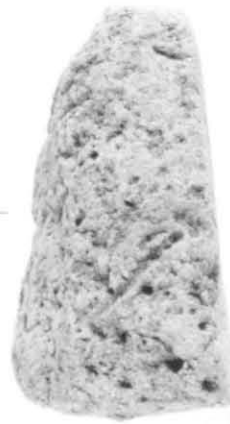
SI-16,6



SI-19,17



SI-25B,5



SI-27C,9



SI-28,18



SI-78,28



SI-62,1



SI-82,7



SI-84A,16



SI-57,11



SI-80A,11



SI-92A,8

支脚





SI-95,25



SX-90,158



SX-90,159



SX-90,160



SI-2,5



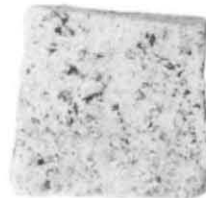
SI-9,2



SI-10,10



SI-11A,8



SI-13,12



SI-17,7



SI-23,12



SI-30A · B · C,9



SI-30D,3



SI-56,3



SI-59,12



SI-32,10



SI-47,17



SI-48,11



SI-59,14



SI-60,10



SI-64,15



SI-79A,4



SI-79A,5



SI-91,8



SI-84D,5



SI-2,6



SI-4,8



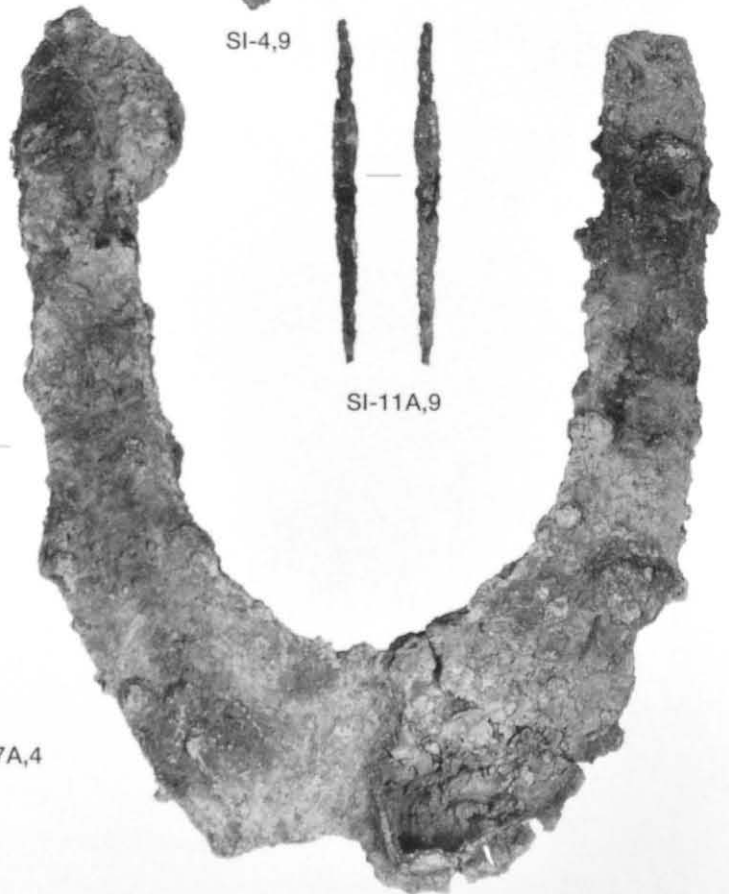
SI-4,9



SI-4,10



SI-7A,4



SI-11A,9



SI-11B,5



SI-16,8



SI-16,7



SI-23,10



SI-23,11



SI-19,18



SI-26,11





SI-26,12



SI-27A,12



SI-27A,13



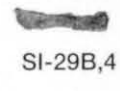
SI-27A,14



SI-29A,5



SI-29A,6



SI-29B,4



SI-33,7



SI-30A,10



SI-43,2



SI-43,3



SI-49,14



SI-44,12



SI-49,15



SI-50,4



SI-59,15



SI-61,9



SI-53A,4



SI-57,12



SI-64,13



SI-62,2



SI-64,11



SI-64,12



SI-64,14



SI-76,3



SI-71,7



SI-78,25



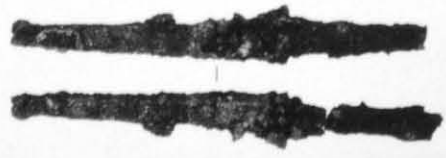
SI-78,26



SI-78,27



SI-79A,8



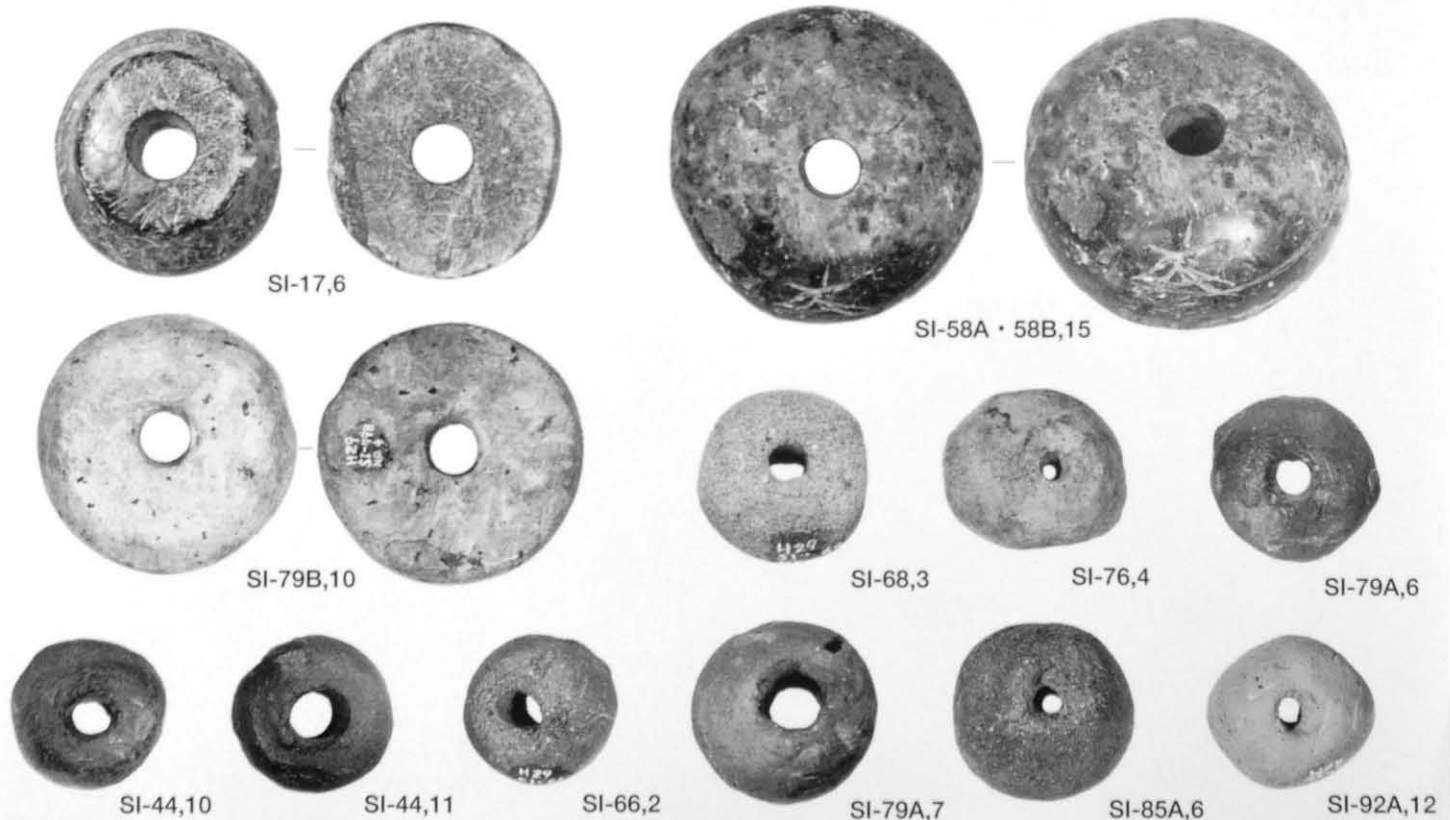
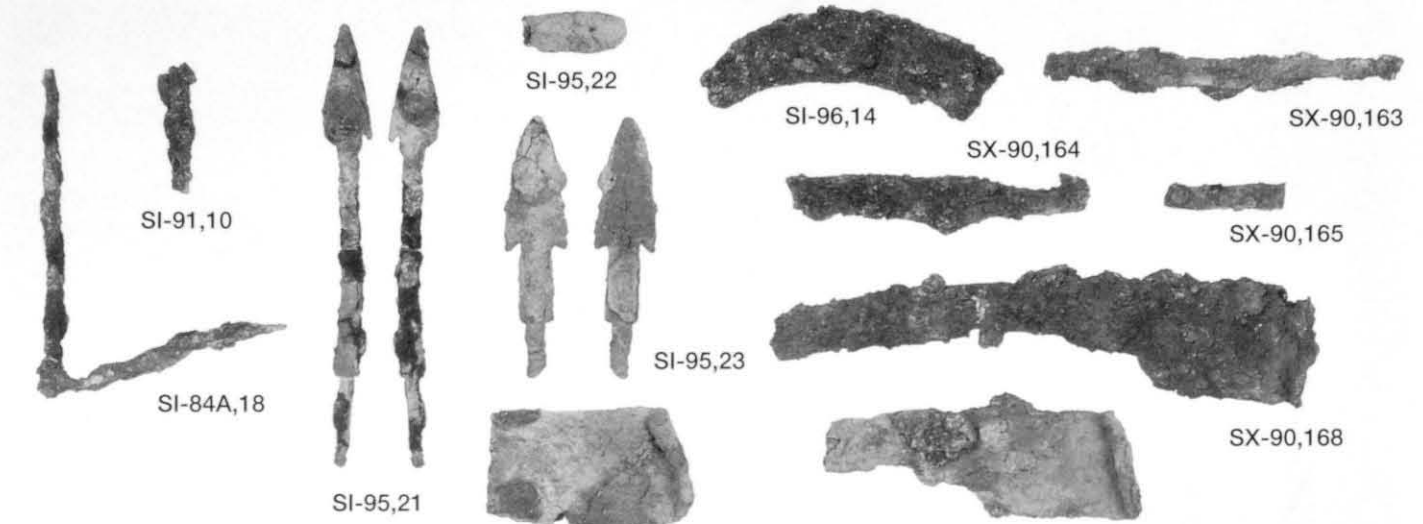
SI-80A,13



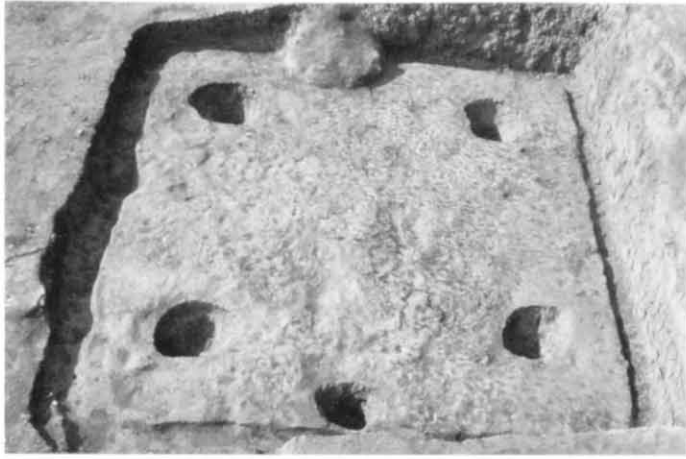
SI-84A,19



SI-84A,20







SI-101



SI-101竈



SI-101遺物出土状況



SI-101遺物出土状況



SI-102遺物出土状況



SI-102遺物出土状況



SI-102遺物出土状況



SI-102・SB-19





SB-19



SI-104・106



SI-109遺物出土状況



SI-110



SI-110炉



SI-111遺物出土状況



SI-112遺物出土状況





SI-112遺物出土状況



SI-113遺物出土状況



SI-114



SI-114P4遺物出土状況



SI-115遺物出土状況



SI-115竈



SI-115・116遺物出土状況

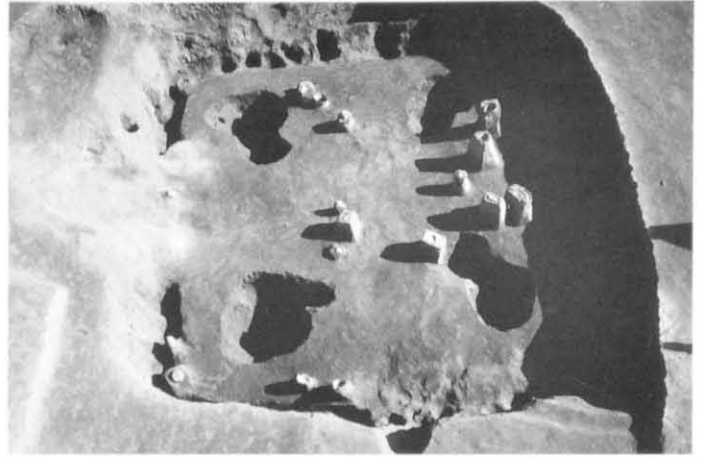


SI-116遺物出土状況





SI-116竈内遺物出土状況



SI-117遺物出土状況



SI-117遺物出土状況



SI-117竈



SI-118遺物出土状況



SI-118竈



SI-119遺物出土状況



SI-119竈





SI-120



SI-120遺物出土状況



SI-120遺物出土状況



SI-120遺物出土状況



SI-121遺物出土状況



SI-121竈



SI-122・117・118



SI-122炉

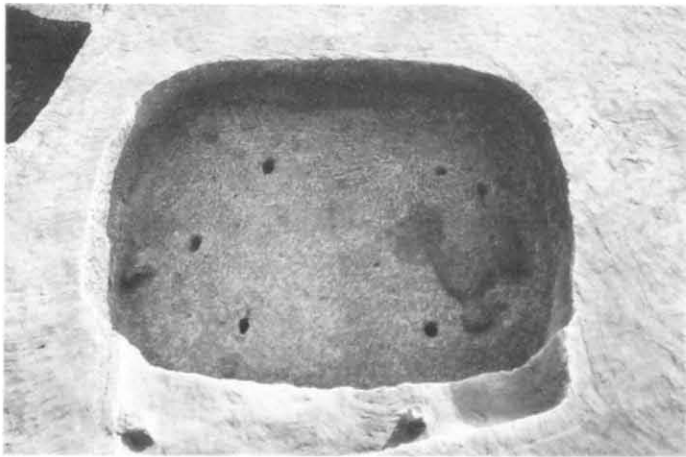




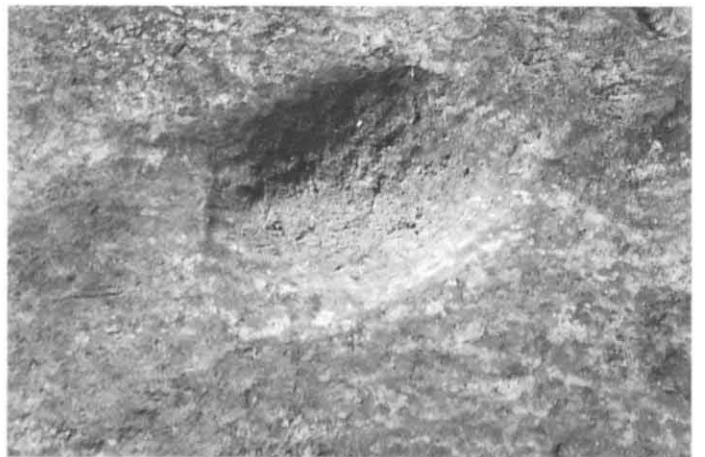
SI-123遺物出土状況



SI-123遺物出土状況



SI-124遺物出土状況



SI-124炉



SI-125遺物出土状況



SI-125竈



SI-126



SI-126遺物出土状況

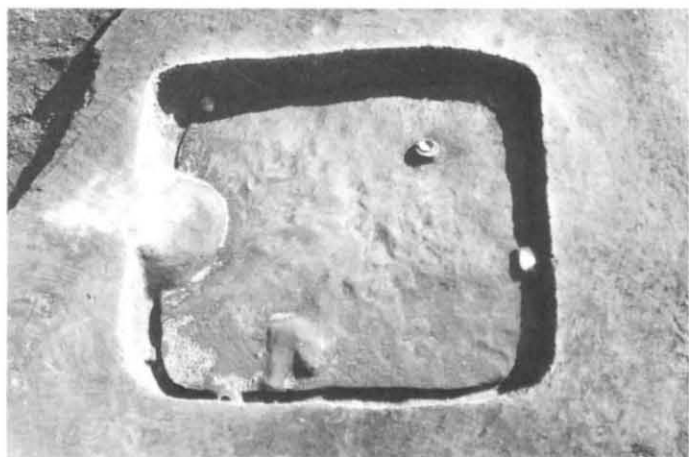




SI-126遺物出土状況



SI-126垂飾出土状況



SI-127遺物出土状況



SI-127竈



SI-128



SI-128遺物出土状況

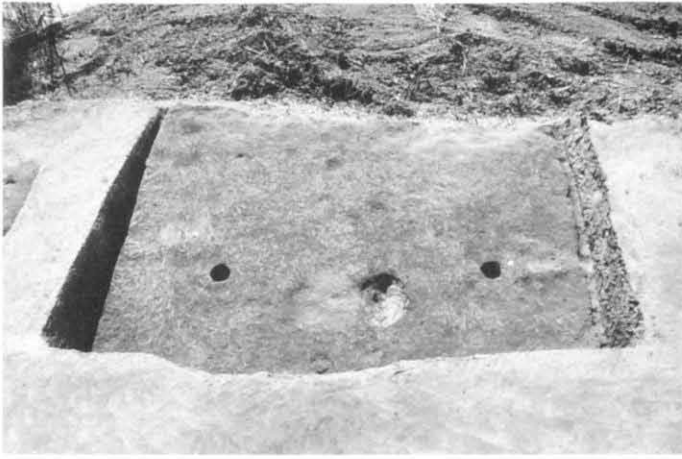


SI-129遺物出土状況



SI-129遺物出土状況

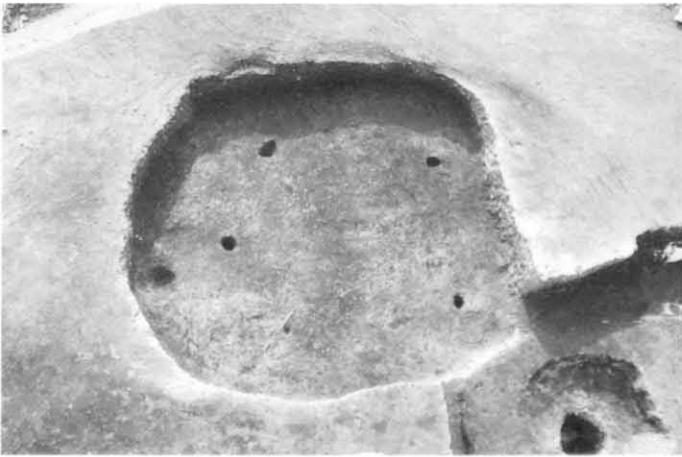




SI-130



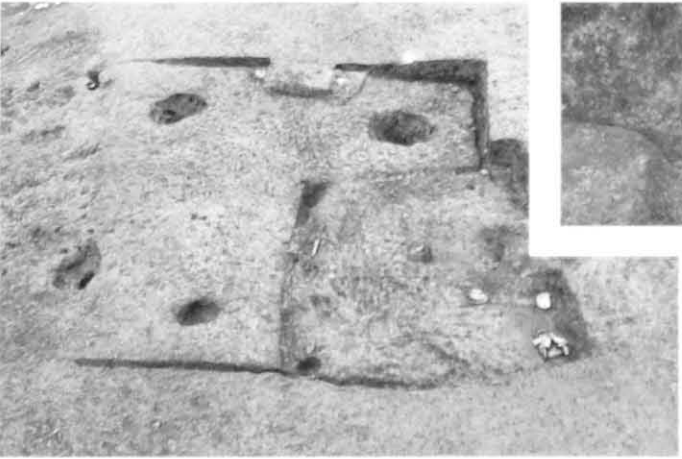
SI-130遺物出土状況



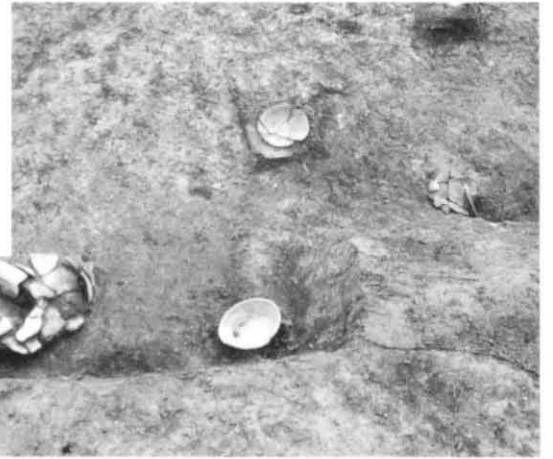
SI-131



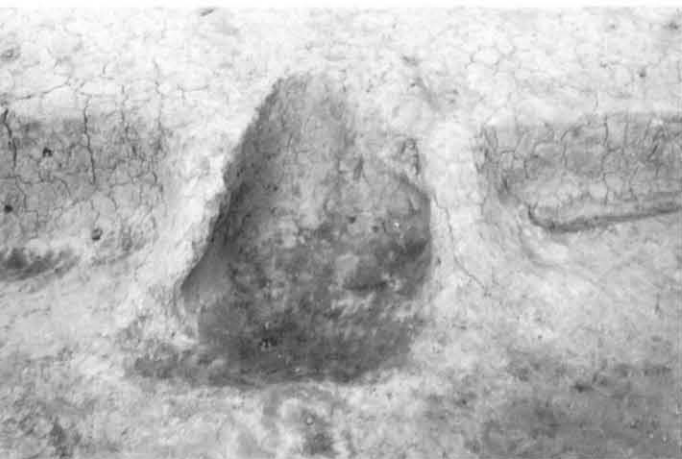
SI-131遺物出土状況



SI-132・133遺物出土状況



SI-132遺物出土状況

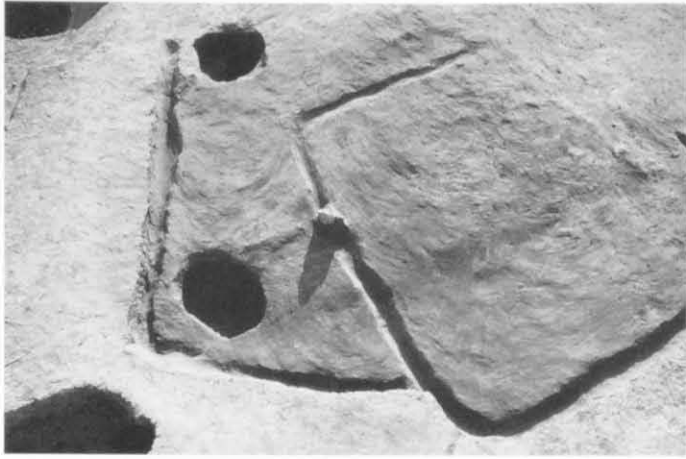


SI-132竈



SI-133竈





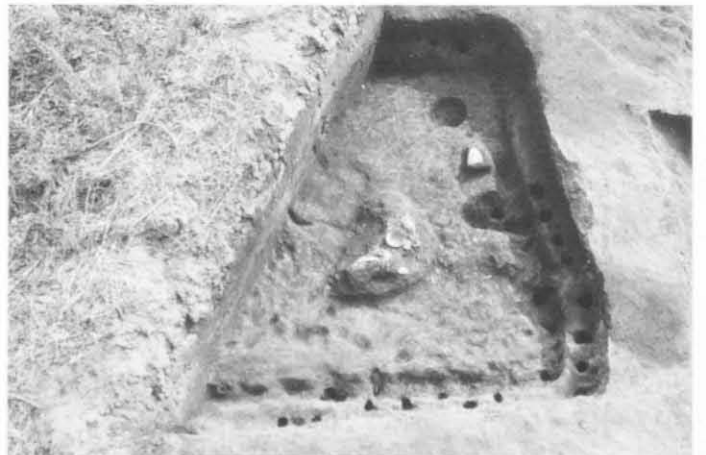
SI-134・135遺物出土状況



SI-135遺物出土状況



SI-136



SI-146遺物出土状況



SI-147遺物出土状況



SI-148



SI-149遺物出土状況

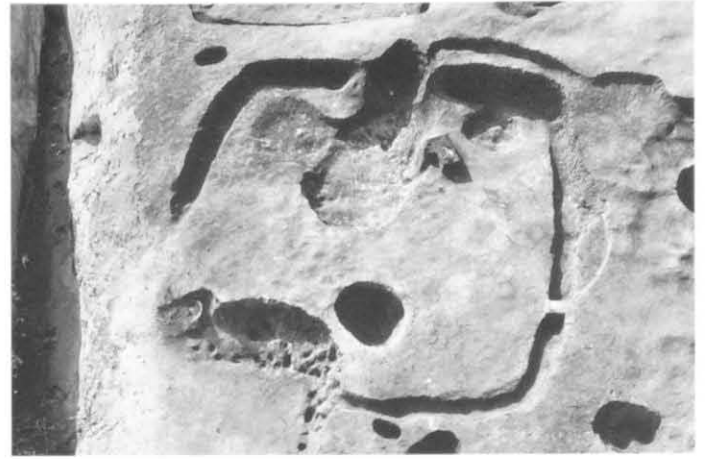


SI-150

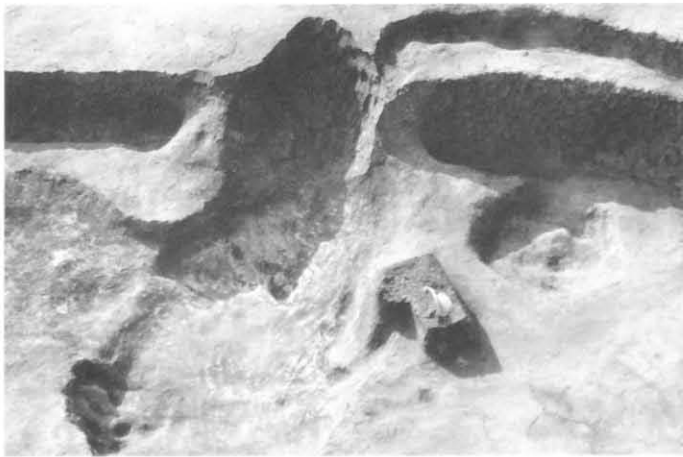




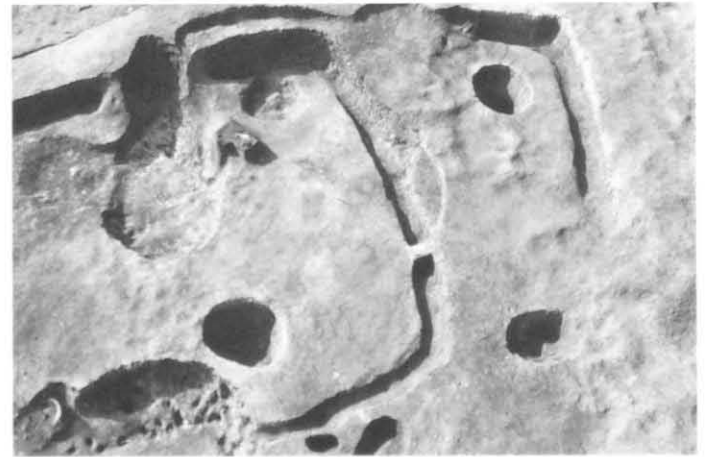
SI-151遺物出土状況



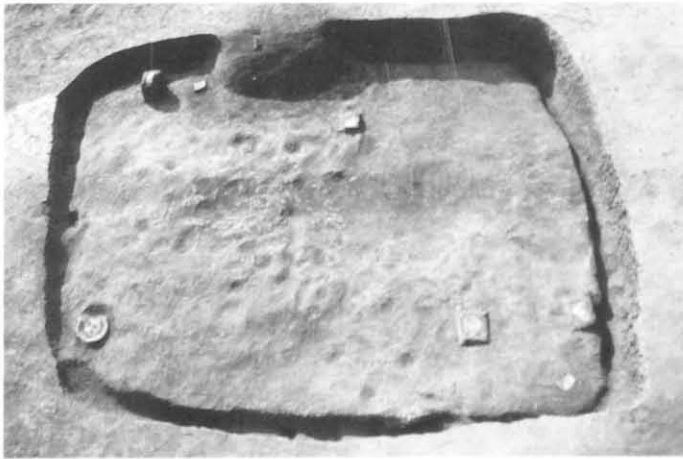
SI-152遺物出土状況



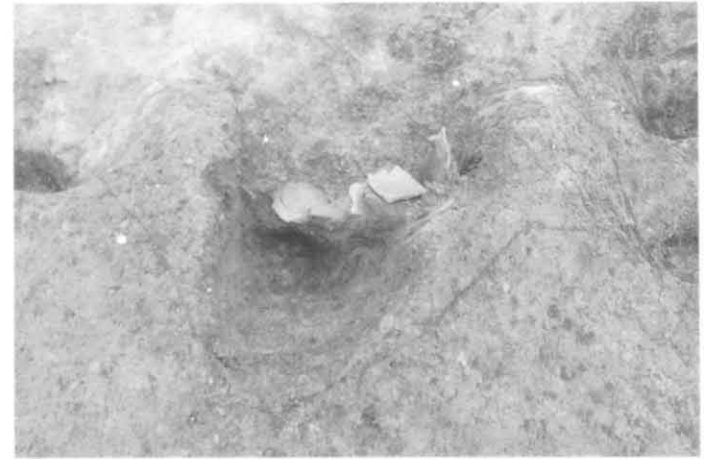
SI-152遺物出土状況



SI-153



SI-154遺物出土状況



SI-154竈内遺物出土状況

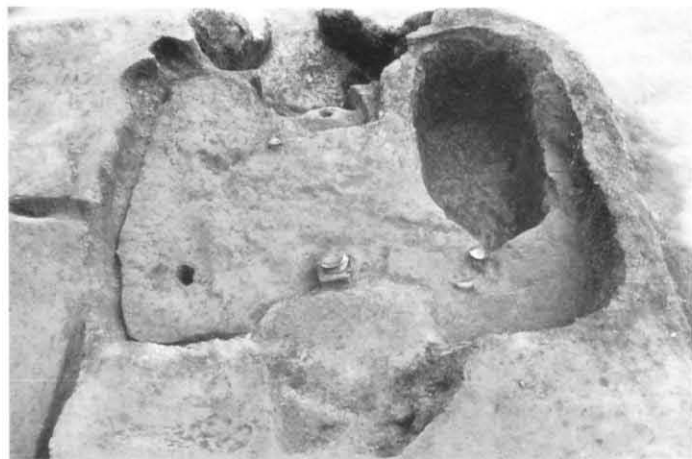


SI-155遺物出土状況



SI-155竈内遺物出土状況





SI-157遺物出土状況



SI-157竈



SI-158



SI-158竈



SI-159遺物出土状況



SI-159



SI-161



SI-162遺物出土状況





SI-163遺物出土状況



SI-163遺物出土状況



SB-18A



SB-18A・18B



SB-18A・18B遺物出土状況



SB-20



SB-21



SD-20





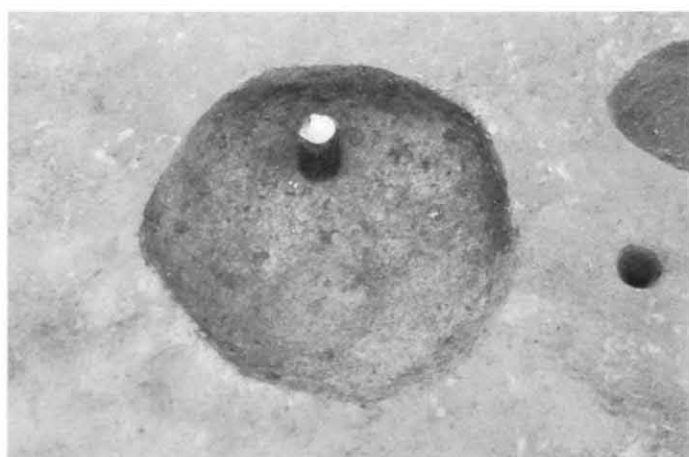
2号土坑墓



3号土坑墓



2号土坑



3号土坑遗物出土状况



4号土坑



4号土坑遗物出土状况



3号炭窠



3号炭窠



3号炭窯



3号炭窯セクション



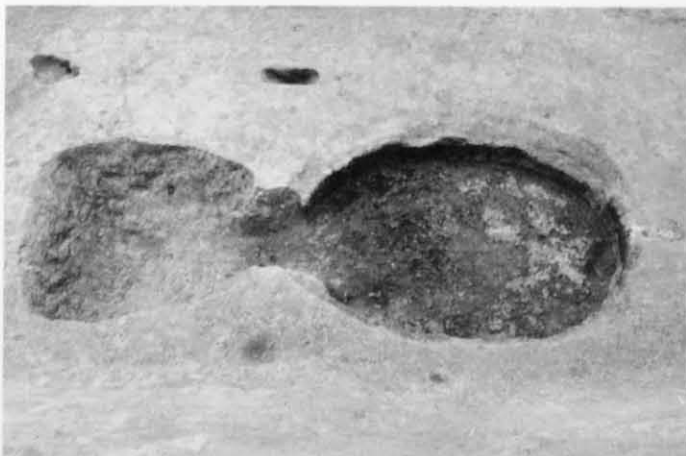
4号炭窯



4号炭窯完掘



5号炭窯遺物出土状況



5号炭窯



5号炭窯





5号炭窯



5号炭窯



5号炭窯



5F85-17 (中世硬化面)



5F85-17 (中世硬化面)



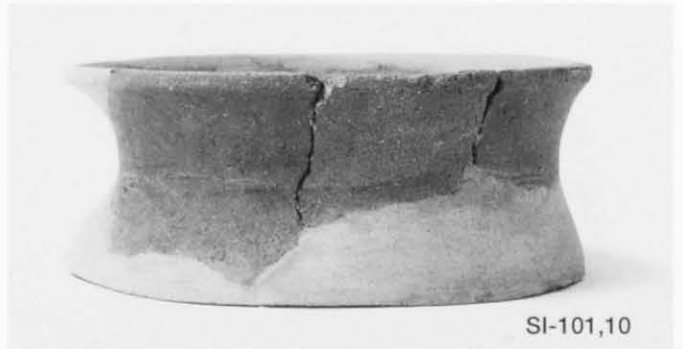
5F85-17 (中世硬化面)



5F85-17 (中世硬化面)



5F85-17 (中世硬化面)









SI-110,3



SI-111,1



SI-110,5



SI-111,2



SI-112,1



SI-112,9



SI-112,2



SI-112,10



SI-112,3



SI-112,4













SI-115,5



SI-115,7



SI-115,6



SI-116,1



SI-116,4



SI-116,3



SI-117,1



SI-117,4



SI-117,2



SI-117,5



SI-117,3



SI-117,6







SI-117,19



SI-120,3



SI-117,21



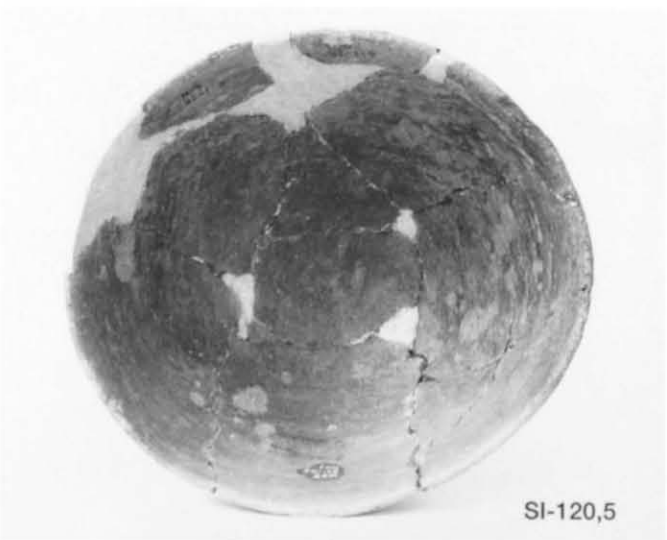
SI-117,22



SI-120,4



SI-117,33



SI-120,5



SI-118,1



SI-118,3















SI-131,1



SI-132,1



SI-132,6



SI-132,2



SI-132,3

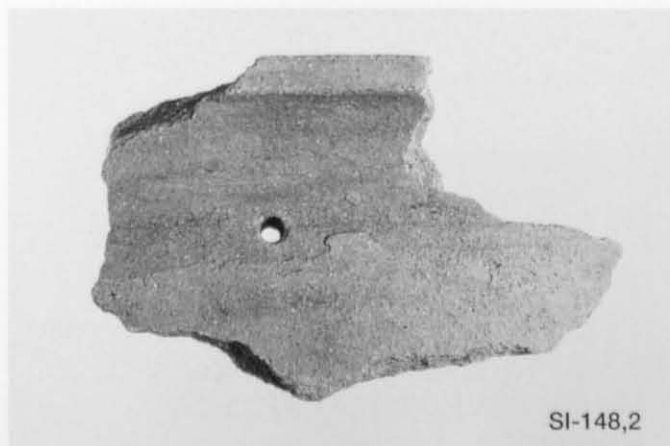
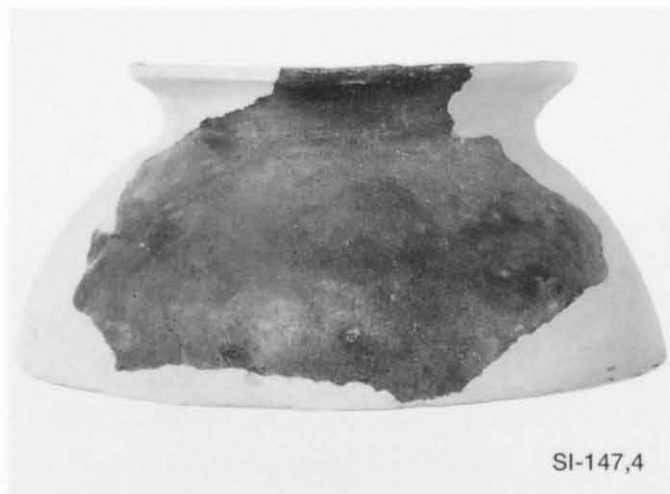


SI-132,4



SI-132,7







SI-149,2



SI-154,1



SI-149,3



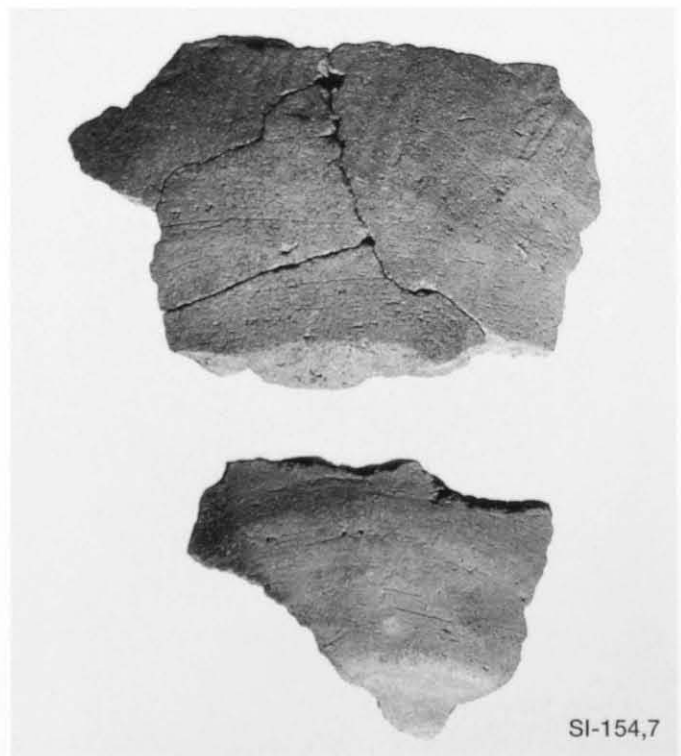
SI-154,2



SI-154,6



SI-151,1



SI-154,7



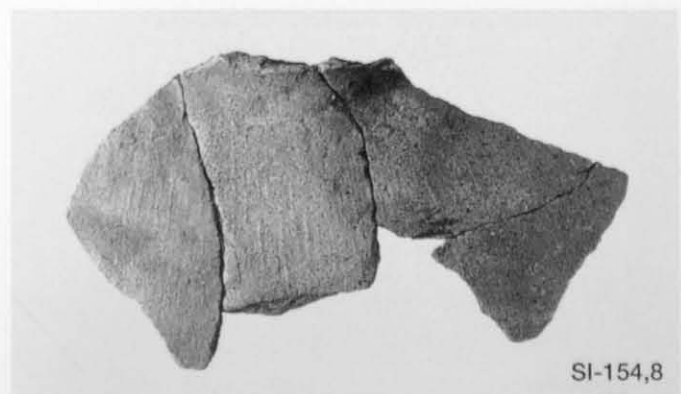
SI-151,3



SI-151,4



SI-151,5



SI-154,8





SI-154,9



SI-154,9



SI-154,9



SI-155,1



SI-157,1



SI-155,4



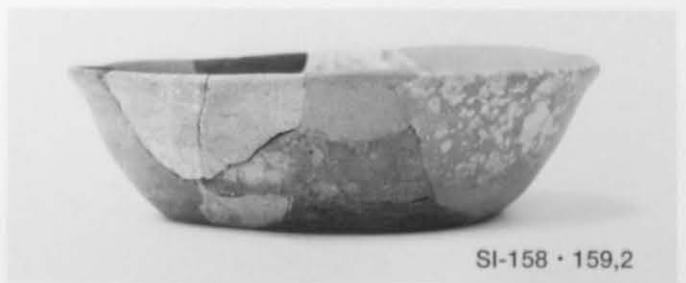
SI-157,2



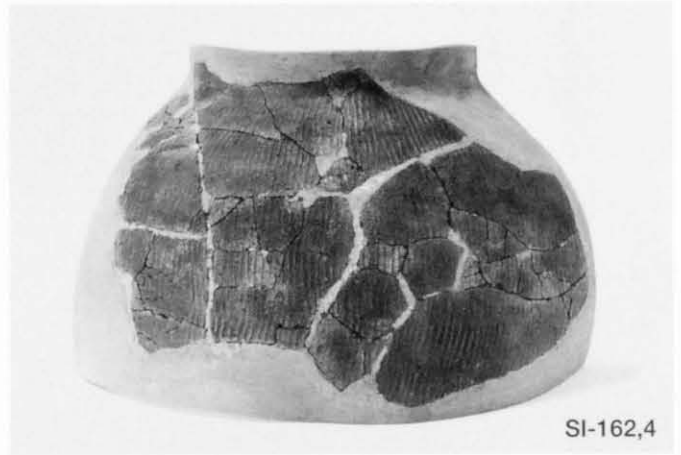
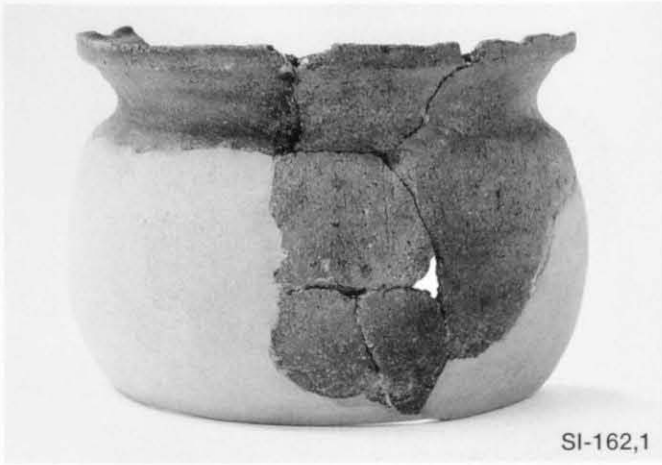
SI-155,5



SI-158 · 159,1



SI-158 · 159,2







SI-163,8



SI-163,9



SI-163,13



SI-101,22



SI-111,9



SI-102,8



SI-107,6



SI-111,10



SI-109,12



SI-128,2



遺構外,23



遺構外,24



SI-110,7



SI-122,8



SI-126,7

遺構外,20



SI-102,4



SI-110,6



SI-113,21



SI-126,8



SI-101,23



SI-113,20



SI-124,4



SI-126,6



SI-130,20



SI-141,3

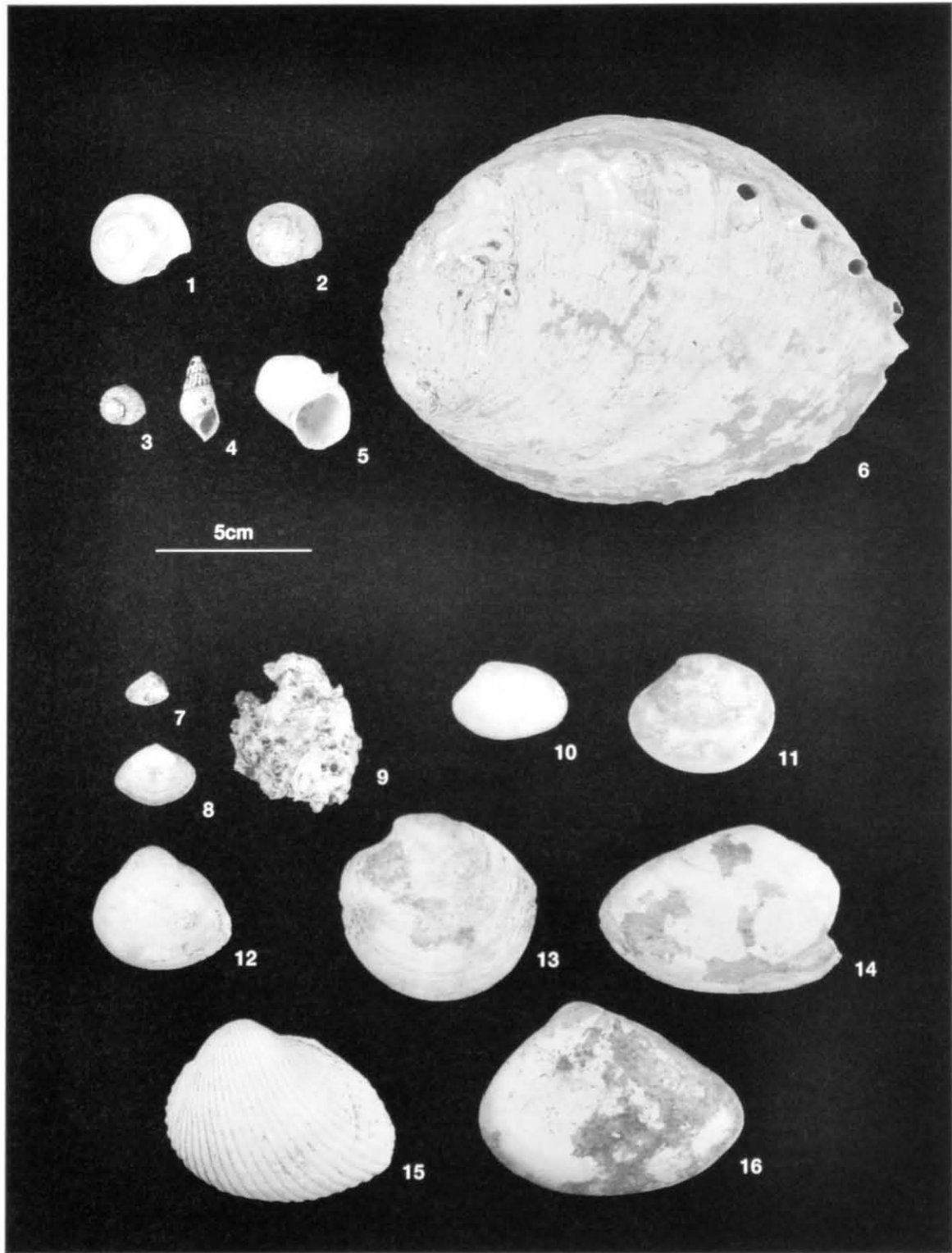


遺構外,21



遺構外,22





神山谷遺跡出土貝類

- 1・2. ダンベイキサゴ、3. クボガイ類、4. カワニナ、5. オオタニシ、6. メガイアワビ、  
7. フジノハナガイ、8. コタマガイ、9. マガキ、10. アサリ、11. ワスレガイ、12. シオフキガイ、  
13. カガミガイ、14. オオノガイ、15. サトウガイ、16. チョウセンハマグリ

## 報 告 書 抄 録

ふりがな	かみやまたにいせき								
書名	神山谷遺跡(1)								
副書名	ひかり工業団地内埋蔵文化財発掘調査報告書								
巻次	Ⅲ								
シリーズ名	財団法人 東総文化財センター発掘調査報告書								
シリーズ番号	第25集								
編著者名	岸本雅人, 宮内勝巳, 本多昭宏								
編集機関	財団法人 東総文化財センター								
所在地	〒289-1727 千葉県匝瑳郡光町宮川字宮内前2334								
発行年月日	西暦 2002年3月31日								
所収遺跡名	所在地	コード		経度	緯度	調査期間	調査面積	調査原因	
		市町村	遺跡番号						
神山谷遺跡	千葉県匝瑳郡光町字篠本	12381	29	140° 29' 54"	35° 41' 54"	1995.4.6~ 1997.10.9	22,200m <sup>2</sup>	工業団地造成に伴う埋蔵文化財調査	
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項				
神山谷遺跡	集落跡 古墳 城跡	旧石器時代		剥片					
		縄文時代	落とし穴 焼土跡	12基 3基	縄文土器(早・前・中・晩期)、石器、土製品				
		弥生時代	竪穴住居跡 土坑墓	7軒 1基	弥生土器(中・後期)・ガラス玉				
		古墳時代	竪穴住居跡 古墳	63軒 4基	土師器、須恵器、石製品、土製品、鉄製品、砥石	やせ尾根状の台地に展開する大規模集落			
		奈良・平安時代	竪穴住居跡 土坑 特殊遺構	120軒 1基 2基	土師器、須恵器、土製品、石製品、鉄製品、金銅製品、砥石				
		中世・近世	掘立柱建物跡 土坑墓 土坑 地下式坑 井戸 炭窯 溝・堀・道	2基 3基 42基 2基 1基 5基 30条	茶釜、五輪塔、銭貨、砥石				



---

財団法人 東総文化財センター発掘調査報告書第25集

## 神 山 谷 遺 跡 (1)

—ひかり工業団地内埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅲ—

平成14年3月31日発行

編	集	財団法人 東総文化財センター
発	行	千葉県企業庁 千葉県千葉市中央区長洲1丁目9番1号
		財団法人 東総文化財センター 千葉県匝瑳郡光町宮川字宮内前2334
印	刷	株式会社 エリート印刷

---

附 圖





附四 神山谷遺跡及び城山遺跡（鎌本城跡）遺構分布図